

# 平成 25 年度 第 2 回水道事業経営審議会

## 次 第

日時 平成 26 年 2 月 28 日(金) 午後 2:30～

場所 新潟市水道局技術研修センター 2 階会議室

### 1 開会

### 2 議事

- (1) 地方公営企業会計制度の見直しについて
- (2) 平成 26 年度当初予算について
- (3) 消費税法の改正に伴う水道料金の改正について
- (4) 新マスタープランの策定状況について
- (5) 平成 25 年度 水道水に関するアンケート調査報告（事業所編）
- (6) その他（各種報告）

## 平成 25 年度 第 2 回経営審議会 議題及び資料

### 1 地方公営企業会計制度の見直しについて

- (1) 地方公営企業会計制度の見直しについて . . . . . 資料 1

### 2 平成 26 年度当初予算について

- (1) 平成 26 年度 当初予算事業説明書 . . . . . 資料 2

### 3 消費税法の改正に伴う水道料金の改正について

- (1) 消費税法の改正に伴う水道料金の改正について . . . . . 資料 3

### 4 新マスタープランの策定状況について

- (1) 新・マスタープランの編集方針および施策体系と評価の考え方  
. . . . . 資料 4-1
- (2) 新・マスタープラン事業・取組み一覧 . . . . . 資料 4-2
- (3) 新・マスタープラン施策体系 . . . . . 資料 4-3
- (4) 新・新潟市水道事業 中長期経営計画  
～新・マスタープラン～ 《骨子案 Ver.3》 . . . . . 資料 4-4

### 5 平成 25 年度 水道水に関するアンケート調査報告（事業所編）

- (1) 平成 25 年度 水道水に関するアンケート調査報告（事業所編）  
. . . . . 資料 5

### 6 その他（各種報告）

- (1) 災害時における燃料供給協力体制の強化について . . . . . 資料 6
- (2) 日本海タワーの営業停止について . . . . . 資料 7

## 地方公営企業会計制度の見直しについて

### 1 見直しの背景

- 地域主権改革に沿った見直し
- 現行の企業会計原則の考え方との整合
  - \*平成24年1月 地方公営企業法施行令の改正

### 2 主な会計基準の見直しの内容

- ① 借入資本金制度の廃止
  - 借入資本金（建設事業債）は「資本」から「負債」に組換え
- ② 補助金等により取得した固定資産の償却制度等
  - みなし償却制度の廃止
- ③ 引当金計上の義務化
  - 退職給付引当金は義務化，また，将来の支出の可能性が高い等の引当金も義務化となる。
- ④ 減損会計・リース会計等の新基準の導入
  - 減損会計：今後の収入が見込まれない資産の帳簿価額の臨時的な減額。
  - リース会計：解約不能等のリース契約を通常の売買契約とみなし，資産は減価償却対象とする。
- ⑤ キャッシュ・フロー計算書の導入，勘定科目の見直しなど
- ⑥ 財務諸表への注記表の添付
  - 重要な会計方針に係る事項や，後年度一般会計の負担額などを記載

### 3 適用年度

平成26年度予算・決算から適用。（平成25年度決算は旧基準）

### 4 健全化指標等への影響に対する経過措置

項 目	見直しによる影響	経過措置など
翌年度償還予定の建設企業債等	流動負債の増	算入対象からの除外 (無期限)
通常1年以内に使用される引当金 (賞与引当金，貸倒引当金など) 翌年度支払のファイナンスリース債務	流動負債の増 (流動資産の減)	算入猶予（3年間）

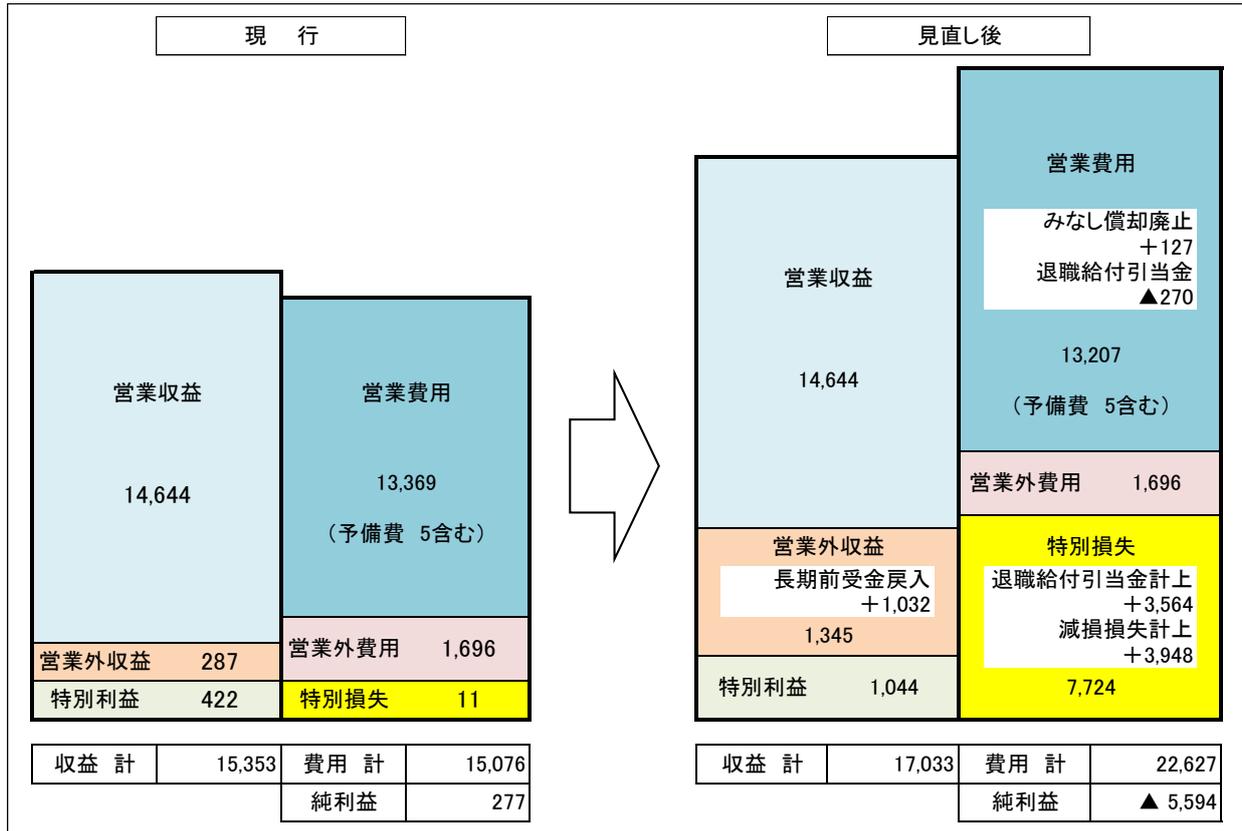
### 5 その他

- ・会計規程の整備について
  - 新潟市における3公営企業会計とも，それぞれに会計規程の改正が必要。  
(勘定科目の加除，引当金の計上規定など)

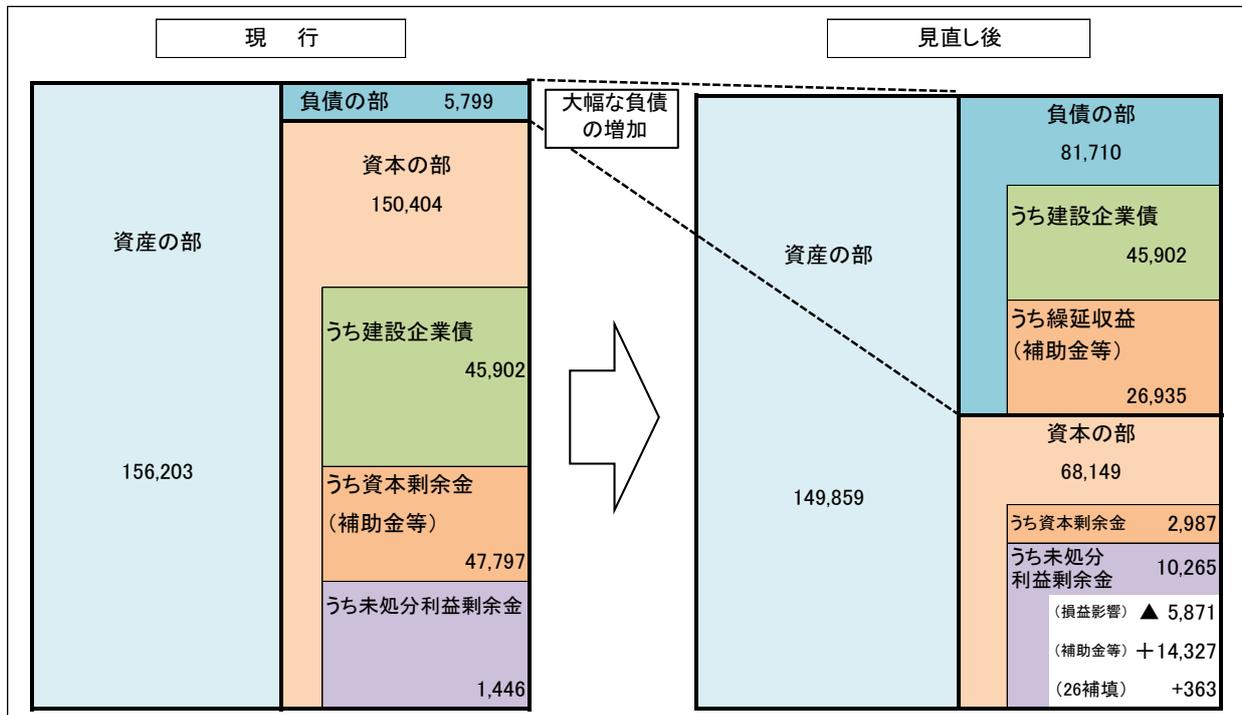
水道事業会計 新会計制度移行に伴う財務諸表への影響イメージについて  
(平成26年度当初予算ベース)

(単位:百万円)

1. 損益計算書



2. 貸借対照表



平成26年度

# 当初予算事業説明書

水道局



## 1 業務の予定量

項 目	26年度	25年度	前年度比	
配 水 量	103,748,000 m <sup>3</sup>	104,293,000 m <sup>3</sup>	△ 545,000 m <sup>3</sup>	△ 0.5%
給 水 量	97,523,000 m <sup>3</sup>	97,827,000 m <sup>3</sup>	△ 304,000 m <sup>3</sup>	△ 0.3%
給 水 戸 数	314,000 戸	311,800 戸	+ 2,200 戸	+ 0.7%
有 収 率	94.0 %	93.8 %	+ 0.2P	
職 員 数	373 人	372 人	+ 1 人	
	(26 人)	(25 人)	( +1 人)	
	347 人	347 人	定数内職員 ±0 人	

( )は再任用職員再掲

## 2 予算規模及び収支の概要(税込み)

### (1)総事業費

26年度	25年度	前年度比
35,369,622 千円	28,784,682 千円	( +6,584,940千円 + 22.9% )

※26年度総事業費は、新会計制度及び新消費税率に基づいて積算しています。

### (2)収益的収支(税込み)

(単位 千円)

科 目	26年度	25年度	前年度比	
<b>収 入</b>	<b>18,147,519</b>	<b>16,340,973</b>	<b>+ 1,806,546</b>	<b>+ 11.1%</b>
① 給 水 収 益	15,017,901	14,694,309	+ 323,592	+ 2.2%
② 加 入 金	222,302	206,574	+ 15,728	+ 7.6%
③ そ の 他 の 収 入	2,907,316	1,440,090	+ 1,467,226	+ 101.9%
<b>支 出</b>	<b>23,080,910</b>	<b>15,569,769</b>	<b>+ 7,511,141</b>	<b>+ 48.2%</b>
① 給 与 費	6,123,726	2,657,397	+ 3,466,329	+ 130.4%
② 委 託 料	1,871,518	1,877,959	△ 6,441	△ 0.3%
③ 修 繕 費	1,490,753	1,387,026	+ 103,727	+ 7.5%
④ 動 力 ・ 薬 品 費	997,194	896,869	+ 100,325	+ 11.2%
⑤ 減 価 償 却 費 等	5,588,636	5,478,354	+ 110,282	+ 2.0%
⑥ 企 業 債 支 払 利 息	1,048,066	1,088,856	△ 40,790	△ 3.7%
⑦ 浄水汚泥等対策費	580,657	759,521	△ 178,864	△ 23.5%
⑧ そ の 他	5,380,360	1,423,787	+ 3,956,573	+ 277.9%
<b>差 引</b> (当年度純利益)	<b>△4,933,391</b> (△ 5,593,870)	<b>771,204</b> ( 321,411)	<b>△ 5,704,595</b> (△ 5,915,281)	

## (3) 資本的収支(税込み)

(単位 千円)

科 目	26年度	25年度	前年度比	
<b>収 入</b>	<b>3,617,424</b>	<b>4,579,409</b>	<b>△ 961,985</b>	<b>△ 21.0%</b>
① 企 業 債	2,542,000	3,054,000	△ 512,000	△ 16.8%
② 国 庫 補 助 金	145,076	95,137	+ 49,939	+ 52.5%
③ 一 般 会 計 出 資 金	305,000	640,000	△ 335,000	△ 52.3%
④ 補 償 金	517,650	678,000	△ 160,350	△ 23.7%
⑤ そ の 他 の 収 入	107,698	112,272	△ 4,574	△ 4.1%
<b>支 出</b>	<b>12,288,712</b>	<b>13,214,913</b>	<b>△ 926,201</b>	<b>△ 7.0%</b>
① 建 設 改 良 費	9,231,927	10,031,115	△ 799,188	△ 8.0%
浄 水 施 設 部 門	2,141,966	2,939,619	△ 797,653	△ 27.1%
配 水 管 部 門	6,497,137	6,537,935	△ 40,798	△ 0.6%
そ の 他 建 設 改 良 費	592,824	553,561	+ 39,263	+ 7.1%
② 企 業 債 元 金 償 還 金	3,056,785	3,183,798	△ 127,013	△ 4.0%
<b>差 引 (当年度資金不足額)</b>	<b>△ 8,671,288</b>	<b>△ 8,635,504</b>		

※ 補てん財源充当額 8,671,288 千円

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| ① 当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | 627,695 千円   |
| ② 過年度損益勘定留保資金           | 404,549 千円   |
| ③ 当年度損益勘定留保資金           | 7,275,619 千円 |
| ④ 建設改良積立金               | 363,425 千円   |

### 3 主な事業計画(税込み)

(単位：千円)

#### 1. 安全でおいしい水の供給

1, 120, 626 (前年度比 + 10, 643)

##### ○水源水質の保全，水質監視体制の強化：68, 631

- ・信濃川，阿賀野川両水系水質協議会との連携：919
- ・水質検査機器及び検査施設の整備：67, 712

##### ○おいしい水プロジェクト：106, 780

- ・新潟市独自の水質目標の設定と管理

##### ○鉛給水管対策の推進：939, 179

##### ○貯水槽水道の衛生管理の充実：82

- ・貯水槽水道の衛生管理指導

##### ○給水装置の理解促進：5, 954

- ・配水管への逆流防止対策：5, 802
- ・給水用具に関する情報提供：152

#### 2. いつでもどこでも必要水量を供給

7, 075, 612 (前年度比 + 239, 111)

##### ○水道施設の耐震化等：969, 787

- ・浄・配水施設の耐震化の推進：362, 276  
(青山浄水場1系沈澱池耐震化：289, 138，稲島配水場地盤補強：46, 235 等)
- ・青山浄水場向け導水管の耐震化，青山～信濃川浄水場相互連絡管整備：283, 500
- ・水管橋の耐震化の推進：64, 811
- ・重要施設向け配水管の耐震化：259, 200  
(新潟市総合保健医療センター，豊栄病院向け)

##### ○応急給水体制等の整備：10, 964

- ・応急給水用具の整備：5, 298
- ・災害復旧体制の強化：2, 457
- ・災害時情報伝達，収集機能の強化：3, 209

○施設の安全対策の充実：78,695

- ・監視カメラの整備

○渇水等の対策：30,662

- ・緊急取水施設の整備(阿賀野川浄水場)

○浄水場等施設の維持管理及び改良・更新：1,520,424

- ・取水, 導水, 浄水及び配水施設の維持管理：1,506,242
- ・水圧測定調査及び漏水調査：14,182

○浄水場等施設の老朽化対策：1,071,917

- ・青山浄水場施設整備事業：975,810  
送水ポンプ設備更新, 沈澱池耐震補強等<22~26年度継続費>  
(再掲：青山浄水場1系沈澱池耐震化 289,138を含む)
- ・南山配水場ビル式配水池外壁改良工事：81,062
- ・施設整備計画策定業務委託(竹尾・南浜・内島見配水場)：15,045

○計画的な管路整備：3,393,163

- ・配水管幹線整備事業：1,396,980<導水管・経年配水幹線更新>  
(再掲：青山浄水場向け導水管の耐震化等 283,500を含む)
- ・経年管更新事業：1,693,783<配水支管一鉄管等>  
(再掲：重要施設向け配水管の耐震化 259,200を含む)
- ・老朽管改良事業：302,400<石綿セメント管更新>  
(平成26年度改良延長：12,551m 残延長：1,232m 平成27年度以降は他工事関連で施工)

**3. 水道事業の運営基盤の強化**

1,151,617 (前年度比 △ 471,547)

○民間的経営手法の導入：295,866

- ・民間委託の推進  
浄水場運転監視業務委託：263,879  
再検針業務委託：31,987

○財政基盤の強化

- ・企業債残高削減への取組み<26年度圧縮額=514,785>  
目標：26年度末までに企業債残高を95億円圧縮  
実績：18年度末残高567億円⇒26年度末残高459億円  
マスタープラン472億円 108億円の圧縮 13億円の好転

○広域化に伴う効率的な施設の再編（浄水場，配水場の統廃合）：852,120

- ・広域系統連絡管整備事業  
西川及び中之口・潟東浄水場統廃合完了に向けた整備を引き続き実施

○水道技術の継承：3,631

- ・研修の充実

#### 4. お客様の視点に立った経営

125,437（前年度比 △ 109,715）

○お客様の利便性向上：118,744

- ・お客様コールセンターの運用

○お客様の負担感軽減：2,840

- ・隔月検針・毎月徴収制度の運用

○お客様ニーズの把握：2,481

- ・アンケート調査の実施：1,335
- ・モニター制度の運用：479
- ・経営審議会等附属機関の運営：667

○経営改革取組み情報の開示：1,372

- ・情報開示の推進（新マスタープラン）

#### 5. 環境に配慮した事業運営

358,980（前年度比 + 297,786）

○浄水場等における電力消費の低減：23,551

- ・管理館及びろ過池管廊照明設備のLED化（青山浄水場）：23,551
- ・太陽光発電の継続（信濃川浄水場，水質管理センター）

○省エネルギー化，再生可能エネルギー利用への取り組み：335,429

- ・簡易型ミスト装置モニター制度：1,866
- ・電気自動車の運用：752
- ・スマートエネルギー対応（本局庁舎）：330,635
- ・庁舎の屋上緑化，壁面緑化（本局庁舎，水質管理センター）：2,176

6. 水道技術による国際貢献

4,730 (前年度比 + 3,077)

○ハルビン市との技術交流の充実等:4,730

・ハルビン市との技術交流事業

危機事象への備え

169,852 (前年度比 △ 77,969)

○緊急修繕用備蓄材の整備:36,901

○料金システムサーバーのデータセンター利用:23,594

・データセンター利用料:16,848

・機器更新・増設分の利用料:6,746

○施設の安全対策の充実:78,695

(再掲:監視カメラの整備)

○緊急取水施設の整備:30,662

(再掲:阿賀野川浄水場)

浄水汚泥等対策

580,657 (前年度比 △ 178,864)

○放射性物質を含む浄水汚泥の保管・処分費用等

## 消費税法の改正に伴う水道料金の改正について

### 1. 改正理由

消費税法の一部改正により、平成 26 年 4 月 1 日から新税率（8%）が適用されることから、水道料金における消費税相当額を改正するもの。

（平成 25 年 12 月市議会定例会において新潟市給水条例の一部改正案を議決）

### 2. 改正概要

（1）消費税相当額を 5% から 8% に改める

（2）条例の施行期日 平成 26 年 4 月 1 日から施行する

（3）この条例の施行日前から水道を継続使用している場合は経過措置を適用する

### 3. 経過措置の概要

（1）偶数月検針のお客さま

4 月検針の料金（3～4 月分）は全て旧税率（5%）で計算

6 月検針の料金（5～6 月分）から新税率（8%）で計算（消費税法附則第 5 条第 2 項）

（2）奇数月検針のお客さま

5 月検針の料金（4～5 月分）は全て旧税率（5%）で計算

7 月検針の料金（6～7 月分）から新税率（8%）で計算（消費税法施行令附則第 4 条第 3 項）

（3）平成 26 年 4 月 1 日以降に新たに使用を開始されたお客さまは経過措置対象外のため、全て新税率（8%）で計算

### 4. お客さまへの周知

（1）水道メーター検針時のチラシ配付 平成 26 年 2 月・3 月検針時に各戸配布

（2）ホームページでの情報周知 平成 26 年 2 月 1 日（土）掲載

（3）広報紙「水先案内」による周知 平成 26 年 2 月 9 日（日）新聞折り込み

（4）市報にいがた による周知 平成 26 年 3 月 2 日（日）新聞折り込み

平成 26 年 2 月 28 日

## 新・マスタープランの編集方針および 施策体系と評価の考え方

### 1. 編集方針

平成 27 年度を初年度とする「新・新潟市水道事業中長期経営計画」（以下、「新・マスタープラン」）の編集にあたっては、単に局内関係者の資料にとどまることなく、完成後の公開・配付を意識し、分かりやすい表現と、図表・イラストなどにより、感覚的に捉え易い記述を行いながら、できる限りコンパクトな構成を心掛ける。

また、現在の「新潟市水道事業中長期経営計画」（以下、「現・マスタープラン」）からの継続性を保ちながら、今後、新潟市水道局が目指す方向性が明確に示される内容になるよう努める。

### 2. 編集作業の進め方

経営管理課は、ワーキンググループの協力のもと、計画期間（10 年間）における事業・取り組みを整理し、意見・要望等を参考としながら原案の作成・編集を行い、検討委員会への報告と確認により原稿を作成する。

また、財政計画との整合性を図りながら、適宜、経営会議・経営審議会への報告（中間報告等）を行い、精度を高める。

### 3. 編集計画

新・マスタープラン本編と実施計画（前期）の編集を同時に行う。

現段階での編集計画は以下のとおり。

26.1	26.2	26.3	26.4	26.5	26.6	26.7	26.8	26.9	26.10	26.11	26.12	27.1	27.2	
	骨 子 案 確 認		初 稿 確 認		第 2 稿 確 認		第 3 稿 確 認		経 営 審 議 会 報 告		原 案 完 成 ・ 二 役 説 明	議 会 （ 委 員 会 ） 報 告	パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト	完 成 ・ 配 付
← 財政計画の確認と微調整 →							← 27 予算編成による微調整 →							

※経営審議会委員へは、適宜原稿の確認をお願いします。

※原稿確認回数は、確認状況により変動します。

#### 4. 事業・取り組みの掲載基準

新・マスタープランに掲載する事業・取り組みは、以下の条件を満たすものとする。

目指すもの、目的・目標が定まっていて、実施（継続実施）の方向性が確認され、評価・効果測定が確実にできるもの。

	→	<b>新たな事業・取り組み</b>
		ア. お客さまに対し、直接的な影響がある(サービスが向上する, 料金改定 etc~)
		イ. 財政計画に影響がある
		ウ. 組織・体制に影響がある
		エ. 戦略的に行うもの(イメージ向上, 対外的な影響 etc~)
→		<b>継続的に行っている事業・取り組み</b>
		ア. 拡大・拡張するもの
		イ. 縮小・廃止するもの
		ウ. 重要度・関心度が高いもの
		エ. 戦略的に行うもの

#### 5. 施策体系

これまで、新・マスタープランでの施策体系については、最上位階層である「基本施策」に新水道ビジョンの「目指すべき方向性」である「安全」「強靱」「持続」を置き、下位の階層に「施策」「事業・取り組み」を配置することを提案してきました。



「安全」「強靱」「持続」は、具体的な行動内容を表すものではないため、「施策（ほどこすべき策・実行すべき計画）」と言う言葉を使うには若干の違和感があり、また、プラン全体が硬いイメージとなっている。

そこで、「基本施策」を新水道ビジョンに習い「目指すべき方向性」とし、その下位に事業・取り組みの行動概要を示す「施策」を、更にその下位に「事業・取り組み」を配置した体系により整理する。

また、これまで「理念」としてきた「お客さまに信頼される水道」についても、分かりやすい表現とすることを目的に、「将来像」とする。

### 【将来像】お客さまに信頼される水道

目指すべき方向性	施策	事業・取り組み数
安全でおいしい水道水の供給 《安全》	I 水質管理の充実・強化	5
	II 給水装置における水質保持	3
強靱な施設・体制による給水の確保 《強靱》	III 水道施設の計画的更新	4
	IV 災害対策・体制の強化	5
環境の変化に柔軟に対応した健全な事業運営の持続 《持続》	V 経営基盤の強化	6
	VI お客さまの視点に立った事業運営	5
	VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	2
	VIII 環境に配慮した事業運営	2

#### 各項目が示す内容

階層	内容
将来像	新潟市水道局が目指す理想の姿
目指すべき方向性	将来像に向け、今後の事業運営において着目すべきもの
施策	将来像に向け行う事業・取り組みを、その主となる内容別に分類し、目的を明確にしたもの
事業・取り組み	将来像に向け、具体的に実施する行動

## 6. 評価指標の設定

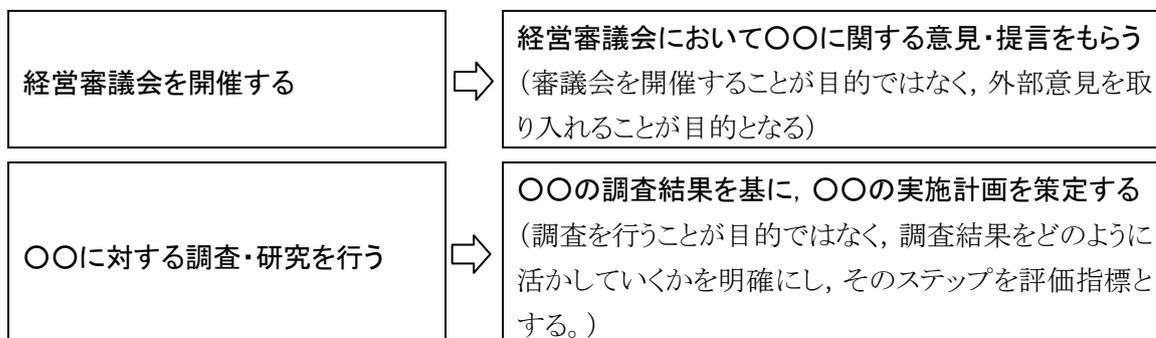
マスタープランにおける事業・取り組みは、その進捗管理と達成度評価が必要となることから、新・マスタープランにおける事業・取り組みの決定に際しては、評価指標を設定した中で進めていく必要がある。

また、客観的な達成度評価を行うために、極力、数値的評価指標を設定するものとし、数値的評価指標が設定できない場合は、各年度における具体的な目標を設定する。

《数値的評価指標の設定例》



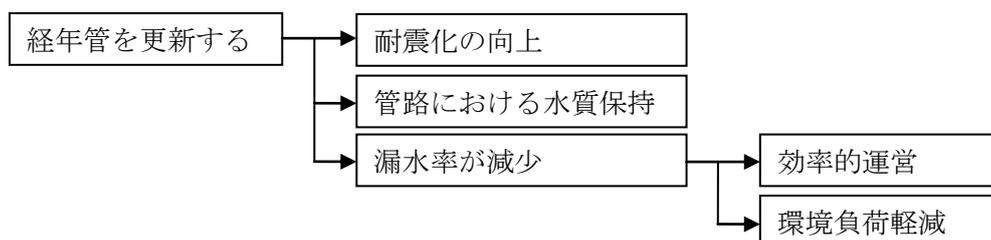
《数値的評価指標が設定できない場合の設定例》



## 7. 評価方法

事業・取り組みを実施することによる成果は単独のものではなく、その内容によっては複数の成果が現れる場合がある。

例えば・・・

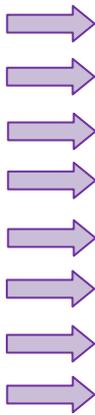


現・マスタープランにおいては、このような事業・取り組みを「再掲」という形で表現し、一つの事業・取り組みに対し、施策毎に異なる評価を行っているが、目標設定や評価が複雑となり、分かりにくい部分がある。

このような問題を解決するために、新・マスタープランでは各事業年度毎の事業・取り組みに対する目標達成度を評価するとともに、実施計画期間単位で「目指すべき方向性」に沿って水道事業全体の成果を、集約・整理することで評価を行う。

評 価 ～その1（事業年度毎の評価）～

施 策	事業・取組み数
I 水質管理の充実・強化	5
II 給水装置における水質保持	3
III 水道施設の計画的更新	4
IV 災害対策・体制の強化	5
V 経営基盤の強化	6
VI お客さまの視点に立った事業運営	5
VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	2
VIII 環境に配慮した事業運営	2

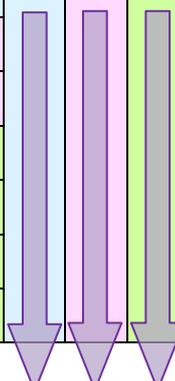


各事業取組みの目標達成度を評価

《各事業ごとの評価例》

事業	H22 年度		H23 年度		H24 年度	
	実績値/目標値	達成度	実績値/目標値	達成度	実績値/目標値	達成度
配水管幹線整備事業 （布設延長）	2,100m/1,130m	185.8%	1,248m/1,740m	71.7%	1,111m/970m	114.5%
経年管更新事業 （更新延長）	6,498m/6,425m	101.1%	7,453m/6,223m	119.8%	6,887m/7,075m	97.3%

評 価 ～その2（実施計画単位の評価）～

施 策	事業・取組み数	方向性			
I 水質管理の充実・強化	5	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">安 全</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">強 靱</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">持 続</div> </div> 	安 全	強 靱	持 続
II 給水装置における水質保持	3				
III 水道施設の計画的更新	4				
IV 災害対策・体制の強化	5				
V 経営基盤の強化	6				
VI お客さまの視点に立った事業運営	5				
VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	2				
VIII 環境に配慮した事業運営	2				

《方向性ごとの評価例》

	H22 年度	H23 年度	H24 年度
強靱に関し			
管路の更新率	1.20%	1.05%	0.74%
管路の耐震化率	11.4%	12.7%	13.7%

方向性毎の指標値による評価（主にPIによる）

## 新・マスタープラン事業・取組み一覧

No.	事業・取組み	事業内容	評価指標	所管課	方向性
1	水源水質の監視	給水の安全性を確保するために、同一水系流域の水道事業者と連携し、水源保全の取り組みを行う。 ・水質事故の緊急連絡 ・水道原水の共同調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会及び水質汚濁対策連絡協議会との連携 ・上流調査と河川監視パトロール ・水道危害項目の監視	河川水質事故による水道水への影響 (年間の水道水への影響回数/年間の水質事故の緊急連絡回数)	水質管理課	安全 ●
			水道原水の水質調査 (共同調査の回数)		強靱 ○
			水道危害項目の監視 (水道危害項目の検査回数)		持続
2	水安全計画の充実・適切な運用	水源から蛇口までのすべての過程における統合的な水質管理を行う「水安全計画」を評価し、適宜見直しを図り、適切な運用を行う。	浄水場「水安全計画」の評価実施率 (評価実施浄水場数/全浄水場数)	水質管理課 浄水課	安全 ●
					強靱 ○
					持続
3	水質管理体制の強化	水道GLP(水道水質検査優良試験所規範)を維持し、水質検査結果の精度と信頼性を確保する。 ・検査機器更新と更新計画の見直しを行う。 ・水質管理における人材育成と技術の継承 ・水質検査計画の策定、計画の提示と検査結果の公表 ・試験方法等の調査研究	検査機器の保守点検実施率(点検実施数/必要機器数)	水質管理課	安全 ●
			教育訓練実施率(訓練実施回数/必要訓練数)		強靱
			水質検査結果の公表数		持続 ○
4	新潟市独自の管理目標による水質管理	国で定める水質基準より高い水準の新潟市独自の管理目標による水質管理を継続していく。 ・残留塩素、臭気、農薬、トリハロメタンの独自管理目標値の管理 ・独自管理目標値の見直し	臭気強度目標達成率(強度2%以下)	水質管理課	安全 ●
			残留塩素目標達成率(0.5mg/L以下)		強靱
			農薬目標達成率(総和0.1以下)		持続
			トリハロメタン目標達成率(0.05mg/L以下)		
5	分かりやすい水質情報の提供	安全でおいしい水や災害時の供給など多様化する市民の水道水に対するニーズに対し、水道水をおいしく飲める啓発活動やニーズにあった情報提供などを行い、水道水に対する信頼性を高める。 ・さわやかトーク宅配便やパンフレット配布などの啓発活動の継続 ・水質に関する問い合わせ情報のデータベース化 ・最新の情報やデータを加えたパンフレット等の作成	パンフレット配布率(配布数/作成数)	水質管理課	安全 ●
					強靱
					持続
6	学校施設の水飲み水栓の直結給水化	教育委員会と連携し、学校施設の水飲み水栓の直結給水化を積極的に進める。	学校施設の直結給水化率 (直結した学校数/市内公立学校数186校)	管路課	安全 ●
					強靱
					持続
7	貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討、実施	訪問指導の強化により、貯水槽の清掃率アップを図る。 ・強化月間の設定 ・民間(貯水槽管理協会)の活用	貯水槽清掃実施率(清掃実施数/施設数) ※中止中施設は除く	管路課	安全 ●
					強靱
					持続
8	指定給水装置工事事業者の技術力向上	工事の品質確保やトラブルの未然防止の観点から講習内容を随時見直すとともに、参加率の向上を図る。 事業者の技術力向上を目的とした表彰制度を継続する。	給水装置に係る事故件数(加圧漏水、水質汚染事故等)	管路課	安全 ●
			指定事業者講習会参加率(講習会参加数/指定事業者数)		強靱
					持続
9	基幹管路の計画的更新《管路の耐震化》	基幹管路更新計画に基づき平成36年度までに <b>86.4km</b> の更新を実施する。 ・前期 平成25年度～平成30年度 <b>41.7km</b> ・後期 平成31年度～平成36年度 <b>44.7km</b> ※数値は事業費の見直しに伴い変更予定	耐震適合性を有する基幹管路延長率	管路課	安全 ○
			基幹管路年間整備・更新延長(m)		強靱 ●
					持続 ○
10	配水支管の計画的更新《管路の耐震化》	現行の経年管更新計画(第1～第3分類、水管橋、JR軌道下)をベースに見直しを行い、新たな老朽管更新計画(配水支管)を策定し、新計画に基づき老朽管の更新を進める。 ・旧計画 第1分類 平成32年度までに更新完了(137km)	耐震適合性を有する配水支管延長率	管路課	安全 ○
			配水支管年間更新延長(m)		強靱 ●
					持続 ○
11	鉛給水管の計画的更新	小口径経年管更新を継続しながら戸別給水鉛管の更新(面的整備)を進め、効率的に鉛管更新を図っていく。 戸別給水鉛管の更新にあつては、老朽管更新完了地区、下水道整備完了地区におけるDIP路線に接続されている場所を優先的に選定し、鉛管密度の多い地域から解消していく。	道路部における鉛給水管使用率 (鉛給水管使用件数/給水件数)	管路課	安全
					強靱 ●
					持続 ○
12	浄配水場施設の計画的更新	更新期を迎えた設備を計画的に更新し、あわせて需要予測に基づくダウンサイジングを図る。 ・青山浄水場、内野配水場、阿賀野川浄水場、竹尾配水場、戸頭浄水場、巻取水場、内島見配水場、南浜配水場、満願寺浄水場 ・配水圧力の適正化：満願寺浄水場・秋葉配水場・長峰配水場	更新スケジュールと実績の対比	計画整備課	安全 ○
					強靱 ●
					持続 ○
13	浄配水場施設の計画的耐震化	「浄配水施設耐震補強計画(H25策定)」に基づき、施設整備に併せ、耐震性能を満たしていない浄配水施設の耐震化を進める。 【浄配取水場】 ・青山浄水場(直送ポンプ場、洗浄水槽 他) ・阿賀野川浄水場(洗浄水槽、配水池 他) ・満願寺浄水場(沈砂池 他) ・戸頭浄水場(沈澱ろ過池 他) ・巻浄水場(急速ろ過池 他) ・信濃川取水場(沈砂池)	耐震化施設数の計画実績対比(実績数/予定数)	計画整備課	安全
					強靱 ●
					持続

●：主に目指すべき方向性 ○：目指すべき方向性

No.	事業・取り組み	事業内容	評価指標	所管課	方向性	
14	重要施設向け配水管の耐震化	災害時に早急な対策・復旧計画の策定が求められる行政機関や、被災した市民の生命に係る救急医療施設などの重要施設への配水管を優先的に耐震化を図る。 平成29年度からは後期 重要施設向け配水管耐震化計画（行政機関4施設、医療機関24施設）に着手し、平成36年度までに完了する。	重要施設の耐震化数	管路課	安全	
					強靱	●
					持続	
15	配水管網のブロック化の推進	配水幹線の更新や関連事業との整合を図りながら、配水ブロック（135ブロック）の構築を図る。 ・平成24年度末（63.0% 85/135） ・平成26年度末（74.8% 101/135） ・平成29年度末（97.0% 131/135） ・平成34年度末（100% 135/135）	小ブロック構築率(構築済小ブロック数/全体小ブロック数) ※配水ブロックシステム計画Ⅱの基づく整備	管路課	安全	
					強靱	●
					持続	
16	大ブロック間の相互連絡管の整備	大ブロック（浄水場）間に相互連絡管を整備することにより、震災時や大規模な水源水質事故時などの災害リスクを分散し、給水安定性の向上を図る。 ＜戸頭浄水場系～巻浄水場系連絡管整備＞ ・国道460号線 φ500mm L=6,100m 整備期間 平成27年度～平成32年度 ＜信濃川浄水場系～竹尾配水場系連絡管整備＞ ・蒲原中部大規模農道 φ900mm L=3,200m 整備期間 平成27年度～平成31年度 ＜南浜配水場系～内島見配水場系連絡管整備＞ ・豊栄一太夫浜線 φ400mm L= 650m 整備期間 平成27年度～平成29年度 ※年度は事業費の見直しに伴い変更予定	配水幹線整備延長(m) ※数値は事業費の見直しに応じて変更 (目標値は年平均整備延長995m/年にて設定)	管路課	安全	
					強靱	●
					持続	
17	事故・災害時における復旧体制の強化	事故・災害時においても、迅速かつ的確に対応するため、復旧体制の強化を図る。 【各種マニュアルの作成・見直し】 ・事業継続計画（BCP）の策定 ・各種マニュアルの拡充 ・マニュアルに基づく訓練の実施（局内・関連他事業体との連携） 【応急給水設備の整備】 ・給水車用常設注水設備の整備 ・浄配水場への応急設備の整備 【協力体制の拡充】 ・お客さまコールセンターとの協力体制の構築 ・民間企業との協力体制構築に向けた調整 ・地域住民との協働体制構築に向けた調整	各種マニュアルの作成数・見直し数  応急給水設備の整備数/計画数	経営管理課	安全	
					強靱	●
					持続	
18	アセットマネジメントによる適正な資産管理	長期水需要予測を踏まえ適正な施設規模を決定したうえで、浄配水施設及び管路施設の更新需要の算出結果を基に、財政収支見通しとの調整を図りながら、ライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的な施設更新計画となるよう適宜見直しを図る。また、実施において参考としている浄水場単位の施設情報を電子化するとともに施設・設備の修繕履歴等を統一的に管理できる方策の調査・検討を行う。	アセットマネジメントの見直し（精度向上）  浄配水場施設情報電子化の実施	経営管理課	安全	
					強靱	
					持続	●
19	定員・給与の適正化	・業務の見直しや民間委託などにより、定員の適正化を進める。 ・職員給与については、国・県・他政令市及び市長部局の状況に準じた見直しを図る。	職員数（年度末職員数≦職員定数）	総務課	安全	
					強靱	
					持続	●
20	水道料金等徴収業務の委託化に向けた検討	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、水道料金等収納業務等の委託についてその可否および委託業務の範囲等について検討する。		料金担当課	安全	
					強靱	
					持続	●
21	遊休施設の有効活用	活用方針に基づき、廃止となった浄・配水施設の有効活用を図る。	施設有効活用に向けた情報収集活動の継続	経営管理課	安全	
					強靱	
					持続	●
22	料金制度の最適化に向けた検討	水需要や財政収支の状況を踏まえ、お客さまの利用実態を考慮した料金水準に見直し、将来にわたり安全な水の安定供給の持続が可能な料金制度・料金体系（口径別基本料金、逡増度など）の構築に向けた見直し・検討を行う。 ・日本水道協会「水道料金算定要領」をベース ・アセットマネジメントに基づく資産維持費の適正水準の検討 ・水道事業経営審議会により第三者意見を反映	料金算定要領に基づくシミュレーション実施  アセットマネジメントによる資産維持率の試算  経営審議会での意見・提言聴取	経営管理課	安全	
					強靱	
					持続	●
23	水道事業経営審議会の効果的運用	・水道事業経営審議会を継続実施し、有識者や水道利用者などの第三者の意見や助言を事業運営に効果的に反映させる。	マスタープラン事業実施状況に対する意見・提言の聴取と反映	経営管理課	安全	
					強靱	
					持続	●
24	お客さまの意見・要望の把握	・お客さまアンケート調査を継続実施し、お客さまの評価・要望を把握し事業運営の基礎資料とする。 ・水道モニター制度を継続実施し、お客さまの意見・要望等を直接・継続的に聴取する。	お客さまアンケート回収率(アンケート回答收受数/依頼数)  水道モニター活動回数(モニター会議、施設見学会等開催数)	総務課	安全	
					強靱	
					持続	●
25	分かりやすい経営情報の開示	より分かりやすくて確かな経営分析を行うとともに、積極的な経営情報の開示に努め、水道事業経営の透明性の向上を図る。 ・料金設定のメカニズムやコスト情報の提供 ・水道事業の経営効率化に対する取組みの実績・計画等の提供	料金設定の仕組みやコスト情報の提供  事業効率化に対する取組みの実績・計画等の提供	経営管理課	安全	
					強靱	
					持続	●
26	浄水場見学を充実させるための環境整備	水道の重要性や水を大切にすることを伝えるため、浄水場の施設見学を充実させる。 ・浄水場見学における広報をさらに強化する。 ・施設見学対応が不十分な浄水場において施設整備を進める。	-	総務課	安全	
					強靱	
					持続	●
27	戦略的な広報の実施	「新潟市水道局広報戦略」～広報活動の考え方～に基づき、継続的に広報計画を策定し、効果的な広報活動を展開していく。	市民ニーズを踏まえた広報活動の実施	総務課	安全	
					強靱	
					持続	●

No.	事業・取り組み	事業内容	評価指標	所管課	方向性
28	放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射性物質を含む浄水汚泥について、厳重な保管・管理を徹底する。</li> <li>水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質の検査結果、浄水場周辺の放射線量などについて、お客さまに対し情報提供を継続する。</li> </ul>	汚泥保管施設における放射線量測定結果の情報開示の継続	経営管理課 (浄水課)	安全
			放射性物質の分析調査結果の情報開示の継続		強靱
			汚泥保管量（前年度末残量＋発生量－有効利用量）の情報開示		持続 ●
29	人材育成と専門性の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用技術職員の独自採用方式を継続</li> <li>新規職員採用のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行う。</li> <li>「技術研修計画」に基づく研修を確実に実施し、研修計画を逐次見直し充実を図る。</li> <li>水道技術研修センターの効果的運用を継続</li> <li>事務系研修(経営計画・料金体系・計量および収納業務・財務会計・ビジネススキル等)の計画策定および実施</li> </ul>	職員一人当たり年間内部研修実施時間(年間研修時間/年度末職員数)	総務課	安全
			新規採用職員数(技術職)		強靱
			水道技術研修センターの研修利用日数		持続 ●
30	諸外国との水道技術研究交流	日米台水道地震対策ワークショップ、水道技術国際シンポジウムへの参加、ハルビン市との給水技術交流事業の実施	国際研修等への参加人数	総務課	安全
			中国ハルビン市との水道技術交流回数		強靱
31	建設副産物の再利用促進	建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材及びコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続する。また、建設発生土については引き続き、リサイクル率向上のための方策を検討し、現場内で掘削土を改良する機械の開発や高pH対策などのフィールド提供を行い、新技術の開発を促進する。	建設副産物のリサイクル率	管路課	安全
					強靱
					持続 ●
32	(仮称)新潟市水道局環境計画の策定と推進	<p>新潟市水道局として環境負荷の少ない水道づくりを推進するために、「(仮称)新潟市水道局環境計画」を策定するとともに、環境負荷低減に向けた取り組みを推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギー等の有効利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備等に合わせ、浄配水施設への太陽光発電設備の導入を進める</li> </ul> </li> <li>○環境会計の作成・公表とお客さまへの環境対策事業としてのPR</li> <li>○省エネルギー対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>水道施設の整備に合わせ、省エネルギー型の施設・設備に切り替え</li> </ul> </li> </ul>	環境計画の策定、環境会計の作成・公表の継続	経営管理課	安全
			省エネ設備・太陽光発電設備の計画的導入		強靱
			温室効果ガス排出量の低減率(H24年度比) ※地球温暖化対策率先実行計画と合わせて管理		持続 ●

## 新・マスタープラン施策体系

方向性	施策	事業・取組み	目指すべき方向性		
			安全	強靱	持続
安全	I 水質管理の充実・強化	1 水源水質の監視	●	○	
		2 水安全計画の充実・適切な運用	●	○	
3 水質管理体制の強化		●		○	
4 新潟市独自の管理目標による水質管理		●			
5 分かりやすい水質情報の提供		●			
安全	II 給水装置における水質保持	1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	●		
		2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	●		
		3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	●		
強	III 水道施設の計画的更新	1 基幹管路の計画的更新《管路の耐震化》	○	●	○
		2 配水支管の計画的更新《管路の耐震化》	○	●	○
		3 鉛給水管の計画的更新		●	○
		4 浄配水場施設の計画的更新	○	●	○
強靱	IV 災害対策・体制の強化	1 浄配水場施設の計画的耐震化		●	
		2 重要施設向け配水管の耐震化		●	
		3 配水管網のブロック化の推進		●	
		4 大ブロック間の相互連絡管の整備		●	
		5 事故・災害時における復旧体制の強化		●	
持続	V 経営基盤の強化	1 アセットマネジメントによる適正な資産管理			●
		2 定員・給与の適正化			●
		3 水道料金等徴収業務の委託化に向けた検討			●
		4 遊休施設の有効活用			●
		5 料金制度の最適化に向けた検討			●
		6 水道事業経営審議会の効果的運用			●
持続	VI お客さまの視点に立った事業運営	1 お客さまの意見・要望の把握			●
		2 分かりやすい経営情報の開示			●
		3 浄水場見学を充実させるための環境整備			●
		4 戦略的な広報の実施			●
		5 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供			●
持続	VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	1 人材育成と専門性の強化			●
		2 諸外国との水道技術研究交流			●
持続	VIII 環境に配慮した事業運営	1 建設副産物の再利用促進			●
		2 (仮称)新潟市水道局環境計画の策定と推進			●

« 骨子案 Ver.3 »

新・新潟市水道事業 中長期経営計画

# ～新・マスタープラン～

(平成 27 年度～36 年度)



平成 27 年 3 月

新潟市水道局



## (巻頭言) 「策定にあたって」

新潟市水道事業管理者

水道局長 元 井 悦 朗

管理者の写真を掲載

本市の水道事業は、明治 43 年 10 月 1 日に通水を開始して以来、平成 17 年の近隣市町村との大合併の後、平成 19 年には全国で 16 番目の政令指定都市への移行を行いながら、水道の普及と安定供給に努めてまいりました。

# 追加

今後も「安全でおいしい水道水」を安定供給できるよう取組みを進めてまいります。

平成 27 年 3 月

# 目 次

## 巻頭言「策定にあたって」

### 第 1 章 計画の策定趣旨と位置づけ

- 1. 計画の策定趣旨 . . . . . - X -
- 2. 計画の位置づけ . . . . . - X -

### 第 2 章 現状と課題

- 1. 水道事業を取り巻く社会環境の変化 . . . . . - X -
- 2. これからの水道事業の課題 . . . . . - X -

### 第 3 章 本市水道事業が目指す将来像 . . . . . - X -

### 第 4 章 計画期間と基本諸元

- 1. 計画期間 . . . . . - X -
- 2. 計画期間における需要予測 . . . . . - X -

### 第 5 章 事業・取組みと施策体系

- 1. 将来像と目指すべき方向性 . . . . . - X -
- 2. 施策体系 . . . . . - X -
- 3. 水源からじゃ口までの水道のしくみと施策 . . . . . - X -

### 第 6 章 施策の概要と目標設定

- 1. 施策の概要 . . . . . - X -
- 2. 目指すべき方向性別目標設定 . . . . . - X -

### 第 7 章 進捗管理 . . . . . - X -

# 第1章 計画の策定趣旨と位置づけ



## 1. 計画の策定趣旨

本市では、平成19年3月に「安全な水の安定供給を持続」するため、本市水道事業のあるべき将来像とその実現のための具体的な施策群を設定した「新潟市水道事業中長期経営計画～マスタープラン～」(以下、旧マスタープランという)を策定しました。また、事業の実施にあたっては、マスタープラン実施計画を策定し、平成19年度から平成21年度までの3年間を前期実施計画期間、平成22年度から平成26年度までの5年間を後期実施計画期間と位置づけ、具体的な事業・取組み内容や財政収支見通しなどを定めて、効率的な事業運営に努めてきました。

このたび、当該計画期間の終了にあたり、水道事業を取り巻く社会環境の変化や、これからの水道事業の課題に対応しつつ、今後も本市水道事業のあるべき将来像とその実現のための具体的な取組みを設定し、戦略的な事業を展開するために、先の計画を継承する「新・新潟市水道事業中長期経営計画～新・マスタープラン～」(以下、新マスタープランという)を策定するものです。

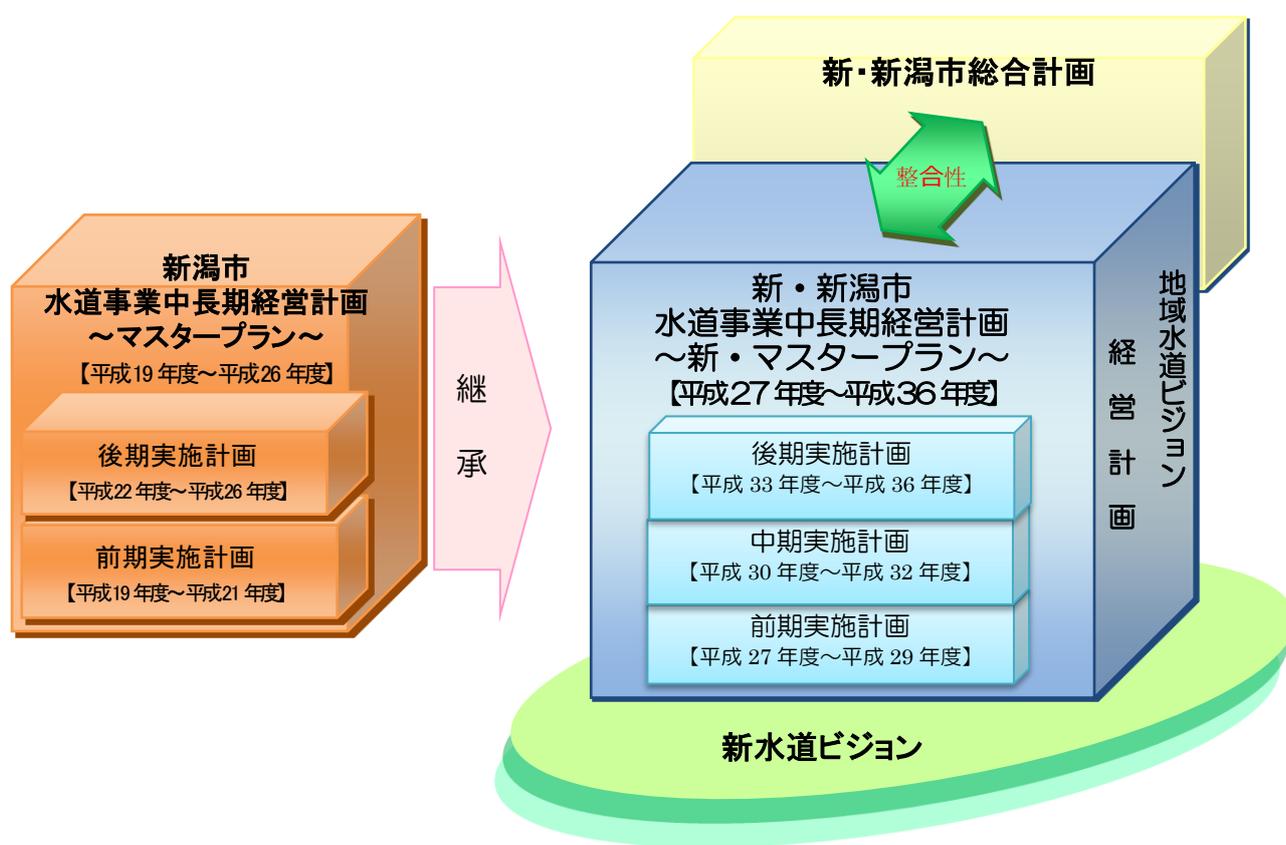


## 2. 計画の位置づけ

「新・マスタープラン」は、本市の水道事業における中長期的な事業運営の指針を示したもので、平成27年度（2015年度）から平成36年度（2024年度）までの10年間を計画期間としております。

また、「新・新潟市総合計画<sup>1</sup>」との整合性を図りながら、厚生労働省が示した「新水道ビジョン<sup>2</sup>」を踏まえ、「地域水道ビジョン<sup>3</sup>」と位置付けるとともに、総務省が策定を指導している「中期経営計画<sup>4</sup>」の内容を総合的に包含するものとして策定しました。

なお、「新・マスタープラン」に掲げた施策等の実施にあたっては、具体的な財政収支計画や事業・取組内容、成果指標等を定めた「実施計画」を策定し、社会環境の変化等を踏まえ、適宜見直しを行いながら計画的かつ効率的に事業を推進していきます。



### 1 新・新潟市総合計画

新潟市が将来のまちづくりの基本理念や目指すべき都市像と、その都市像を実現させるための施策などを示すものです。自治体が行っている都市基盤整備や福祉などさまざまな施策の基本となり、あらゆる事務事業はこの計画をもとに行われています。

### 2 新水道ビジョン

厚生労働省では平成16年6月に、全国の水道事業体に共通する課題に対応するため「水道ビジョン」を策定・公表し、平成25年3月には水道を取り巻く状況の大きな変化を踏まえ、来るべき時代に求められる課題に挑戦するための新水道ビジョンを策定・公表しています。

### 3 地域水道ビジョン

厚生労働省では「水道ビジョン」「新水道ビジョン」において、各水道事業体に地域の実情に即した「地域水道ビジョン」を策定することを推奨しています。

### 4 中期経営計画

総務省では厳しい状況にある地方公営企業の経営状況を踏まえ、各公営企業に対して、「中期経営計画」の策定を求めています。

## 第2章 現状と課題



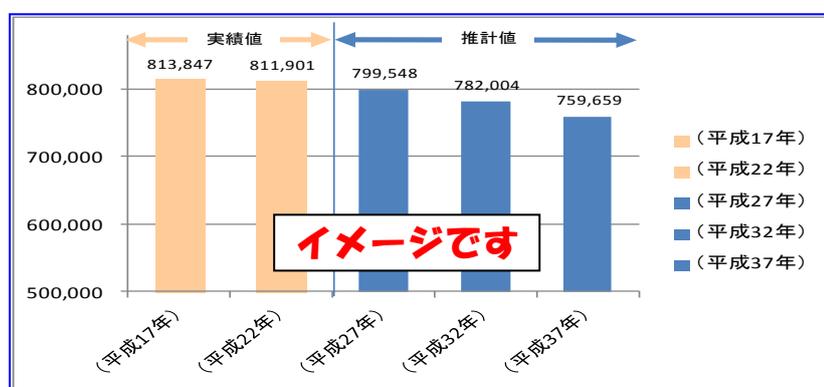
### 1. 水道事業を取り巻く社会環境の変化（想定される将来の事業環境など）

#### (1) 人口減少

日本の人口の推移は、今後も少子高齢化はさらに進み、超高齢・人口減少社会の到来が確実となっています。

新潟市将来推計人口（平成22年国勢調査結果基準）では、平成37年度には現在より約6万人減少の759,659人と推計しています。

人口の減少は、そのまま給水量の減少につながり、今後も給水収益の減少は当面の間、続くものと考えられます。



【新潟市将来推計人口】

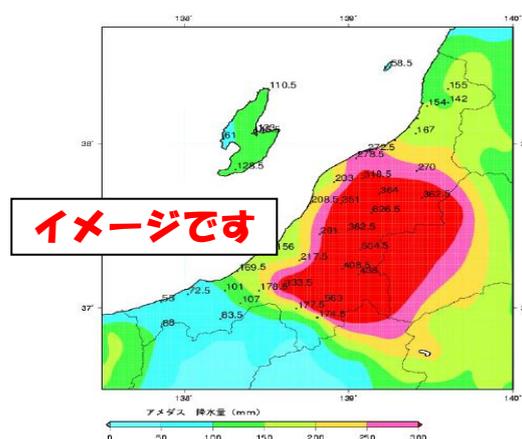
#### (2) 頻発する大規模災害（広域災害）

近年、日本各地で大規模災害が頻発しており、特に平成23年3月の東日本大震災においては、地震被害だけでなく地震を起因とした津波の遡上や液状化により、水道施設も甚大な被害を受け、広域的・長期的に断水が発生しました。また、地震以外にも豪雨による土砂災害等により、原水の濁度が上昇し、浄水処理の停止、浄水施設や管路施設の破損による断水被害も発生しています。

このような状況のなか、水道事業者として、水道施設の耐震化や危機管理体制の強化を進める必要があります。



日本付近で発生した主な被害地震の震央分布  
（平成18年～平成25年10月）（気象庁 HP）

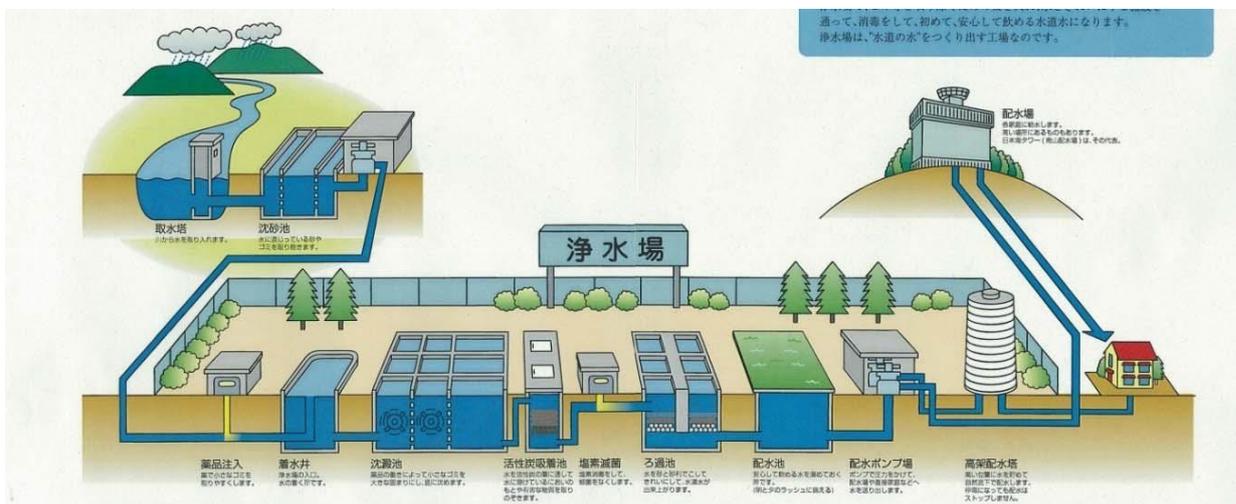


平成23年7月新潟・福島豪雨  
総降水量分布（気象庁 HP）

(3) 環境への配慮

近年、地球規模での環境問題が顕著化し、廃棄物の減量化、資源の有効活用及び温室効果ガスの削減など、国を挙げて地球温暖化対策をはじめとする環境問題への取り組みが進められているところです。一方で、このような環境問題は大切な水資源やその循環にも影響を及ぼすことが懸念されています。

水道事業は、健全な水循環といった良好な自然環境の恩恵の上に成り立っている一方で、水道水を作り、お客さまにお届けする一連の過程の中で、電力消費や薬品使用、建設副産物の発生など、環境に負荷を与える側面もあります。そこで、水源・水質の保全に止まらず、CO<sub>2</sub>削減、建設副産物のリサイクルなどを推進するとともに、再生可能エネルギー・省エネルギー対策等の推進に努めるなど、よりいっそう環境に配慮した事業運営を行っていく必要があります。

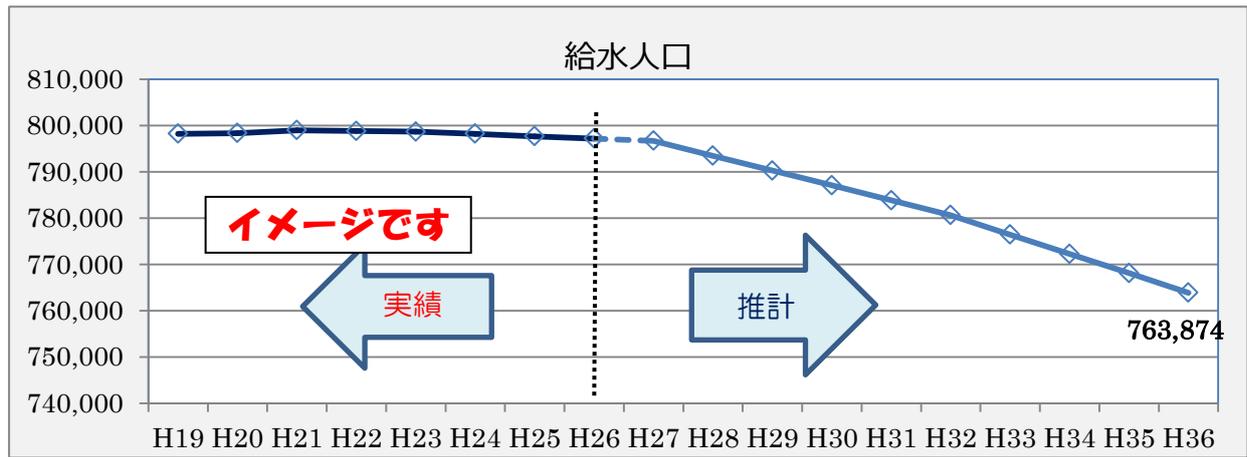


## 2. これからの水道事業の課題

### (1) 水需要の減少

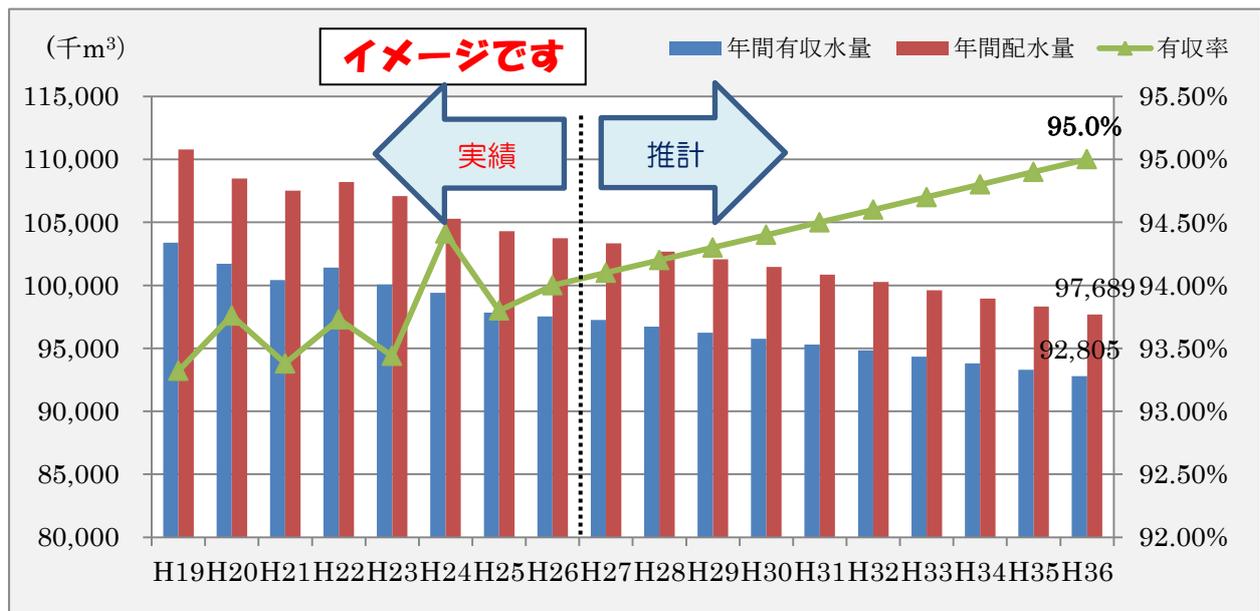
#### ① 給水人口の推移

新潟市の給水人口は、平成21年度（799,006人）以後、ゆるやかな減少傾向に転じています。新潟市将来推計人口の結果を踏まえると、今後も給水人口の減少傾向は続いていくと考えられます。



#### ② 有収水量と配水量

節水意識の浸透や節水機器の普及、生活様式の多様化により、水を使わない生活へ変化しているほか、景気の低迷により、年間配水量は年々、減少しています。有収率<sup>5</sup>は少しずつ上昇していますが、今後も人口減少等に伴い有収水量<sup>6</sup>及び配水量の減少は続いていくものと考えられます。



#### <sup>5</sup> 有収率

有収水量を給水量で除したもの。供給した配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合

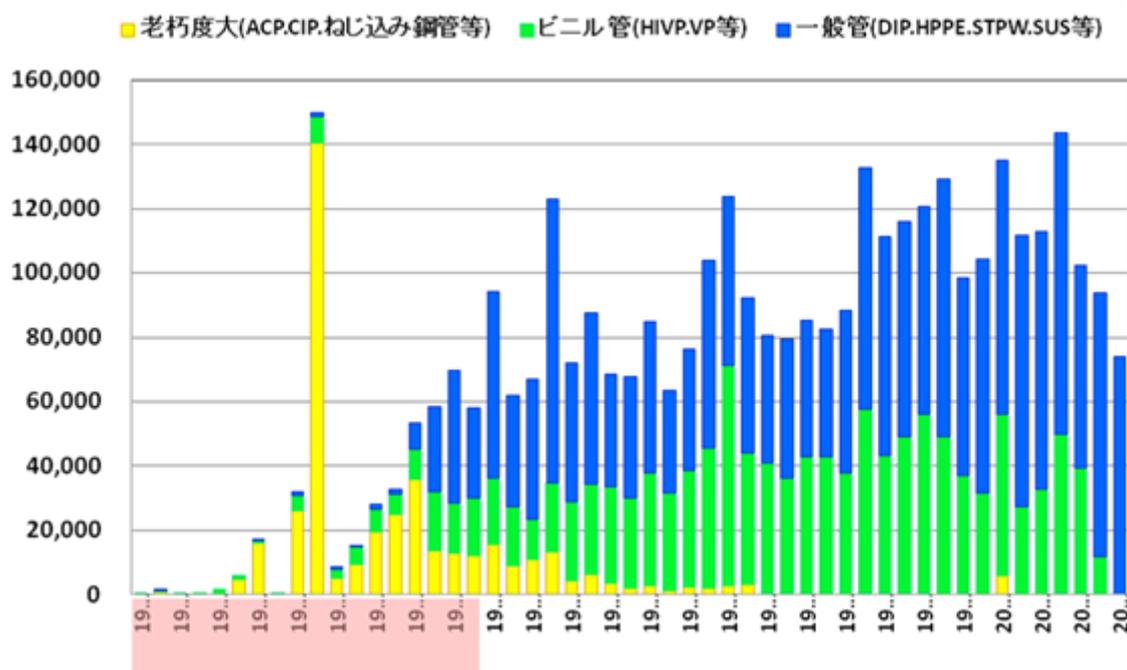
#### <sup>6</sup> 有収水量

料金徴収の対象となった水量及び他会計等から収入のあった水量です。

(2) 水道管路の経年化

全国的に、高度経済成長期に布設された管路の老朽化が問題視されており、地震等災害が発生した場合でも、生命の維持や生活に必要な水を安定して供給するため、水道管路の耐震化を図ることは喫緊の課題であります。本市においても1964年に発生した新潟地震の際に災害復旧として埋設された鑄鉄管や高度経済成長期に布設された水道管路が更新時期を迎えることから、今後大量の管路更新を行う必要があります。

これらの管路を更新する際は耐震管を採用し、管路の老朽度や重要度などを評価したうえで、合理的かつ計画的に耐震化を実施していくことが重要であると考えます。



(3) 浄配水施設の経年化

水道施設は、国民の生活に欠かせないライフラインであり、水の供給が止まることは、お客さまに対し甚大な負担・影響を与える事態に直結します。そのため、たとえ、大規模地震やその他自然災害の場面にあっても、生命の維持や生活に必要な水を安定して供給するため、浄水場、配水場などの基幹施設を強化しておくことが重要です。

新潟市の浄水場、配水場の大半は、新潟地震後の1970年代以降に建設されたものが多く、今後、順次更新時期を迎えることとなります。このため、水道局では、施設の実態に応じて適切な維持管理を行い、更新に際しては、将来の水需要予測や事故発生時のバックアップを考慮しながら、施設規模の適正化を図り、計画的な更新を行っていく必要があります。

#### (4) 経営基盤の強化

将来にわたり、安全な水道水を安定して給水するには、水源から給水管に至るまでの水道施設全体を細やかに管理・運営しなければなりません。水道事業の持続的な経営のためには、財源確保が重要となりますが、将来の人口減少にともない、水道事業収入の大部分を占める料金収入の減少は避けられません。一方、安定した給水を今後も継続的に行うためには、経年化した施設の改良・更新・耐震化を行わなければなりません。

こうした厳しい経営環境の中、お客さまに満足していただける給水サービスを提供し続けていくためには、さらなる事業運営の効率化や経費削減を推進するとともに、中長期的な視点に立って必要となる資金を確保できるよう、料金体系全般に対する改善を図ることも必要となります。

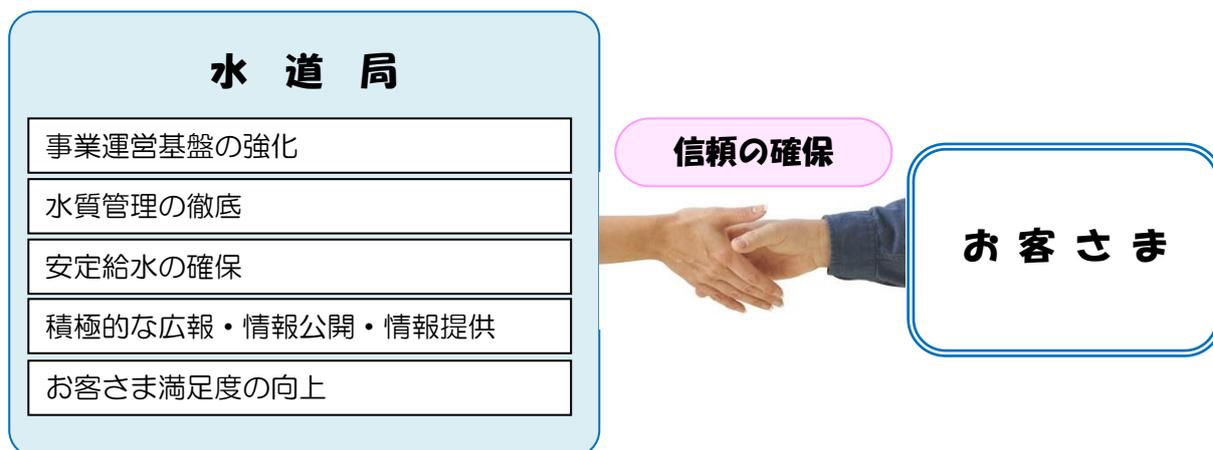
#### (5) お客さまの求めているもの…

本市は、これまでも広報紙やホームページなどを通してお客さまに水道事業の概要や水質状況、経営状況などの事業全般についての情報を伝えているほか、水道週間などのイベントを通して、水道事業に対する理解と関心を高めていただくための活動を行っています。

今後も常にお客さまの視点に立って、お客さまに満足していただける水道水を提供するため高度化・多様化するお客さまの声やニーズをよりの確に捉え事業を適切に推進していく必要があります。また、お客さまのさらなる理解と協力が得られるよう様々な情報発信ツールを用いて、より一層充実したわかりやすい情報提供に努め、水道水に対する信頼性のさらなる向上を図っていくことが必要です。

## 第3章 本市水道事業が目指す将来像

適切な水道料金による健全経営により、安全でおいしい水道水を安定的に供給し、水道事業についてより深く理解いただきながらサービスに対する満足度を高めることで、お客さまから、より身近で、信頼される水道を目指します。



新水道ビジョンの基本理念である「地域とともに、信頼を未来へつなぐ日本の水道」を念頭に置き、本計画を着実に達成することにより獲得したいものはお客さまの「信頼」です。本計画においては、旧マスタープランの理念を継承し、「将来像」を以下のように設定します。

**将来像 『お客さまに信頼される水道』**

## 第4章 計画期間と需要予測

### 1. 計画期間

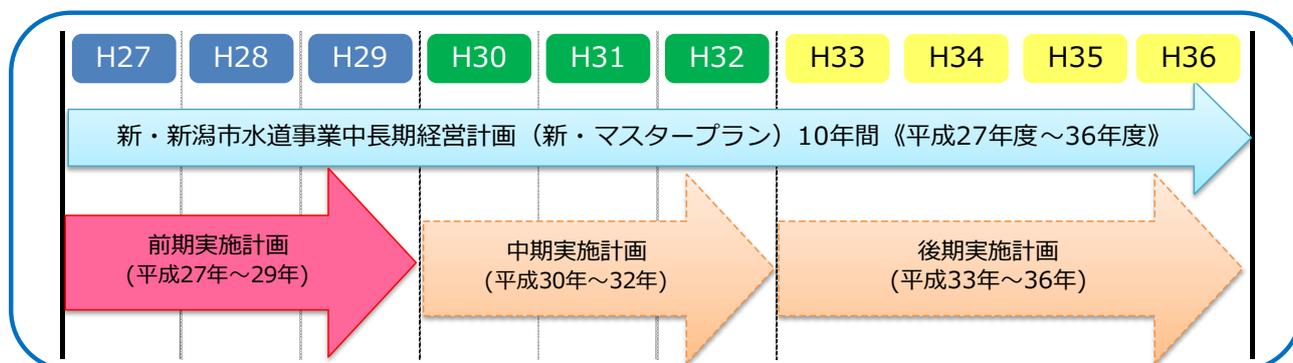
「地域水道ビジョン」「経営計画」策定期間の指針を参考とし、50年後、100年後を見据えながら、本市水道事業の将来像を具現化するために、優先的に実施する必要性の高いものに対する目標を10年後に定め、着実な推進を図ることで、水道を次の世代に継承します。

計画期間 平成27年4月から平成37年3月までの10年間

『新・マスタープラン』で掲げた事業・取組みを計画的に執行していくため、10年の計画期間を3期に分けて「実施計画」を策定します。

「実施計画」は、新・マスタープランで示した将来像及び目指すべき方向性に沿って、事業運営に係る財政収支計画や、各施策に応じた具体的な「事業・取組み」、経営効率化策、成果指標等を盛りこんだ実行計画です。

実施計画 前期3年・中期3年・後期4年



### 2. 計画期間における需要予測

新潟市将来推計人口（平成22年国勢調査結果基準）に合わせ、平成37年度時点の計画給水人口を760,000人とします。

また、過去10カ年の実績から平成37年度の給水量を推計し、一日当たり最大給水量を370,000m<sup>3</sup>とします。

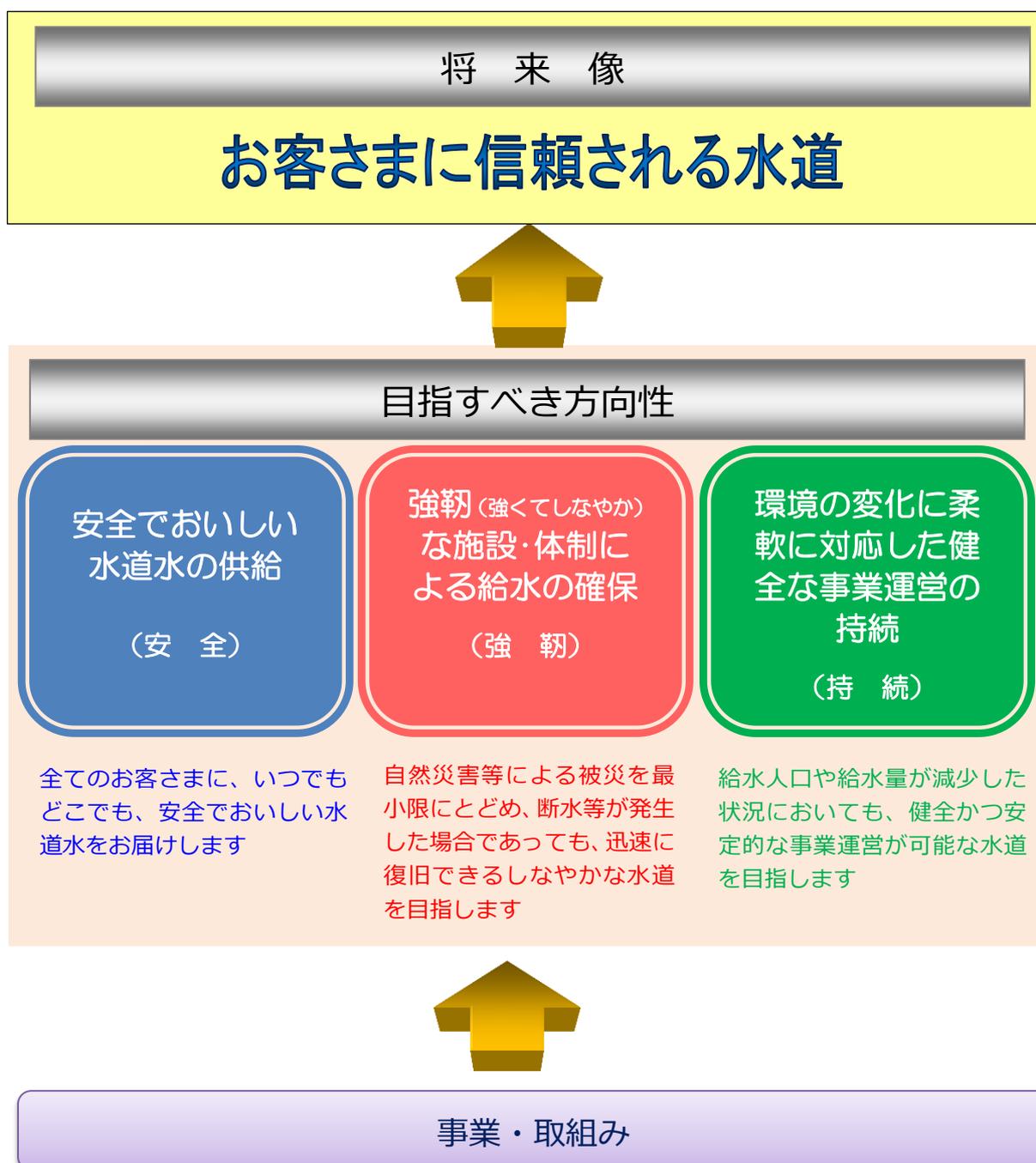
項目	数値
計画給水人口	760,000人
一日最大給水量	370,000m <sup>3</sup>

## 第5章 事業・取組みと施策体系



### 1. 将来像と目指すべき方向性

本計画期間において本市水道事業が実施する「事業・取組み」を、新・水道ビジョンが示す「安全」「強靱」「持続」の3つの観点に沿って、目指すべき方向性として「安全でおいしい水道水の供給：安全」、「強靱（強くてしなやか）な施設・体制による給水の確保：強靱」、「環境の変化に柔軟に対応した健全な事業運営の持続：持続」に整理し、将来像である「お客さまに信頼される水道」の実現に向け、計画的に取り組んでいきます。





## 2. 施策体系

個別具体的な「事業・取組み」を、「施策」として分類・整理し、その取組みの性格付けを明確にします。なお、各「事業・取組み」は、複数の目指すべき方向性に影響を与えるものであり、複数の「事業・取組み」による相乗効果により「将来像」「目指すべき方向性」が実現されるものと考えます。また、具体的な事業・取組み内容は実施計画期間ごとに、社会状況にあったものへと改善を図っていくこととします。

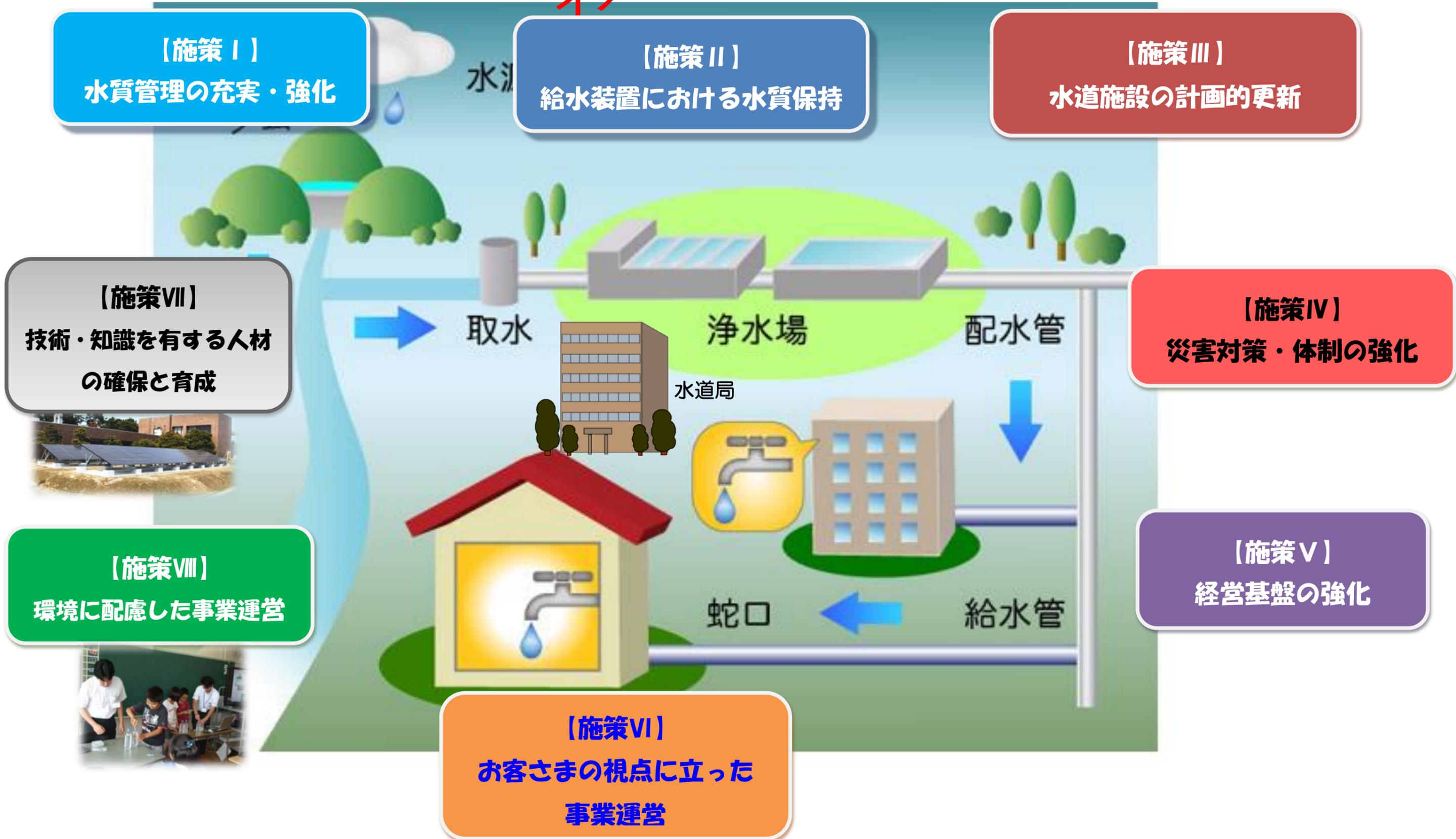
方向性	施策	事業・取組み	目指すべき方向性		
			安全	強靱	持続
安全	I 水質管理の充実・強化	1 水源水質の監視	●	○	
		2 水安全計画の充実・適切な運用	●	○	
3 水質管理体制の強化		●		○	
4 新潟市独自の管理目標による水質管理		●			
5 分かりやすい水質情報の提供		●			
安全	II 給水装置における水質保持	1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	●		
		2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	●		
3 指定給水装置工事事業者の技術力向上		●			
強靱	III 水道施設の計画的更新	1 基幹管路の計画的更新《管路の耐震化》	○	●	○
		2 配水支管の計画的更新《管路の耐震化》	○	●	○
		3 鉛給水管の計画的更新		●	○
		4 浄配水場施設の計画的更新	○	●	○
強靱	IV 災害対策・体制の強化	1 浄配水場施設の計画的耐震化		●	
		2 重要施設向け配水管の耐震化		●	
		3 配水管網のブロック化の推進		●	
		4 大ブロック間の相互連絡管の整備		●	
		5 事故・災害時における復旧体制の強化		●	
持続	V 経営基盤の強化	1 アセットマネジメントによる適正な資産管理			●
		2 定員・給与の適正化			●
		3 水道料金等徴収業務の委託化に向けた検討			●
		4 遊休施設の有効活用			●
		5 料金制度の最適化に向けた検討			●
		6 水道事業経営審議会の効果的運用			●
持続	VI お客さまの視点に立った事業運営	1 お客さまの意見・要望の把握			●
		2 分かりやすい経営情報の開示			●
		3 浄水場見学を充実させるための環境整備			●
		4 戦略的な広報の実施			●
		5 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供			●
持続	VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	1 人材育成と専門性の強化			●
		2 諸外国との水道技術研究交流			●
持続	VIII 環境に配慮した事業運営	1 建設副産物の再利用促進			●
		2 (仮称)新潟市水道局環境計画の策定と推進			●

合計32事業・取組み



3. 水源からじゃ口が届くまでの水道のしくみと施策

イメージ



【施策Ⅰ】  
水質管理の充実・強化

【施策Ⅱ】  
給水装置における水質保持

【施策Ⅲ】  
水道施設の計画的更新

【施策Ⅶ】  
技術・知識を有する人材  
の確保と育成

【施策Ⅳ】  
災害対策・体制の強化

【施策Ⅷ】  
環境に配慮した事業運営

【施策Ⅴ】  
経営基盤の強化

【施策Ⅵ】  
お客さまの視点に立った  
事業運営

# 第6章 施策の概要と目標設定

イメージ



## 1. 施策の概要

### 施策 I 水質管理の充実・強化

水道は、お客さまの生命や健康に直接関わる重要なライフラインであることから、お客さまのもとへ安全で良質な水道水を供給し続けるためには、原水からお客さまのじゃ口までの一貫した水質管理の徹底と、多様化する水質問題に的確に対応していく必要があります。

水の安全に係るリスク管理を適切に行うとともに、最新の情報把握と調査・研究を行い、技術と体制を確保した中で、より安全でおいしい水道水の供給に努めます。

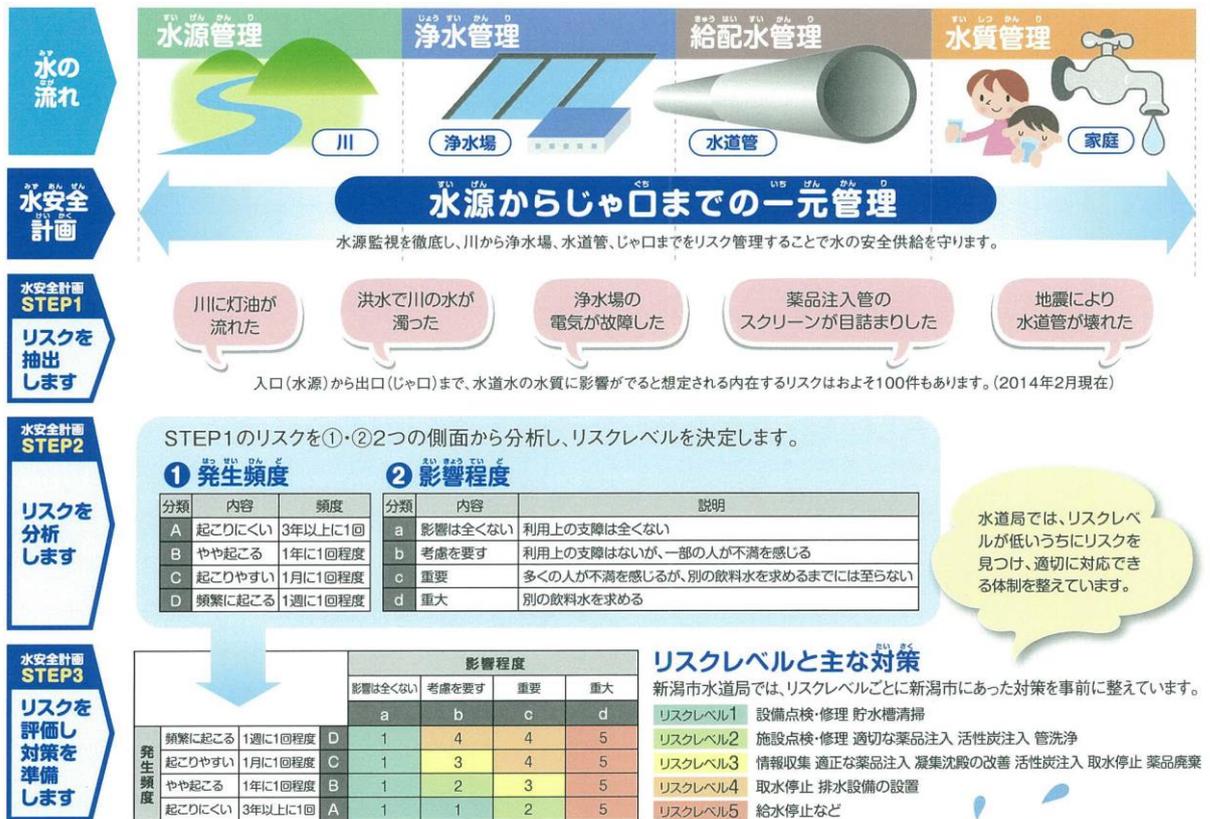
### ～主な取組み内容～

#### 水安全計画の充実・適切な運用

ピックアップ!



- ★ 平成 22 年 7 月から運用を開始している、水源から蛇口までのすべての過程における統合的な水質管理を行う「水安全計画<sup>7</sup>」を評価し、適宜見直しを図っていきます。



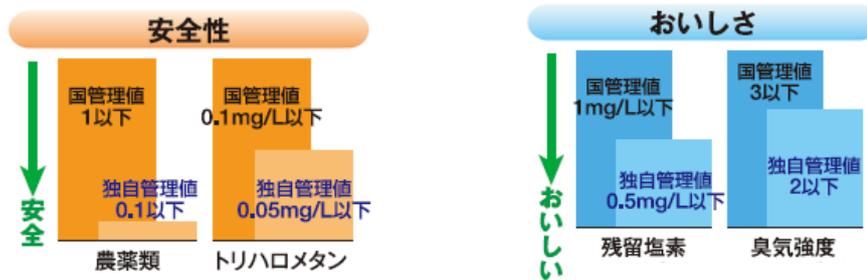
<sup>7</sup> 水安全計画

WHO の飲料水水質ガイドラインをもとに、食品の衛生管理の方法として開発された HACCAP(ハサップ)の考え方を組み込み、水道水の安全性を常に保障できるようにした新たな管理手法です。

新潟市独自の管理目標による水質管理

ピックアップ!

- ★ 国で定める水質基準より高い水準となる新潟市独自の「安全性とおいしさの基準」を設け、より安全でおいしい水道水の供給に取り組んでいきます。
  - 残留塩素、臭気、農薬、トリハロメタンの独自管理目標値による水質管理
  - 独自管理目標値の見直し



評価指標	目標値		
	現状	平成29年度	平成36年度
臭気強度目標達成率	100%	100%	100%
残留塩素目標達成率	89%	91%	92%
農薬目標達成率	100%	100%	100%
トリハロメタン目標達成率	90%	100%	100%

数値はダミーです

施策Ⅱ 給水装置における水質保持

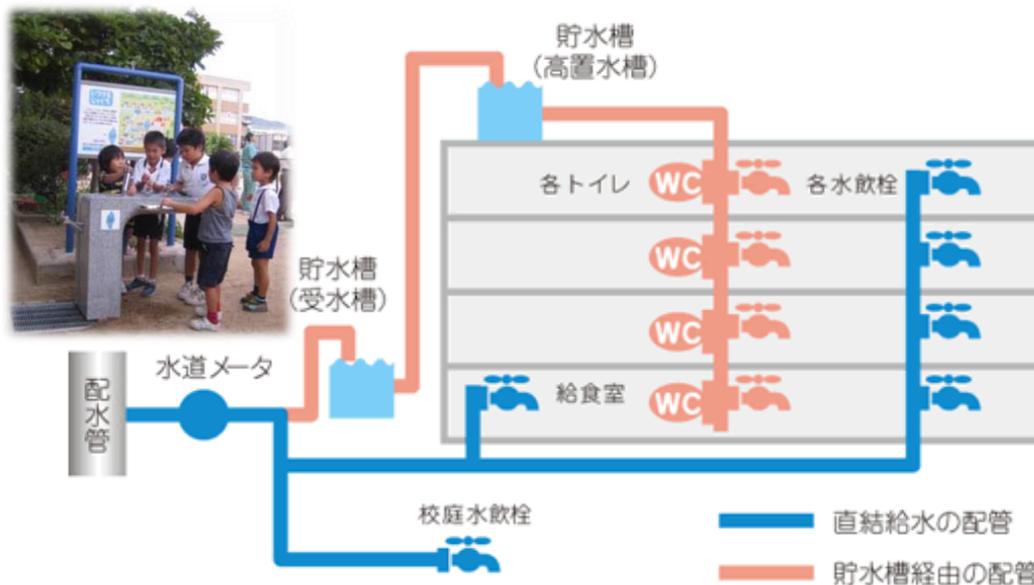
次世代を担う子供たちが水道水のおいしさを実感できるよう、小中学校の水飲み水栓を直結給水方式に切り替えるとともに、ビル・マンション等の貯水槽水道利用者においても、安全でおいしい水道水が供給されるよう貯水槽の清掃率向上に向けた積極的な訪問指導を行います。また、指定給水装置工事事業者の技術力向上により、給水装置に起因する水質事故を防止し、安全でおいしい水道水の供給に努めます。

～主な取組み内容～

学校施設の水飲み水栓の直結給水化



- ★ じゃ口から水を飲むという水道の文化を引き継ぐことを目的に、次世代を担う小中学生が水道水のおいしさを実感できるよう、教育委員会と連携し、積極的に小中学校の水飲み水栓を直結給水方式に切り替えていきます。



評価指標	目標値		
	現状	平成29年度	平成36年度
新規直結給水水飲み水栓設置校数	○校/全○○校	数値は統一です ○校/全○○校	○校/全○○校

施策Ⅲ 水道施設の計画的更新

お客さまに安心していただける水道を未来へつなぐため、老朽化した施設を適切な維持管理により機能維持や延命化を図るとともに、更新が必要な施設に対しては計画的な更新を行い、事業費の抑制と平準化に努めます。

また、施設の更新に合わせて、施設の再編成による規模の適正化や耐震性、環境保全効果、維持管理効率の向上など機能向上を図ります。

～主な取組み内容～

浄配水施設の計画的更新

ピックアップ!



- ★ 安定的かつ効率的な浄水処理を継続するために、更新時期を迎えた浄水場などにおける老朽化した施設設備およびポンプ場、配水池、各種計器類などの送・配水施設設備を計画的に更新・改良するとともに、必要となる構築物を築造し、併せて配水区域の適正化を図ります。



青山浄水場新ポンプ場

- ★ アセットマネジメントの観点から、施設の更新を計画的・効率的に進めるとともに、更新時には耐震性や環境保全効果、維持管理効率の向上を図ります

浄水場系統	更新計画									
	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
青山浄水場系			内野					2期青山		
阿賀野川浄水場系	施設整備									
			竹尾配水場							
戸頭浄水場系					戸頭施設整備					
巻浄水場系						巻浄水施設整備				
満願寺浄水場系	満願寺天日					秋葉P整備				
東港企業団系			南浜・内島見							

基幹管路・配水支管の計画的更新

ピックアップ!

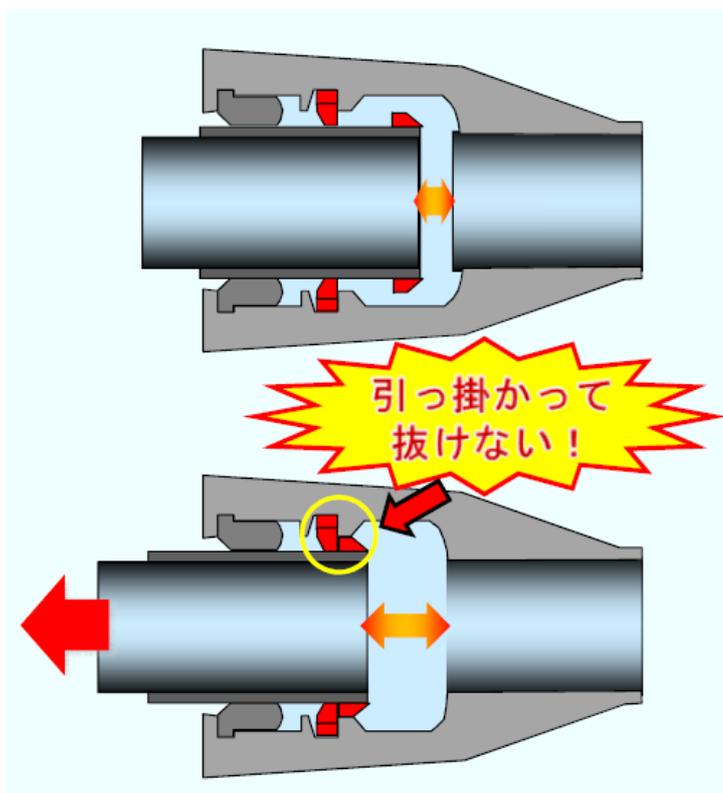
- ★ 基幹管路<sup>8</sup>（導水管・送水管・配水幹線）の折損事故等は、広域的な断水や二次災害など市民生活への影響が大変大きいことから、これらを未然に防止するため、基幹管路更新計画に基づいて、計画的に更新を進めるとともに、併せて地震に強い管種への更新を行います。
- ★ 老朽管更新計画に基づいて限られた資源・資産を有効活用して、老朽度、優先度の高い配水支管<sup>9</sup>を検証しつつ、計画的に整備・更新していきます。また、基幹管路の更新と同様に更新に併せて管路の耐震化など機能向上を図っています。



PIP(パイプインパイプ)工法による施工



水道管の破裂事故



耐震管のしくみ

評価指標	目標値（前期実施計画）		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
配水管幹線布設延長（単年度目標）	〇〇〇〇m	〇〇〇〇m	〇〇〇〇m
経年管更新延長（単年度目標）	〇〇〇〇m	〇〇〇〇m	〇〇〇〇m

<sup>8</sup> 基幹管路  
管網の主要な構成管路。給水管への分岐はない。

<sup>9</sup> 配水支管  
管径 350mm 以下の配水管。需要者へ供給の役割を持ち、給水管を分岐するもの

施策Ⅳ 災害対策・体制の強化

お客様の暮らしを支えるライフラインである水道が、事故や災害発生時においても施設被害を最小限に抑え、安定して水道をお届けできるよう、水道施設の耐震化を推進します。

また、万一の被災時においても水道の安定供給ができるよう、応急給水体制の充実や都市間協定を締結して災害時の相互応援体制を確立するなど、災害に強い水道システムの構築を目指します。

～主な取組み内容～

重要施設向け配水管の耐震化

ピックアップ!



災害時において、防災拠点となる市役所などの行政機関および救急医療機関等の重要施設の被害を最小限に抑え、早期復旧と救急医療の確保を可能とするため、引き続き、配水幹線から当該施設までの供給ルートの耐震化を優先的に実施していきます。

平成 29 年度からは、「後期 重要施設向け配水管耐震化計画」に着手し、計画期間中の完了に向けて耐震化に取り組んでいきます。



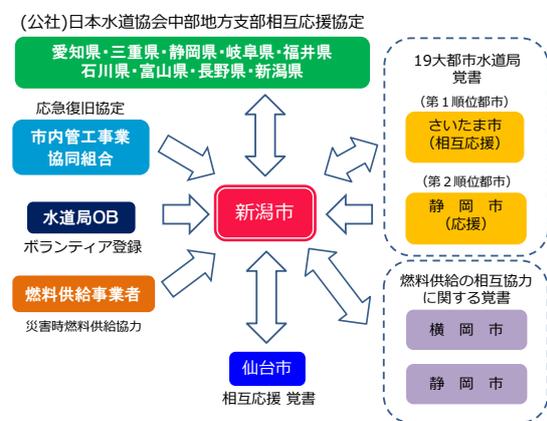
**事故・災害時における復旧体制の強化**

災害発生時などに水道水を速やかに確保するための応急対策について、事業継続計画（BCP）の策定や応急給水、水害対策、津波、放射能対策等の各種危機管理マニュアルを策定または見直しを行うとともに、マニュアルに基づき訓練を実施するなど体制の充実を図り、迅速でスムーズな危機対応が図れるよう取り組んでいきます。

また、既に応援協定等を締結している他の水道事業者との合同防災訓練や情報伝達訓練、横浜市と静岡市との災害時の燃料供給に特化した相互協力を継続していきます。

さらに、民間企業等も含めた各種団体との協定等の締結だけでなく、市職員や地域住民との連携による協力体制強化を図るなど、災害時における対応力の向上を図っていきます。

● 災害時における応急給水、応急復旧の協力体制



水道局災害時支援協力員（翠援隊）による  
応急給水訓練



横浜市水道局との災害時における  
燃料供給の相互協力に関する覚書の締結



評価指標	目標値		
	現状	平成29年度	平成36年度
給水車用常設注水設備の整備			
浄配水場への応急給水設備の整備			

施策Ⅴ 経営基盤の強化

水道事業は、事業に要する費用をお客さまからの水道料金でまかなう独立採算で運営しています。経営環境の変化に対応して常に事業の見直しを行い、経営の効率化と財政基盤の強化に努めます。

また、職員の経営意識や水道技術の向上と継承に努め、事業運営を支える人材の育成を着実に推進し、運営基盤の強化を図り、健全で効率的な事業経営を推進します。

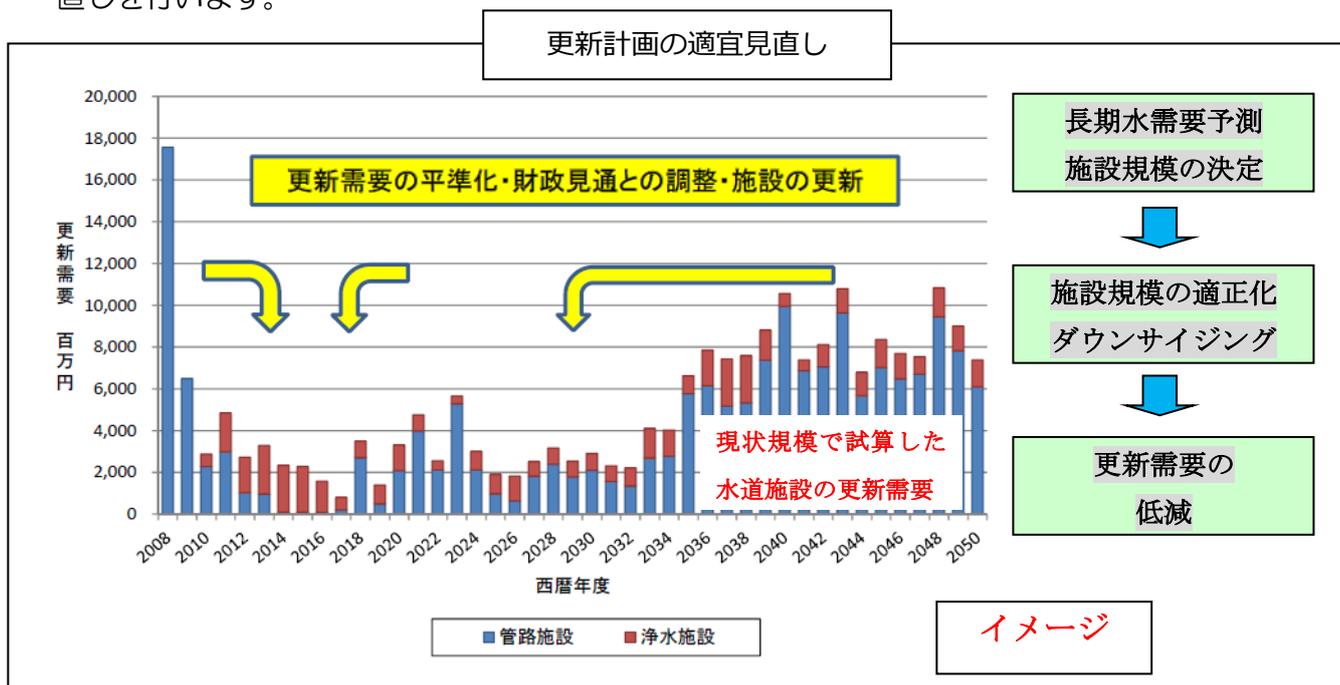
～主な取組み内容～

ピックアップ!

アセットマネジメントによる適正な資産管理

長期水需要予測を踏まえ、適切な施設規模を決定したうえで、浄配水施設及び管路施設の更新需要の算出結果を基に、財政収支見通しと調整を図りながら施設更新を進めます。

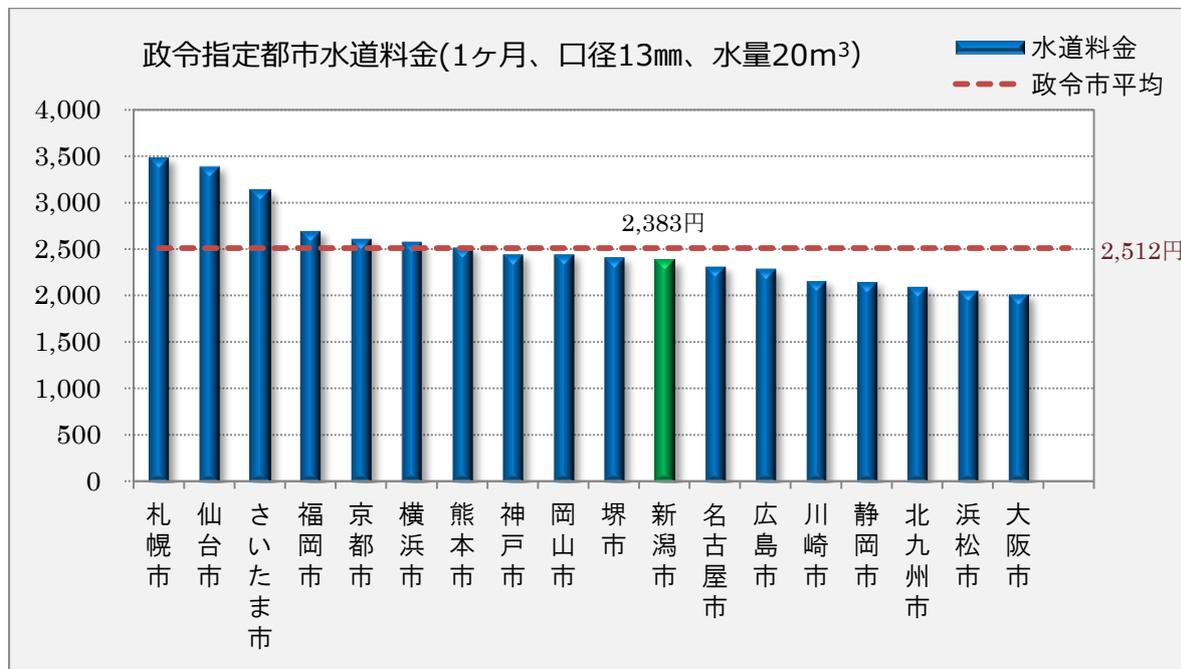
また、ライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的な施設更新計画となるよう適宜見直しを行います。



料金制度の最適化に向けた検討

ピックアップ!

水需要や財政収支の状況及び今後増加が見込まれる施設の更新・修繕への対応を踏まえ、お客さまの利用実態を考慮した料金水準に見直し、将来にわたり災害に強く、安全な水の安定供給の持続が可能な料金制度・料金体系の構築に向け検討を進めます。



## 施策VI お客様の視点に立った事業運営

水道事業の運営にあたっては、お客様のご理解とご協力が欠かせません。時代とともに変化していくお客様のニーズを幅広く、的確に把握し、双方向での情報伝達を推進することで相互理解の促進を図っていくとともに、さらなるお客様サービスの向上に努めます。

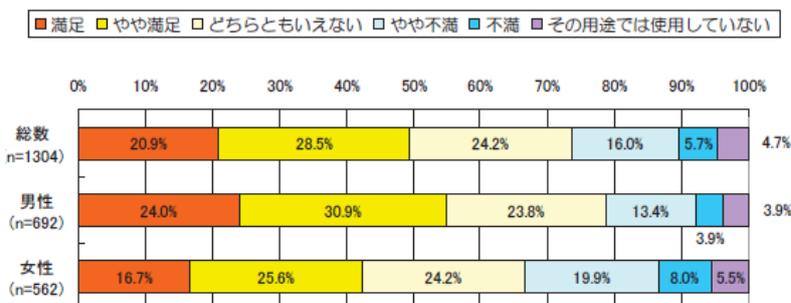
### ～主な取組み内容～

#### お客様の意見要望の把握

ピックアップ!

お客様アンケート調査や水道モニター制度を継続実施することで、お客様の水道事業に対する意見・要望を的確にとらえ、お客様の視点に立った事業運営を進めます。

飲み水としての満足度



お客様アンケート結果の一部



水質モニター研修会

#### 戦略的な広報の実施

ピックアップ!

「新潟市水道局広報戦略」に基づき、対象年齢、広報場所、広報方法、広報内容等を検討したうえで、より多くのお客様に水道事業について理解していただくため、継続的に広報計画を策定し、効果的な広報活動を進めていきます。



小学生を対象とした「水道出前講座」



水道週間での「Water Bar」

## 施策Ⅶ 技術・知識を有する人材の確保と育成

水道事業における技術の専門性から、次世代を担う人材の育成と技術の継承が、安全・強靱な水道と、水道サービスの持続を確保していくうえで、最も重要となります。

水道事業の様々な業務における専門性に富んだ人材育成や、技術の継承を推進するため、技術系職員の水道局独自採用方式を継続するとともに、水道局内及び関係者を含めた研修の充実を図っていきます。

### ～主な取組み内容～

#### 人材育成と専門性の強化

ピックアップ!

平成 25 年度に策定した「新潟市水道局職員研修基本計画」に基づき、実践に即した研修を行い、人材育成と専門性の強化に取り組めます。



配管技能研修



ディスカッション研修

#### 諸外国との水道技術研究交流

国際的視野と見識を持った水道技術者を養成することで、本市水道事業のレベルアップを図ります。

- ★ 日米台水道地震対策ワークショップへの参加
- ★ 水道技術シンポジウムへの参加
- ★ ハルビン市との給水技術交流事業の実施



日米台水道地震対策ワークショップ（会場「クロスパルにいがた」）

施策Ⅷ 環境に配慮した事業運営

水道事業は、浄水場の運転や給水区域への配水に多くの電力を利用しています。エネルギーを消費する事業者の責務として、引き続き、再生可能エネルギーの拡充や、高効率機器等の利用による省エネルギー対策の推進及び施設規模の適正化による総合的な省エネ化等、今後も環境対策の強化、管理を行ってまいります。

また、水道工事により発生する建設副産物については、リサイクル等による利用を求められていることから、引き続き積極的な有効利用の促進に努めます。

～主な取組み内容～

建設副産物の再利用の促進

ピックアップ!

水道管の埋設工事の施工の際に排出される、アスファルト廃材及びコンクリート廃材について、建設リサイクル法に基づき再生プラントにて再資源化することを継続して実施します。また、建設発生土については、リサイクル率向上のための方策を検討するとともに、民間業者と連携して新技術開発を進めます。

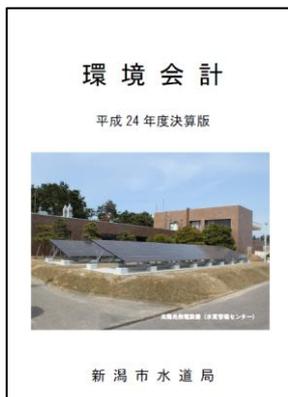


(仮称)新潟市環境計画の策定と推進

ピックアップ!

新潟市水道局として環境負荷の少ない水道づくりを推進するために、「(仮称)新潟市水道局環境計画」を策定するとともに、環境負荷低減に向けた取組みを推進していきます。

- ★ 再生可能エネルギー等の有効利用
  - 水道施設整備等に併せ、水道局庁舎や浄配水施設への太陽光発電設備の導入を進める。
- ★ 環境会計の作成・公表とお客さまへの環境対策事業としてのPR
- ★ 省エネルギー対策の推進
  - 水道施設整備等に併せ、省エネルギー型の設備等に切り替え



環境会計報告書



信濃川浄水場

2. 目指すべき方向性別目標設定（水道事業ガイドライン業務指標など）

安全でおいしい水道水の供給				
業務指標	現状	前期目標 (平成 29 年度)	中期目標 (平成 32 年度)	後期目標 (平成 36 年度)
総トリハロメタン濃度水質基準比	検 討 中			
農薬濃度水質管理目標比				
カビ臭から見たおいしい水達成率				
塩素臭から見たおいしい水達成率				
貯水槽水道指導率				

強靱な施設・体制による確実な給水の確保				
業務指標	現状	前期目標 (平成 29 年度)	中期目標 (平成 32 年度)	後期目標 (平成 36 年度)
耐震適合性を有する管路延長率	検 討 中			
配水池耐震施設率				
経年化管路率				
漏水率				
配水ブロック編成率				

環境の変動に柔軟に対応した事業運営の持続				
業務指標	現状	前期目標 (平成 29 年度)	中期目標 (平成 32 年度)	後期目標 (平成 36 年度)
有収率	検 討 中			
職員一人当たり給水収益				
供給単価				
給水原価				
アンケート情報収集割合				
再生可能エネルギー利用率				

## 第7章 進捗管理

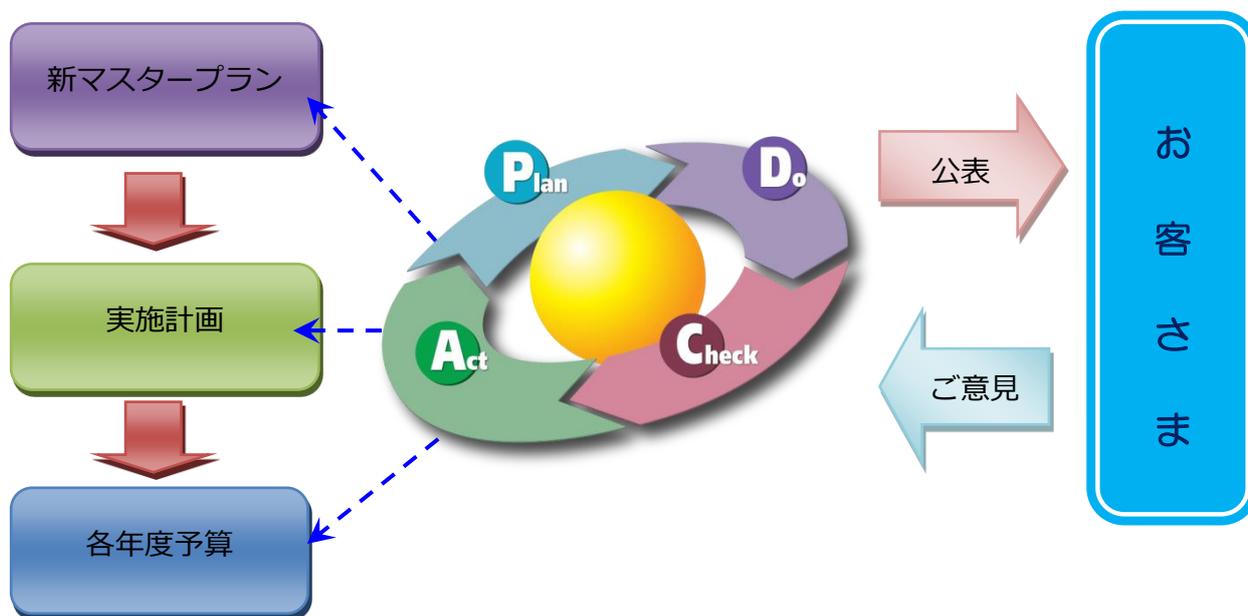
新・マスタープランの各施策・事業取組みを推進するためには個別に設定した目標に向かい、成果の達成についての検討や評価が必要です。この評価や検討により、個々の対応や事業の推進プロセスを改善することが可能になると考えます。

評価は、計画（Plan）を実行（Do）して点検・評価（Check）し改善（Action）する一連の流れ（PDCA サイクル）の循環を機能させます。

事業年度ごとに目標の達成度等を評価し、次年度以降の事業推進・計画見直しに繋げるとともに、実施にあたっては、各年度の予算へ反映させ、議会の議決を経て執行します。

各年度の予算とその決算の状況については、議会やホームページ等で公表し、いただいたご意見や社会経済情勢等を踏まえて、適宜、計画の見直しを行います。

また、実施計画期間ごとに、事業・取組みの成果として、本計画が目指すべき方向性として示す「安全」「強靱」「持続」の視点での評価を行い、次の実施計画に反映させていきます。



Plan（計画）：従来の実績や将来の予測などをもとにして業務計画を作成する。  
 Do（実行）：計画に沿って業務を行う。  
 Check（点検・評価）：業務の実施が計画に沿っているかどうかを確認する。  
 Action（改善）：実施が計画に沿っていない部分を調べて処置をする。

平成25年度  
水道水に関するアンケート調査  
報告書  
(事業所編)

平成26年1月

～安全な水 お客さまへ～



# 目次

## 第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査内容	1
3 調査設計	1
4 回収結果	1
5 集計・分析にあたって	2
6 回答者の属性	2
7 調査結果の概要	6

## 第2章 調査結果の分析

1 水道水の節水意識や利用状況	9
2 災害時の飲料水の確保と災害対策	41
3 広報・PR	65
4 水道事業全般	83

## 資料編

1 単純集計表	133
2 クロス集計表	139
3 自由意見	167
4 調査票	171

## 第1章 調査の概要

### 1 調査の目的

本市水道事業を取り巻く状況が大きく変化している中、水道事業に対するお客さまの評価や意見を的確に把握し、今後の水道事業運営の基礎資料とすることを目的として、本調査を実施した。

### 2 調査内容

- ・ フェイスシート（お客さまの属性）
- ・ 水道水の節水意識や利用状況に関する設問
- ・ 災害時における飲料水の確保と水道局の災害対策に関する設問
- ・ 水道局の広報・PRに関する設問
- ・ 事業運営全般に関する設問
- ・ 自由意見

### 3 調査設計

調査地域 : 新潟市の給水区域  
調査対象 : 新潟市の上水道を利用している事業所  
標本数 : 1,000  
標本抽出方法 : 無作為抽出法（検針のためのお客さま情報から無作為に抽出）  
調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収）  
調査時期 : 平成25年10月2日（水）から10月16日（水）までの15日間  
委託調査機関 : 株式会社サーヴメント  
委託内容 : 調査表の印刷, 発送準備・発送, 集計, 分析, 報告書作成

### 4 回収結果

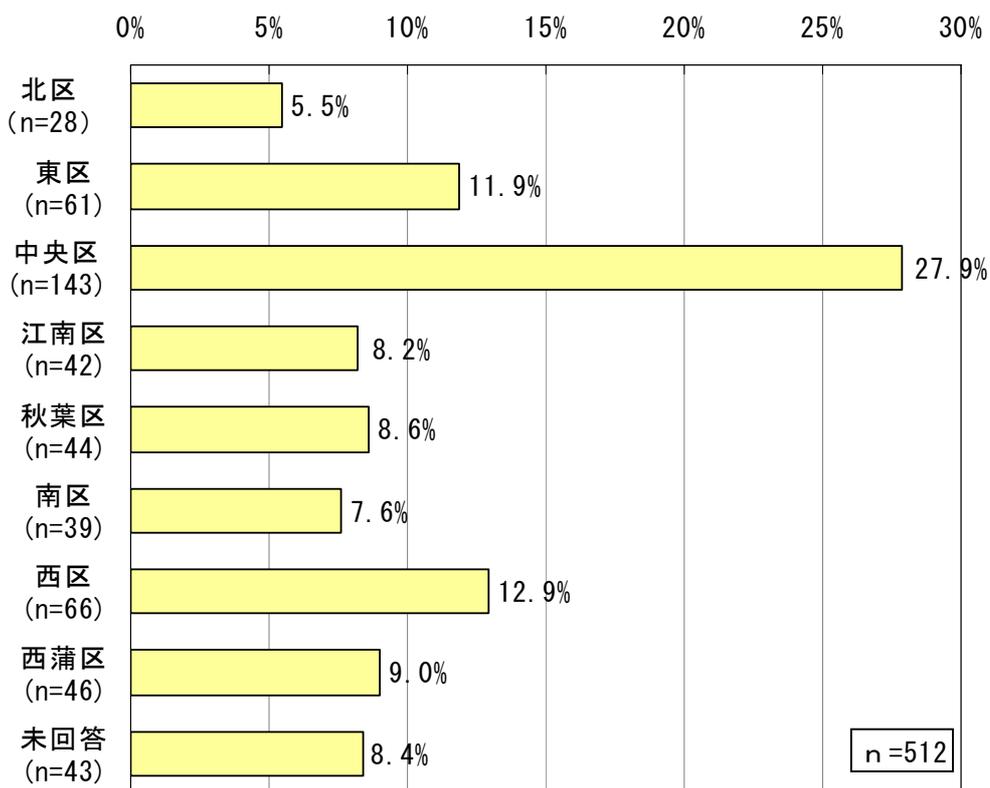
調査票発送数 958（※1000件のうち宛所不明により郵送配布ができなかった42件を除く）  
有効回収数 512（回収率 53.4%）

## 5 集計・分析にあたって

- ・ 数値（％）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- ・ 図表中の「n」とは、回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100％が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- ・ 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

## 6 回答者の属性

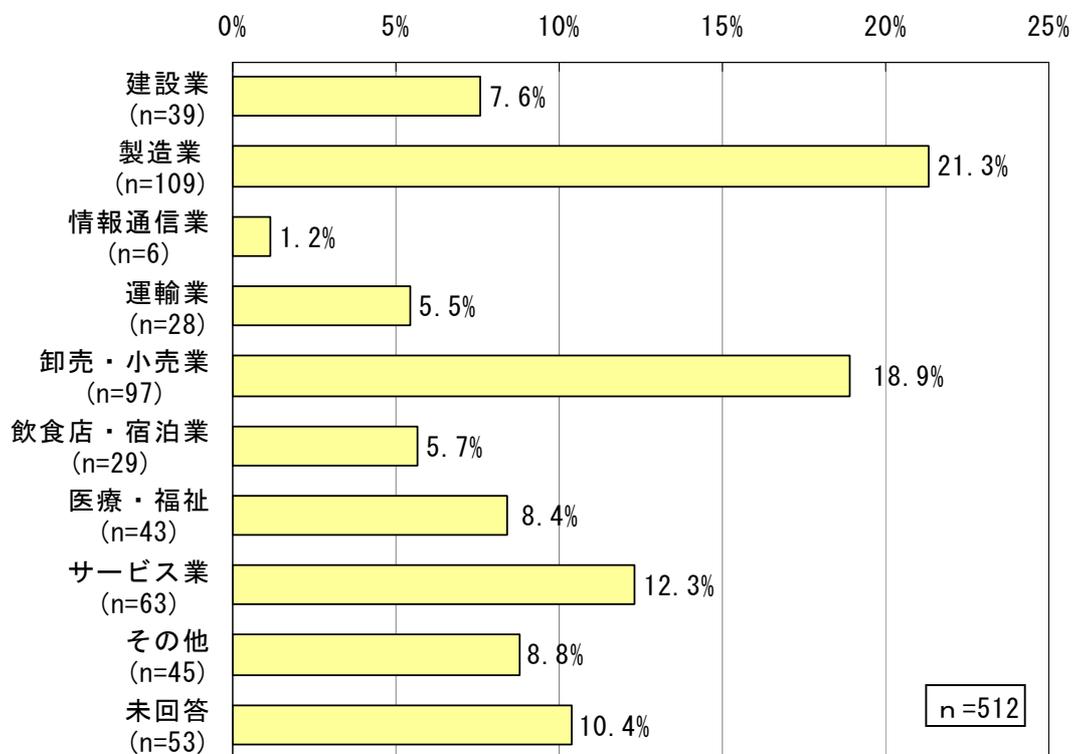
### (1) 所在地



所在地においては、中央区の27.9％が最も高く、北区の5.5％が最も低い数値を示している。

※標本抽出の際、行政区別の事業所数を案分し抽出したのでその比率と同様の傾向にある。

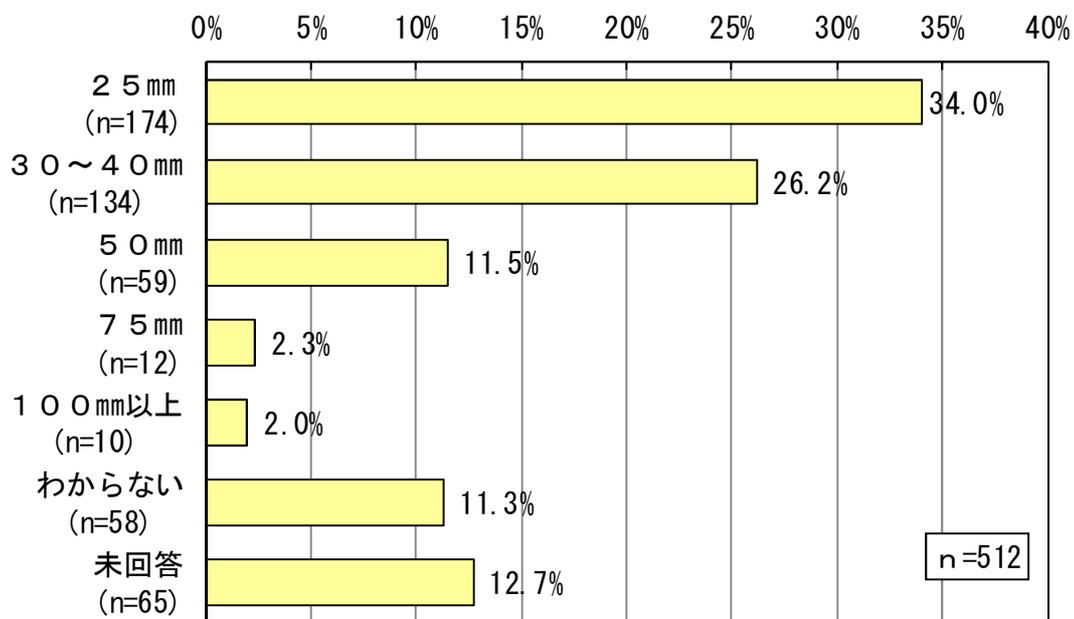
(2) 業種



業種においては、製造業が21.3%と最も高く、次いで卸売・小売業が18.9%となっている。情報通信業は、1.2%と最も低い。

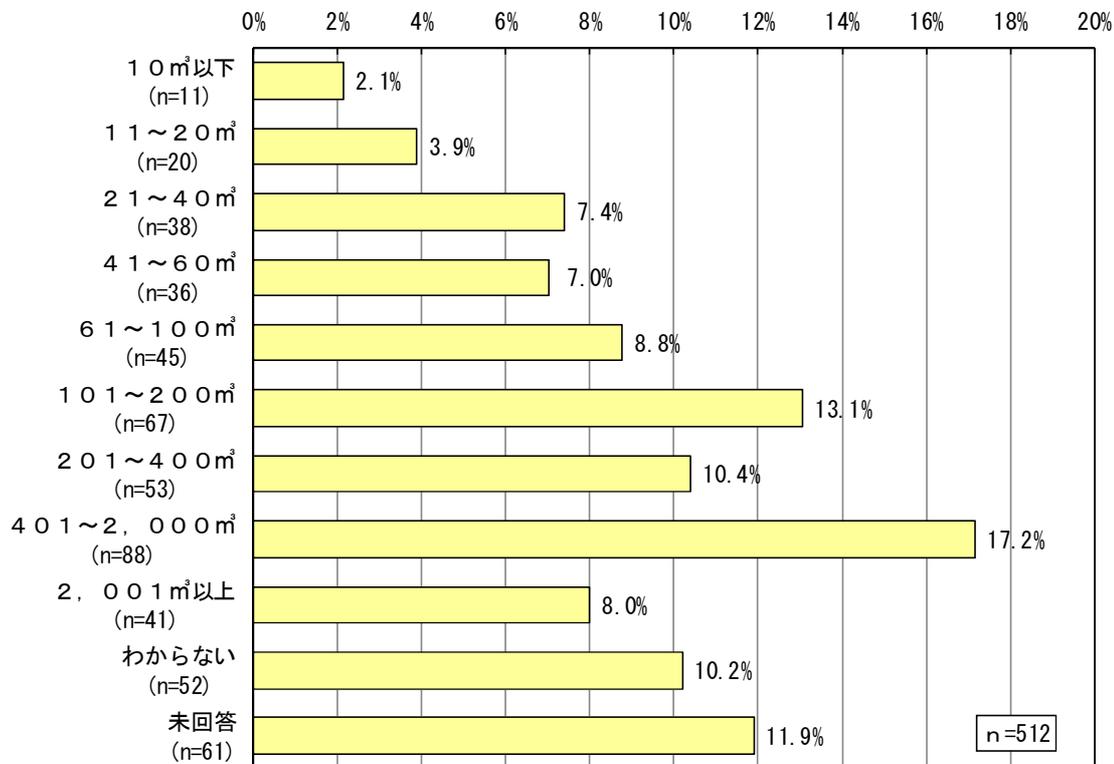
その他の回答			
不動産賃貸業	9	電気事業	1
ビル賃貸業	4	鉄鋼業	1
宗教法人	3	専門学校	1
自動車整備業	3	人材派遣	1
金融業	3	公益法人	1
ガス供給業	3	経済団体	1
倉庫業	2	教育サービス	1
倉庫	2	機器修理業	1
メッキ業	1	学校教育	1
農業	1	海上運送業	1

(3) 水道メーター口径



水道メーター口径は25mm が34.0%と最も高く、口径が大きくなるにつれ、数値は下がっている。

(4) 直近の水道使用水量



使用水量は401~2,001 m³ の17.2%が最も高く、次いで101~200 m³ の13.1%が高い。

## 7 調査結果の概要

### (1) 「第2章 調査結果の分析」の概要

#### ① 水道水の節水意識や利用状況

(水道水の節水意識について)

・日ごろ、節水を意識して水道水を使用しているかどうかについて『まめに節水している』『ある程度節水をしながら使っている』と答えた人が合わせて41.5%になり、半数を割った。一方、『節水のことは考えずに使っている』と答えた事業所は8.8%だったことから、『節水は必要と思いつながら、実行はしていない』を含めると、節水を意識している事業所が多いことが伺える。

居住区別にみると、秋葉区が節水を行っているのが59.5%と最も高く、北区は『節水のことは考えずに使っている』と答えた事業所が0%と、最も節水を意識している。業種別にみると、飲食店・宿泊業が節水の実行について76.9%と最も高い。

(節水目標とその達成状況について)

・節水を行っている事業所に対して、節水の目標設定やその達成状況について聞いてみたが、節水の目標値はないと答えた事業所が71.4%に達しており、節水を行っている事業所でも具体的な目標値を立てている事業所が少ないことが伺える。

(節水への具体策について)

・節水を行っている事業所に対して、現在取り組んでいる対策を聞いてみると、『従業員への啓発』が80.8%と最も高く、次いで『使用量の管理』が38.9%と高かった。  
・今後取り組みたい対策についても、『従業員への啓発』が56.6%と最も高く、次に『使用量の管理』が34.7%と高かった。

(水の利用状況について)

・『飲用』『飲用以外の生活用水』『業務用』『設備用』全てにおいて、『水道水』が90%以上に達しており、全ての用途において水道水が基本となっている。

#### ② 災害時の飲料水の確保と災害対策

(東日本大震災発生以降の水に対する意識の変化と備えについて)

・東日本大震災発生以降の、水に対する考え方に対して、『変わらない』が40.2%と最も高かった。しかし、クロス集計の結果では、それぞれの属性にて『変わらない』を押さえ、『水の果たす役割に対して関心が高くなった』が最も高くなったものがある

ことは特徴的であり、居住区別にみると江南区が、業種別にみると飲食店・宿泊業が、水道メーター口径別にみると75mmが、さらに、水道使用量別にみると2,001m<sup>3</sup>以上のみが、それぞれの属性の中では唯一、『変わらない』を押さえ、最も高くなった。

・災害に備えた飲料水の備蓄をしているかどうかは、『備蓄していない』が77.4%と、ほとんどの事業所で備蓄しないことがわかる。一方業種別にみると、医療・福祉だけが『備蓄していない』が44.2%と、半数以上が備蓄していることが分かる。これ以外にも、直近の水道使用水量別にみたときの2,001m<sup>3</sup>以上だけが、42.5%と半数以上備蓄していることが分かる。

・備蓄内容については、『ペットボトル』が85.7%と最も高く、災害に備えた飲料水を備蓄する場合、ほとんどの事業所は、ペットボトルで保管していることが分かる。

(災害対策として、優先的に実施した方がよいと思う取組みについて)

・最も高いのが、『地震に強い水道管への入替えによる耐震化』で55.3%だった。次いで『浄水場などの水道施設の耐震化』が49.1%と高く、次に『災害時に一定の飲料水等を確保する緊急貯水槽などの応急給水設備の整備』が48.9%だった。

・それ以外にも『給水車・仮設給水栓・キャンパス水槽などの応急給水用具の整備』も46.3%と比較的高く、『病院などの重要施設向け水道管の耐震化』も業種別にみると、医療・福祉で52.4%と高く、運輸業でも46.4%と比較的高い。全体的に災害対策としては、満遍なく様々な対策に取り組んだ方がよいと思っていることが伺える。

### ③ 広報・PR

(現在利用している広報媒体と今後力を入れてほしい媒体について)

・現在利用している広報媒体は、『市報にいがた』が35.5%と数ある媒体の中で最も高いが、それ以上に『利用していない』が45.2%と最も高い。

・今後力を入れてほしい媒体は、『市報にいがた』が最も高く42.0%で、次いで『テレビでの広報』が30.4%と高く、次に『新聞での広報』が28.2%となっている。これ以外にも『ホームページ』が27.4%、『検針票の裏面』が26.5%、『広報紙『水先案内』』が24.8%と、比較的高い結果となっている。

(必要と考える水道局からの情報・お知らせにつて)

・『水道水の水質検査の結果』、『断水・漏水などの工事情報』、『災害対策の取組み』、『水道水の節水方法や活用方法など』が50%を超えている。

#### ④ 水道事業全般

(水道事業に対する総合的な満足度について)

- ・『どちらともいえない』が57.7%と最も多かった。
- ・『満足』『やや満足』と答えた人は35.6%だったが、『やや不満』『不満』と答えた人は6.6%と低かった。
- ・満足している具体的な内容として、「水道水の安全性」が83.1%と圧倒的に高かった。これ以外にも、「断水のない安定した給水」が67.4%と高く、次いで、「水道水のおいしさ」を挙げる人が32.6%だった。

(優先的に実施した方がよいと思う取組みについて)

- ・最優先すべき取組みとして、『水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み』が48.6%と最も高く、次いで『古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み』が21.9%と高く、次に『地震に強い水道管の整備など災害対策の強化』が17.0%という結果になった。次に優先すべき取組み、3番目に優先すべき取組みでも、上記の3つが高い結果となった。

(水道局の取組みと水道料金との関係について)

- ・水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい取組みは、『地震に強い水道管の整備など災害対策の強化』が19.1%と最も高い。ただ、原則全ての取組みにおいて、現状の料金水準で推進してほしいという声が50%を超えている。
- ・水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい取組みは、『水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上』の35.7%と最も高く、次に『太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備』の27.9%が高い結果となった。

## 第2章 調査結果の分析

### 1 水道水の節水意識や利用状況

#### 水道水の節水意識や利用状況についてお聞きします

(すべての事業所にお聞きします。)

問1 日ごろ、あなたの事業所では水道水をどのように使っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 節水のことは考えずに使っている
- 2 節水は必要と思いつながら、実行はしていない
- 3 ある程度節水をしながら使っている
- 4 まめに節水して使っている

([問1-1] ~ [問1-2] は、問1で「3 ある程度節水しながら使っている」または「4 まめに節水して使っている」と回答された事業所にお聞きします。)

[問1-1] 次のうち現在取り組んでいる節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

- 1 節水型設備の導入(業務用の機械など)
- 2 節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)
- 3 水の循環利用
- 4 地下水・雨水の利用
- 5 使用量の管理
- 6 従業員への啓発
- 7 その他( )

[問1-2] 節水するための水道使用量の目標値はありますか。(〇は1つだけ)

- 1 前年度に比べて5%程度の節水
- 2 前年度に比べて10%程度の節水
- 3 前年度に比べて15%程度の節水
- 4 前年度に比べて20%を超える節水
- 5 その他( )
- 6 目標値はない

(問1-2で「1」から「5」の選択肢で回答された事業所にお聞きします。)

[問1-3] 節水をしたことにより、節水目標はどのくらい達成できましたか。(〇は1つだけ)

- |               |
|---------------|
| 1 ほぼ達成できた     |
| 2 半分くらい達成できた  |
| 3 あまり達成できなかった |
| 4 わからない       |

(すべての事業所にお聞きします。)

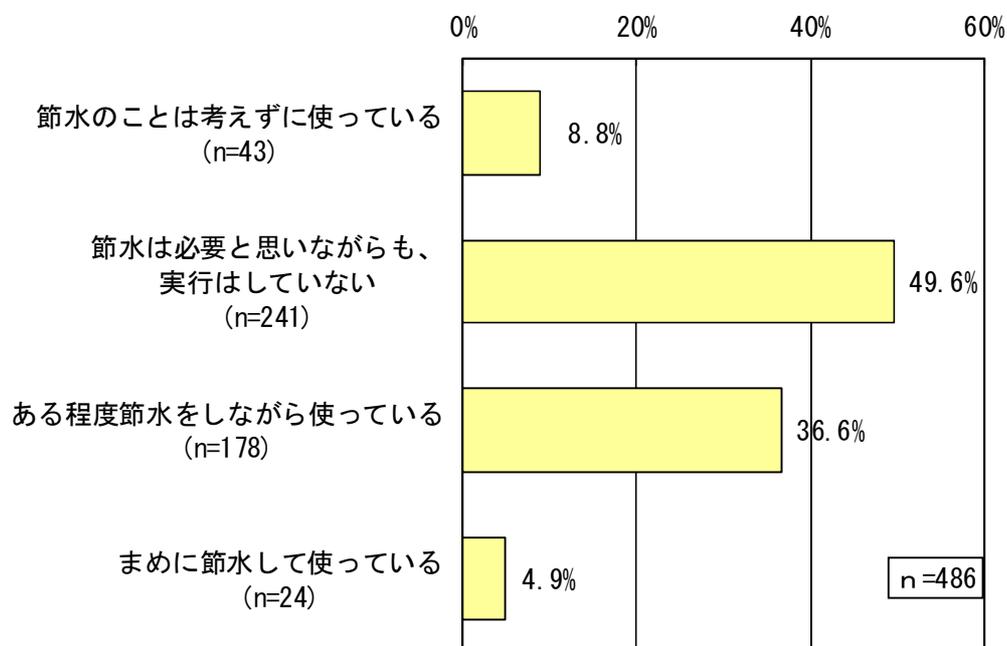
問2 次のうち、今後取り組みたいと思っている節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 節水型設備の導入(業務用の機械など)          |
| 2 節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの) |
| 3 水の循環利用                      |
| 4 地下水・雨水の利用                   |
| 5 使用量の管理                      |
| 6 従業員への啓発                     |
| 7 その他( )                      |
| 8 ない                          |

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水及びそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)

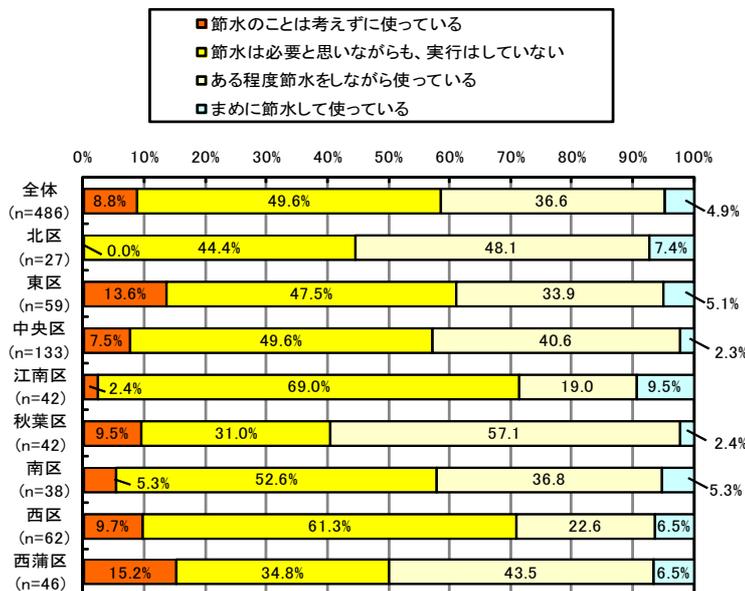
用途 利用している 水の種類	A. 飲用	B. 飲用以外 の生活用水 (トイレ等)	C. 商品の製 造・加工、サ ービスの提 供などの業 務用	D. 空調等の 設備用	E. その他 ( )
1 水道水					
2 雨水					
3 地下水(井戸水)					
4 工業用水					
5 その他 ( ) ※循環利用等					

## 問1 水道水の利用について



普段の水の使い方については、「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」（49.6%）が最も高く、次いで「ある程度節水をしながら使っている」（36.6%）、「節水のことは考えずに使っている」（8.8%）の順となっている。「まめに節水をして使っている」は4.9%であった。

全体をみると、「まめに節水している」と「ある程度節水をしながら使っている」が合わせて41.5%と過半数に達しなかった。



所在区別で見ると、「まめに節水して使っている」と「ある程度節水をしながら使っている」を合わせて高い順にみると、

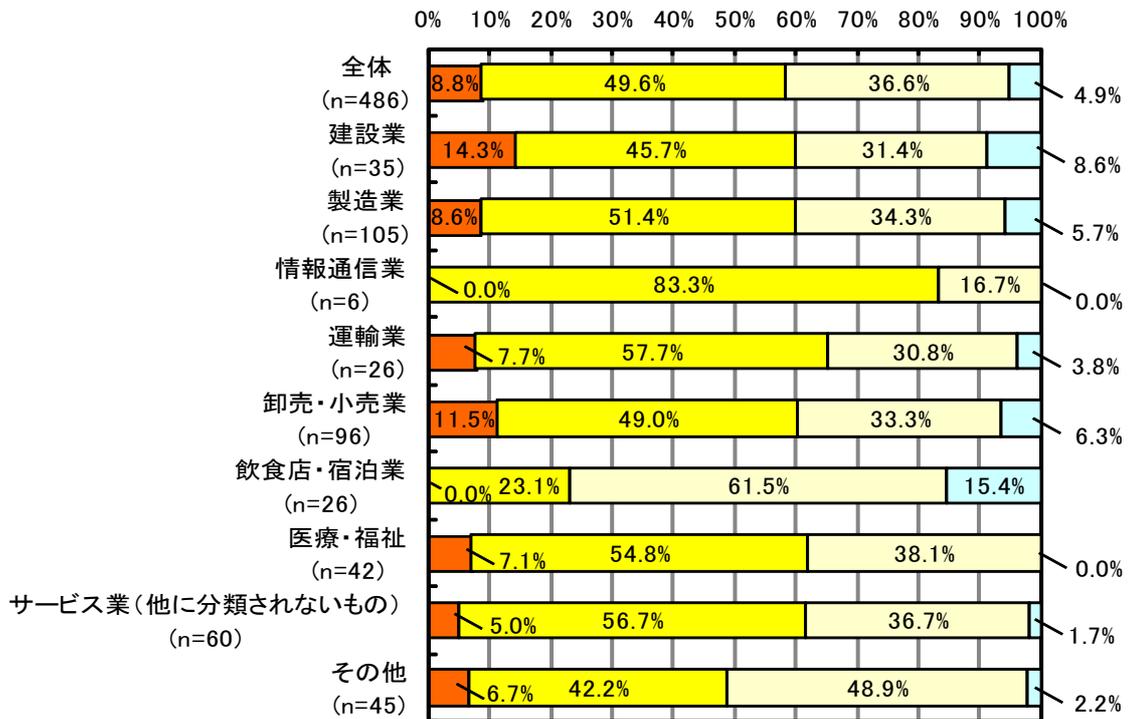
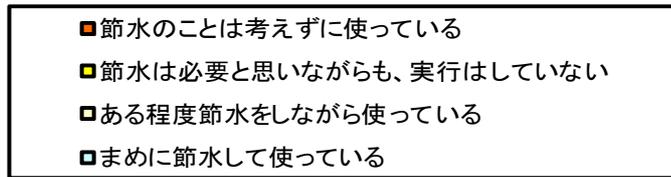
- 1) 秋葉区が59.5%
- 2) 北区が55.5%
- 3) 西蒲区が50%

となっている。合わせて50%を超える区は、「秋葉区」「北区」「西蒲区」の3区しかない。

逆に「節水のことは考えずに使っている」と「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」を合わせて高い順にみると、

- 1) 江南区が71.4%
- 2) 西区が71%
- 3) 東区が61.1%

となっている。



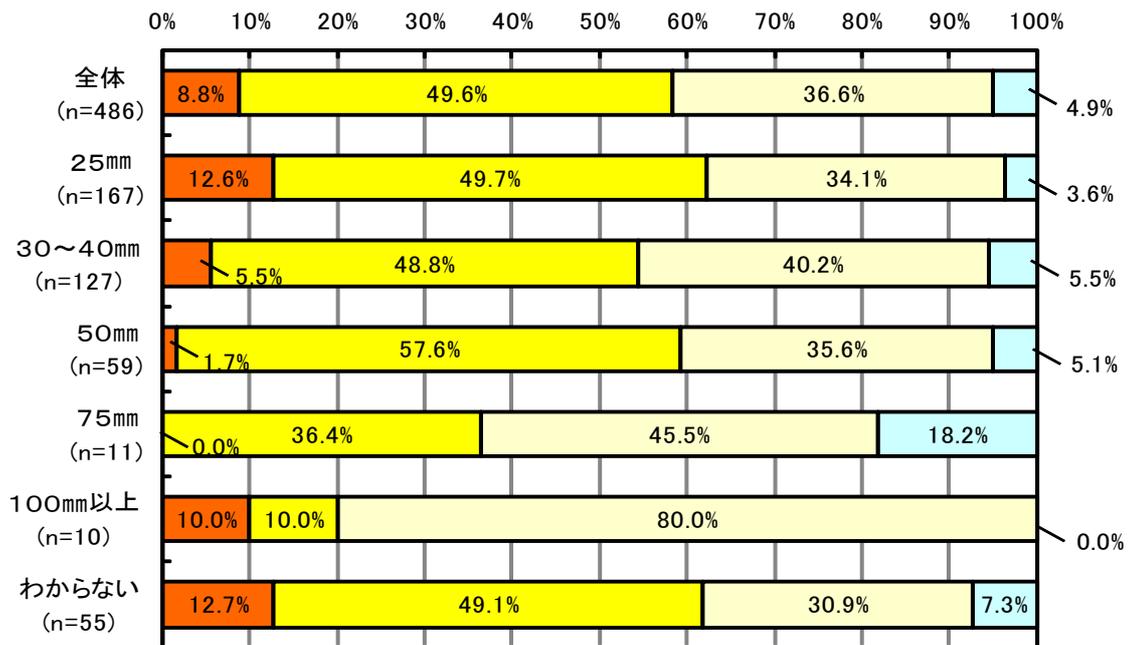
業種別に、「まめに節水して使っている」と「ある程度節水をしながら使っている」を合わせて高い順にみると、

- 1) 飲食店、宿泊業が76.9%
- 2) その他が51.1%
- 3) 建設業と製造業が同率で40%となっている。

逆に「節水のことは考えずに使っている」と「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」を合わせて高い順にみると、

- 1) 運輸業が65.4%
- 2) 医療、福祉が61.9%
- 3) サービス業（他に分類されないもの）が61.7%となっている。

- 節水のことは考えずに使っている
- 節水は必要と思いつながら、実行はしていない
- ある程度節水をしながら使っている
- まめに節水して使っている



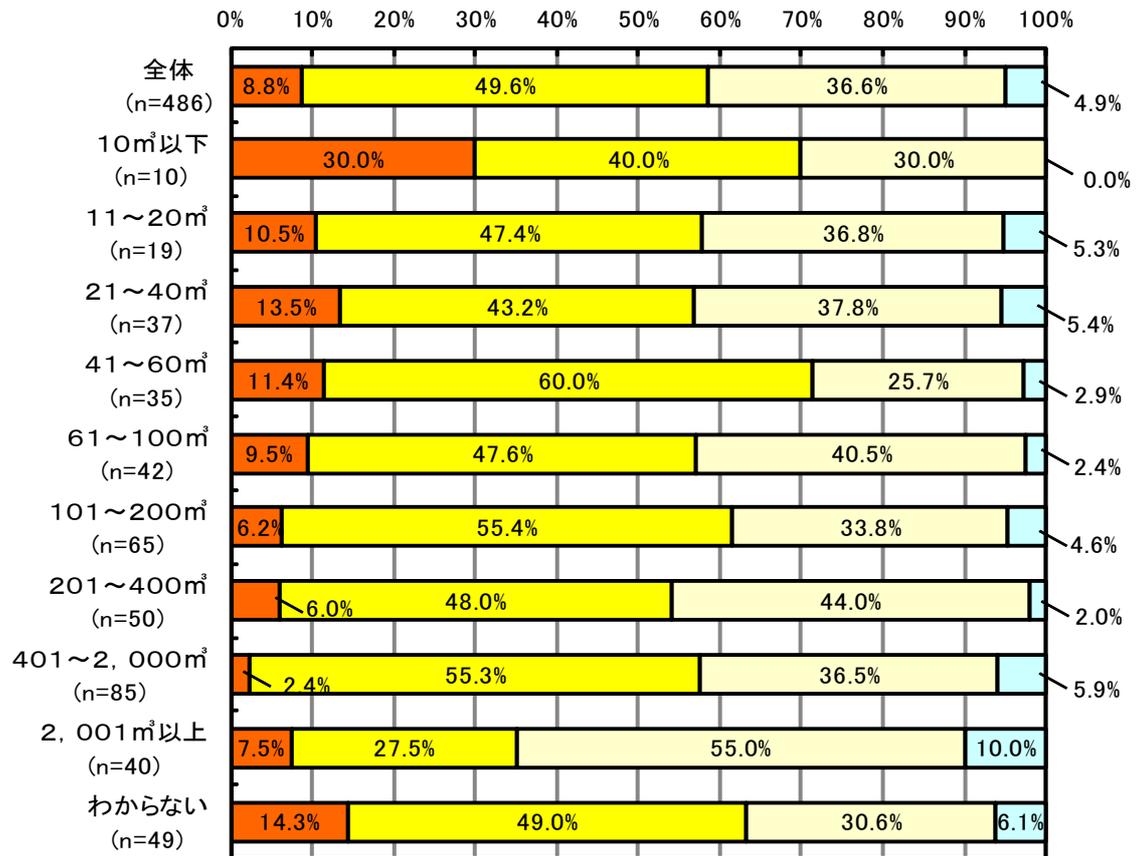
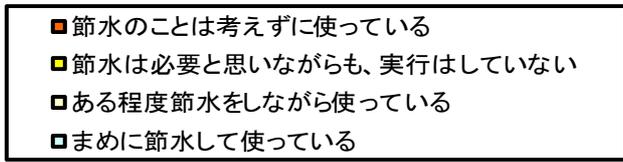
水道メーター口径別に各回答選択肢のピークをみると、

「節水のことは考えずに使っている」・・・水道メーター口径はわからないで12.7%

「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」・・・同50mmで57.6%

「ある程度節水をしながら使っている」・・・同100mm以上で80.0%

「まめに節水して使っている」・・・同75mmで18.2%となっている。



使用水量別に各回答選択肢のピークをみると、

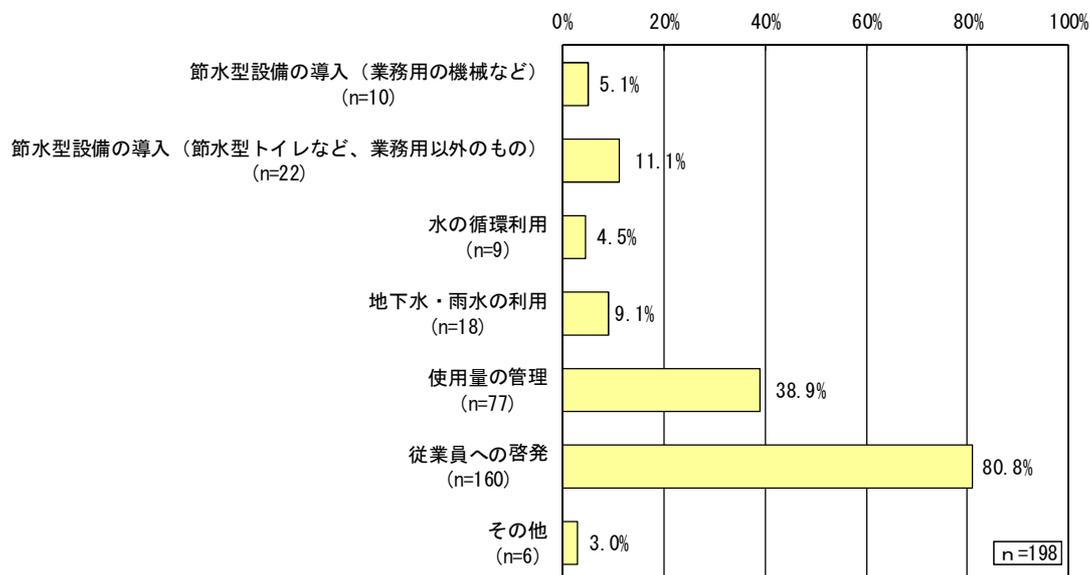
「節水のことは考えずに使っている」・・・使用水量10m<sup>3</sup>以下で30.0%

「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」・・・同41~60m<sup>3</sup>で60.0%

「ある程度節水をしながら使っている」・・・同2,001m<sup>3</sup>以上で55.0%

「まめに節水して使っている」・・・同2,001m<sup>3</sup>以上で10.0%となっている。

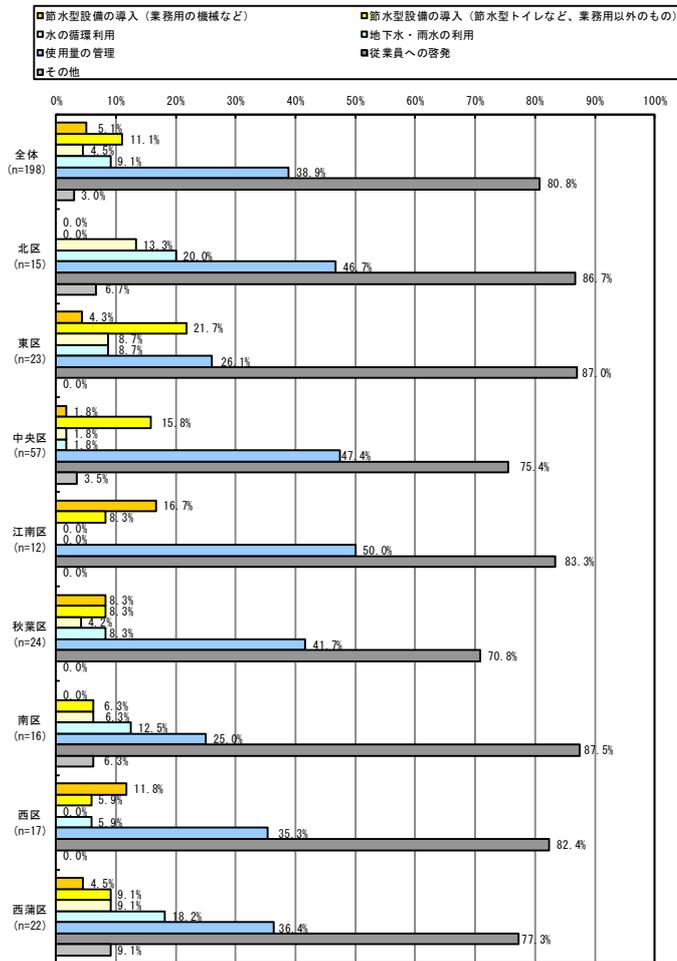
問1-1 取り組んでいる節水対策



従業員への啓発が80.8%と最も高い数値を示している。

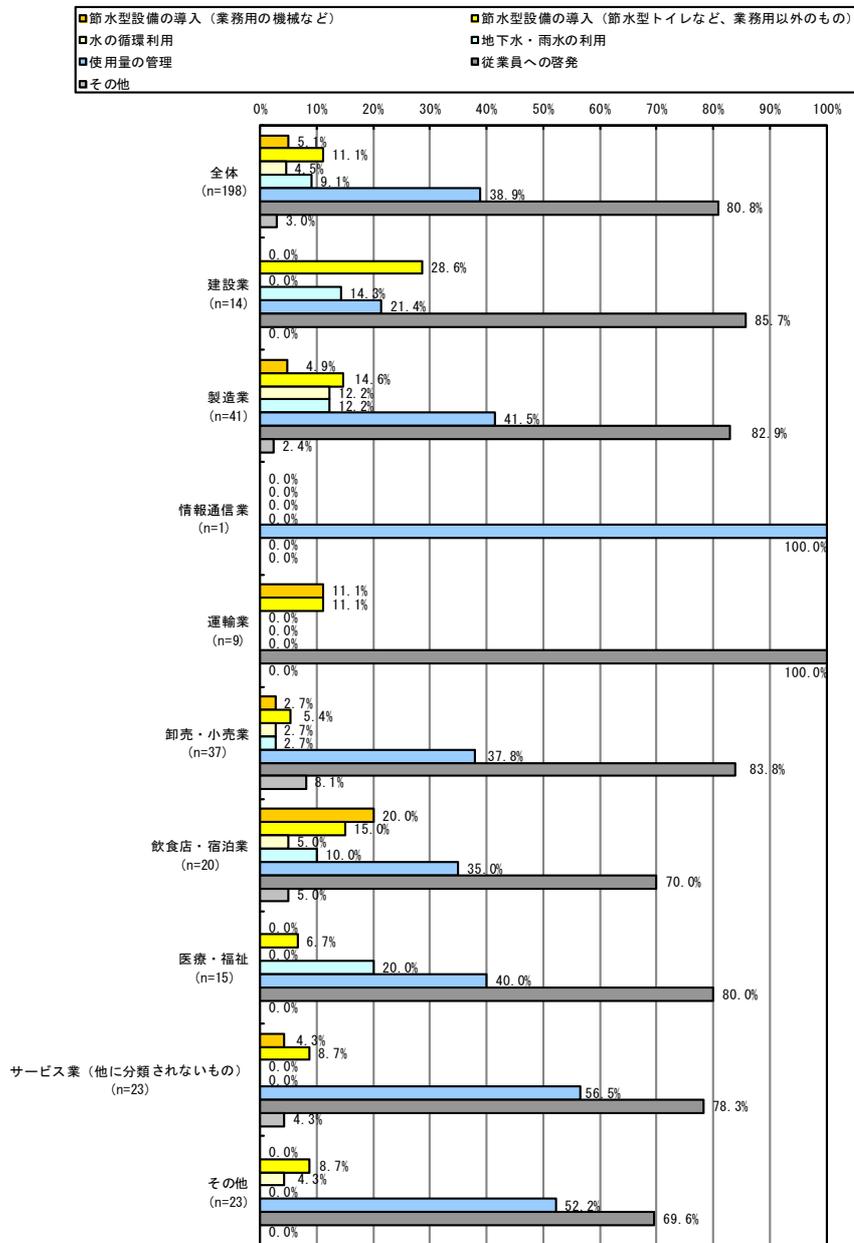
現在取り組んでいる節水対策は、「従業員への啓発」が80.8%と最も高く、「使用量の管理」が38.9%と続いている。「節水型設備の導入(節水型トイレなど業務用以外のもの)」が11.1%、「節水型設備の導入(業務用の機械など)」は5.1%である。

その他の回答
啓発とまでは、いかないが個々の意識付けで
節水コマ取付
トイレの消音機取付
洗米工程を省き、精米浸漬で対応
トイレ使用时音が流れるシステムを利用
蛇口全てに節水機装着



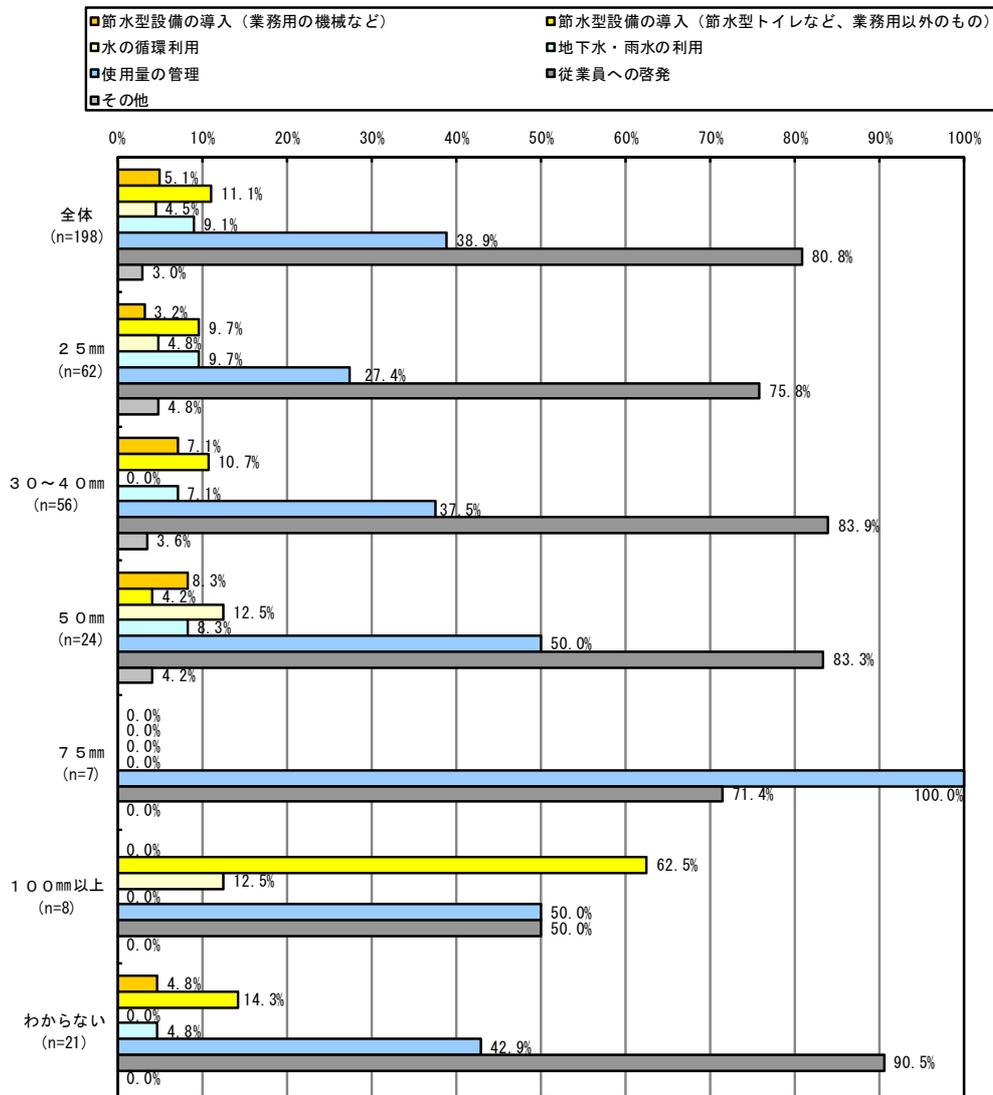
所在区別でみると、すべての区で「従業員への啓発」が70%を超え、群を抜いて最も高く、それに続いて「使用量の管理」が高い傾向は変わらないが、北区では唯一「節水型設備の導入（節水型トイレなど業務用以外のもの）」も「節水型設備の導入（業務用の機械など）」がない代わりに、「地下水・雨水の利用」が20.0%、「水の循環利用」が13.3%と他の各区に比較してかなり高いのが特徴的である。

また、東区では「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」が21.7%と多く、江南区では「節水型設備の導入（業務用の機械など）」が16.7%と多いなど、各区によって多様であることが分かった。

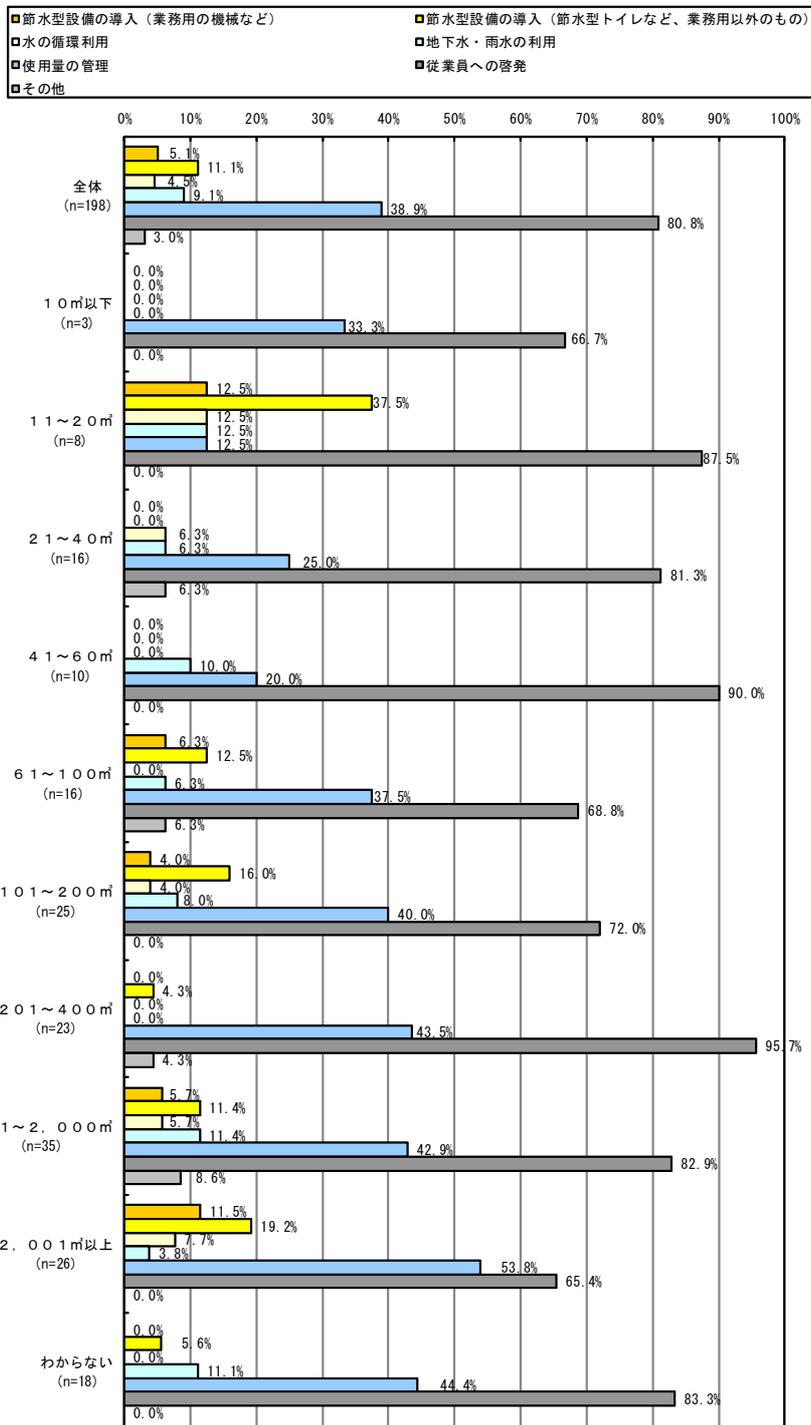


業種別にみると、すべての業種で「従業員の啓発」の回答が第1位だった。建設業では、「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」を回答した事業所の割合が28.6%と他の業種に比べてかなり多く、「使用量の管理」を抜いて第2位だった。

また、製造業では「水の循環利用」が12.2%と高く、飲食店・宿泊業では「節水型設備の導入（業務用の機械など）」が20.0%、「節水型設備の導入（節水型トイレなど業務用以外のもの）」が15.0%と高いなど、各業種によって多様であることが分かった。

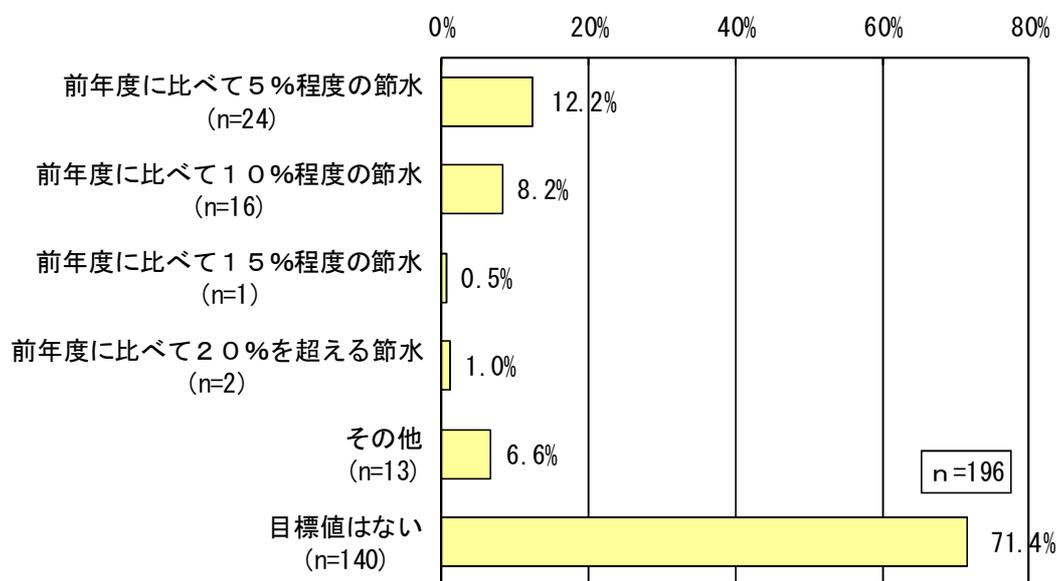


水道メーター口径別でみると、水道のメーター口径が75mmでは、「使用量の管理」が100.0%で「従業員の啓発」71.4%を押さえ1位となり、100mm以上では、「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」が62.5%で「従業員の啓発」や「使用量の管理」を押さえ1位となるなど、水道メーター口径が大きくなるにつれて、対策が多様化することがわかった。



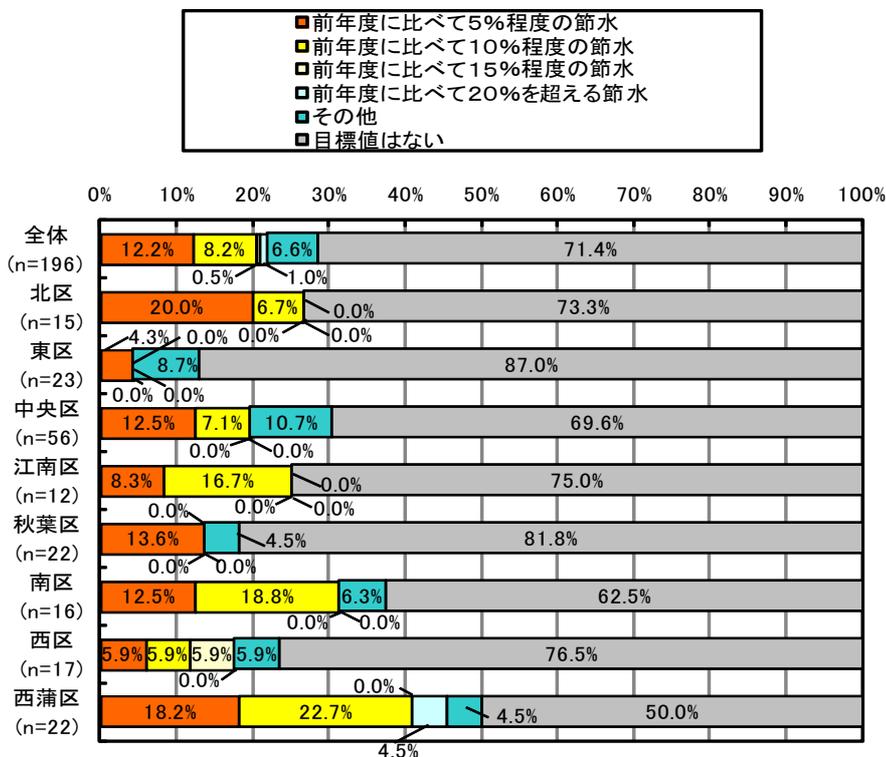
直近の水道使用水量別でみると、11～20m<sup>3</sup>では「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」が37.5%で「使用量の管理」12.5%を押さえ第2位だったが、他の使用水量では、使用した水道水の量が多くなるほど、「使用量の管理」に力を入れて取り組んでいることが分かった。

問1-2 水道使用量の目標値



節水の目標値については、「目標値はない」71.4%が最も高く、過半数を占めている。次いで「前年度に比べて5%程度の節水」12.2%、「前年度に比べて10%程度の節水」8.2%、「その他」6.6%となっている。「前年度に比べて15%程度の節水」と「前年度に比べて20%を超える節水」はほとんどなかった。

その他の回答	
お客様1人当たり20ℓ以内	前年度に比べて1%節水
売上に対し使用量も変化するが節水5%位	約2%
前年比3%程度	3年位前から実施しているので昨年と同じ位
各月毎に使用料のデーターを記入管理	
日頃、ムダのない使用をしているか確認している。	前年度に比べて1%節水
前年度に比べて1%節水	前年・前月対比
3%を目標としている。	継続的に節水を心掛け、現状を維持
前年度より少しでもすくなく	前年度より増えないように
22年度ベースにしての節水の取組、1年ごとに1%とつつプラスする。例) 24年1%—25年2%—26年30%—	

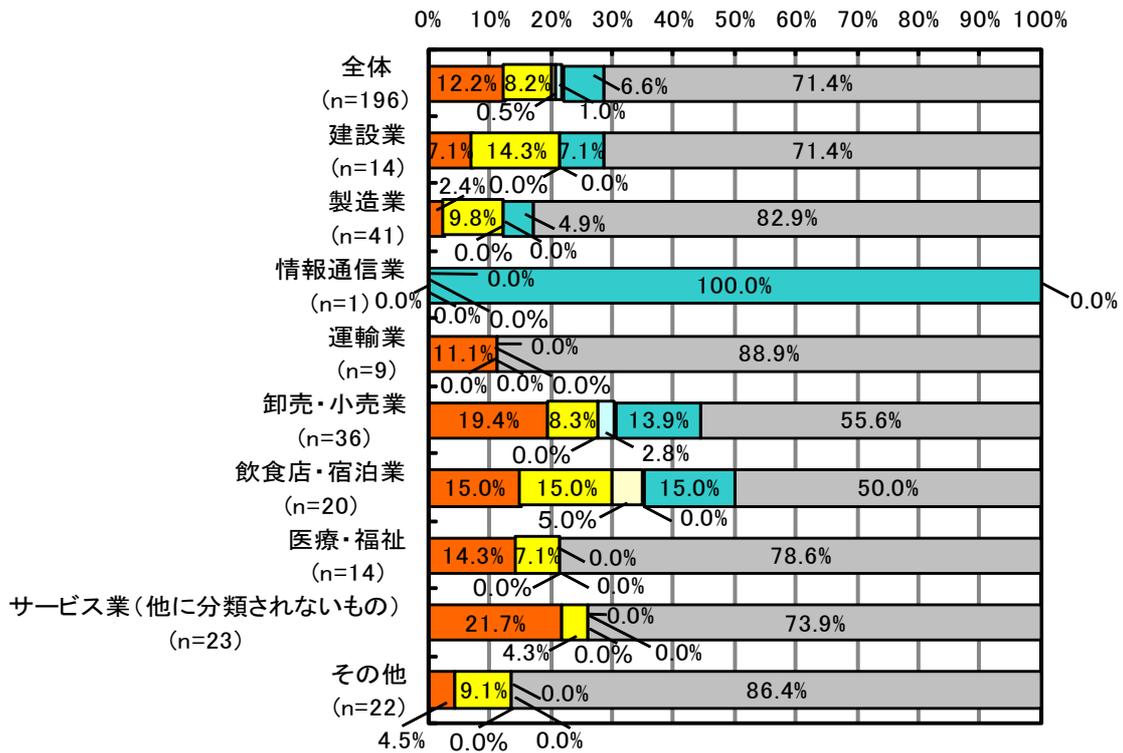
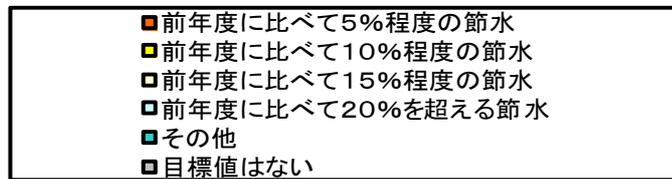


所在区別でみると、全ての区で「目標値はない」が最も高く、過半数を占めている。「目標値はない」を除く他の5項目を合わせて何らかの目標値を持つ順にみると、

- 1) 西蒲区が50.0%
  - 2) 南区が37.6%
  - 3) 中央区が30.3%
- となっている。

逆に「目標値はない」順にみると、

- 1) 東区が87.0%
  - 2) 秋葉区が81.8%
  - 3) 西区が76.5%
- となっている。

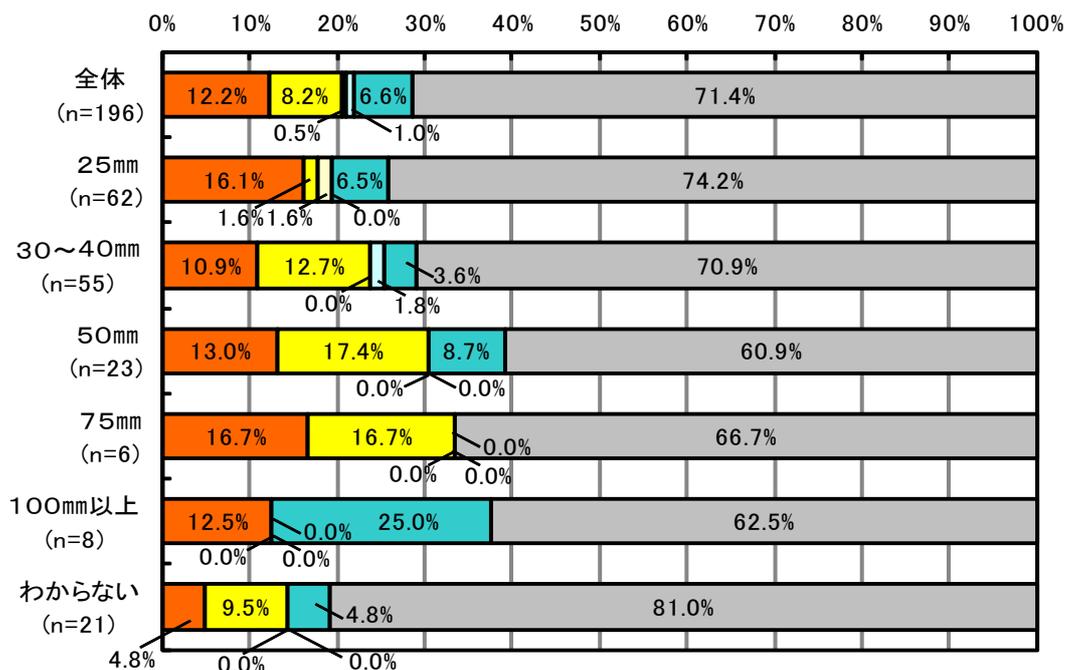
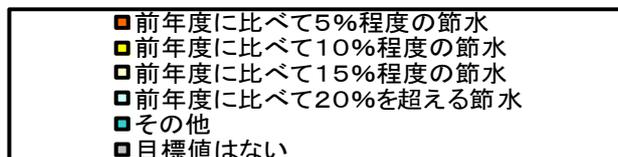


業種別でみると、全ての業種で「目標値はない」が最も高く、過半数を占めている。「目標値はない」を除く他の5項目を合わせて何らかの目標値を持つ順にみると、

- 1) 飲食店、宿泊業が50.0%
  - 2) 卸売・小売業が44.4%
  - 3) 建設業が28.5%
- となっている。

逆に「目標値はない」順にみると、

- 1) 運輸業が88.9%
  - 2) その他が86.4%
  - 3) 製造業が82.9%
- となっている。



水道メーター口径別に見て、各回答選択肢のピークをみると、

「前年度に比べて5%程度の節水」・・・水道メーター口径75mmで16.7%

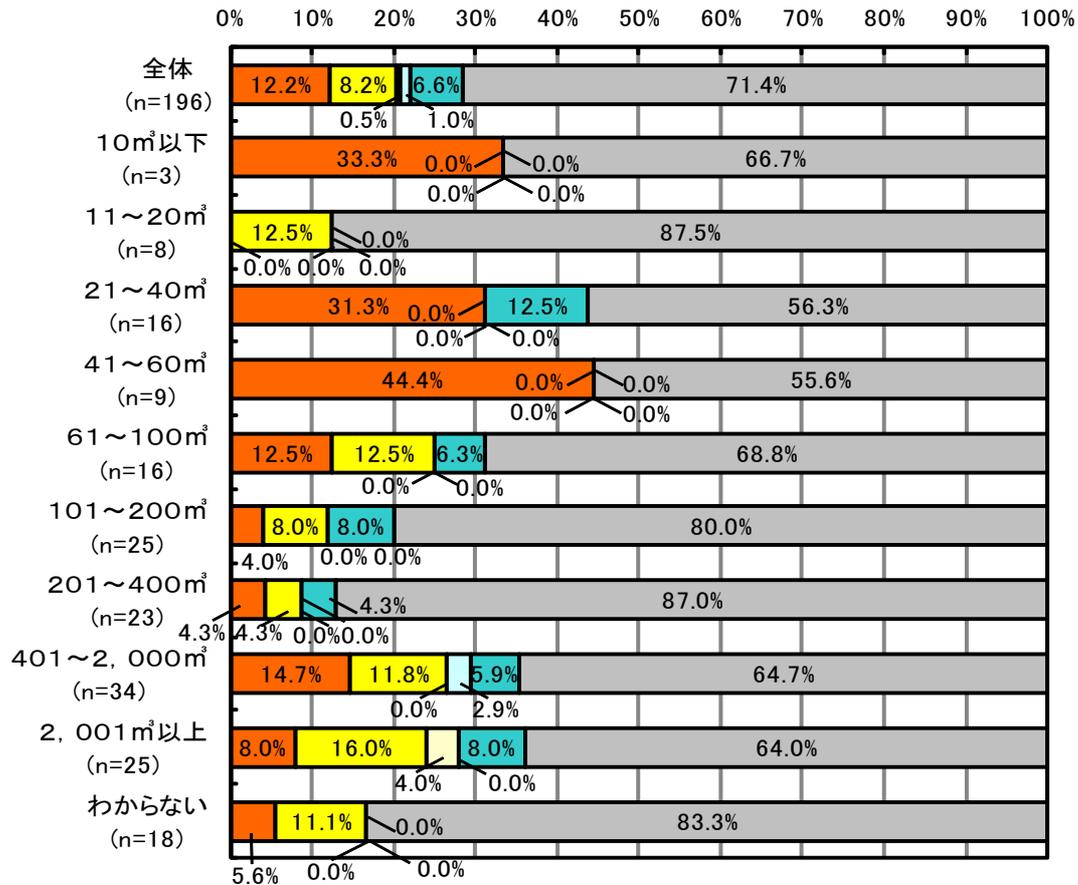
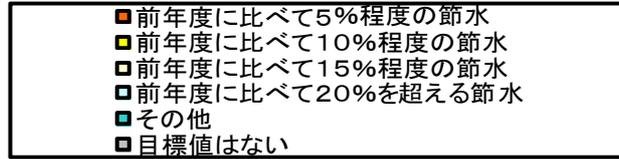
「前年度に比べて10%程度の節水」・・・同50mmで17.4%

「前年度に比べて15%程度の節水」・・・同25mmで1.6%

「前年度に比べて20%を超える節水」・・・同30~40mmで1.8%

「その他」・・・同100mm以上で25.0%

「目標値はない」・・・同わからないで81.0%



使用水量別に各回答選択肢のピークをみると、

「前年度に比べて5%程度の節水」・・・使用水量41~60m<sup>3</sup>で44.4%

「前年度に比べて10%程度の節水」・・・同2,001m<sup>3</sup>以上で16.0%

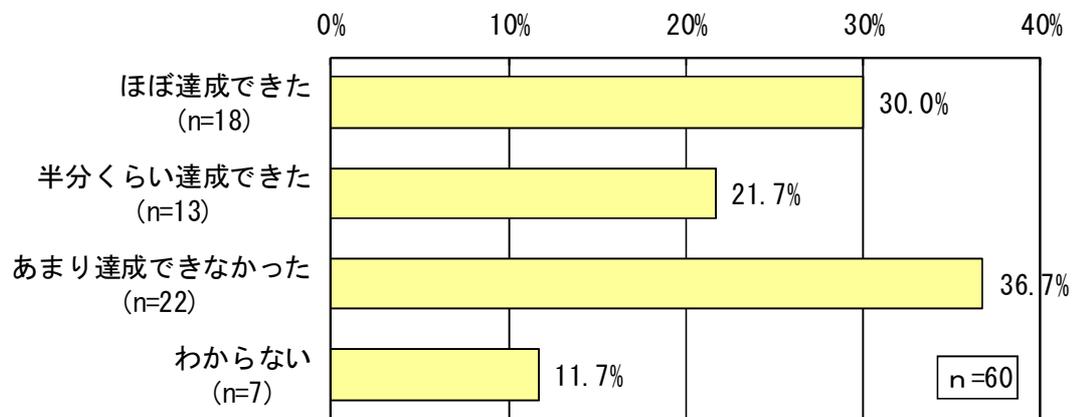
「前年度に比べて15%程度の節水」・・・同2,001m<sup>3</sup>以上で4.0%

「前年度に比べて20%を超える節水」・・・同401~2,000m<sup>3</sup>で2.9%

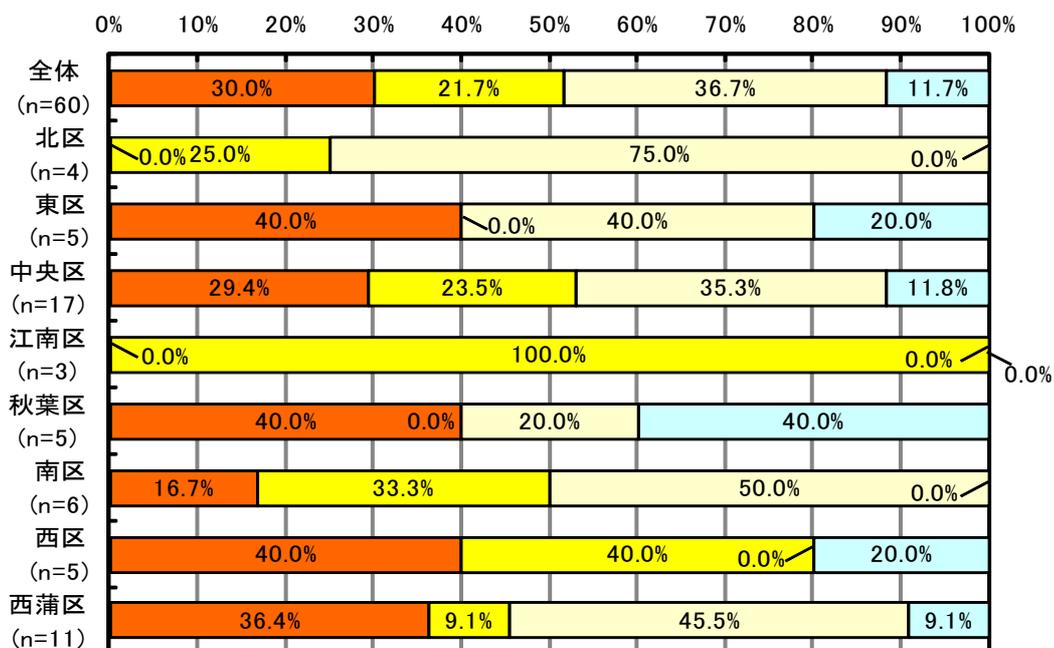
「その他」・・・同21~40m<sup>3</sup>で12.5%

「目標値はない」・・・同11~20m<sup>3</sup>で87.5%

問1-3 節水目標の達成



「あまり達成できなかった」が36.7%と最も高い。また、「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」事業所の合計が51.7%だった。

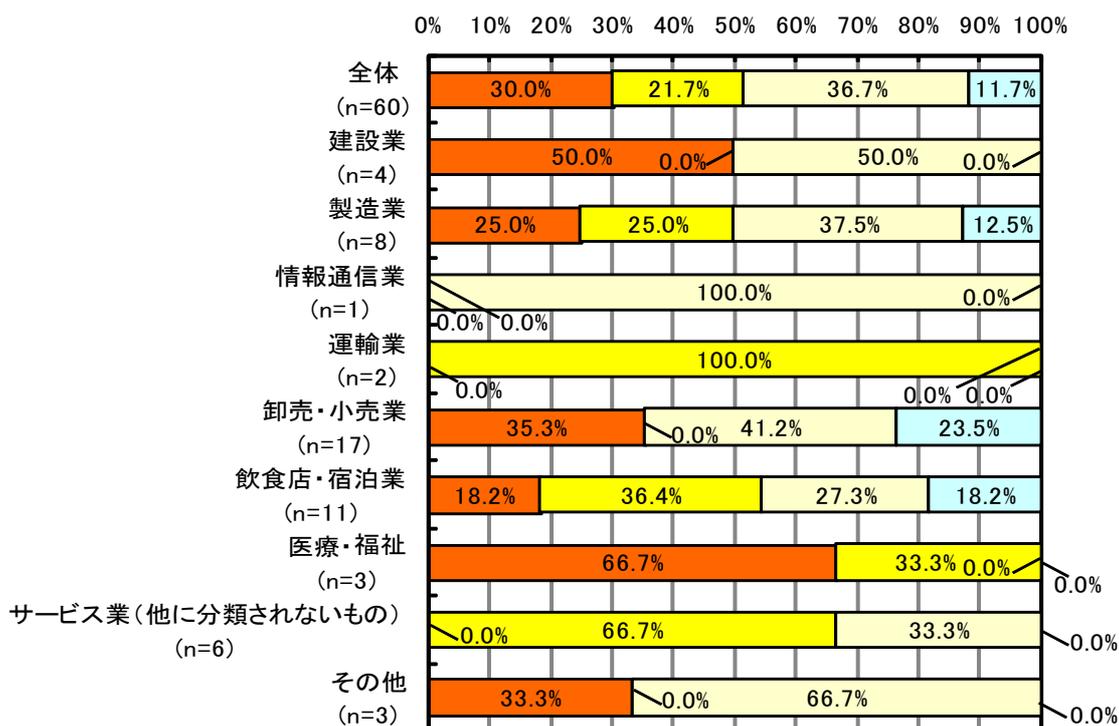
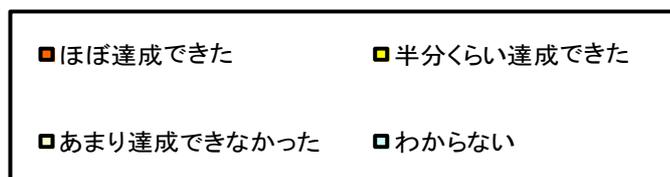


所在区別でみると、北区と江南区は節水目標を「ほぼ達成できた」事業所がなく、特に北区は「半分くらい達成できた」のみでも25%と、達成できた事業所の割合が低かった。

所在区別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると、

- 1) 江南区が100.0%
- 2) 西区が80.0%
- 3) 中央区が52.9%

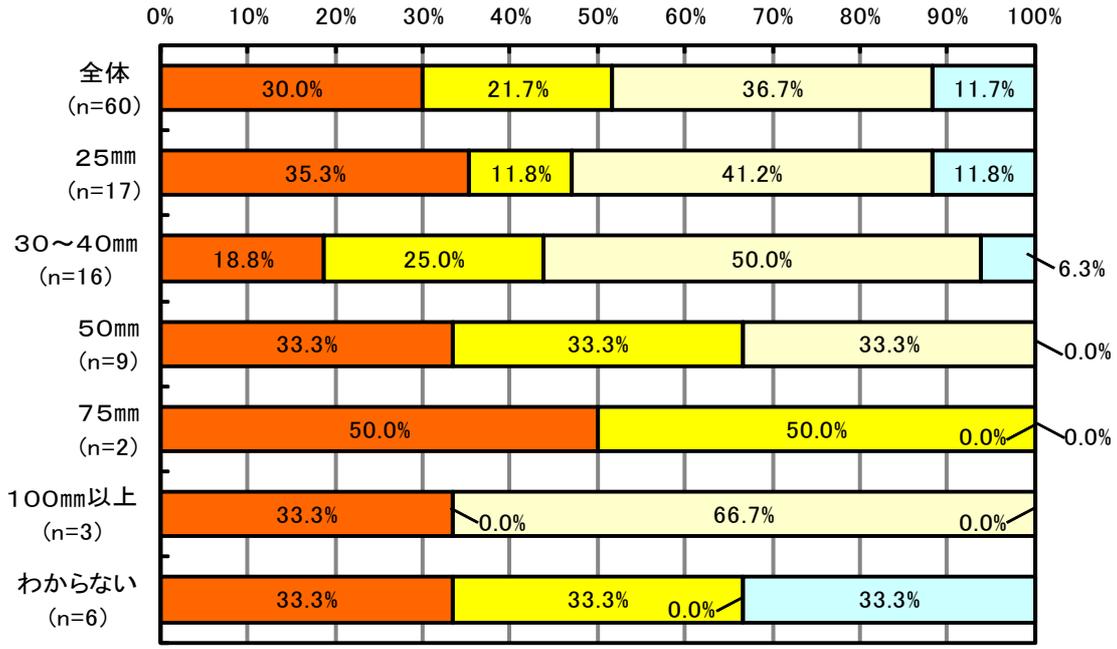
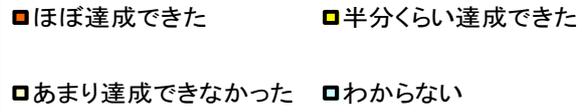
となっている。



業種別にみると、サービス業では「ほぼ達成できた」事業所がなく、逆に建設業、医療・福祉では「ほぼ達成できた」事業所の割合が50%以上だった。特に医療・福祉では「半分くらい達成できた」を含めると節水目標を半分以上達成できた事業所の割合が100%に達した。

業種別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると、

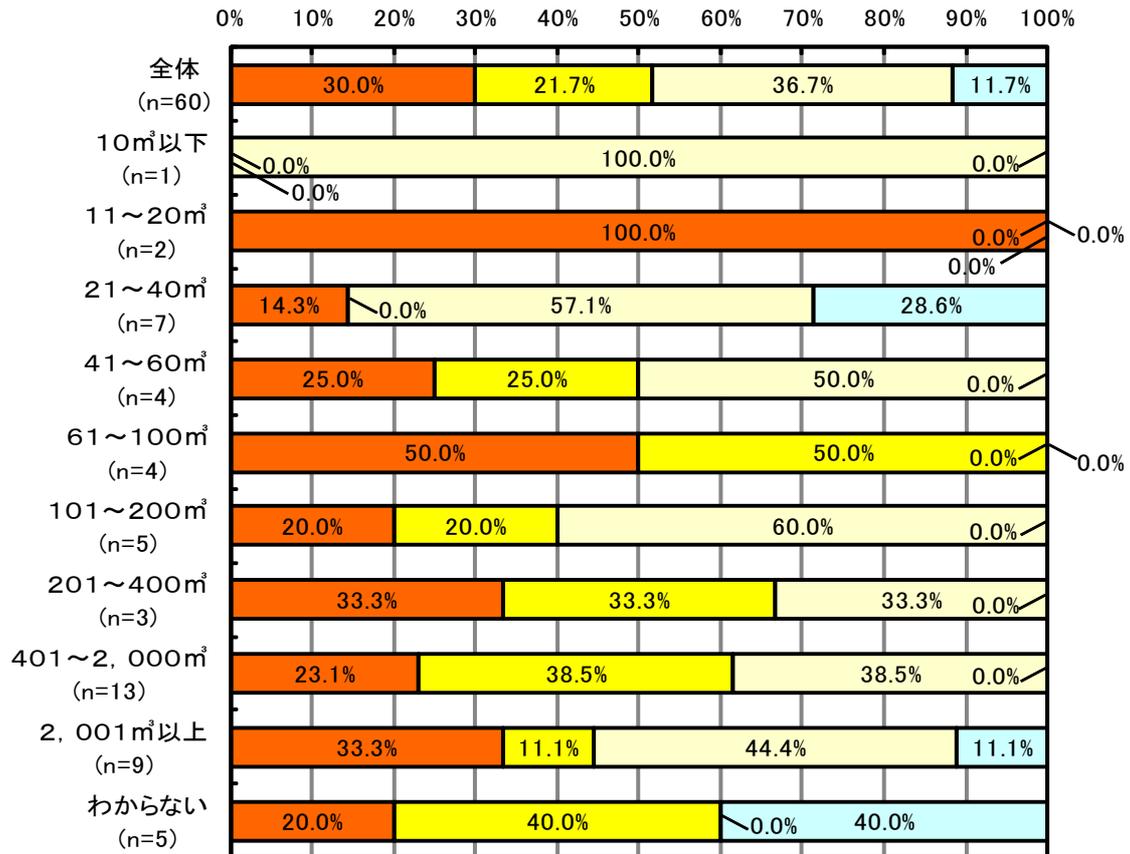
- 1) 医療・福祉が100.0%
- 2) 運輸業100.0%
- 3) サービス業(他に分類されないもの)が66.7%となっている。



水道メーター口径別でみると、回答数の少ない75mm、100mm以上を除くと、各口径別で、節水目標を達成できた事業所の割合に大きな違いは見られないが、「30~40mm」で『ほぼ達成できた』割合が18.8%と低かった。

水道メーター口径別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると、

- 1) 75mmが100.0%
  - 2) 50mmが66.6%
  - 3) わからない が66.6%
- となっている。



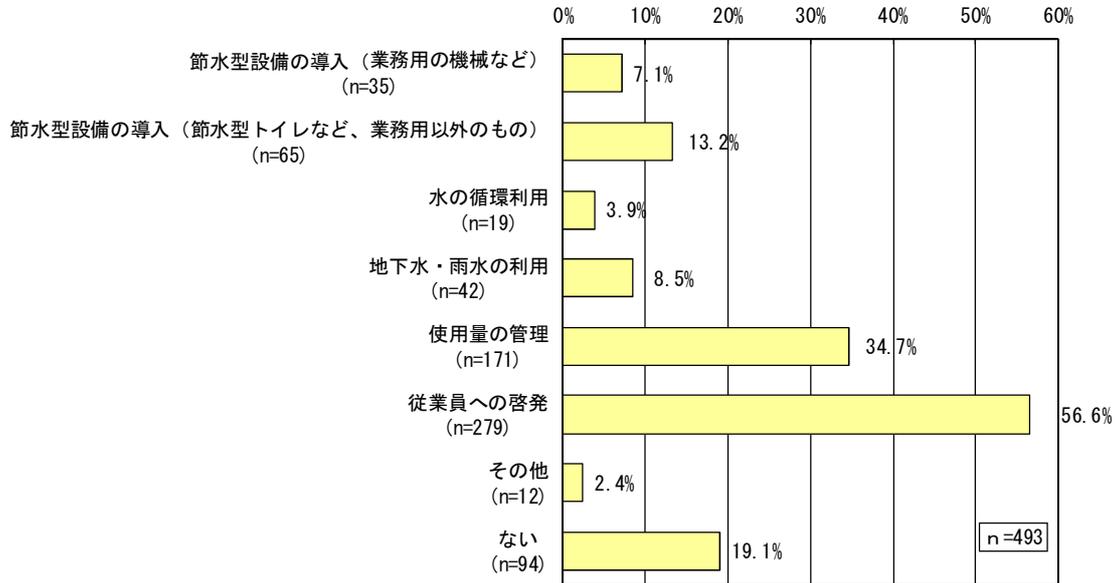
直近の水道使用水量別でみると、回答数の少ない「10m<sup>3</sup>以下」と「11~20m<sup>3</sup>」を除くと、「21~40m<sup>3</sup>」で『ほぼ達成できた』割合が14.3%と低く、『半分くらい達成できた』事業所もないため、他の使用水量と比べて達成割合が低い結果となった。

直近の水道使用水量別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると

- 1) 11~20m<sup>3</sup>が100.0%
- 2) 61~100m<sup>3</sup>が100.0%
- 3) 201~400m<sup>3</sup>が66.6%

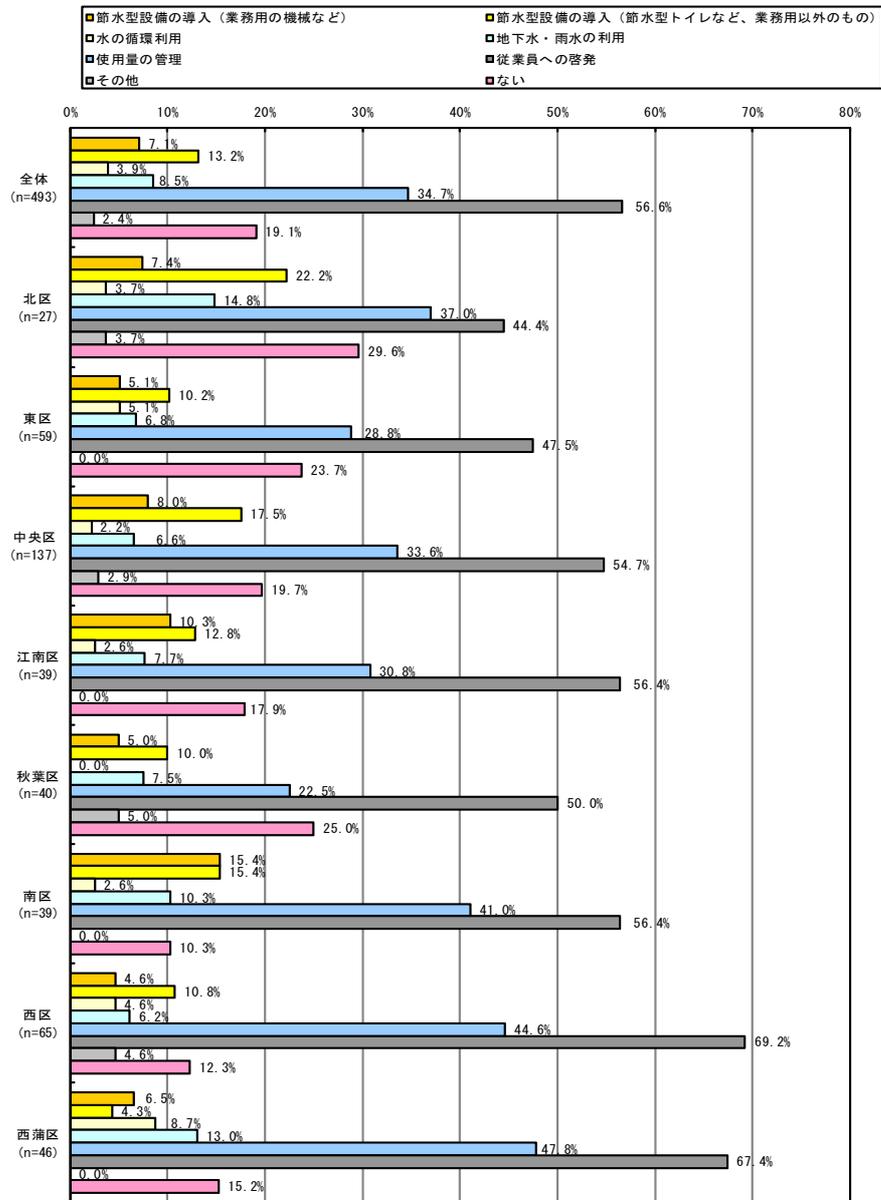
となっている。

問2 今後取り組みたい節水対策

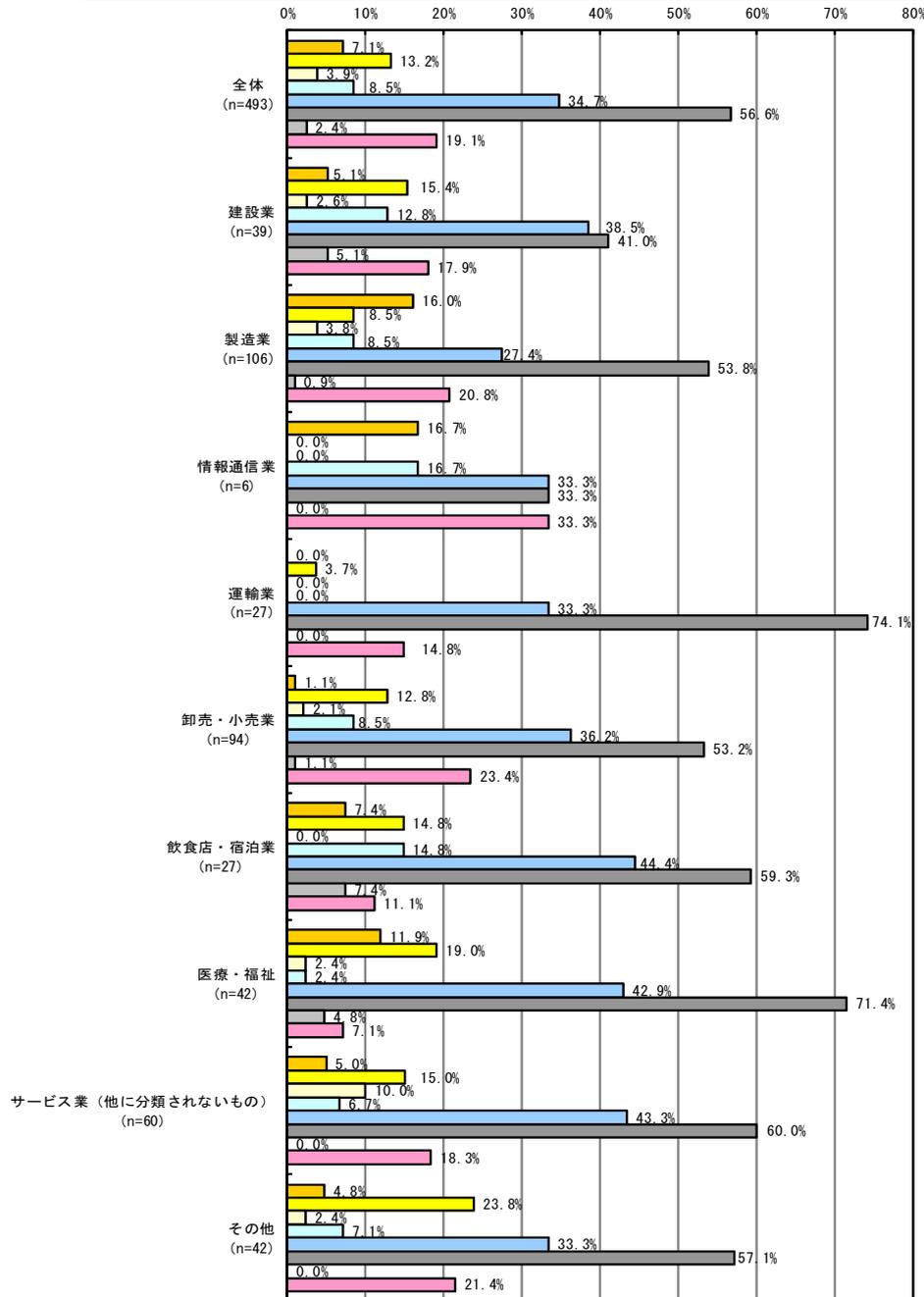


今後取り組みたい節水対策は、「従業員への啓発」が56.6%と最も多く、次いで「使用量の管理」が34.7%、「ない」が19.1%、「節水型設備の導入 (節水型トイレなど、業務用以外のもの)」が13.2%となっている。

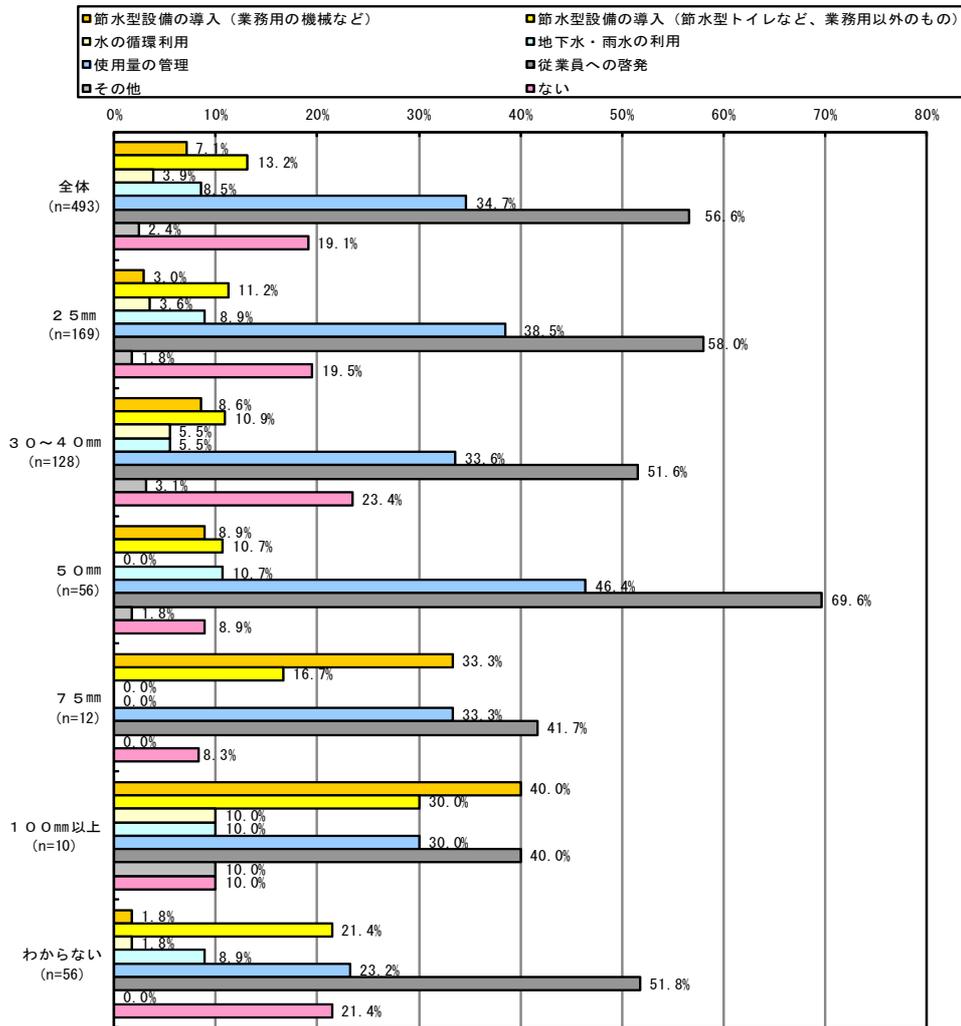
その他の回答
安価な設備なら導入してみたい
冬に利用できる地下水などチャレンジした事はあるが、探せなかった。災害時など、自分で保有・使用できる (雨水→飲用に) 設備の (安価) 開発に期待したい。
目標の設定
特に考えていない
方法がわからない。
水量調節部品の導入を検討中
本社しだい
水道栓を絞り水圧を弱くする
ボイラーの効率的
蛇口に節水コマの取付け



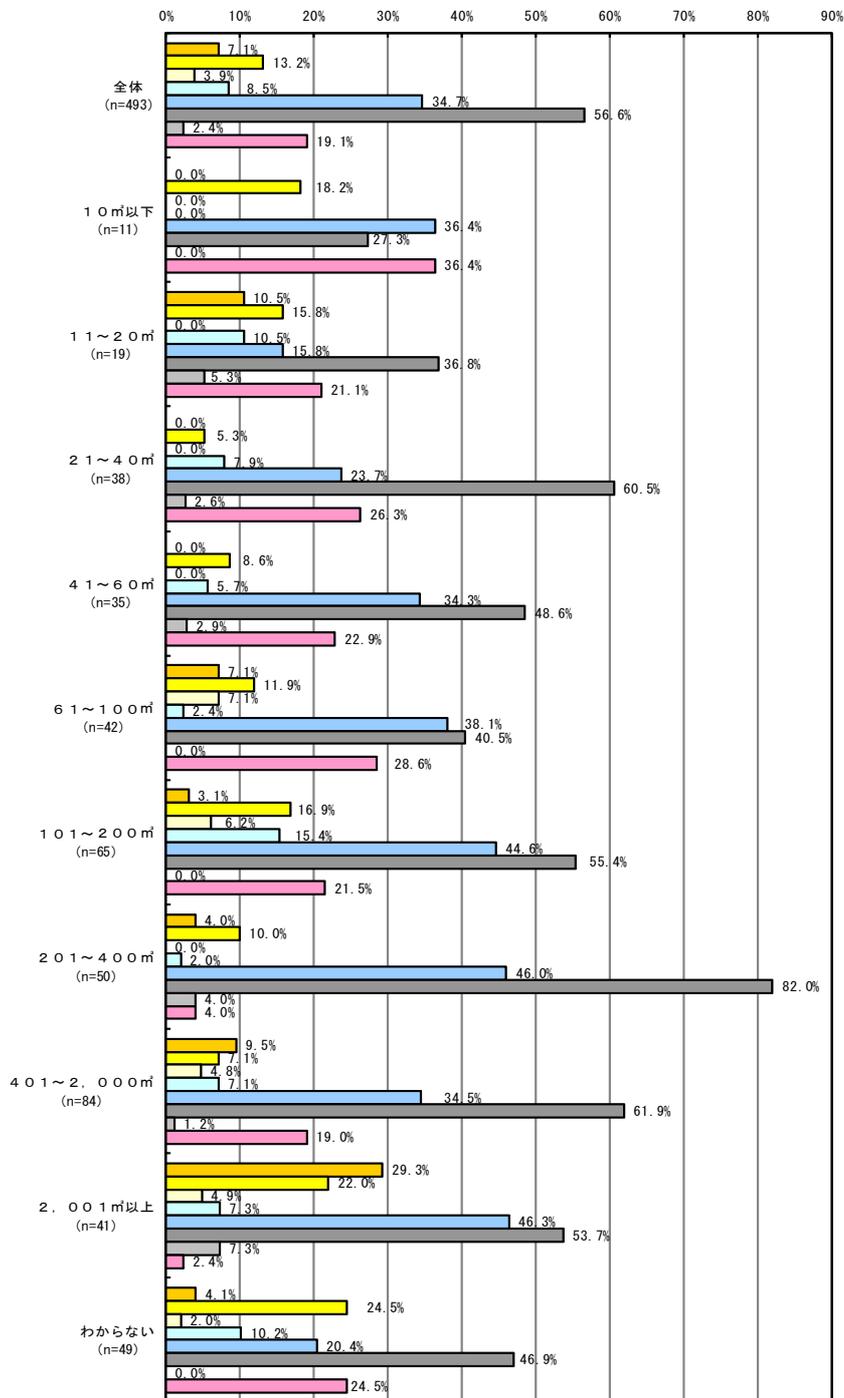
所在区別でみると、すべての区で「従業員の啓発」が40%を超えて第1位であるとともに、「使用量の管理」が次に続く傾向は、現在の取り組みの状況と変わらないが、「秋葉区」では今後取り組みたい節水対策は「ない」が「使用量の管理」を上回ったことが特徴的である。



業種別にみると、すべての業種で、今後取り組みたい節水対策は「従業員の啓発」が第1位で、続いて「使用量の管理」が高い傾向は変わらない。

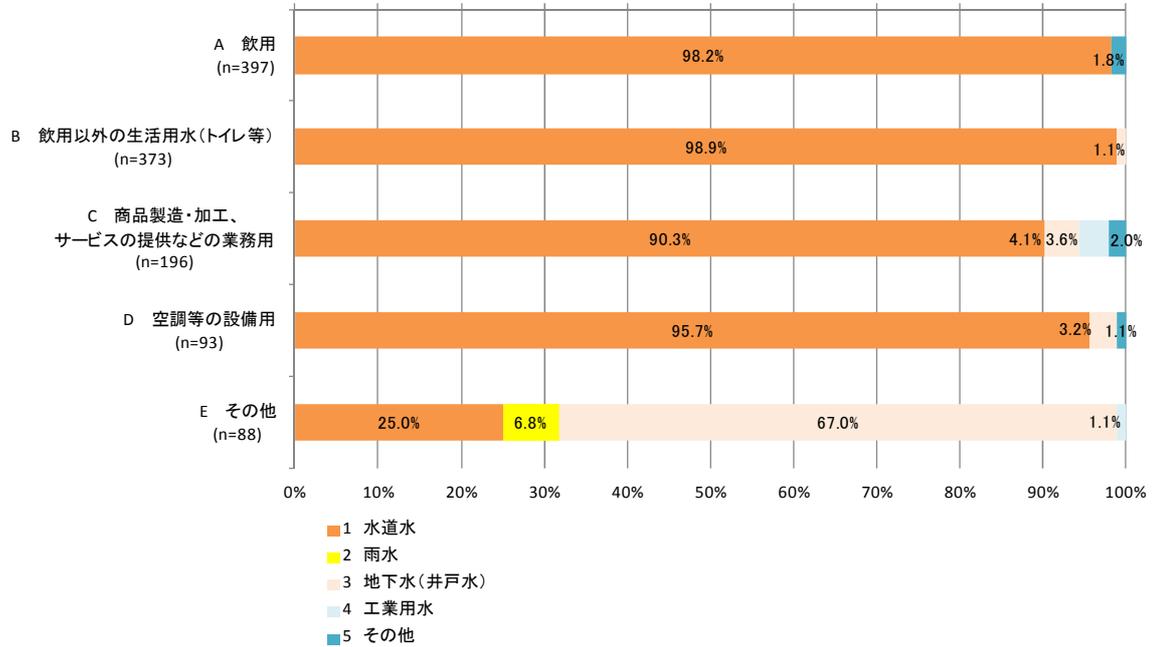


水道メーター口径別で見ると、水道メーター口径が大きくなるほど、今後取り組みたい節水対策として、「節水型設備の導入（業務用の機械など）」や「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」の割合が増えていく傾向があることが分かった。



直近の水道使用水量別でみると、使用した水道水の量が多くなるほど、今後取り組みたい節水対策として、「節水型設備の導入（業務用の機械など）」や「節水型設備の導入（節水型トイレなど）」に力を入れていることが分かった。

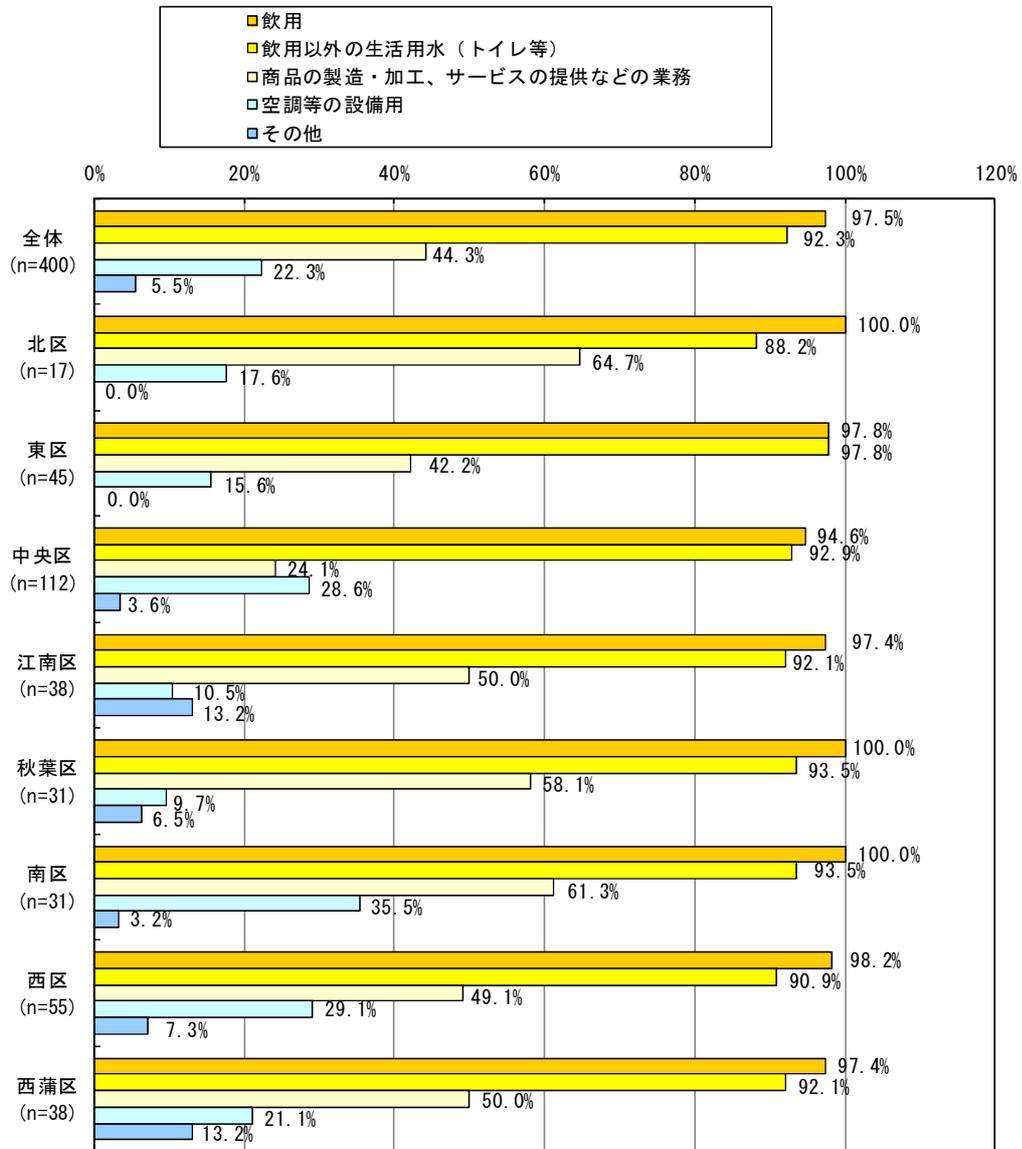
### 問3 利用している水、及びその用途



どの用途においても、水道水の利用率が高いが「その他」において地下水（井戸水）が67.0%と高い数値を示している。

その他の回答			
用途 (E. その他)		利用している水の種類 (5. その他)	
消雪・融雪	18	ウォーターサーバー	2
洗車	4	循環利用	2
農業	2	宅配飲料水	2
散水	2	ウォーターネット	1
デイサービス事業の浴室に使用	1	洗浄水をろ過し、再利用	1
製版工程の洗浄	1	上澄水	1
川の流れ	1	ミネラルウォーター	1
		蒸気ドレン回収水	1

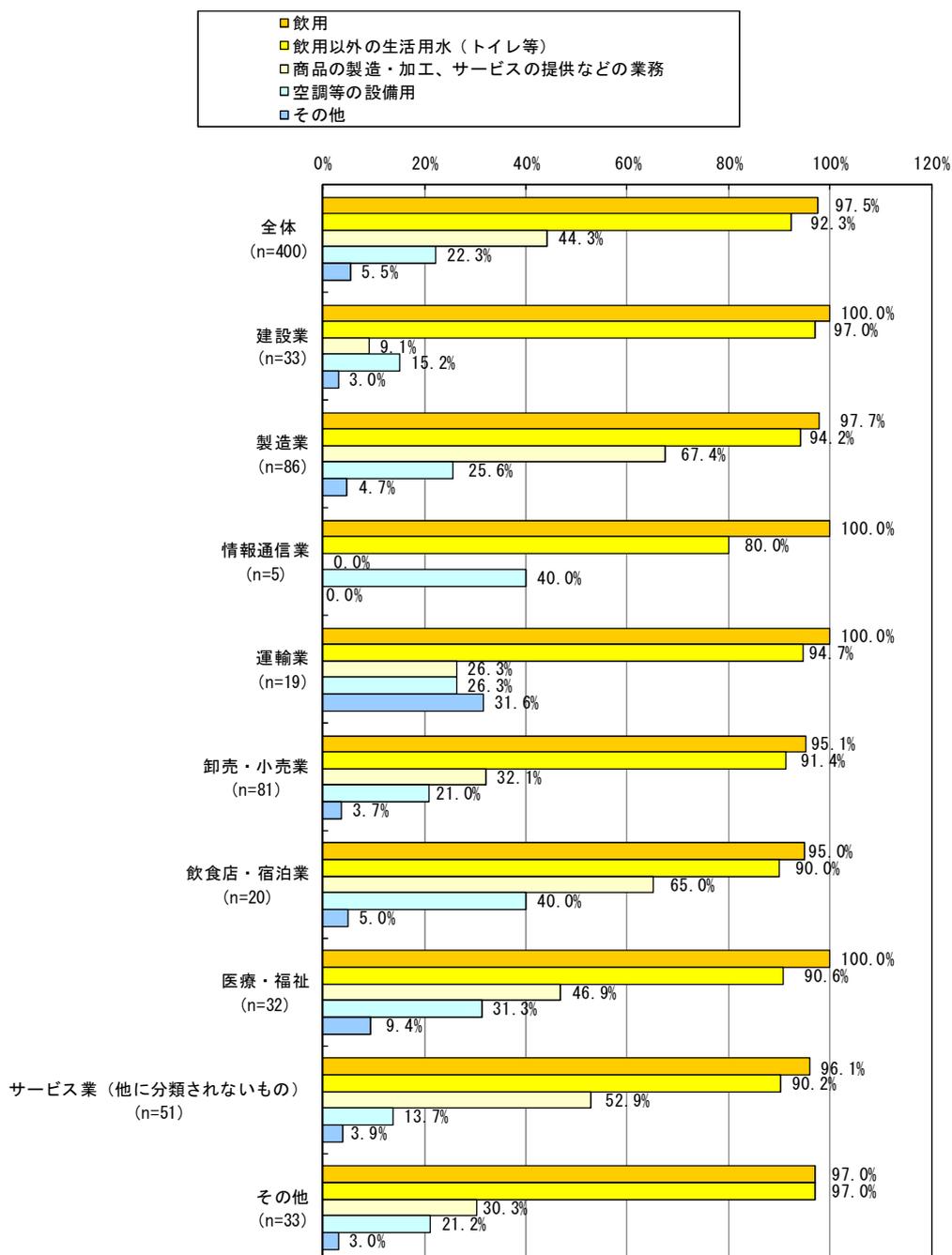
## 水道水の利用



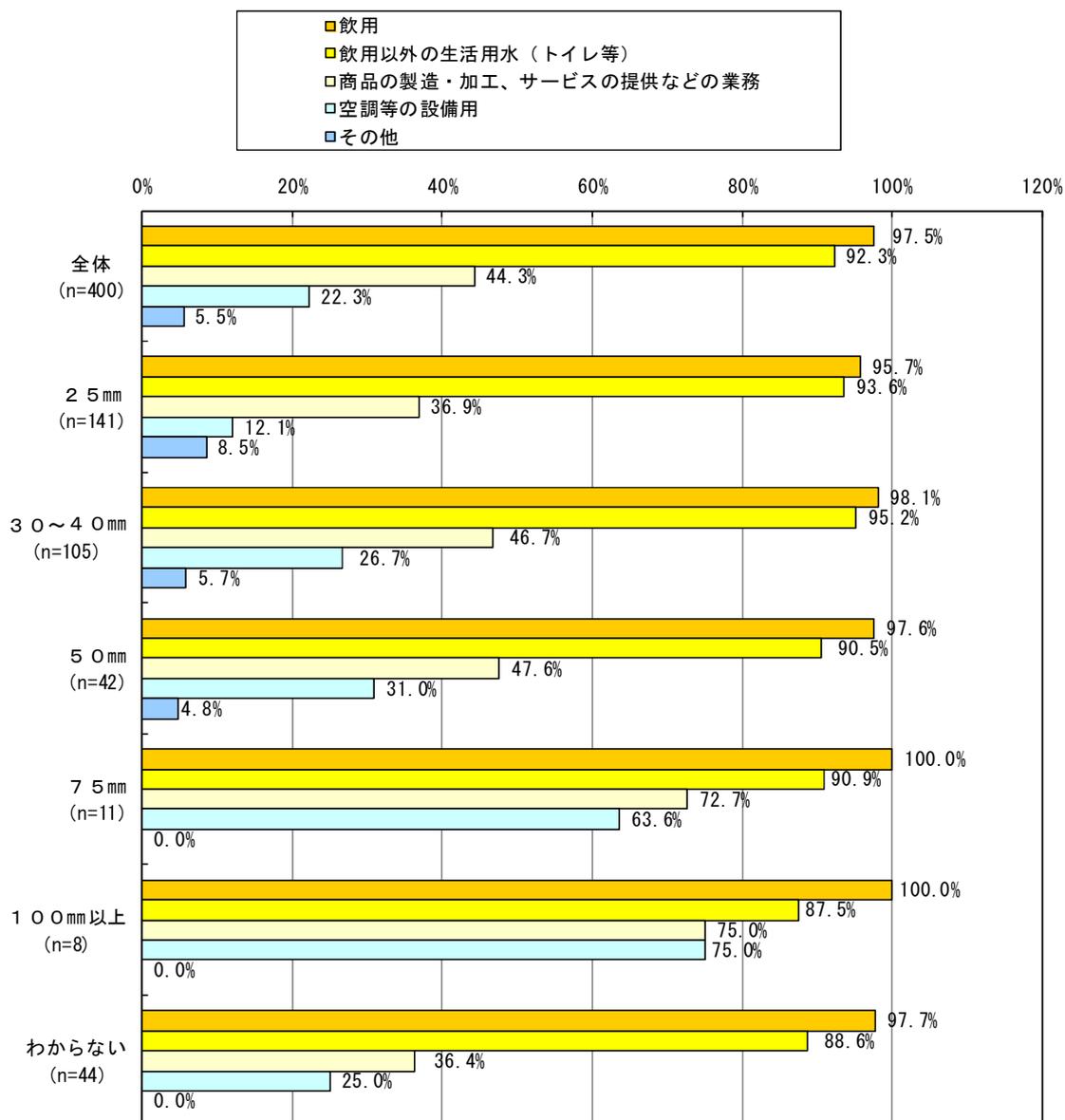
水道水の用途については全体を通して「飲用」が最も多く、次いで「飲用以外の生活用水（トイレ等）」の利用が多かった。

「空調等の設備用」が35.5%と他の区より多い南区では、「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」の利用率も61.3%と高く、総じて他の区と比べ、水道水の利用率が高いことが分かる。

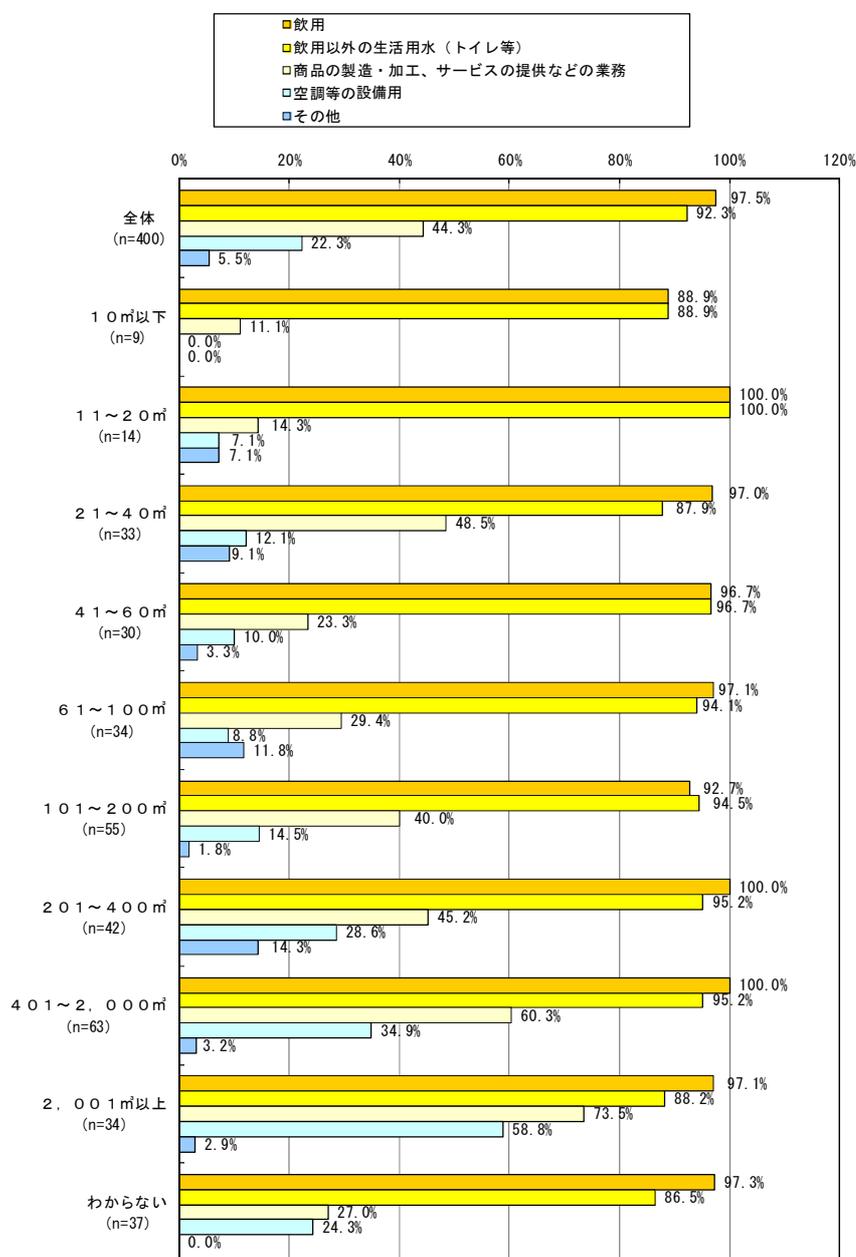
全体の用途として最も多かった「飲用」だが、中央区では94.6%と少ない傾向にあり、飲用に水道水以外も利用していることを示している。



水道水の用途を業種別にみると、「飲用」、「飲用以外の生活用水（トイレ等）」が多いのは他と同じだが、「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」の項目では製造業が67.4%、次いで飲食店・宿泊業が65.0%と利用が多い傾向であることが分かる。



水道水の用途を口径別にみると、75mm、100mm以上を利用している事業所では「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」、「空調等の設備用」が70%を超えるなど他口径より利用率が高く、さらに「飲用」には水道水を100%利用するなど、水道水の利用率の高さが目立った。



水道水の用途を使用水量別にみると、使用量の最も多い2,001m<sup>3</sup>以上利用している事業所で「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」が73.5%、「空調等の設備用」が58.8%と他に比べ高い利用率を示していることが分かる。逆に使用量の少ない10m<sup>3</sup>以下の事業所では、用途のほとんどを「飲用」「飲用以外の生活用水 (トイレ用)」が占めていることが分かる。

## 2 災害時の飲料水の確保と災害対策

### 災害時における飲料水の確保と水道局の災害対策についてお聞きします

問4 平成23年3月11日の東日本大震災発生以降、あなたの事業所では水に対する考え方は変化しましたか。(〇はいくつでも)

- 1 以前より水の備蓄をするようになった
- 2 節水の意識が高まった
- 3 水道水以外の水(ペットボトル水、井戸水など)を利用するようになった
- 4 水道水の安全性に対して関心が高くなった
- 5 水道の果たす役割に対して関心が高くなった
- 6 その他 ( )
- 7 変わらない

問5 新潟市では、災害に備え、市民の皆さまに1人1日あたり3リットル、3日分で9リットル程度を目安として、飲料水の備蓄をお願いしています。あなたの事業所では、独自の取組みとして災害に備えた飲料水の備蓄を行っていますか。(〇は1つだけ)

1 備蓄している	2 備蓄していない
----------	-----------

(問5で「1 備蓄している」と回答された事業所にお聞きします。)

【問5-1】 飲料水をどのくらい備蓄していますか。(〇はいくつでも)

- |   |          |         |       |
|---|----------|---------|-------|
| 1 | ペットボトル ( | ミリリットル× | 本)    |
| 2 | 水の缶詰 (   | ミリリットル× | 本)    |
| 3 | ポリタンク (  | リットル×   | 個)    |
| 4 | その他 (    | で       | リットル) |

(すべての事業所にお聞きします。)

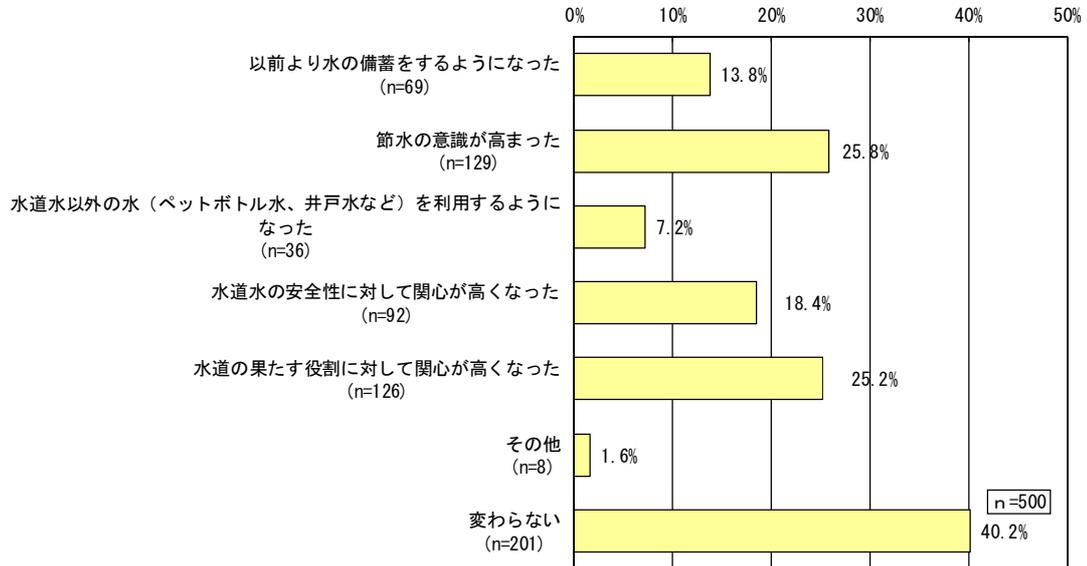
問6 災害対策として、優先的に実施した方がよいと思う取組みはどれですか。次の中から**3つ**選び、**○**をつけてください。(3つまで選択)

- 1 浄水場などの水道施設の耐震化
- 2 地震に強い水道管への入替えによる耐震化
- 3 病院などの重要施設向け水道管の耐震化
- 4 災害時に一定量の飲料水等を確保する緊急貯水槽などの応急給水設備の整備
- 5 給水車・仮設給水栓・キャンバス水槽などの応急給水用具の整備
- 6 ペットボトル水などの備蓄
- 7 その他 ( )



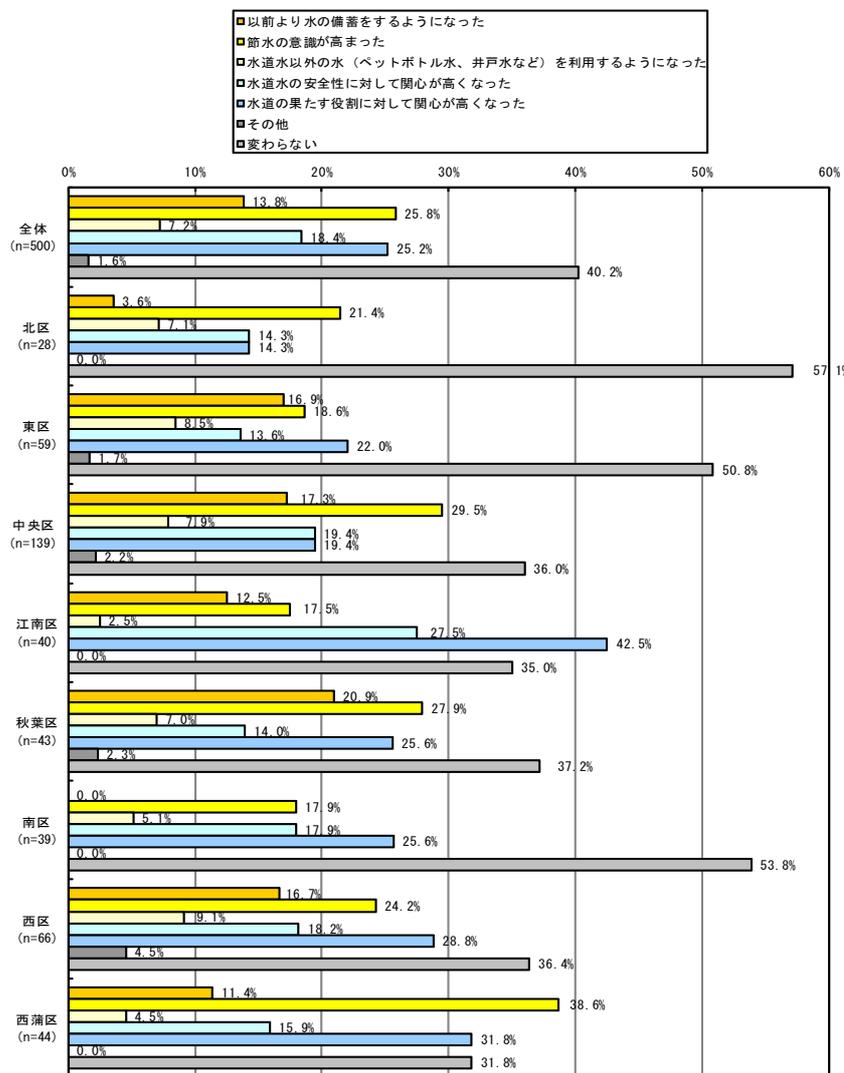
応急給水用具の「キャンバス水槽」と「仮設給水栓」の設置見本

問4 水に対する考え方の変化

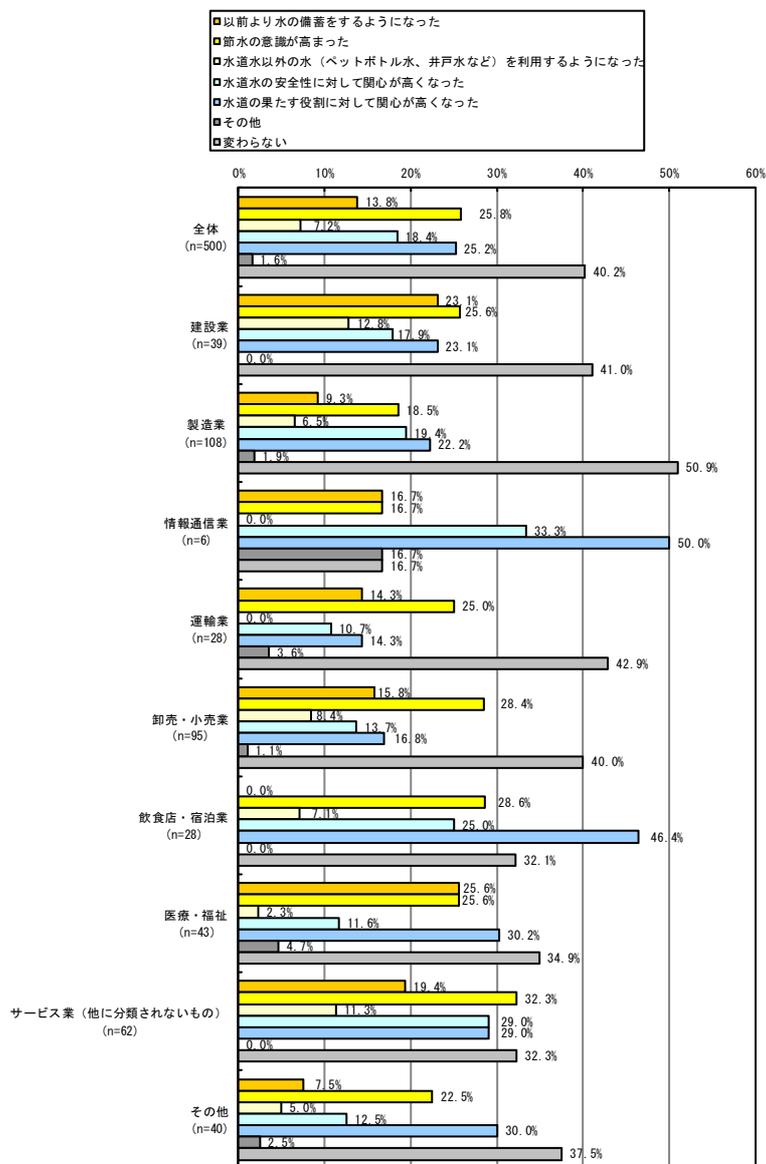


震災後の水に対する意識の変化については、「変わらない」が40.2%、「節水の意識が高まった」が25.8%、「水道の果たす役割に対して関心が高くなった」が25.2%、「水道水の安全性に対して関心が高くなった」が18.4%、「以前より水の備蓄をするようになった」が13.8%、「水道水以外の水を利用するようになった」が7.2%となっている。

その他の回答
市水配管システムの2重化（直接と水槽に分けた）
雨水や他の水を飲用にできる設備、用品に対して関心が出てきた。
他県からの調達経路の確保
節水の方法がわからない。教えて下さい。
震災発生以前よりペットボトル保存水を備蓄している。
工業用水削減プロジェクトはある
自家発電設備の能力を上げ、停電時での水道水供給範囲を拡大した



所在区別でみると、すべての区で震災前の水に対する考え方と「変わらない」が多いが、江南区では「水道の果たす役割に対して関心が高くなった」が42.5%で第1位になり、「水道水の安全性に対して関心が高くなった」も27.5%と高く、他の区に比べて、その意識の変化の高さが際立つ結果となった。



業種別にみると、意識の変化には違いがある。

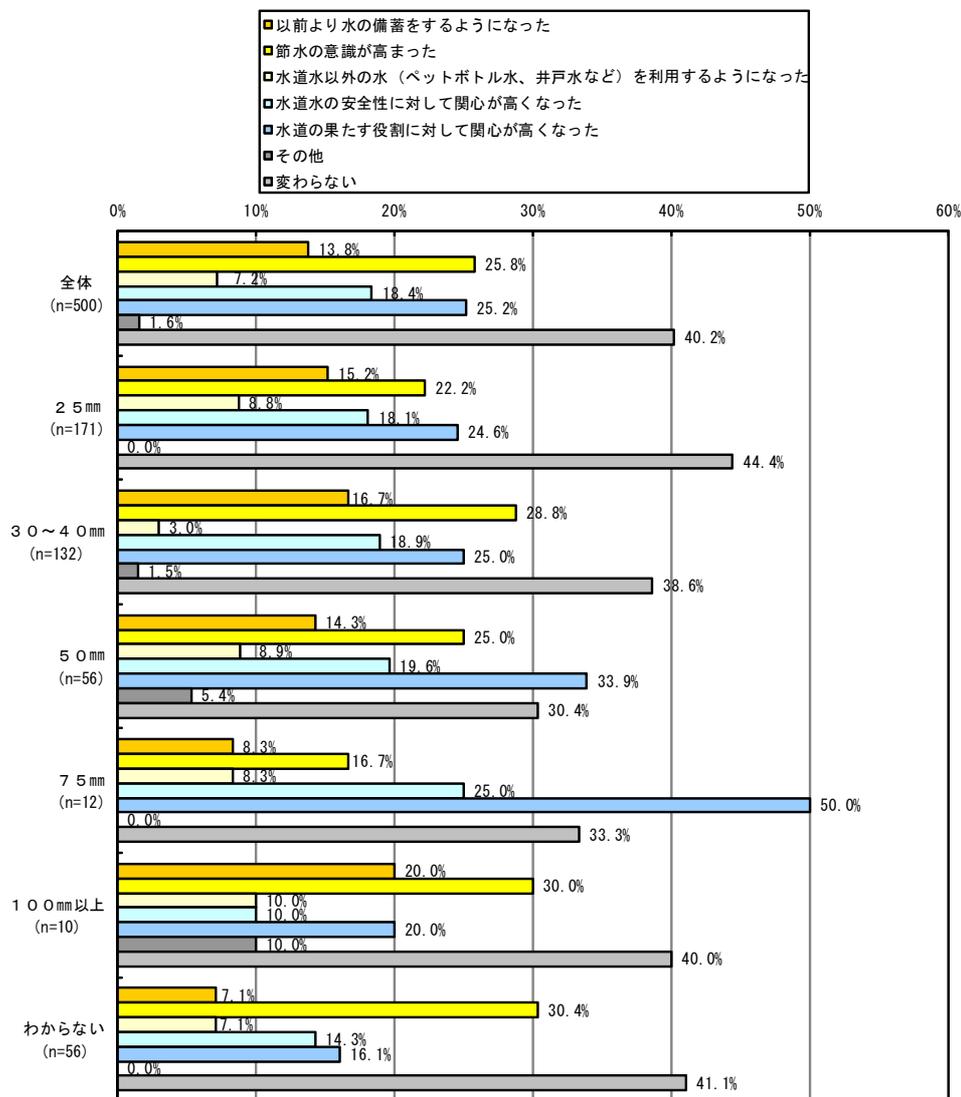
「以前より水の備蓄をするようになった」・・・医療・福祉が25.6%で高くなっている。  
「節水の意識が高まった」・・・サービス業（他に分類されないもの）が32.3%で高い。  
「水道水以外の水を利用するようになった」・・・建設業が12.8%でやや高くなっている。

「水道水の安全性に対して関心が高くなった」・・・サービス業（他に分類されないもの）が29.0%で高い。

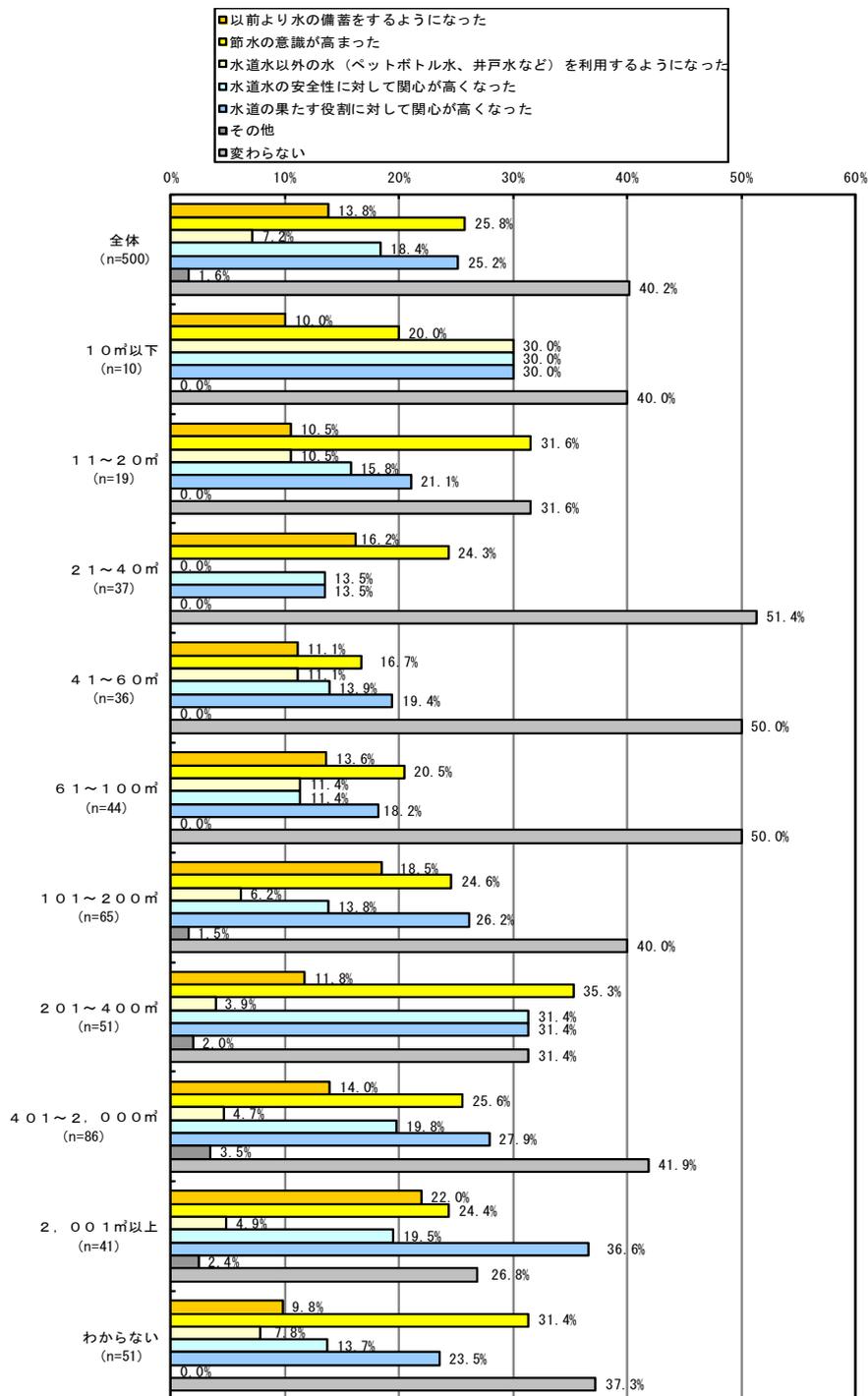
「水道の果たす役割に対して関心が高くなった」・・・飲食店・宿泊業が46.4%と高い。

「その他」・・・医療・福祉が4.7%でやや高い。

「変わらない」・・・製造業が50.9%で高い。

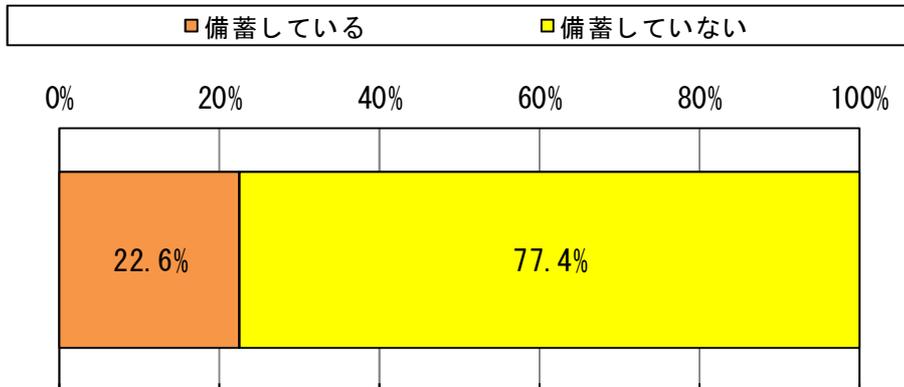


水道メーター口径別で見ると、すべての口径で震災前の水に対する考え方と「変わらない」傾向はあるが、50mmや75mmでは、「水道の果たす役割に対して関心が高くなった」が他の口径に比べて高く、その意識の変化の高さが際立つ結果となった。

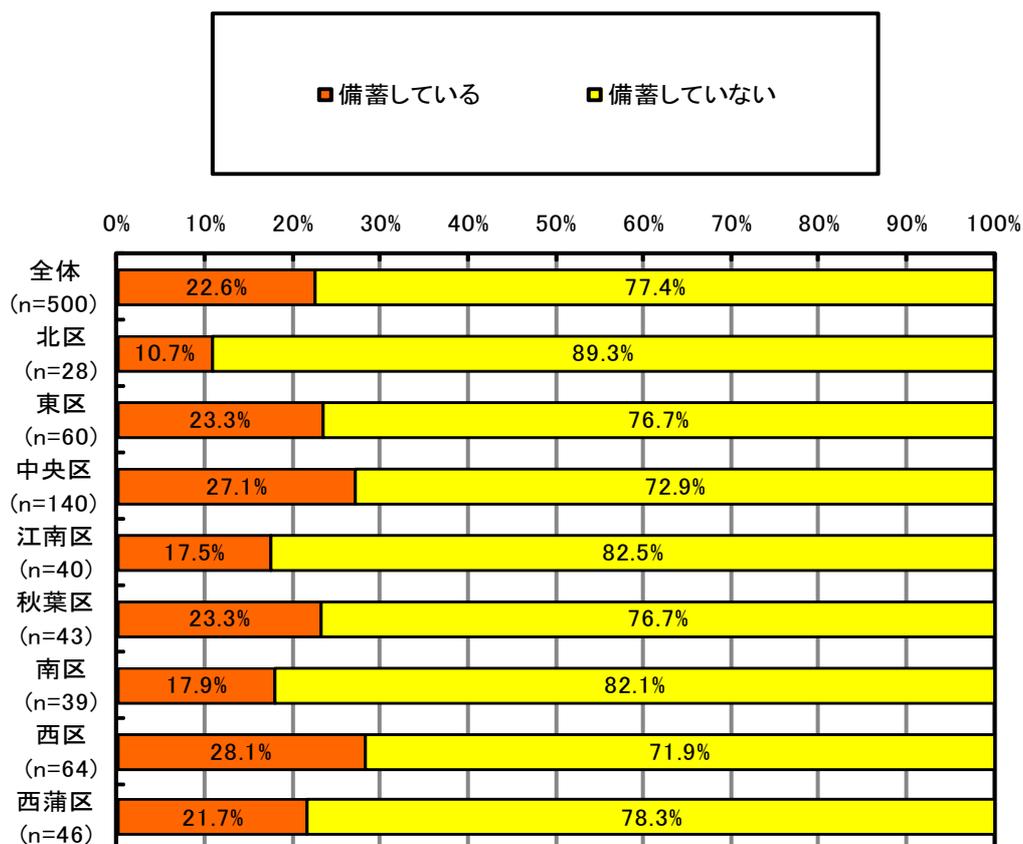


直近の水道使用水量別でみると、使用した水道水の量が（21～40m<sup>3</sup>）～（61～100m<sup>3</sup>）までの中間の使用水量で震災前の水に対する考え方と「変わらない」傾向が強いが、20m<sup>3</sup>以下の少ない使用量や201m<sup>3</sup>以上の多い使用量で震災前の水に対する考え方と意識の変化が高い特徴があることが分かった。

問5 飲料水の備蓄について



「備蓄していない」事業所が多く、77.4%と半数以上を占めている。



所在区別でみると、北区が89.3%と一番多くの事業所が災害に備えた飲料水の備蓄をしていなかった。

所在区別に「備蓄している」が高い順にみると、

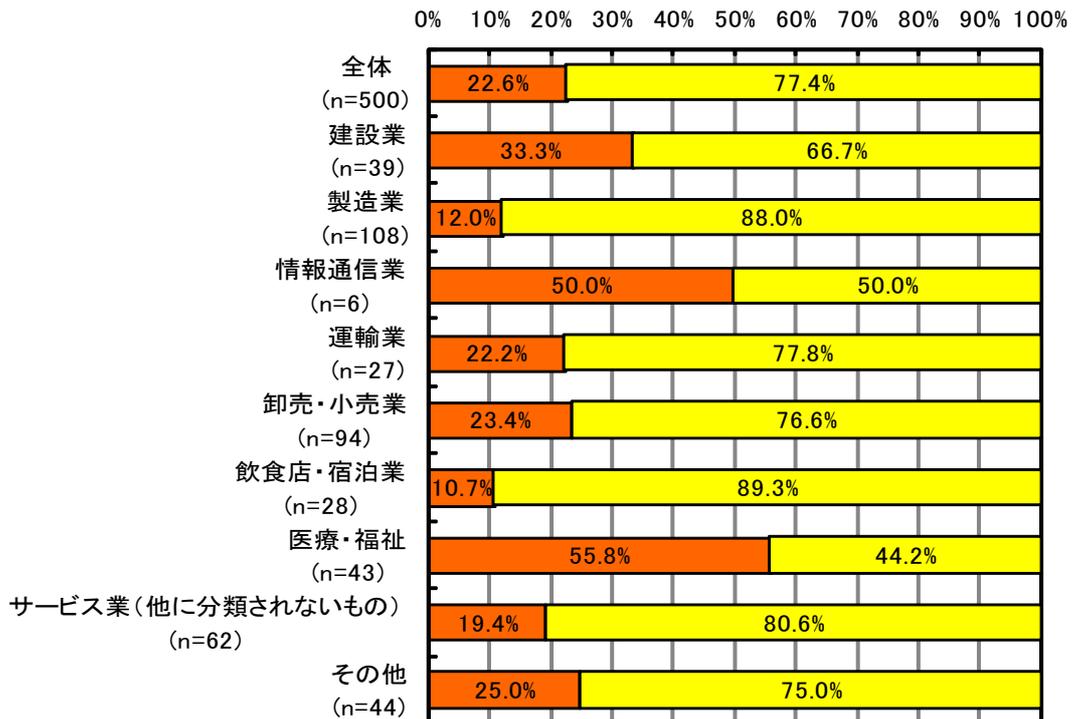
- 1) 西区が28.1%
- 2) 中央区が27.1%
- 3) 東区と秋葉区が23.3%

となっている。

逆に「備蓄していない」が高い順にみると、

- 1) 北区が89.3%
- 2) 江南区が82.5%
- 3) 南区が82.1%

となっている。



業種別にみると、医療・福祉が50%以上の事業所で飲料水の備蓄をしているが、他のすべての業種で50%を下回っている。特に製造業と飲食店・宿泊業では、10%台にとどまっている。

業種別に「備蓄している」が高い順にみると、

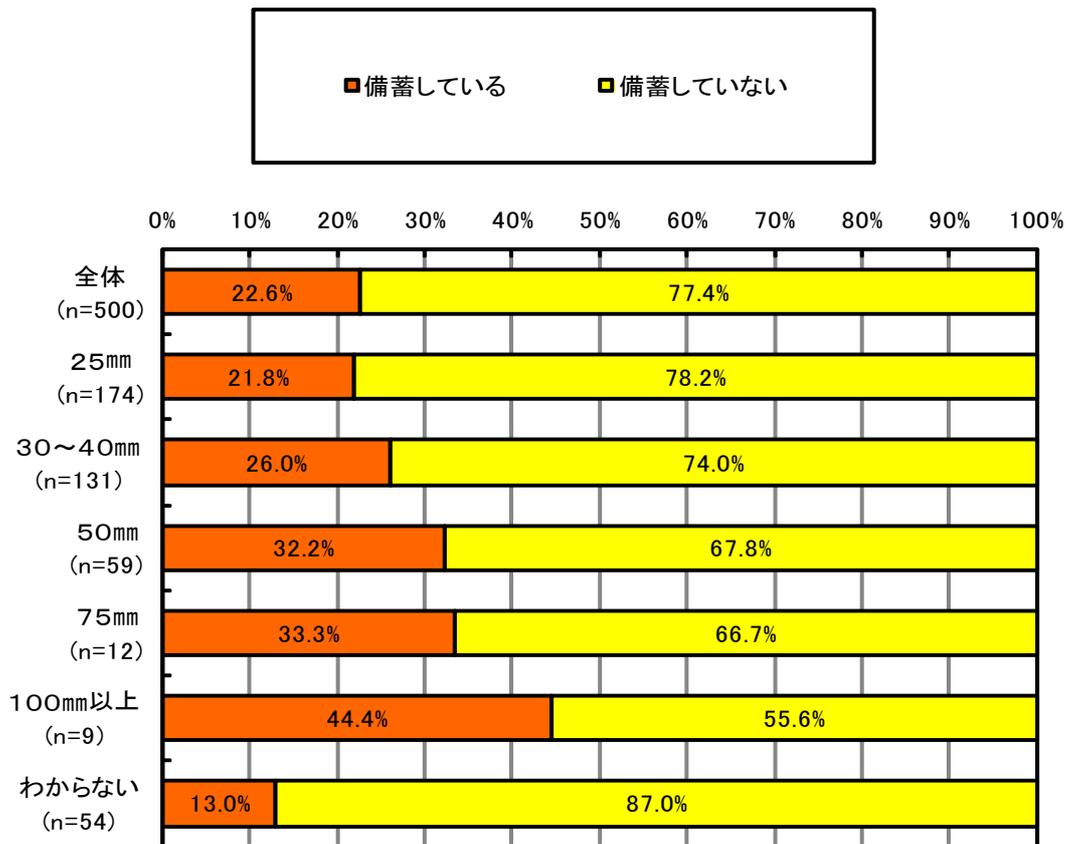
- 1) 医療・福祉が55.8%
- 2) 建設業が33.3%
- 3) その他が25.0%

となっている。

逆に「備蓄していない」が高い順にみると、

- 1) 飲食店、宿泊業が89.3%
- 2) 製造業が88.0%
- 3) サービス業(他に分類されないもの)が80.6%

となっている。



水道メーター口径別で見ると、メーター口径が大きくなるに従って備蓄している事業所の割合が増えていく傾向がある。

水道メーター口径別に「備蓄している」が高い順にみると、

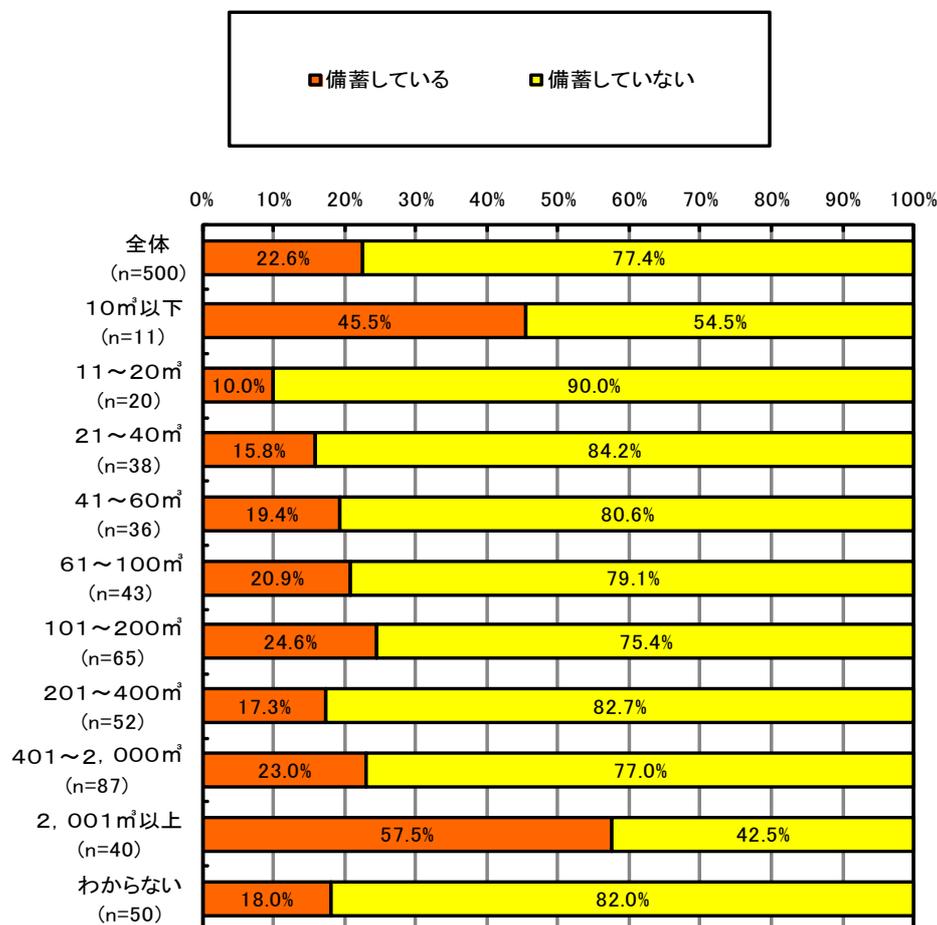
- 1) 100mm以上が44.4%
- 2) 75mmが33.3%
- 3) 50mmが32.2%

となっている。

逆に「備蓄していない」が高い順にみると、

- 1) 水道メーター口径がわからないが87.0%
- 2) 25mmが78.2%
- 3) 30~40mmが74.0%

となっている。



直近の水道使用水量別でみると、2,001m<sup>3</sup>以上の使用水量が57.5%、10m<sup>3</sup>以下の使用水量も45.5%と、比較的多くの事業所で備蓄しているが、11m<sup>3</sup>以上2,000m<sup>3</sup>以下の他の水道使用水量では25%を下回っている。

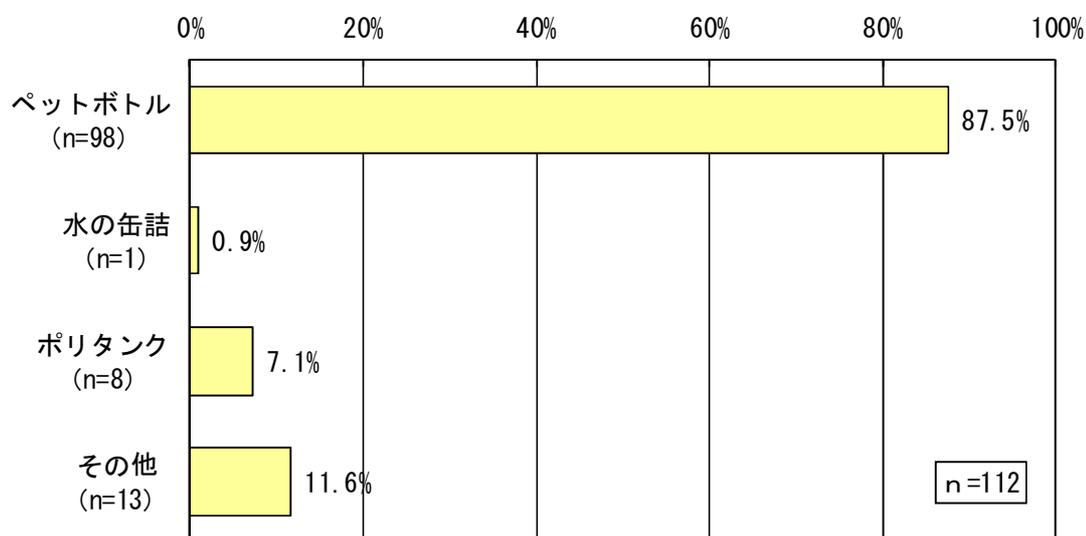
直近の水道使用水量別に「備蓄している」が高い順にみると、

- 1) 2,001m<sup>3</sup>以上が57.5%
  - 2) 10m<sup>3</sup>以下が45.5%
  - 3) 101~200m<sup>3</sup>が24.6%
- となっている。

逆に「備蓄していない」が高い順にみると、

- 1) 11~20m<sup>3</sup>が90.0%
  - 2) 21~40m<sup>3</sup>が84.2%
  - 3) わからない が82.0%
- となっている。

問5-1 備蓄について

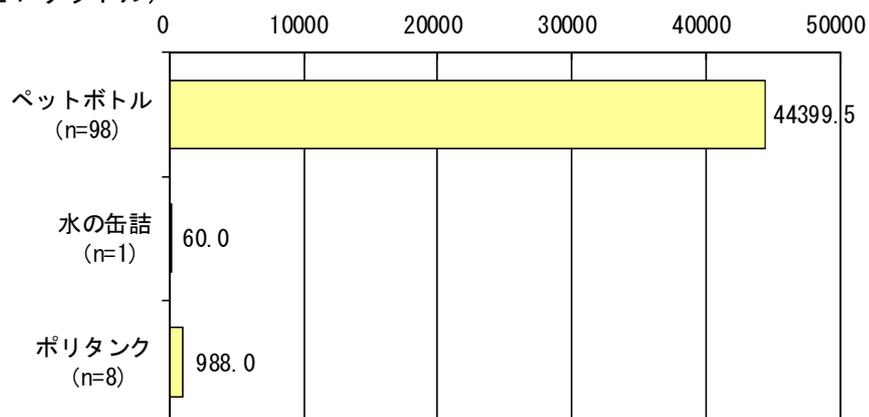


備蓄について、ペットボトルが87.5%と最も高い数値を示している。

その他の回答	本数
高置水槽	不明
スーパーなので大量にある	記入なし
常に受水槽使用している為	100000
貯水槽	9400
500	350
ミネラルウォーターボトル	60
飲用カートリッジタンク	36
貯水槽	2000
アルピナウォーター12ℓ×10本前後	120
貯水槽	記入なし
ミネラルウォーター	600
貯水タンク	1000
サーバー用水	36

## 方法別の合計備蓄量

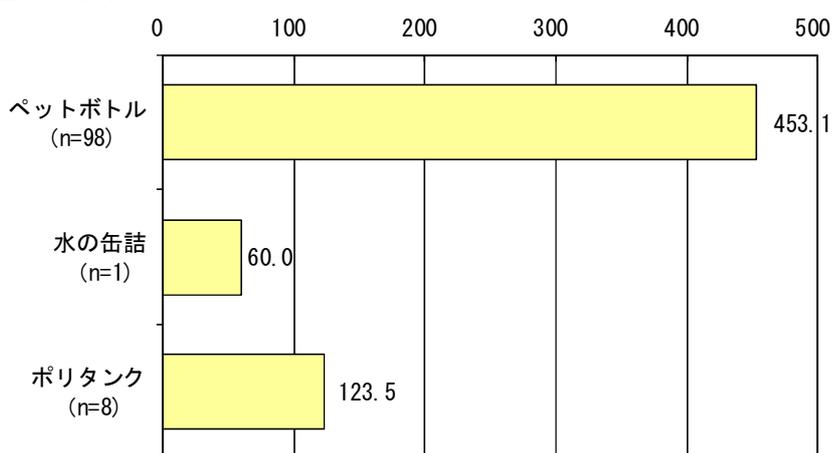
方法別の備蓄量  
(単位：リットル)



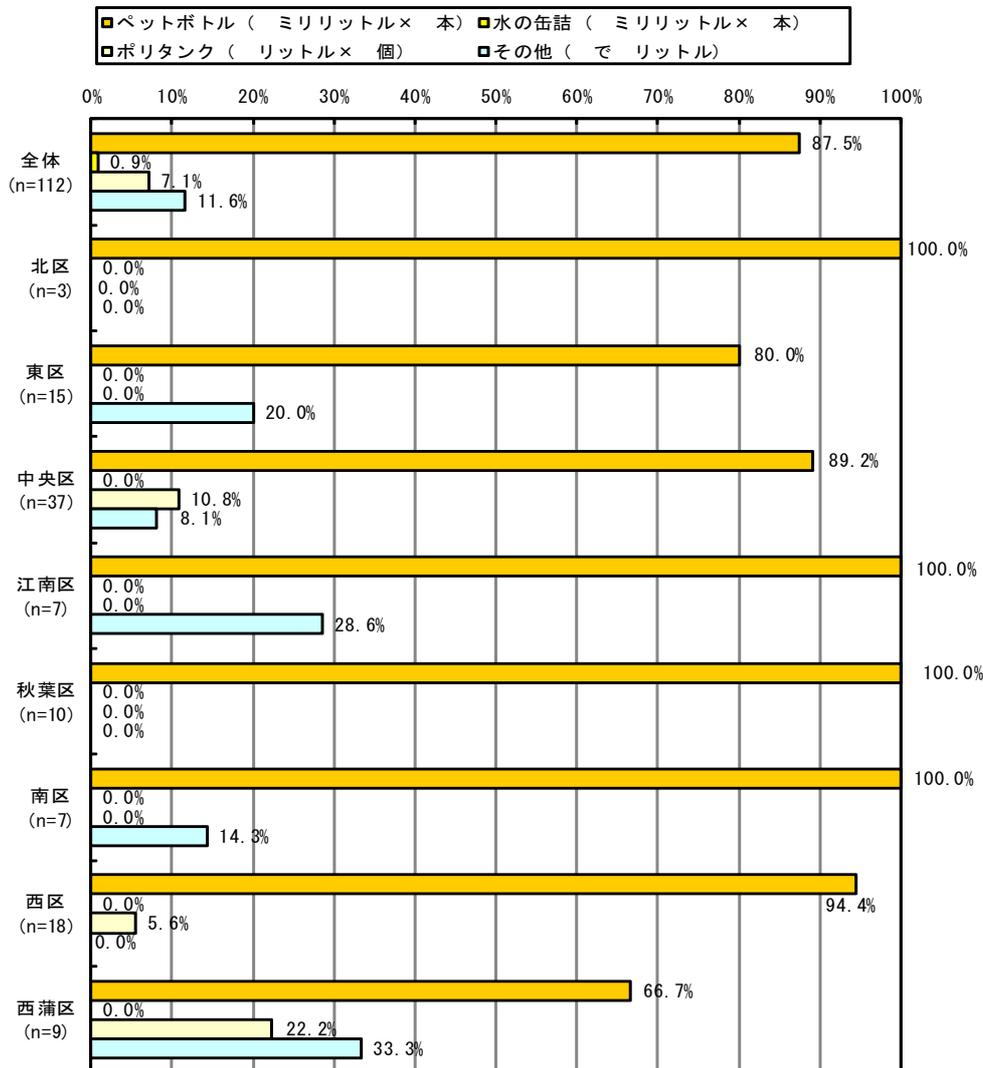
方法別の備蓄量では、ペットボトルが最も多く44,399.5リットルとなっている。

## 有効回答事業所の平均備蓄量

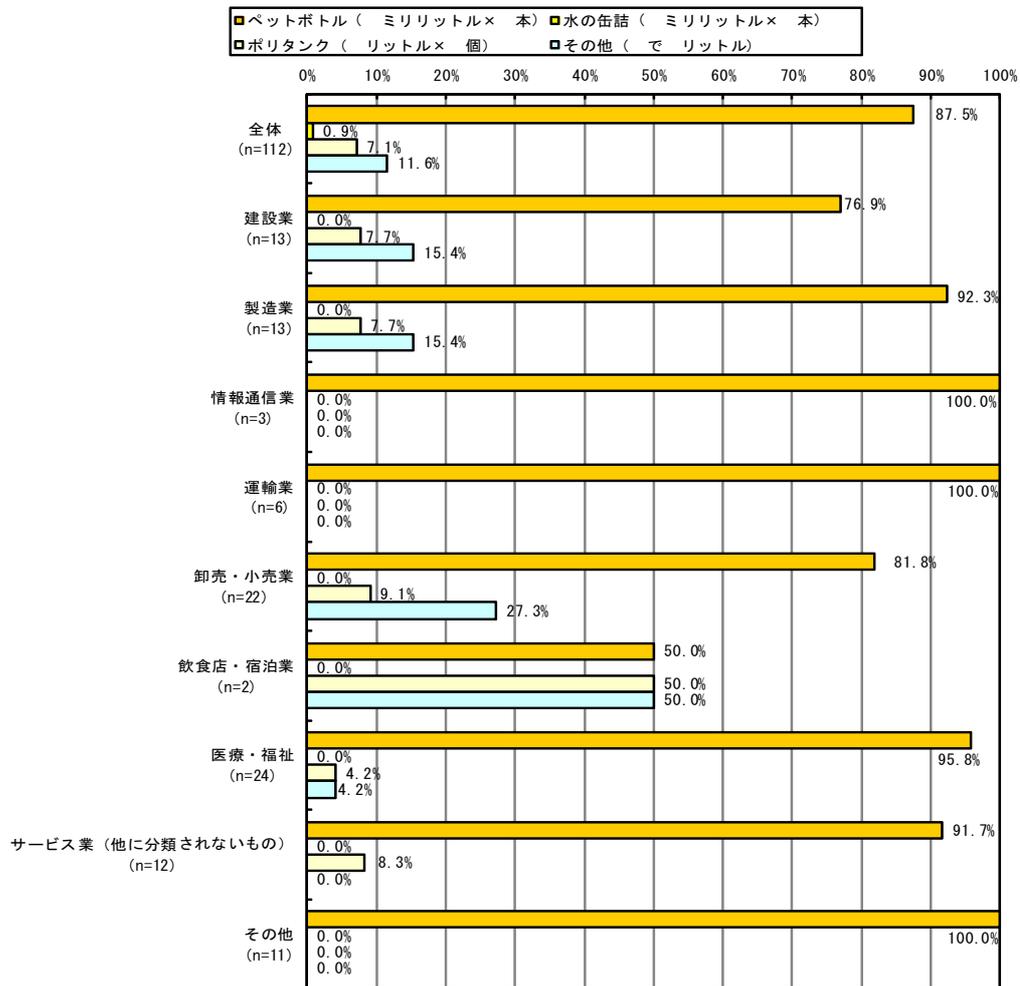
回答企業の備蓄量  
(単位：リットル)



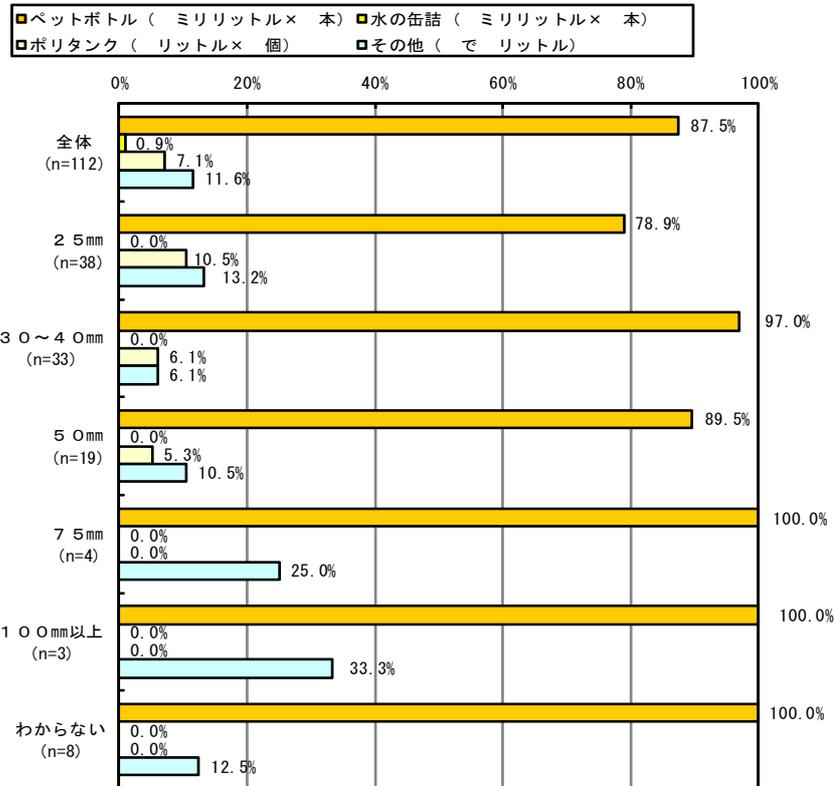
回答企業の平均備蓄量においてもペットボトルが453.1リットルと最も多くなっている。



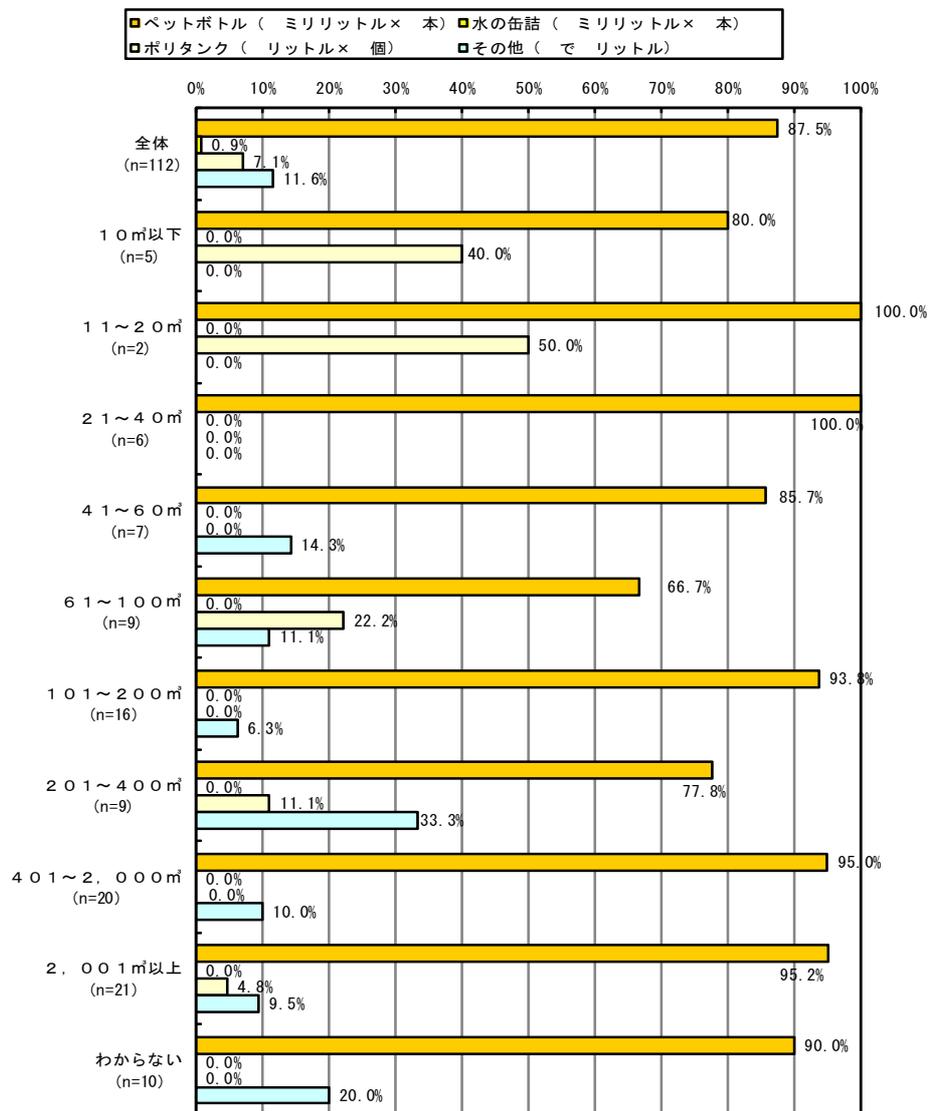
所在区別でみると、すべての区で備蓄は「ペットボトル」が圧倒的だが、西蒲区のみが「ペットボトル」が66.7%と全体と比べて20.8%ほど低く、その代わりに「その他」が33.3%と高いことが特徴的である。



業種別にみると、すべての業種で備蓄は「ペットボトル」が圧倒的なのは変わらない。

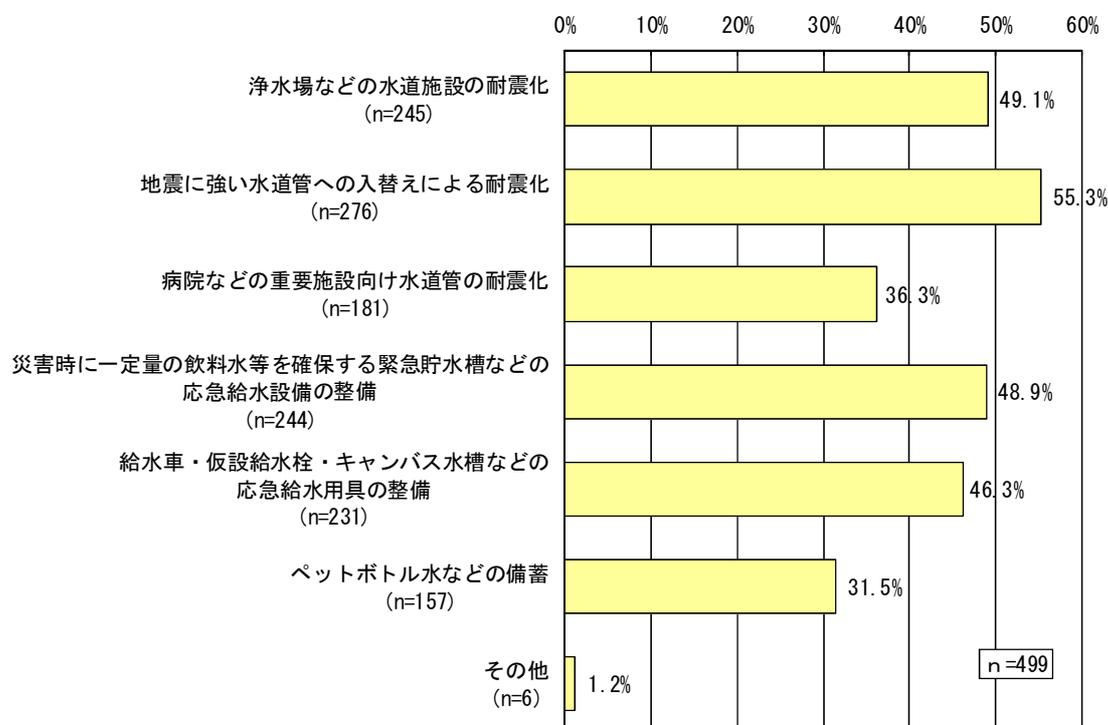


水道メーター口径別で見ると、すべての口径で「ペットボトル」が圧倒的なのは変わらないが、口径が大きくなるほど、「ペットボトル」に代わる「その他」の備蓄方法を考えていることが分かる。



直近の水道使用水量別で見ると、使用した水道水の量による備蓄方法の変化はあまりみられないが、他の水道使用水量に比較して、10m³以下と11~20m³で「ポリタンク」が40%を超えているのは特徴的である。

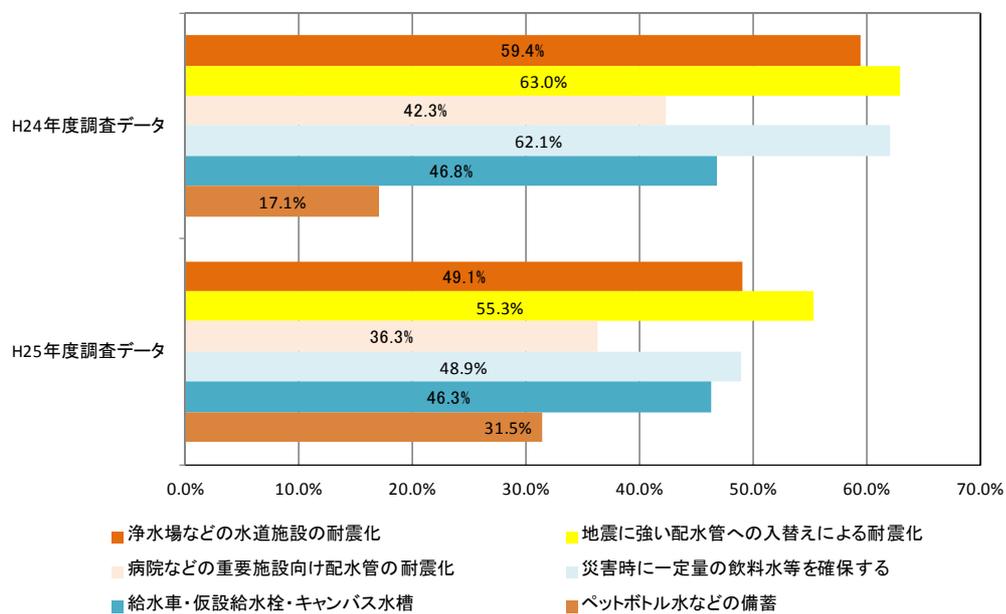
問6 優先的に実施すべき取組み



災害対策として、優先的に実施したほうがよいと思う取組みとしては、「地震に強い水道管への入替えによる耐震化」が55.3%で最も多く、次いで、「浄水場などの水道施設の耐震化」が49.1%、「災害時に一定量の飲料水等を確保する緊急貯水槽などの応急給水設備の整備」が48.9%、「給水車・仮設給水栓・キャンパス水槽などの応急給水用具の整備」が46.3%で、ほぼ同率で高くなっている。また、「病院などの重要施設向け水道管の耐震化」も36.3%、「ペットボトル水などの備蓄」も31.5%と高い要望がある。全体的にどれも差は少ない。

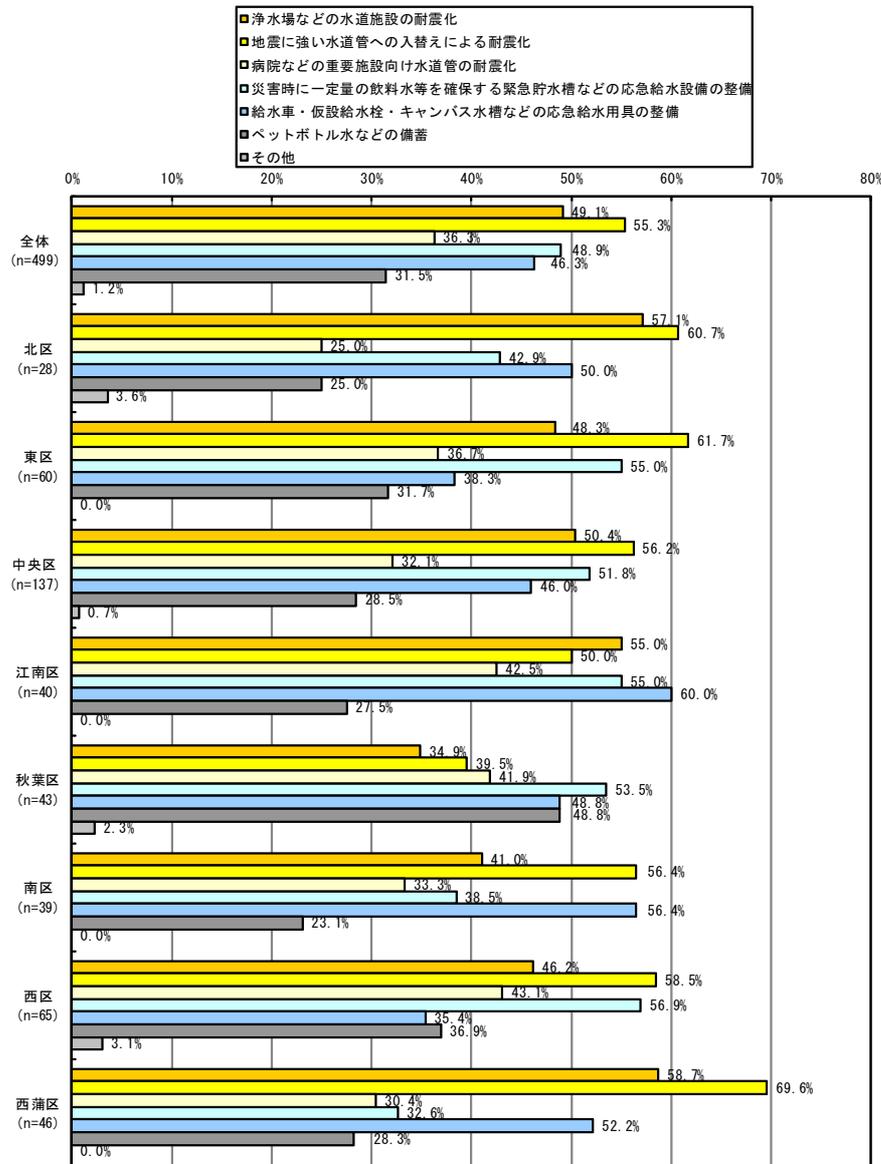
その他の回答
休業以外考えられませんが…。
飲用に浄水できる器具などの開発に期待します
湧水地の管理、及び通知
全ての水道管を無料で交換してほしい
他市、他県との協力協定→災害対策と称して多額の税金を投入しないように
ポリタンク移動しやすいように

(H24年度との経年比較) ※ただし、H24年度の調査対象は一般家庭

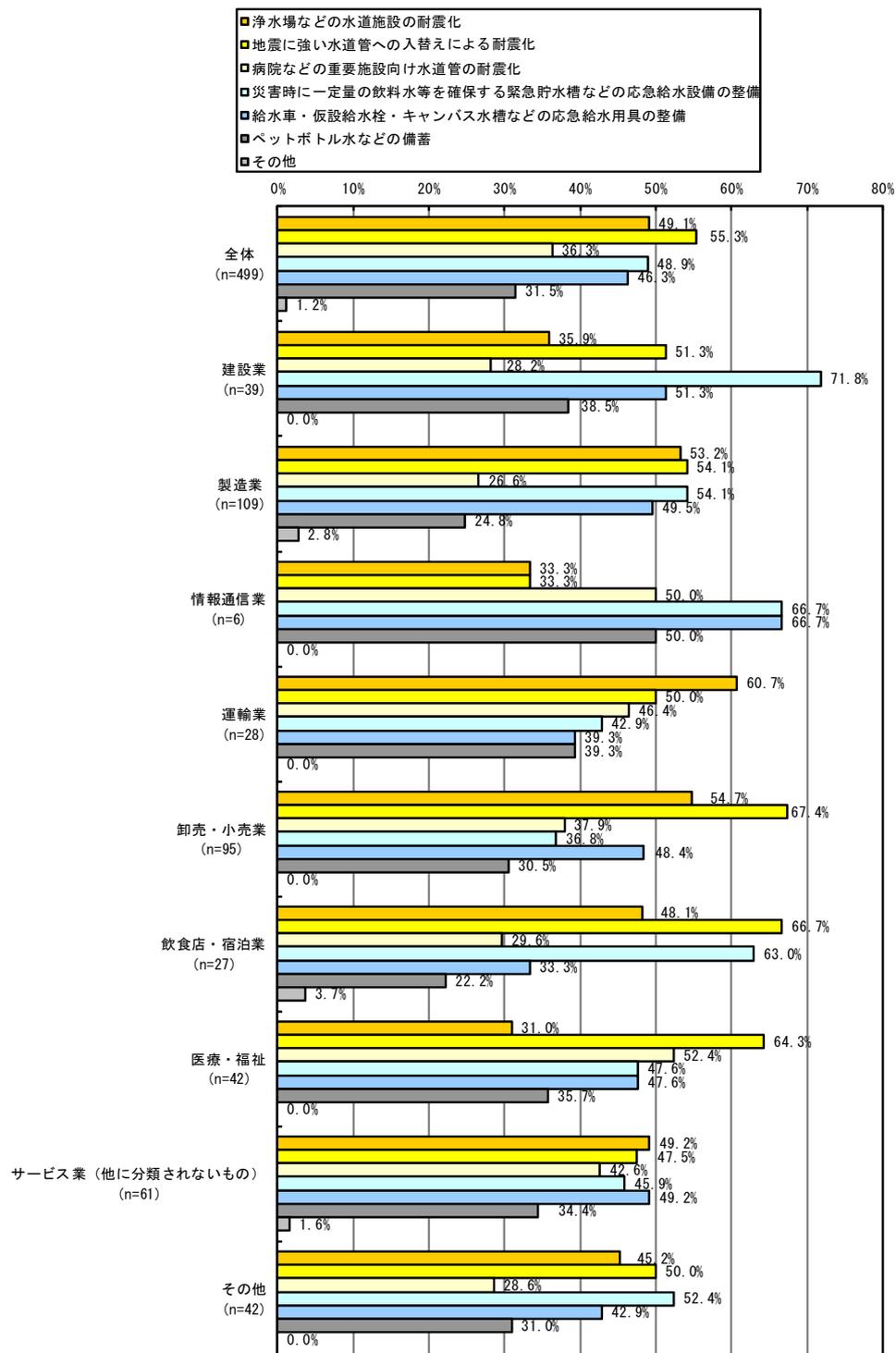


※平成24年度は「その他」の選択肢がないため、比較の対象外としました。

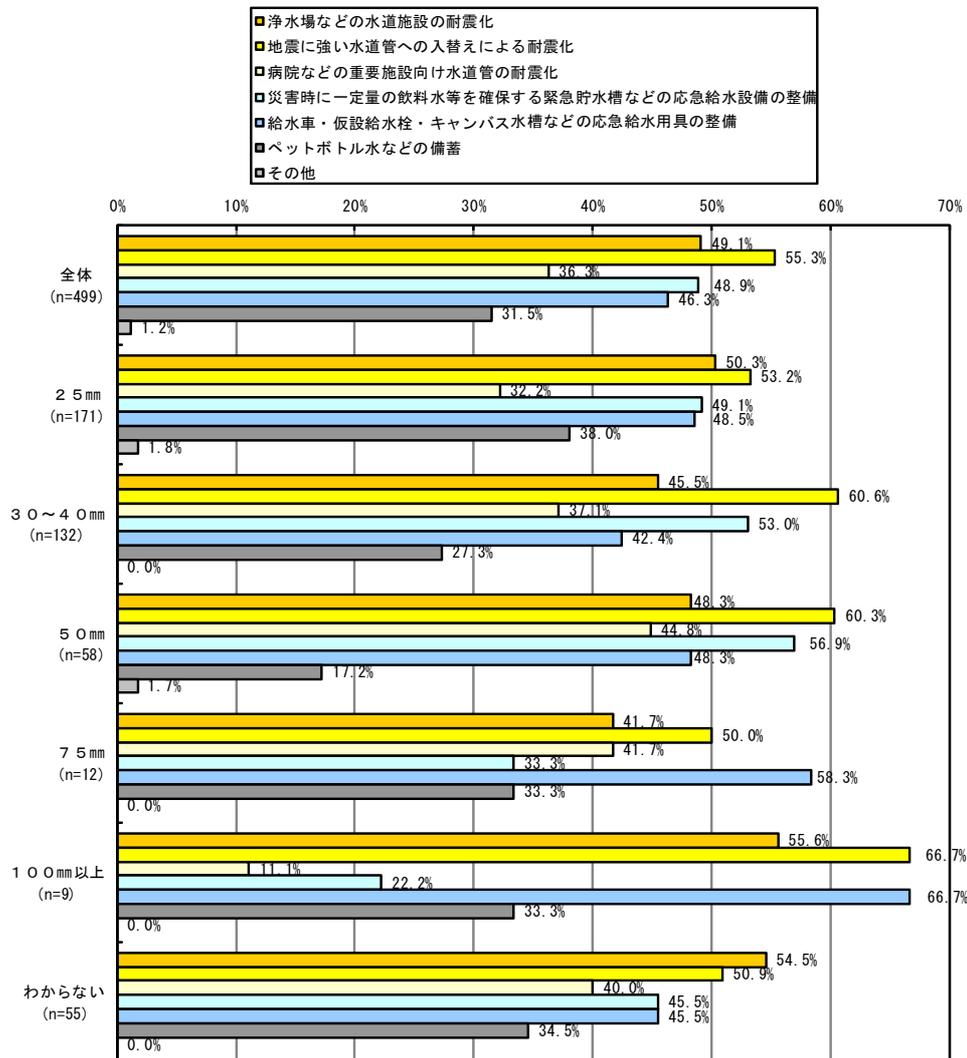
全体的に割合は、変わらないが「ペットボトル水などの備蓄」に関しては、増加しているようである。



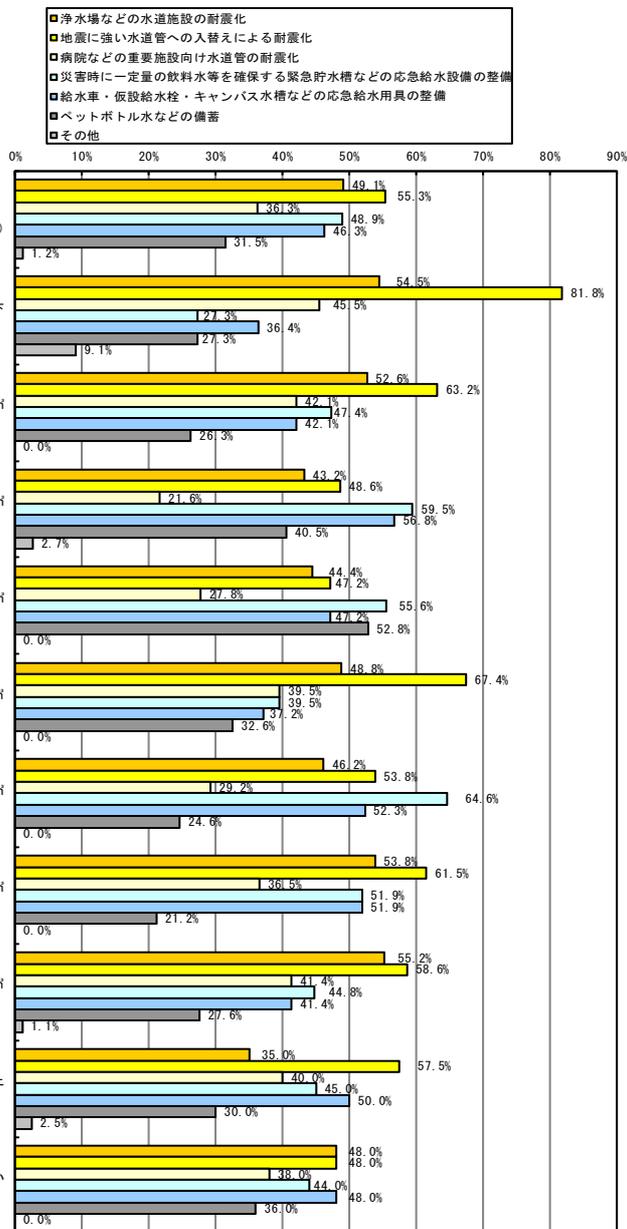
所在区別でみると、優先的に実施したほうがよいと思う取組みについては、すべての区で全体と同じように、各要望事項がそれぞれ高い水準で要望されていることが分かった。



業種別にみても、優先的に実施したほうがよいと思う取組みについては、すべての業種で全体と同じように、各要望事項がそれぞれ高い水準で要望されていることが分かった。



水道メーター口径別でも、すべての口径で、優先的に実施したほうがよいと思う取組みについては、全体と同じように、各要望事項がそれぞれ高い水準で要望されていることが分かった。



直近の水道使用水量別でみると、10 m<sup>3</sup>以下で、「地震に強い水道管への入替えによる耐震化」への要望が81.8%と圧倒的に強い点に特徴があるが、他は、使用した水道水の量による大きな差はみられず、優先的に実施したほうがよいと思う取組みについては、全体と同じように、各要望事項がそれぞれ高い水準で要望されていることが分かった。

### 3 広報・PR

(すべての事業所にお聞きします。)

問7 水道局が行っている広報の媒体の中で、あなたの事業所が利用しているものは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- |               |          |                    |
|---------------|----------|--------------------|
| 1 広報紙「水先案内」   | 2 市報にいがた | 3 ホームページ           |
| 4 パンフレット      | 5 新聞での広報 | 6 イベント(水道週間等のイベント) |
| 7 利用しているものはない |          |                    |

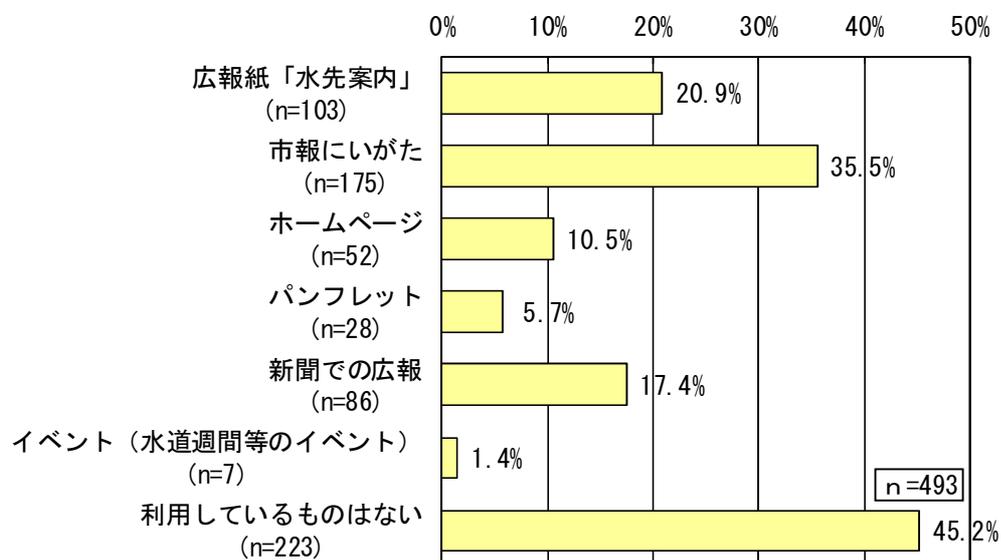
問8 水道局が広報活動を行っていく上で、今後力を入れてほしい媒体は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- |             |                     |           |
|-------------|---------------------|-----------|
| 1 広報紙「水先案内」 | 2 市報にいがた            | 3 ホームページ  |
| 4 携帯版ホームページ | 5 パンフレット            | 6 新聞での広報  |
| 7 雑誌での広報    | 8 ラジオでの広報           | 9 テレビでの広報 |
| 10 検針票の裏面   | 11 イベント(水道週間等のイベント) |           |
| 12 その他( )   |                     |           |

問9 あなたの事業所が必要と考える水道局からの情報やお知らせは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1 水道水の水質検査の結果     | 2 断水・漏水などの工事情報       |
| 3 災害対策の取組み        | 4 水道料金や支払いに関する手続きの方法 |
| 5 事業の経営状況         | 6 各種のイベント情報          |
| 7 水道水の節水方法や活用方法など | 8 その他( )             |

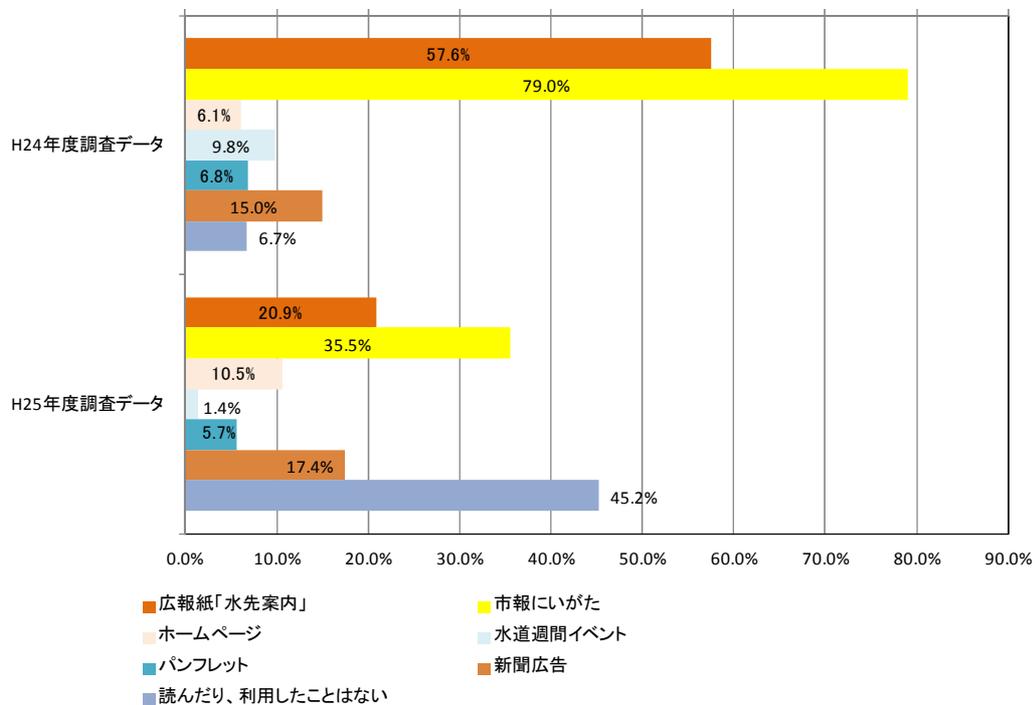
問7 利用している広告媒体



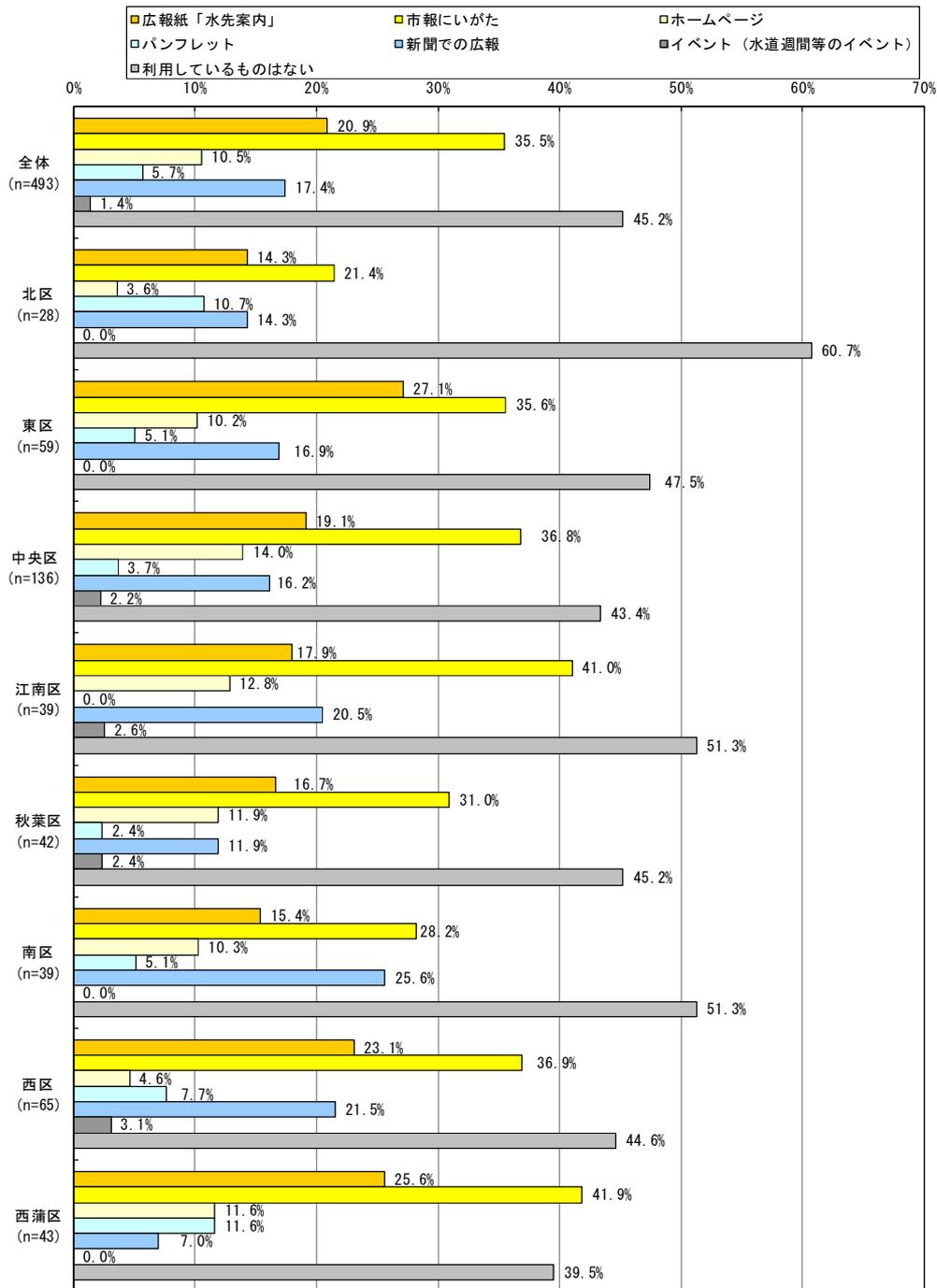
水道局が行っている広報の媒体の中で、事業所に最も利用されている広報媒体は、「市報にいがた」で35.5%を占めている。

次いで、「広報紙「水先案内」」が20.9%と高く、「新聞での広報」も17.4%、「ホームページ」も10.5%と、それなりの利用があるが、「利用しているものはない」が45.2%で大差をつけて1位であることは、より一層の広報活動の必要性が感じられる。

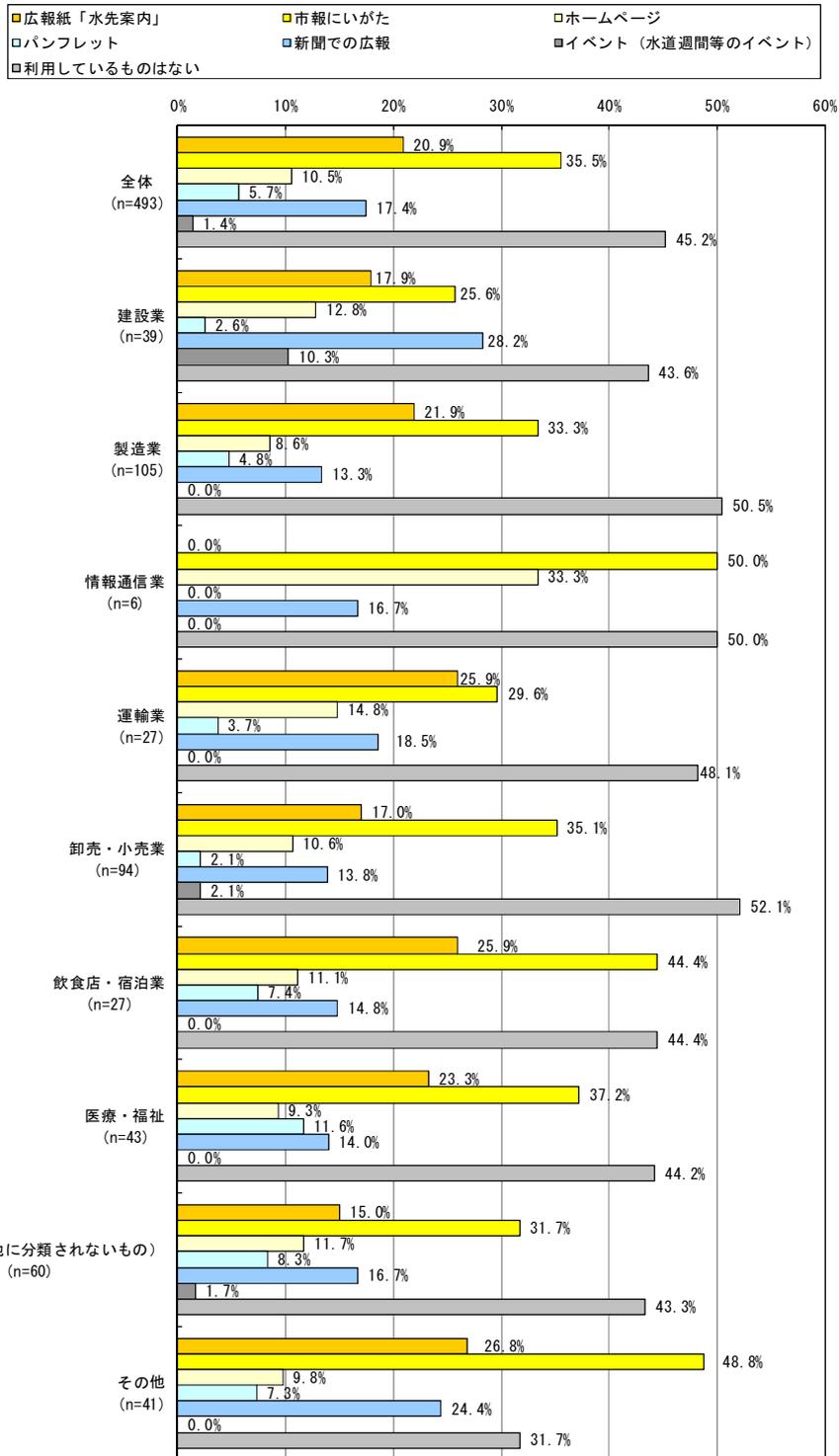
(H24年度との経年比較) ※ただし、H24年度の調査対象は一般家庭



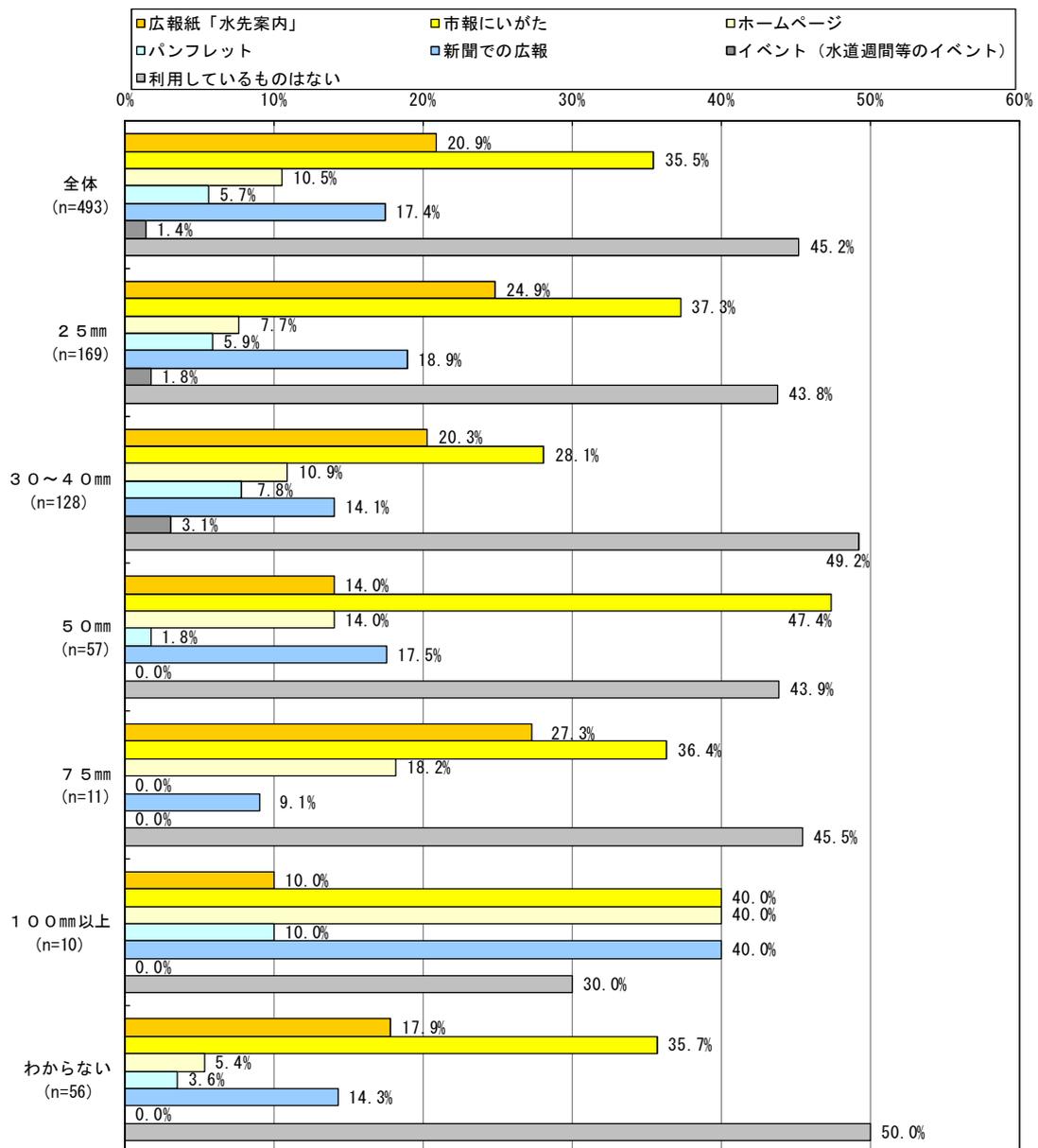
全体的な比率は大きな変化はないが、平成25年度では「読んだり、利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。



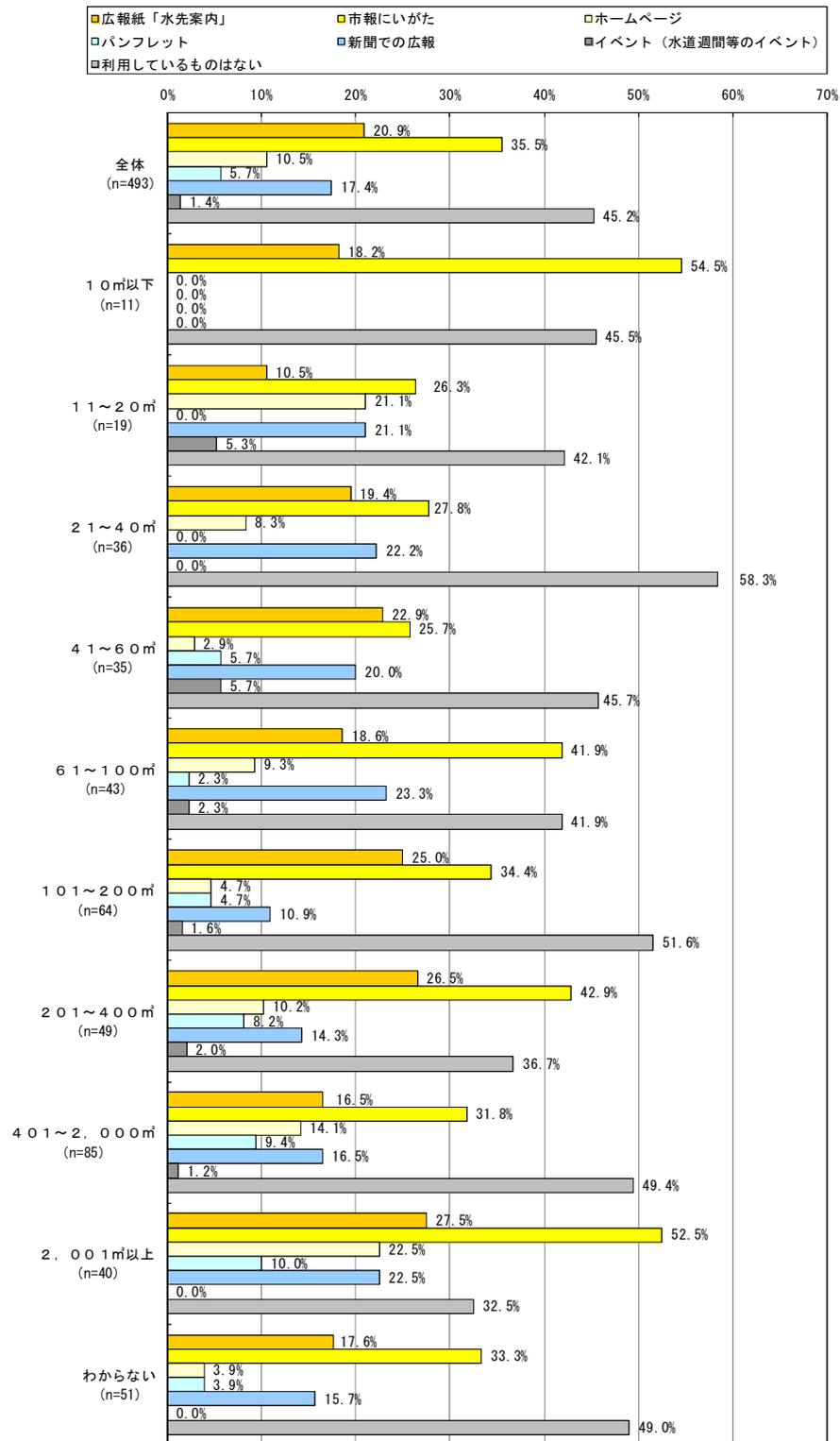
所在区別でみると、北区での各広報媒体の利用率が「パンフレット」を除いて、全体の平均より低く、「利用しているものはない」が60.7%と他の区に比較してかなり多くなっていることが分かった。



業種別にみると、利用している広報媒体にあまり大きな差はないようである。

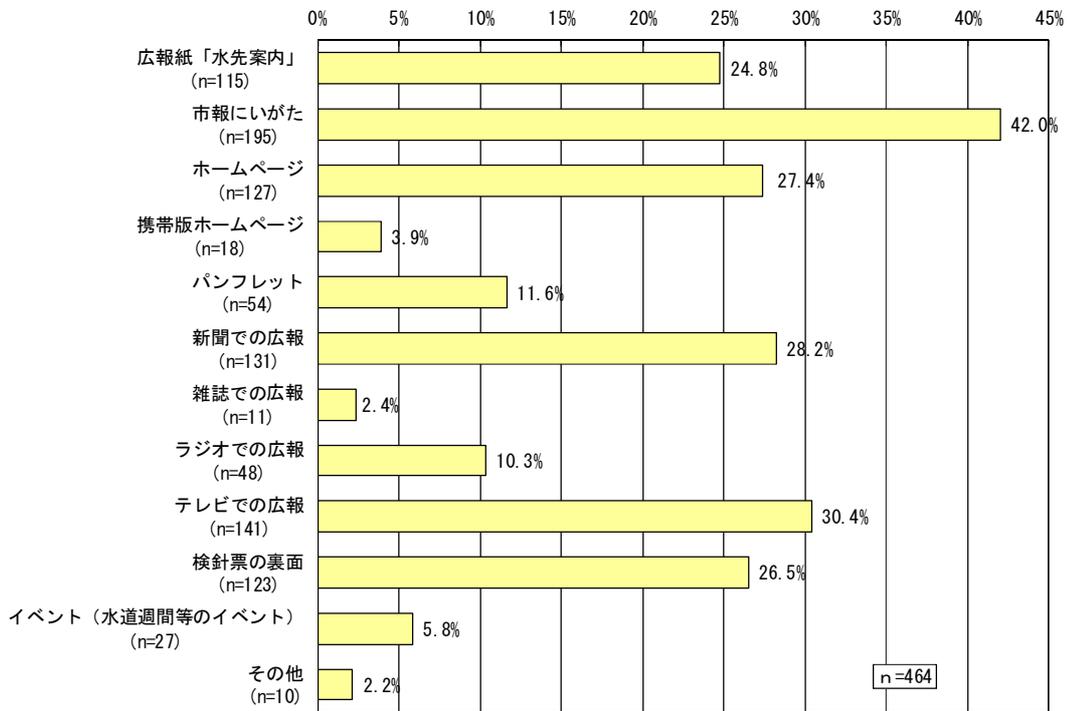


水道メーター口径別でみると、100mm以上の大きな口径での各広報媒体の利用率が、「市報にいがた」「ホームページ」「新聞での広報」がそれぞれ40.0%と高い水準で利用され、その結果、「利用しているものはない」が30.0%と他の口径に比較してかなり低くなっていることが分かった。



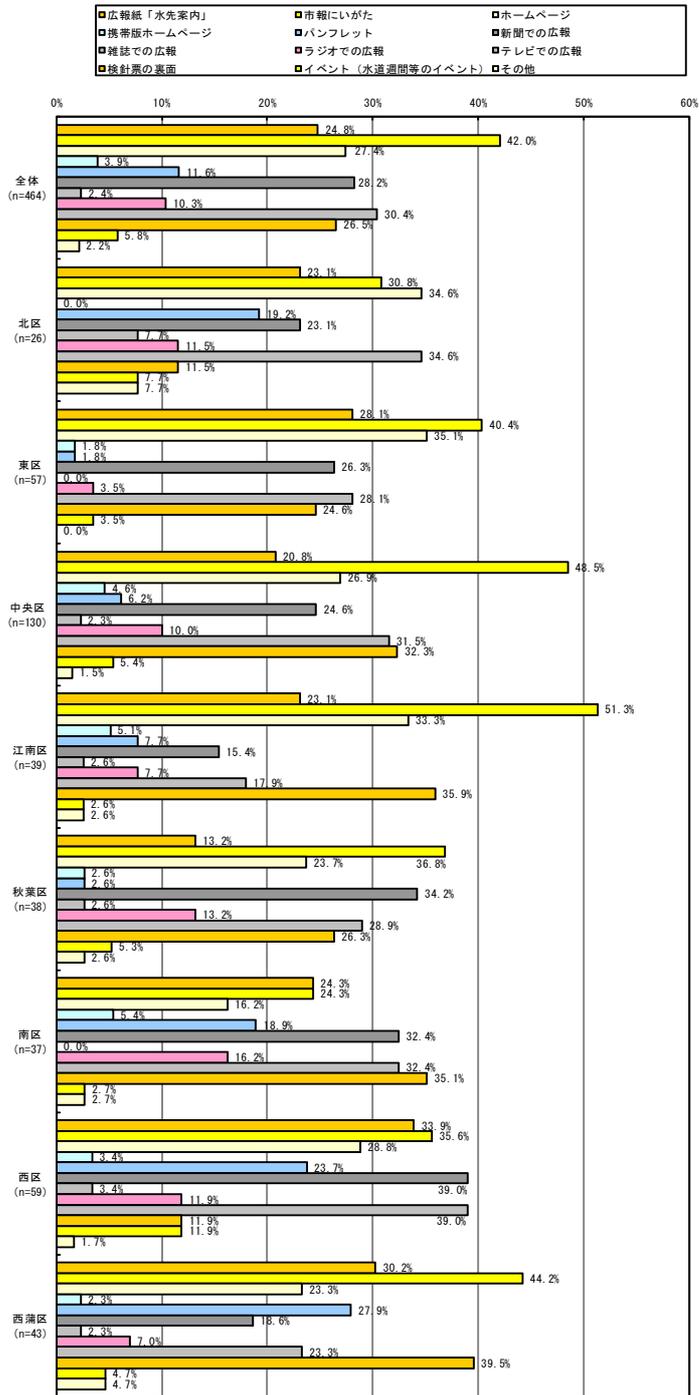
直近の水道使用水量別で見ると、利用している広報媒体にあまり大きな差はないようである。

問8 力を入れてほしい媒体

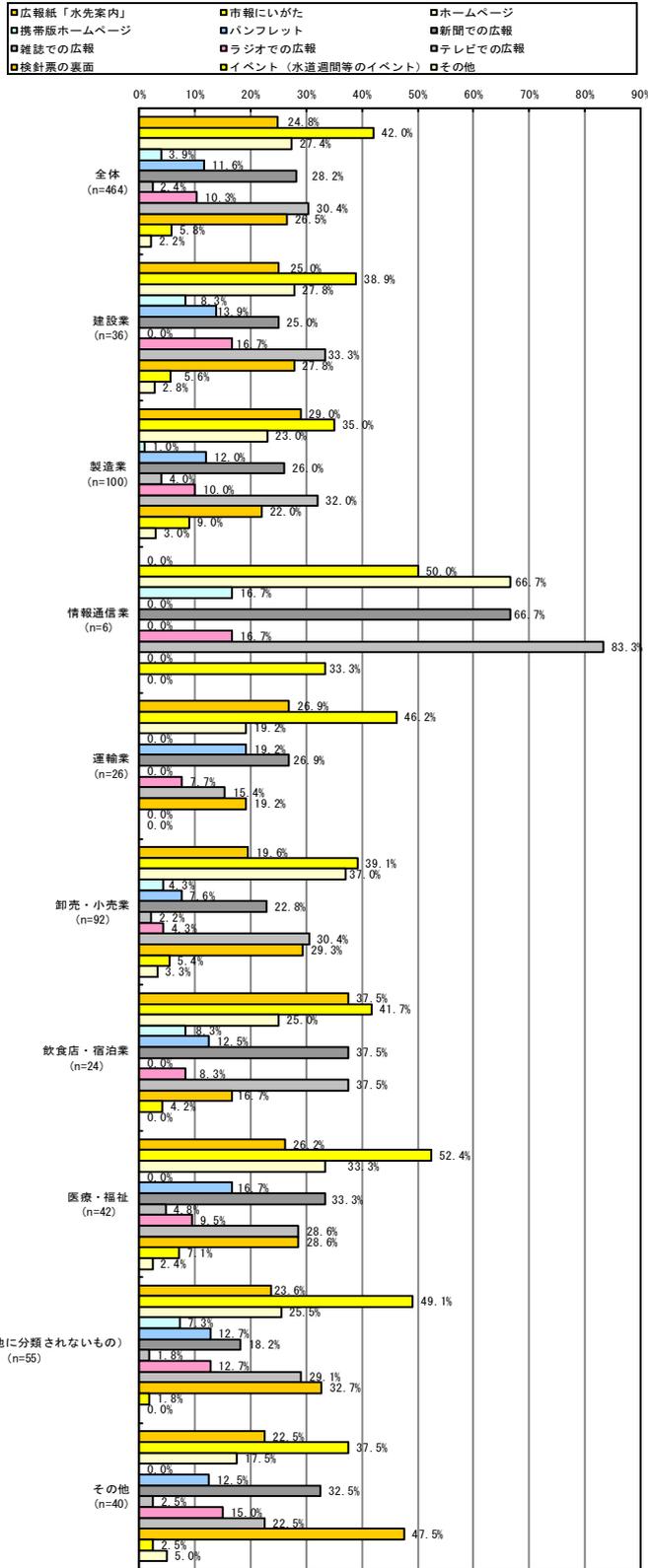


今後力を入れてほしい媒体としては、「市報にいがた」が最も多く、42.0%を占めている。次いで、「テレビでの広報」が30.4%と高く、「新聞での広報」も28.2%、「ホームページ」も27.4%と高いが、「検針票の裏面」26.5%や「広報紙「水先案内」」24.8%の2つの水道局独自の媒体についても、高い要望がある。

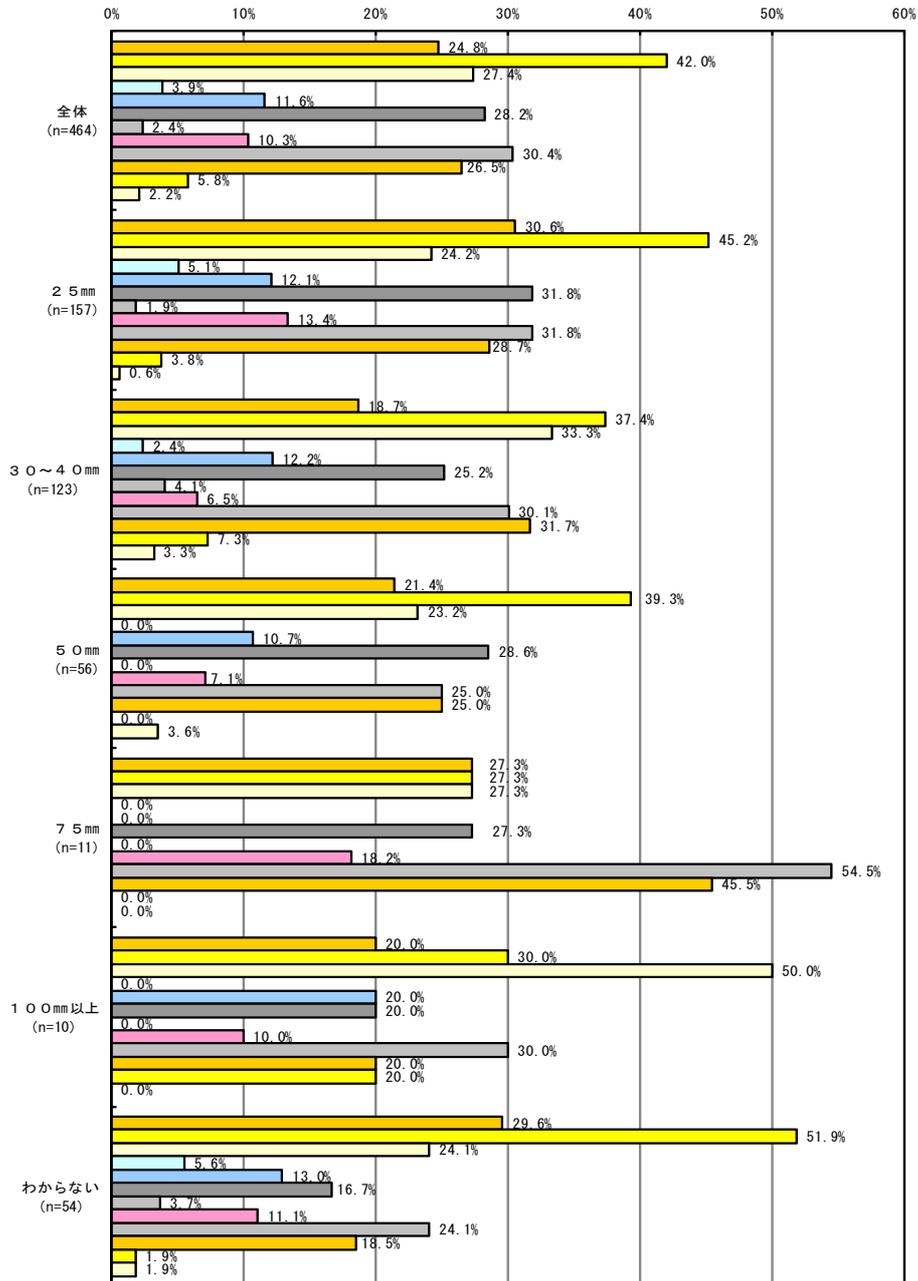
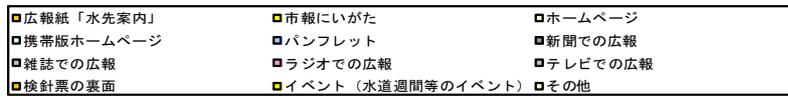
その他の回答
市民が一目みて判るものが良いと思います。
検針票，裏面は必ず目を通します。
特に無い
気かけなくても，目に入ってくる様な方法で！
安全性のエビデンス（根拠）
当然のことなので必要性を感じたことはありません
特にない
企業広告は不要と思う。水質準値の検出結果などが必要。21年より変えていないのも現状です。（水先案内にも表示しているが）
あきは区役所だより



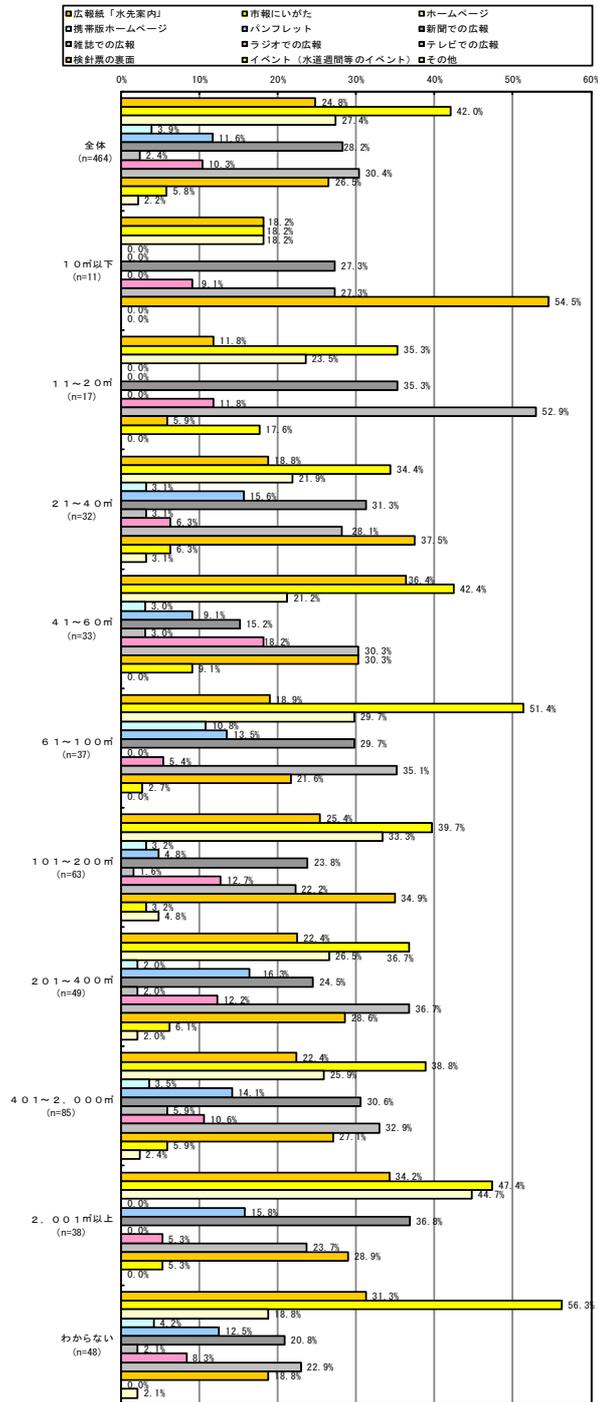
所在区別では、今後力を入れてほしい媒体にあまり大きな差はないように思われる。



業種別にみても、今後力を入れてほしい媒体にあまり大きな差はないように思われる。

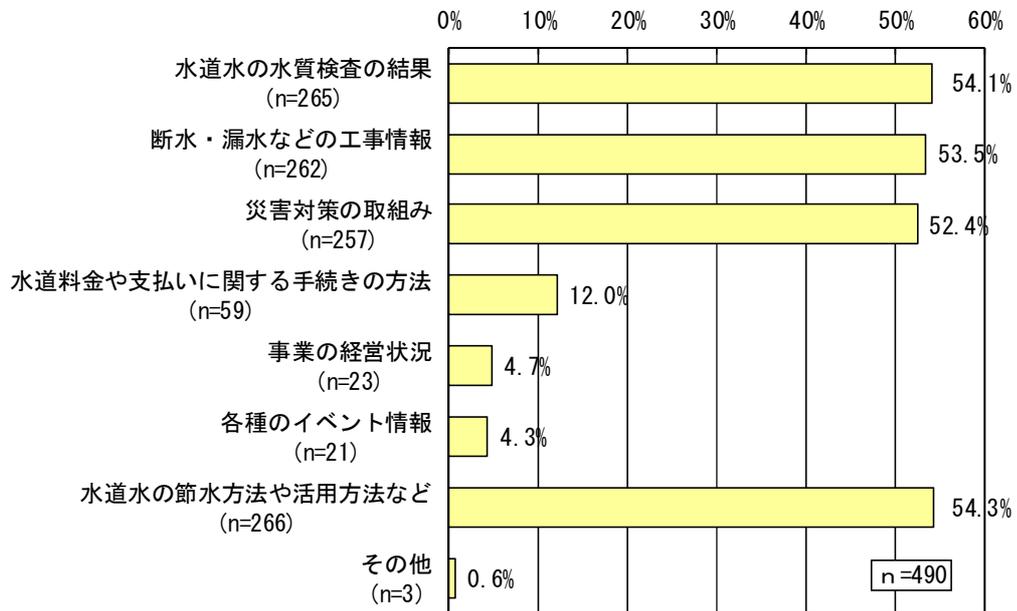


水道メーター口径別でも、今後力を入れてほしい媒体にあまり大きな差はないように思われるが、7.5mmで「テレビでの広報」が54.5%で、10.0mm以上でも「ホームページ」が50.0%で、それぞれ「市報にいがた」を押さえ、1位になっているのは特徴的である。



直近の水道使用水量別でみると、今後力を入れてほしい媒体にあまり大きな差はないようであるが、10m<sup>3</sup>以下で、「検針票の裏面」が54.5%で、要望が一番多く、また11~20m<sup>3</sup>でも「テレビでの広報」が52.9%と一番要望が多かったのは、少ない使用水量に特徴的である。

問9 必要と考える情報やお知らせ

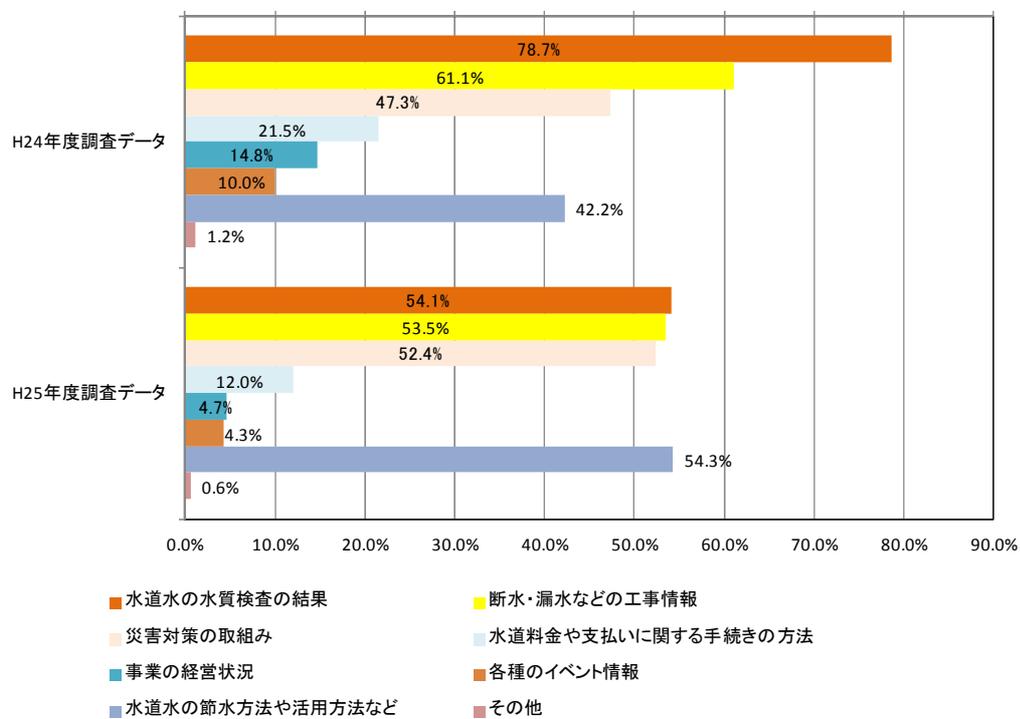


事業所が必要と考える情報やお知らせは、「水道水の節水方法や活用方法など」が54.3%、「水道水の水質検査の結果」54.1%、「断水・漏水などの工事情報」53.5%、「災害対策の取り組み」52.4%が、僅差で一番多く、その他に「水道料金や支払いに関する手続きの方法など」12.0%以外は、10%以下となっている。

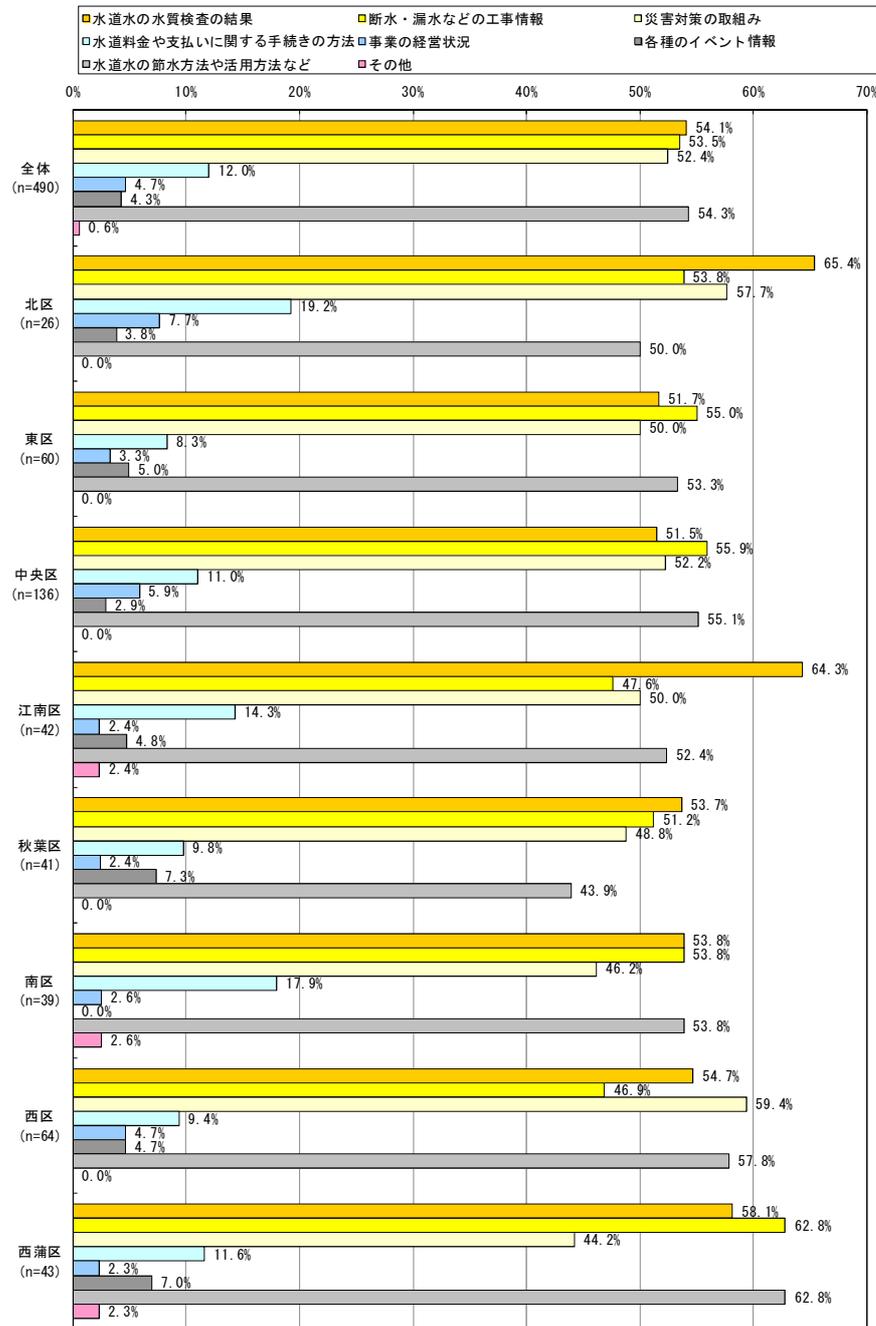
その他の回答

必要性なし

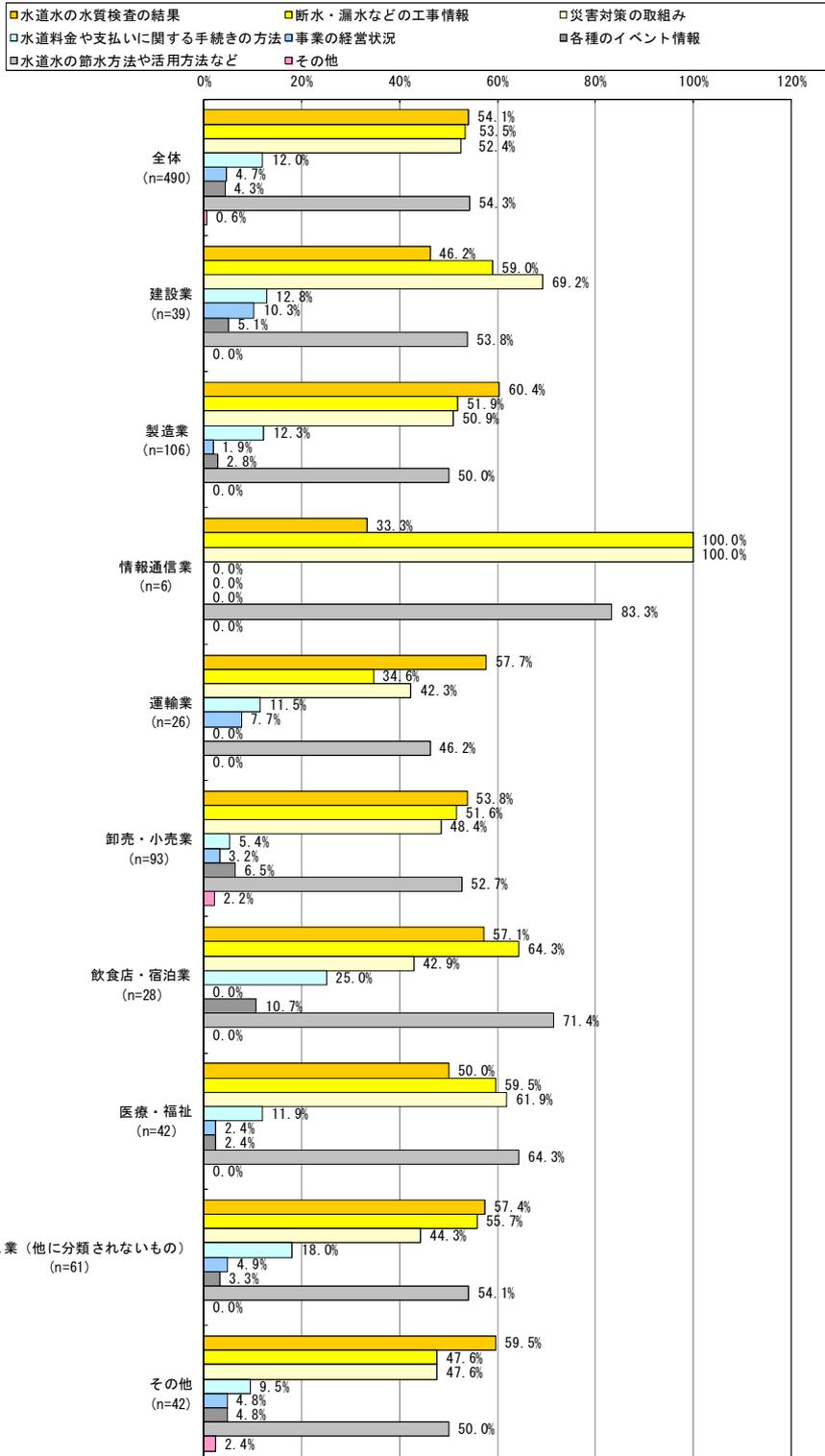
(H24年度との経年比較) ※ただし、H24年度の調査対象は一般家庭



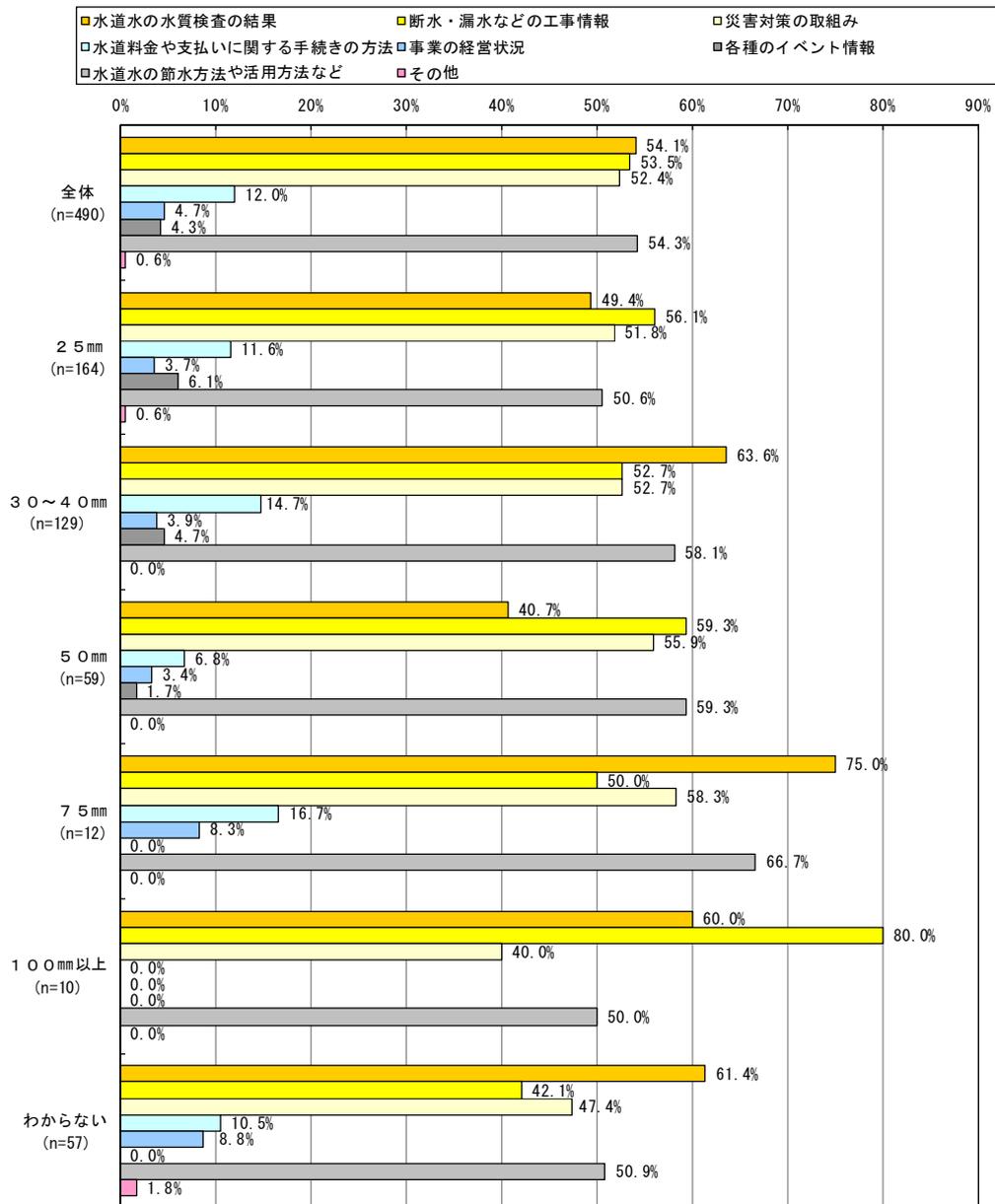
比較的グラフの割合に変化は見られないが「水道水の節水方法や活用法など」は増加傾向にある。



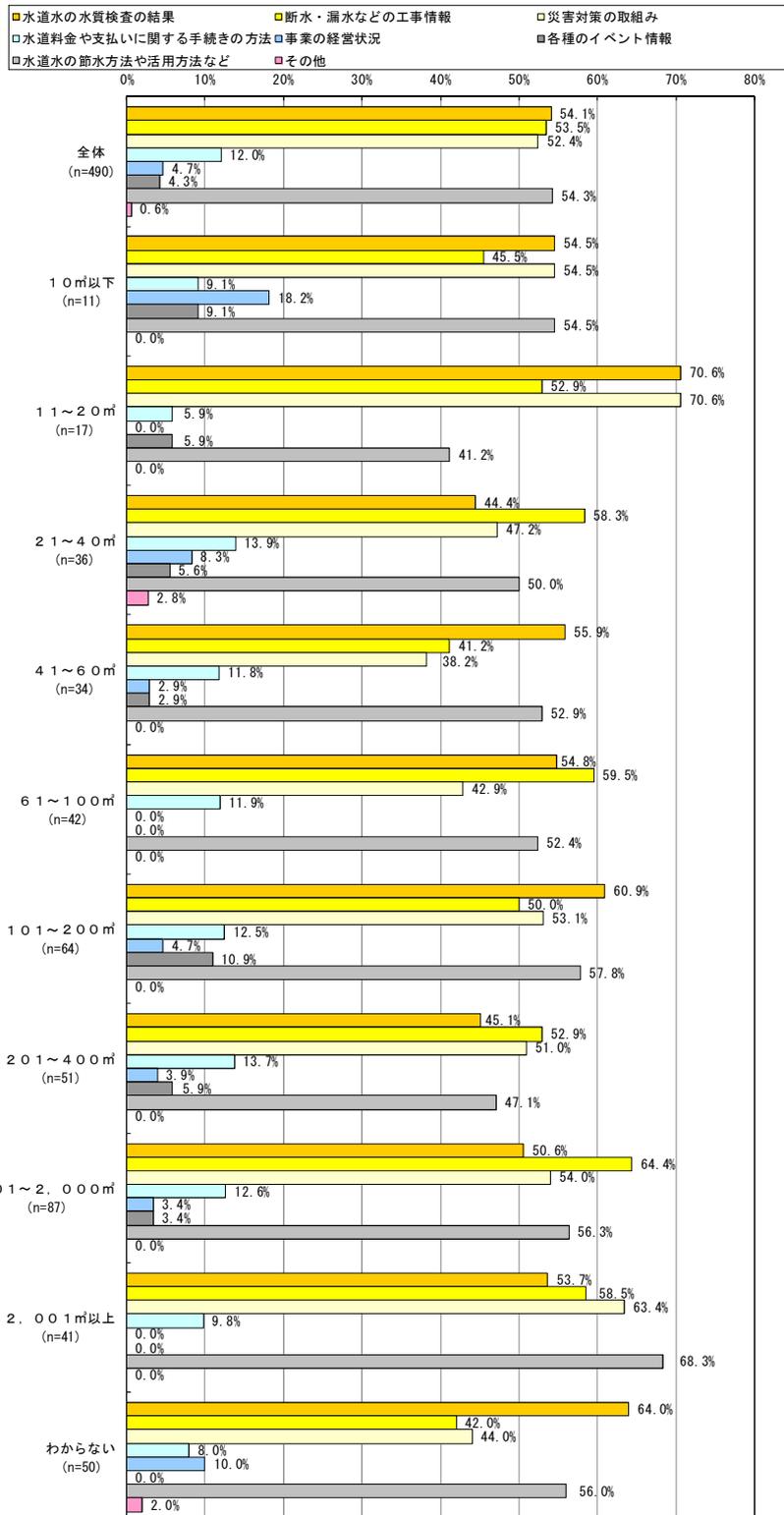
所在区別では、事業所が必要と考える情報やお知らせの傾向は、ほとんど変わらないようである。



業種別でも、事業所が必要と考える情報やお知らせの傾向は、ほとんど変わらないようである。



水道メーター口径別でも、事業所が必要と考える情報やお知らせの傾向は、ほとんど変わらないようである。



直近の水道使用水量別でも、事業所が必要と考える情報やお知らせの傾向は、ほとんど変わらないようである。

## 4 水道事業全般

### 水道事業全般についてお聞きします

問10 新潟市の水道事業について、どのように思いますか。(〇は1つだけ)

1 満足	2 やや満足	3 どちらともいえない	4 やや不満	5 不満
------	--------	-------------	--------	------

(問10で「1 満足」または「2 やや満足」と回答された事業所にお聞きします。)

[問10-1]新潟市の水道事業について満足している点は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1 水道水の安全性	2 水道水のおいしさ
3 災害時等の応急給水体制の整備	4 老朽化した水道管の更新・耐震化
5 浄水場などの水道施設の耐震化	6 断水のない安定した給水
7 お客さまへの対応	8 効率的な経営への取組み
9 水道料金の設定	10 道路漏水などへの緊急対応
11 わかりやすい広報への取組み	12 環境に配慮した事業運営
13 その他 ( )	

(問10で「4 やや不満」または「5 不満」と回答された事業所にお聞きします。)

[問10-2]新潟市の水道事業について不満な点は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1 水道水の安全性	2 水道水のおいしさ
3 災害時等の応急給水体制の整備	4 老朽化した水道管の更新・耐震化
5 浄水場などの水道施設の耐震化	6 断水のない安定した給水
7 お客さまへの対応	8 効率的な経営への取組み
9 水道料金の設定	10 道路漏水などへの緊急対応
11 わかりやすい広報への取組み	12 環境に配慮した事業運営
13 その他 ( )	

(すべての事業所にお聞きします。)

問11 水道局が行っている1～7の取組みについて、優先的に実施すべきと思う取組みはどれですか。次の中から優先的に実施した方がよいと思う順に3つまで選び(1つまたは2つでもよいです)、下記の回答欄に番号(1～7)をご記入ください。(3つまで選択)

1 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み
2 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み
3 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化
4 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み
5 水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上
6 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設設備
7 上記以外の取組み ( )

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

(すべての事業所にお聞きします。)

問 12 水道事業の経営は独立採算制で、水道料金収入でまかなわれています。そこで、水道局が取り組んでいる次のア～カの取組みについて、水道料金との関係をどのようにお考えですか。(各行の1～4に○は1つだけ)

	水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい	現状の料金水準で推進してほしい	水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい	わからない
↓ア～カの取組みごとに○をつけてください。				
ア. 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み	1	2	3	4
イ. 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み	1	2	3	4
ウ. 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化	1	2	3	4
エ. 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道水を供給するための取組み	1	2	3	4
オ. 水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上	1	2	3	4
カ. 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備	1	2	3	4

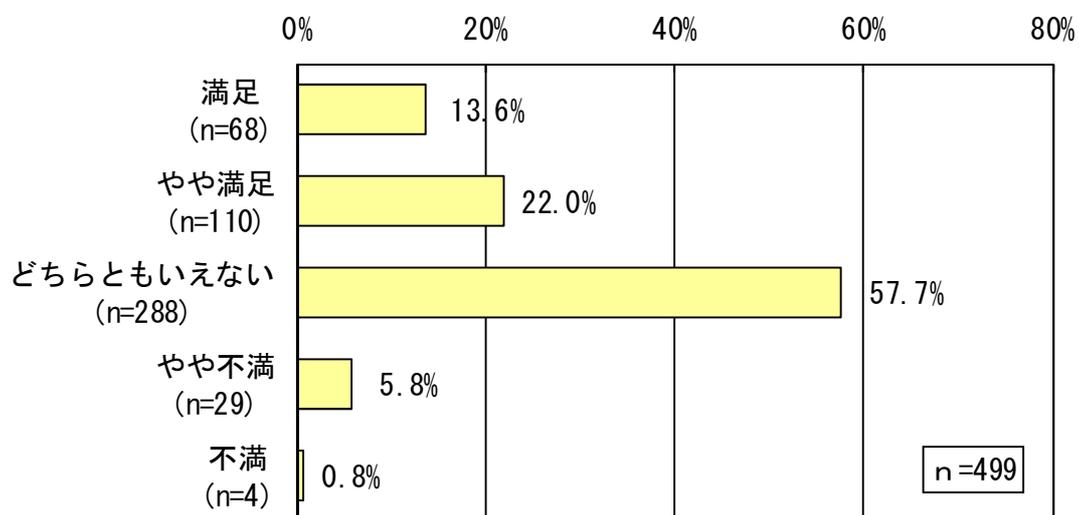
**【水道局に対するご意見について】**

水道局に対してのご意見、ご要望がございましたら記入してください。

(記入欄)

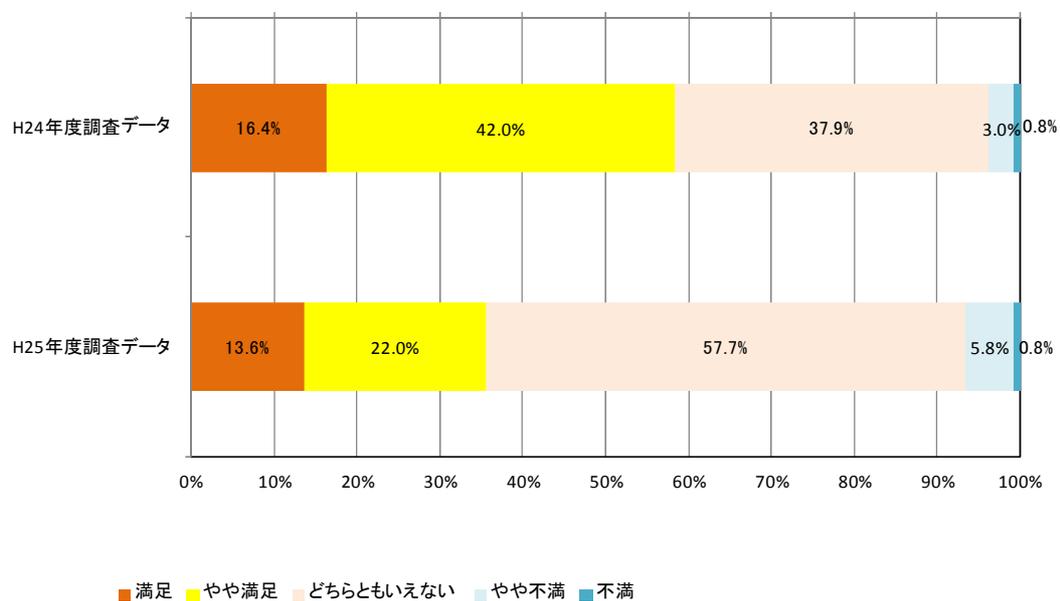
アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。  
 お客さまの貴重なご意見は、今後の水道事業運営の参考にさせていただきます。

問10 水道事業に対する総合的な満足度

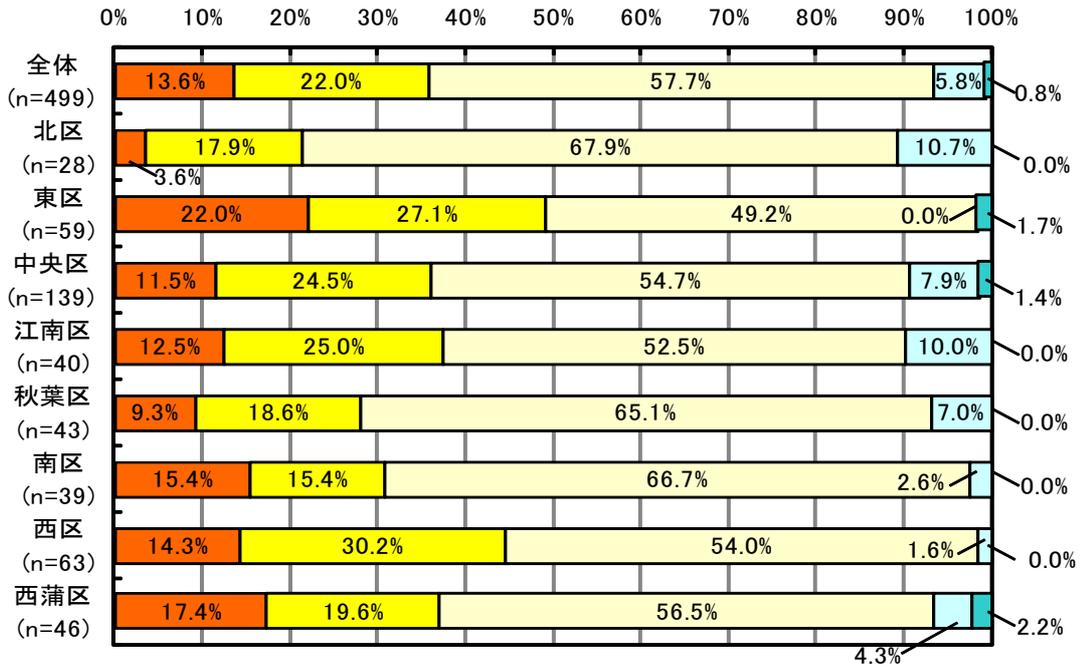
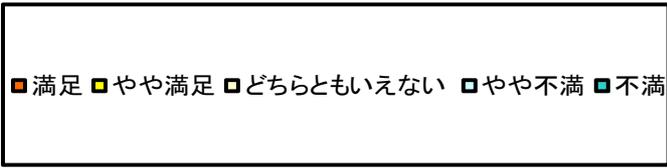


「どちらともいえない」が57.7%と最も高い。「満足」「やや満足」と答えた事業所の割合は、35.6%しかなかった。

(H24年度との経年比較) ※ただし、H24年度の調査対象は一般家庭



「やや満足」が減少し、「どちらともいえない」が増加している。



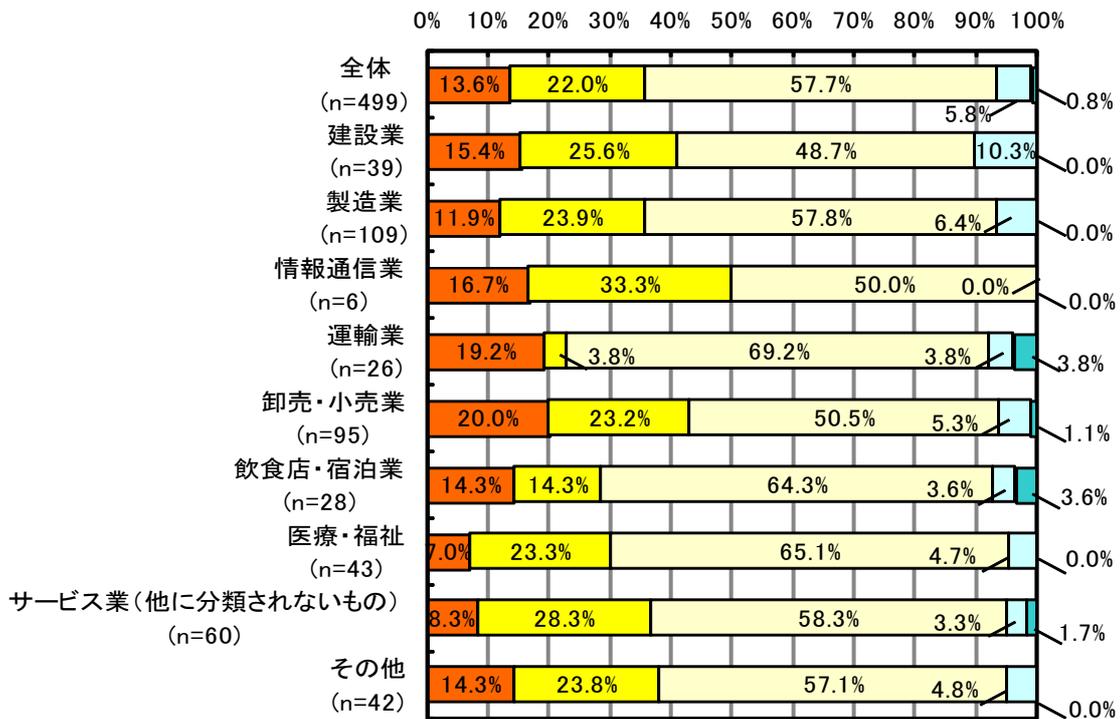
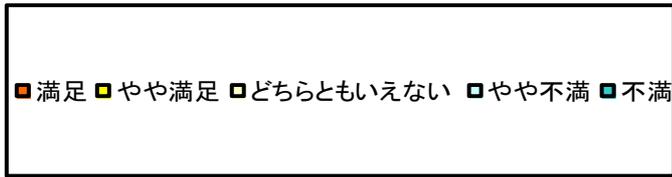
所在区別でみると、北区の「満足」と「やや満足」と答えた事業所を合わせた割合が21.5%と一番低く、他の区では全体並みだが、「西区」と「東区」が40%台とやや高かった。

所在区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせて高い順にみると、

- 1) 東区が49.1%
  - 2) 西区が44.5%
  - 3) 江南区が37.5%
- となっている。

逆に「どちらともいえない」と「やや不満」「不満」を合わせて高い順にみると、

- 1) 北区が78.6%
  - 2) 秋葉区が72.1%
  - 3) 南区が69.3%
- となっている。



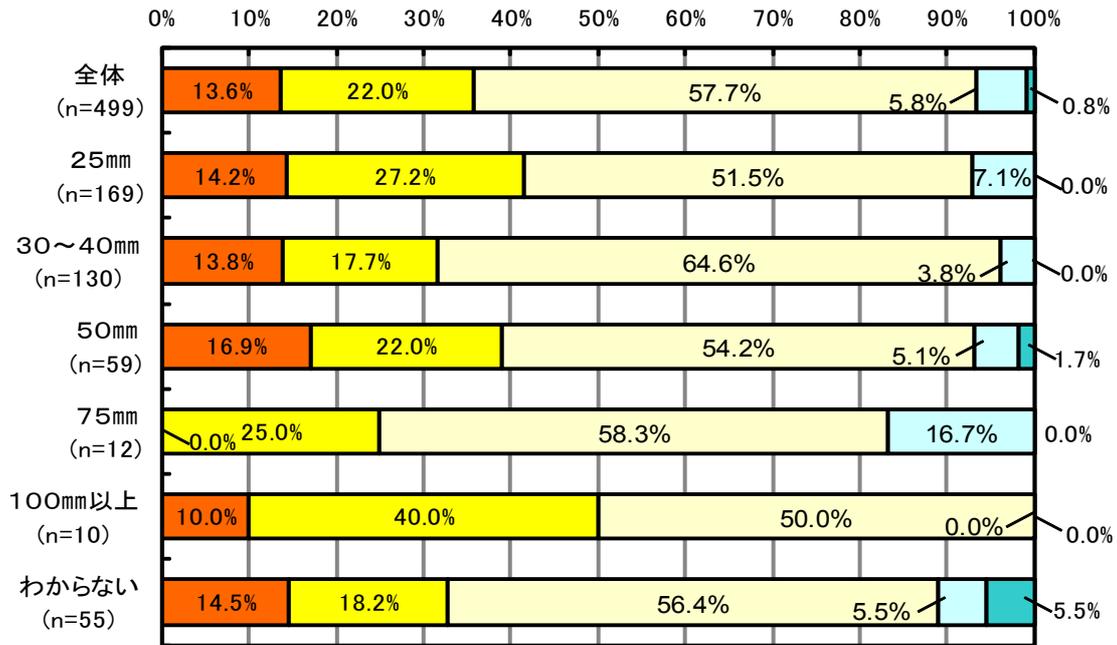
業種別にみると、それほど大きな差はないが、運輸業、飲食店・宿泊業と医療・福祉で『満足』『やや満足』と答えた事業所の合計の割合がやや低い傾向にあった。

業種別に「満足」と「やや満足」を合わせて高い順にみると、

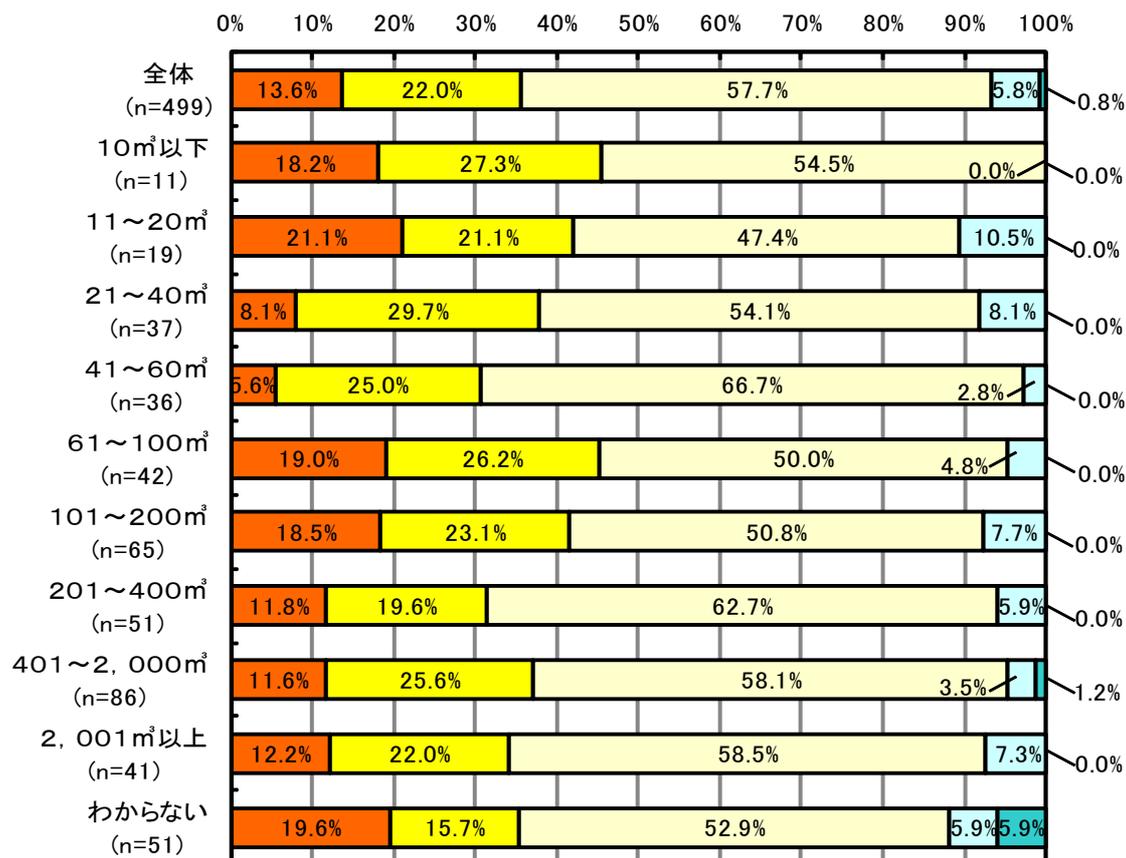
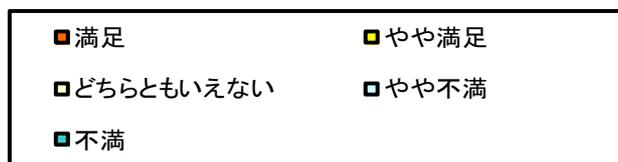
- 1) 卸売・小売業が43.2%
  - 2) 建設業が41.0%
  - 3) その他が38.1%
- となっている。

逆に「どちらともいえない」と「やや不満」「不満」を合わせて高い順にみると、

- 1) 運輸業が76.8%
  - 2) 飲食店、宿泊業が71.5%
  - 3) 医療・福祉が69.8%
- となっている。

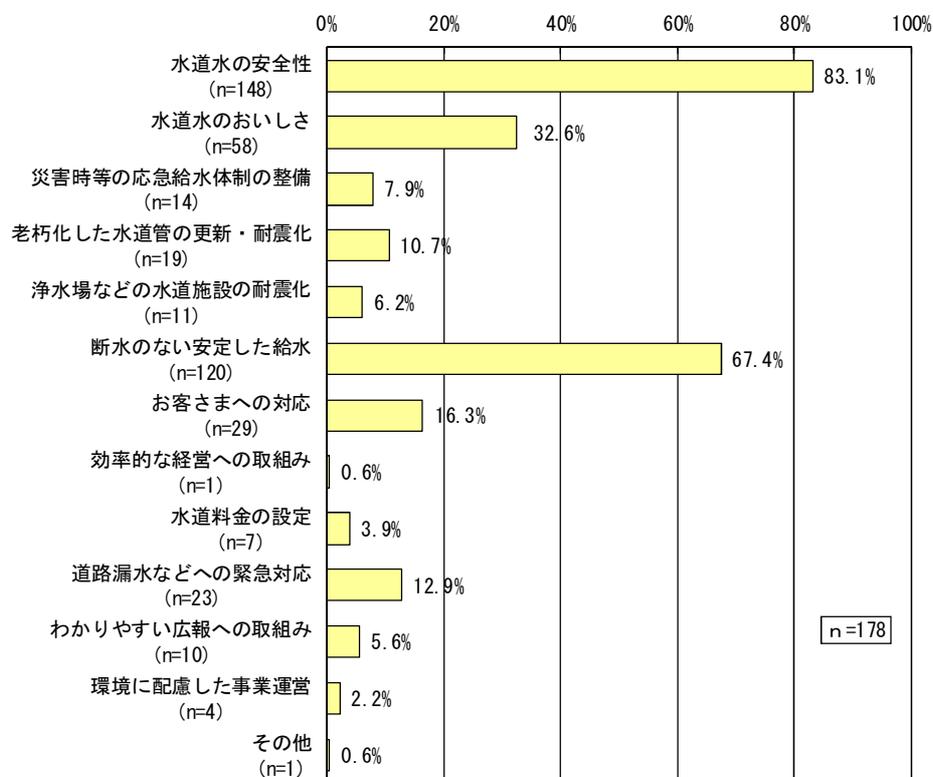


水道メーター口径別でみると、「75mm」で『満足』と回答した事業所が無く、『やや満足』と回答した事業所を含めると25%と一番低い結果となった。一番大きな口径である「100mm以上」は、『満足』と回答した事業所が10%と低いにも関わらず、『やや満足』と回答した事業所40%を含めると50%と一番高い結果となった。



直近の水道使用水量別で見ると、全体の割合と比較して各使用水量別に大きな差異はないが、「41~60m<sup>3</sup>」の『満足』と回答した事業所が5.6%と最も低く、『やや満足』と回答した事業所を含めても30.6%と他の使用水量別と比較してやや低い結果となった。

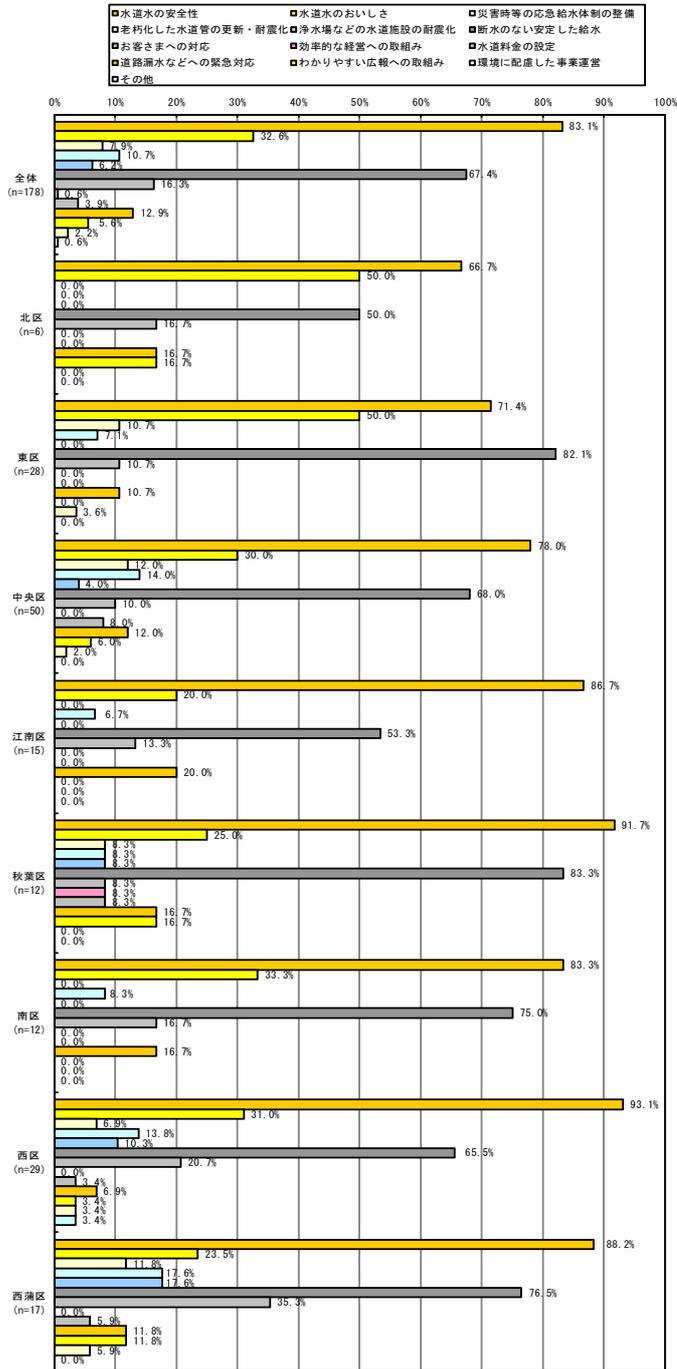
問10-1 満足している点



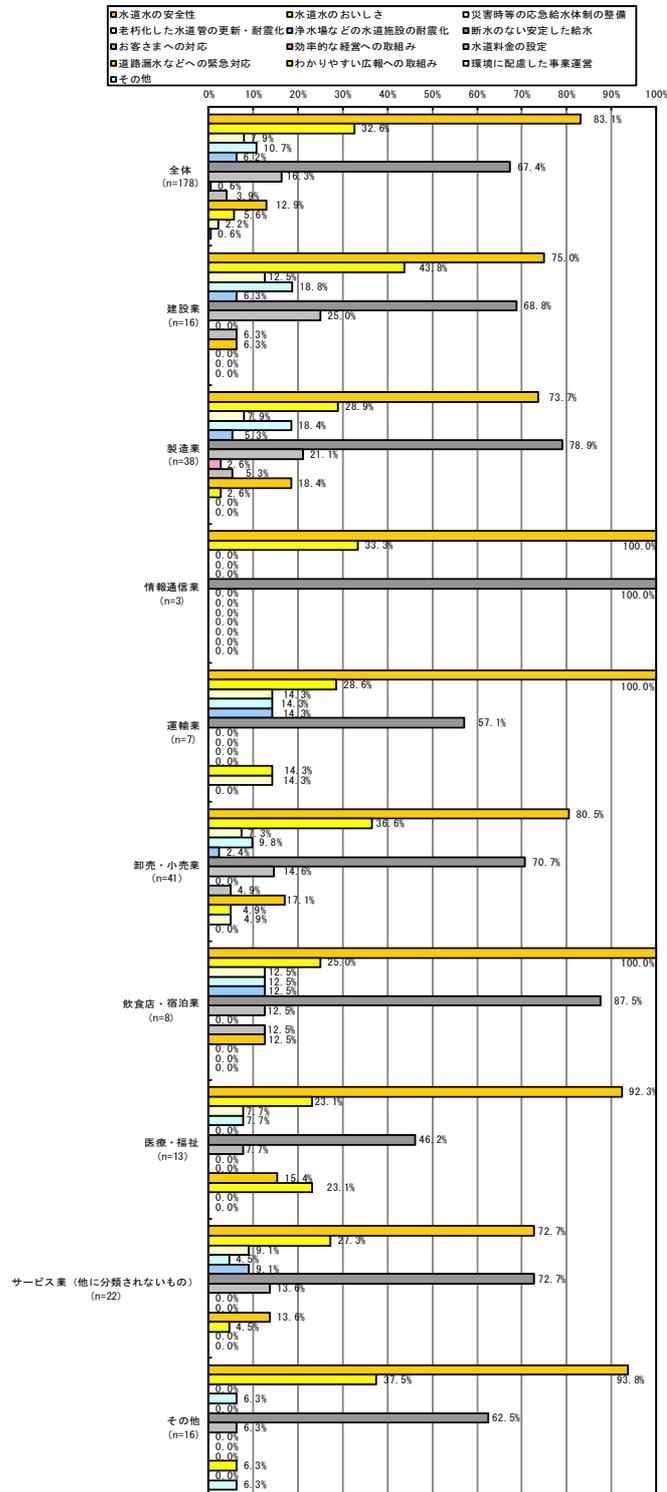
新潟市の水道事業について事業所が満足している点は、「水道水の安全性」が83.1%で圧倒的で、次に「断水のない安定した給水」が67.4%と続き、「水道水のおいしさ」が32.6%、また「お客様への対応」も16.3%と一定の評価を受けた。

その他の回答

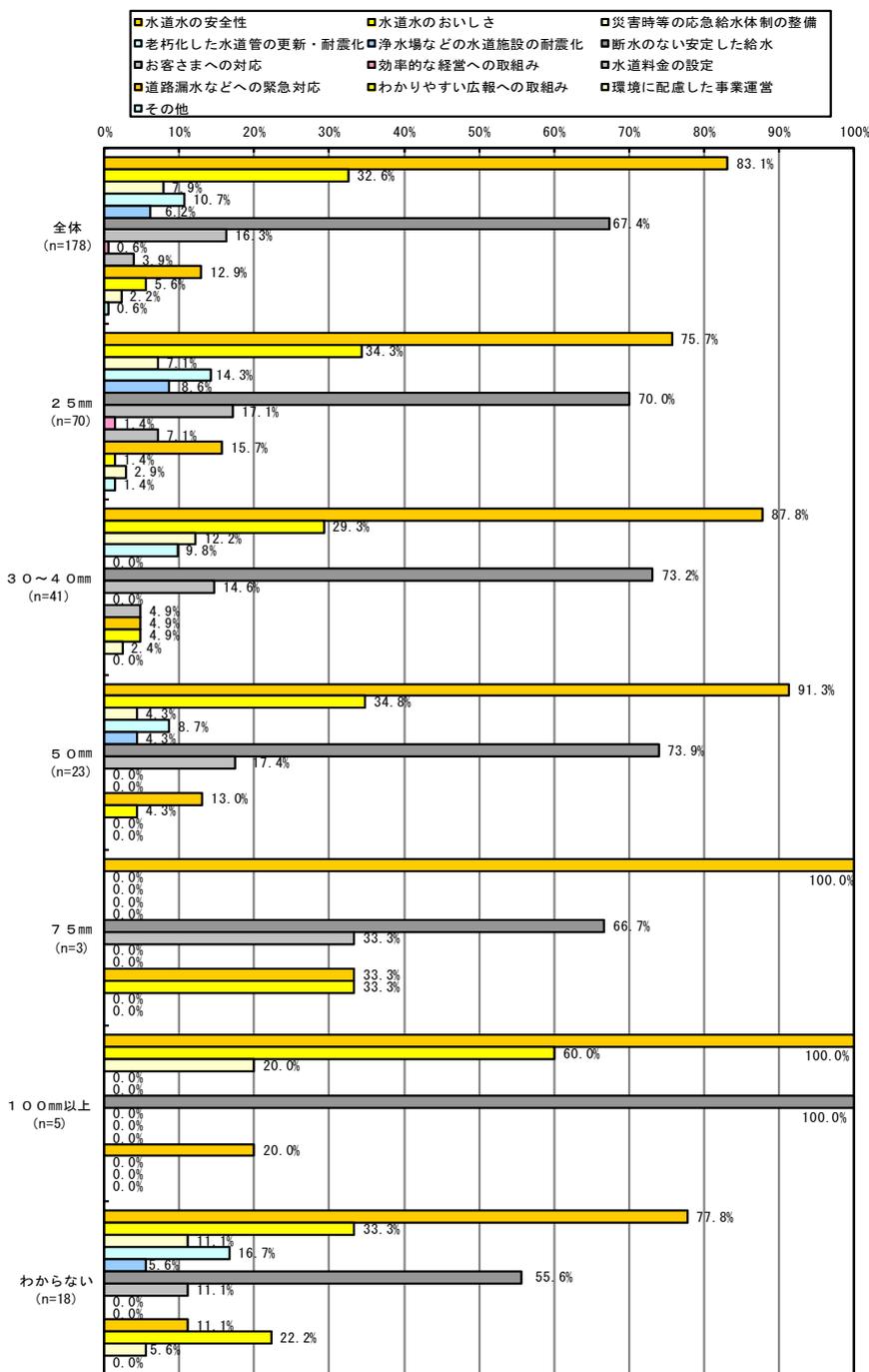
改善に向けた努力（このアンケート）



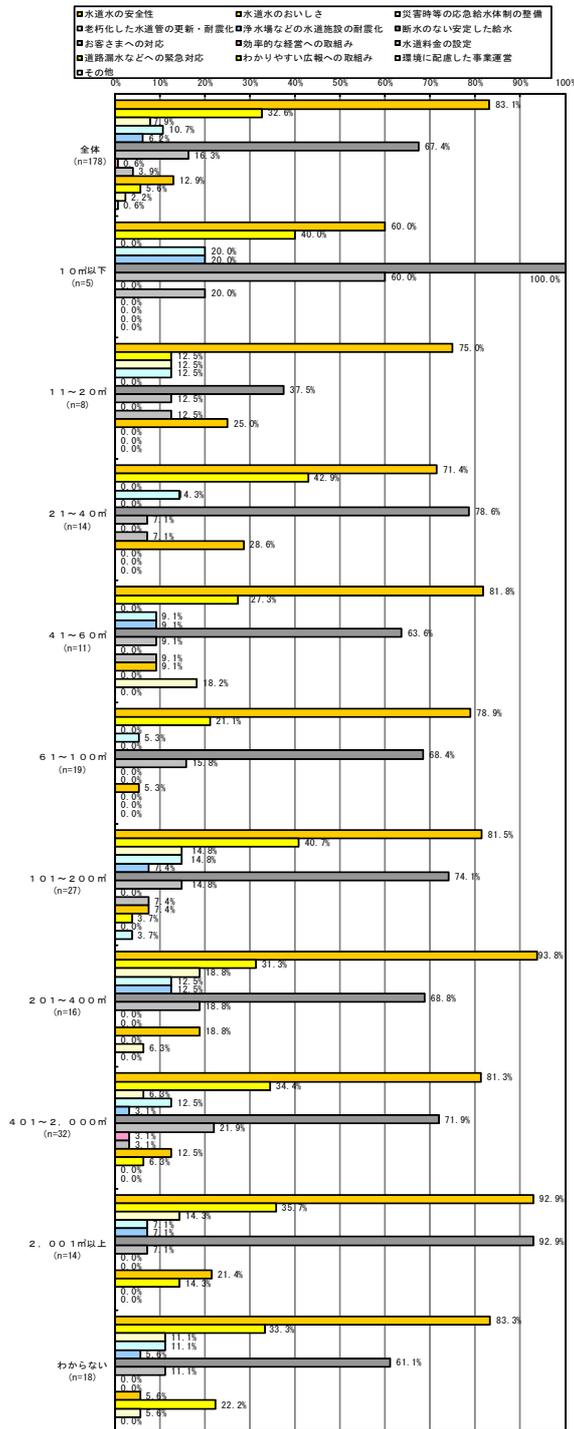
所在区別でも、新潟市の水道事業について事業所が満足している点の傾向はあまり変わらないようである。



業種別にも、新潟市の水道事業について事業所が満足している点の傾向はあまり変わらないようであるが、「水道水の安全性」については、飲食店・宿泊業で100.0%、医療・福祉で92.3%の高い信頼性が得られている。

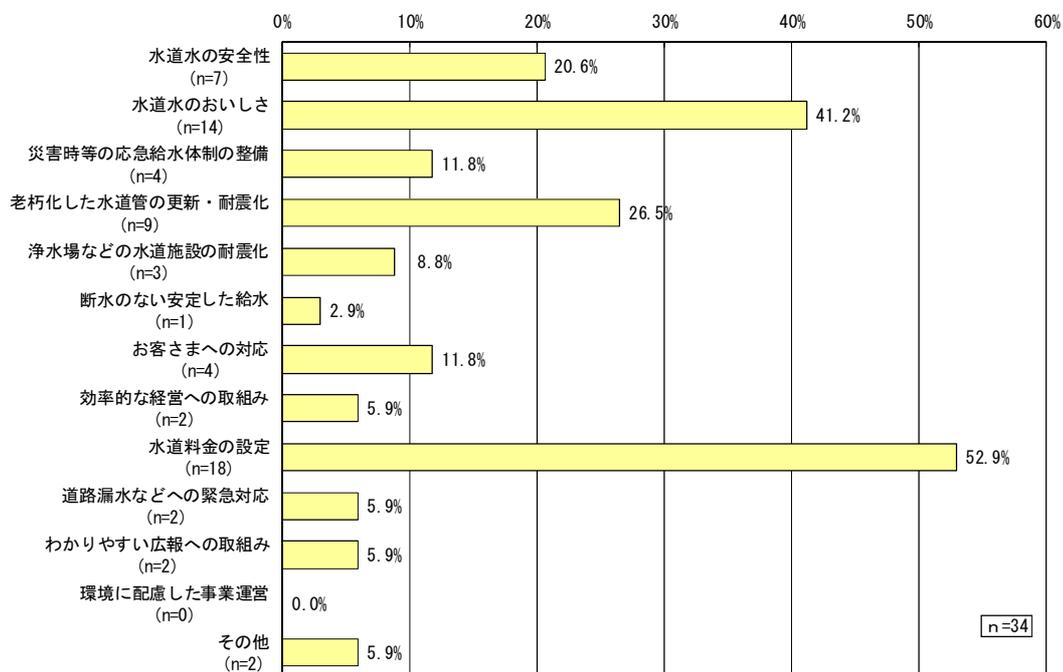


水道メーター口径別でも、新潟市の水道事業について事業所が満足している点の傾向はあまり変わらないようであるが、75mm以上の大きな口径では、「水道水の安全性」が100.0%と圧倒的で、100mm以上では、「水道水の安全性」のみならず「断水のない安定した給水」も100.0%と、高い満足度が得られた。



直近の水道使用水量別でも、新潟市の水道事業について事業所が満足している点の傾向はあまり変わらないようであるが、10m<sup>3</sup>以下の小さな口径では、「断水のない安定した給水」が100.0%と、高い評価が得られた。

## 問10-2 不満な点



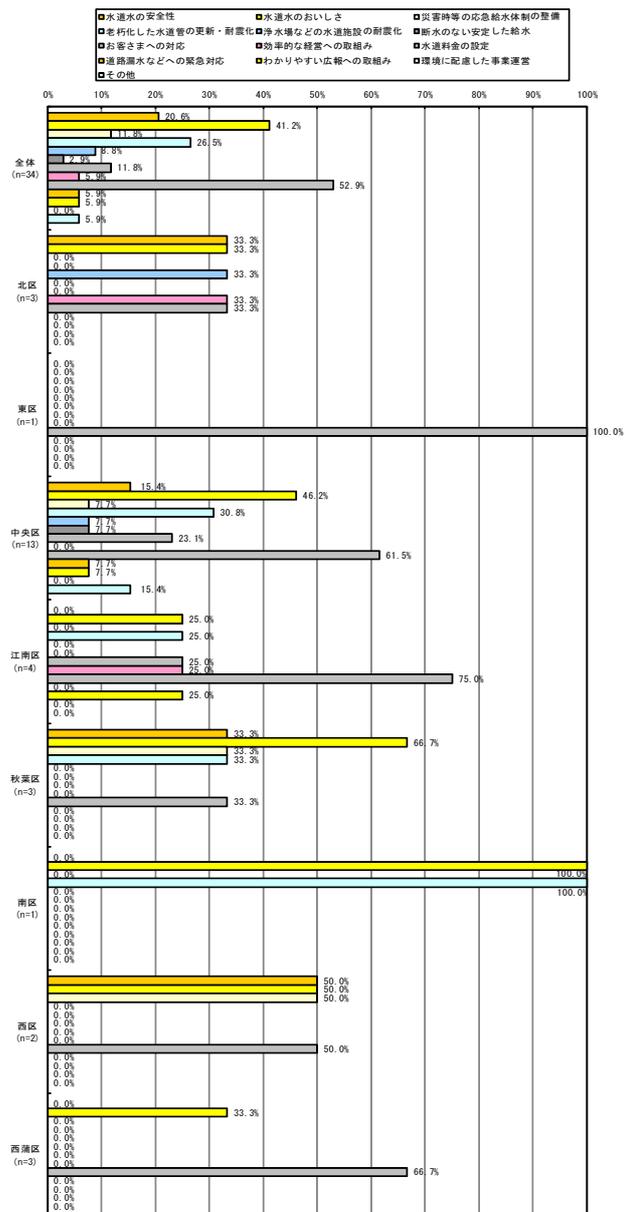
新潟市の水道事業について、不満な点は、「水道料金の設定」が52.9%と高く、次いで「水道水のおいしさ」41.2%と続き、「老朽化した水道管の更新・耐震化」26.5%、「水道水の安全性」20.6%となっている。その他、「災害時等の応急給水体制の整備」と「お客様への対応」がそれぞれ11.8%で、それ以外は10%以下となっている。

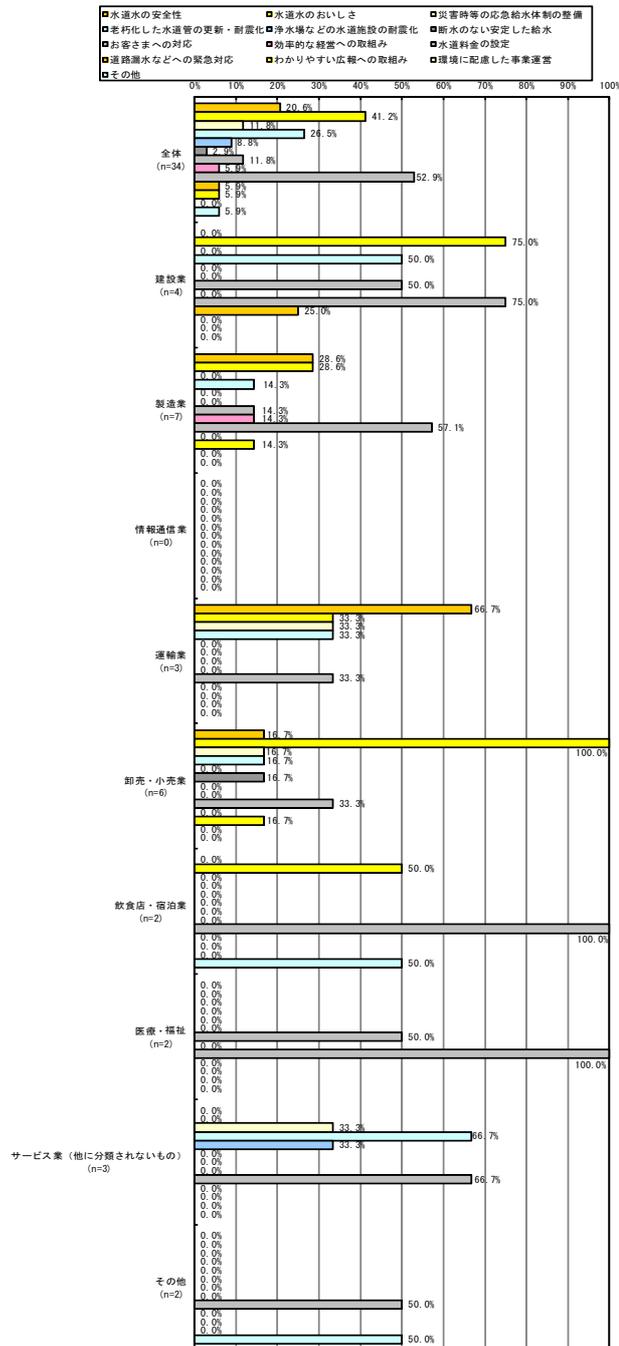
### その他の回答

下請業者の不注意と無責任作業

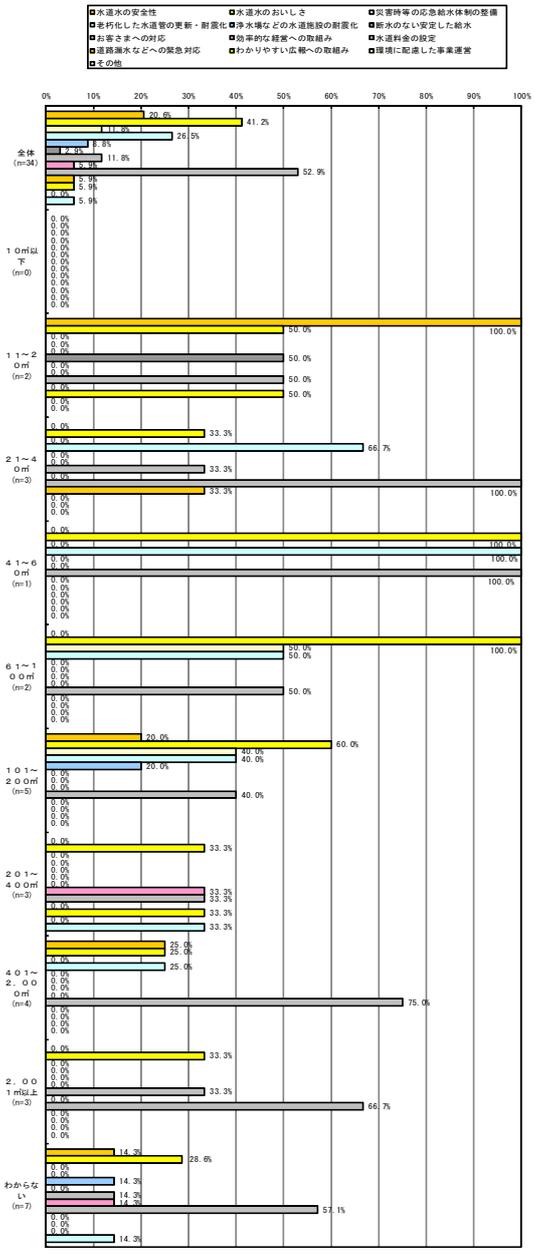
定期的に塩素系のおいがきつくなること

未回答

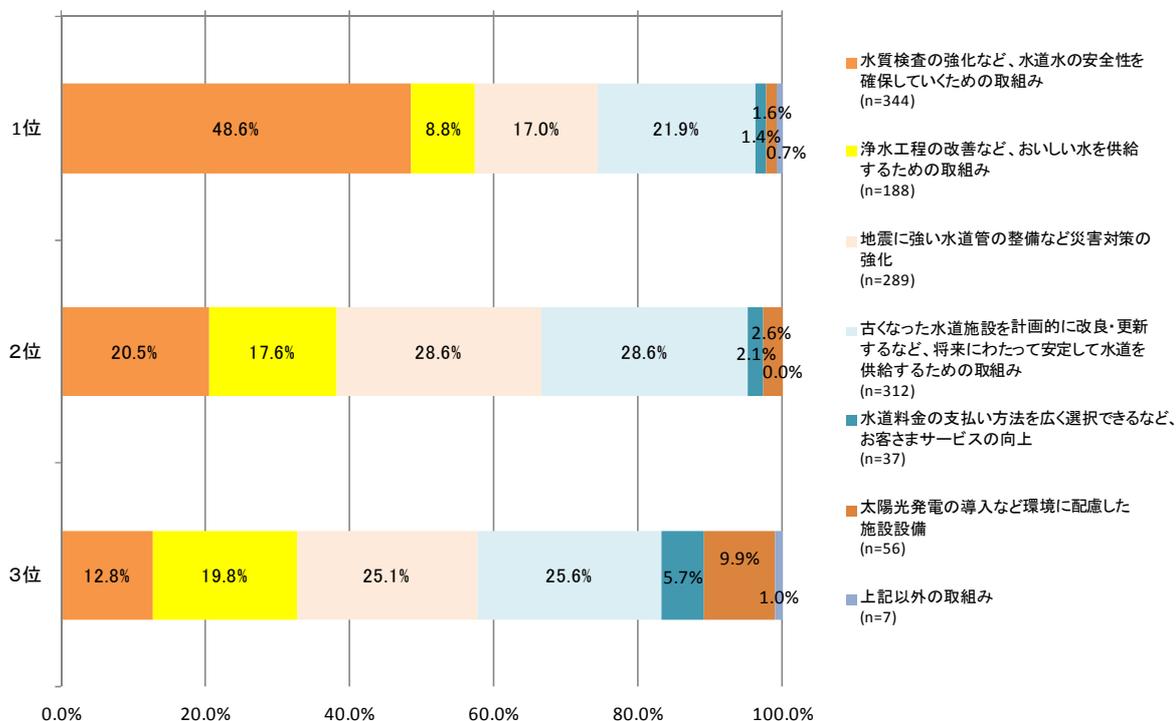








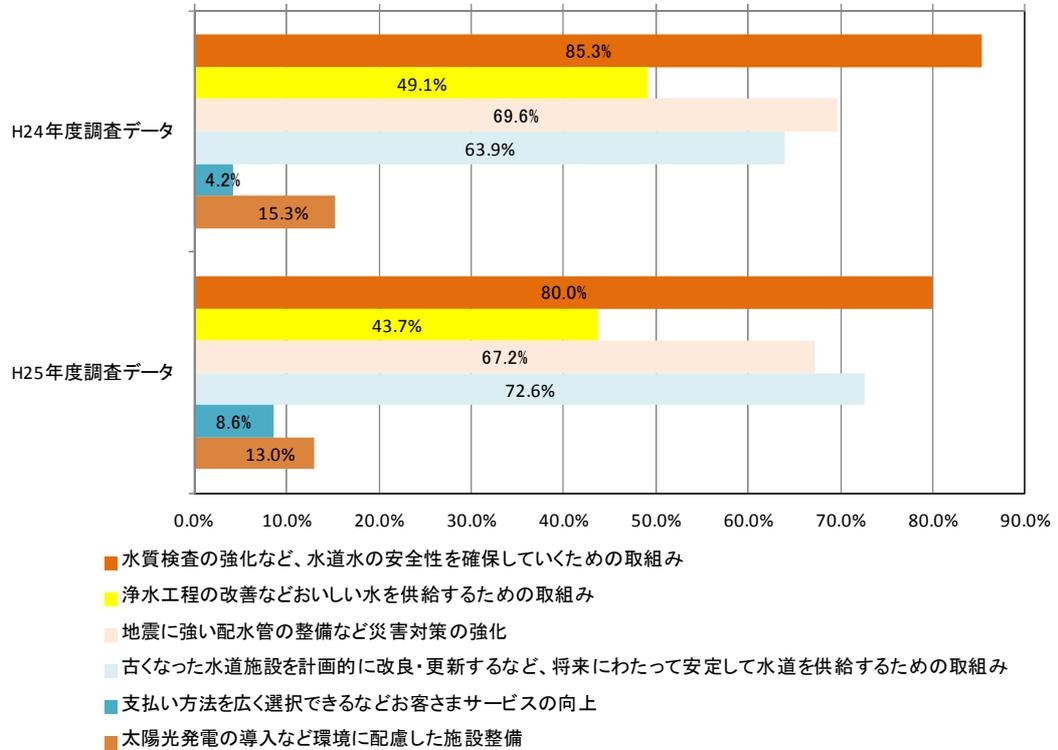
問11 優先的に実施すべき取組み



「水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み」48.6%と1位の中では最も高い。

上記以外の取組みの内容
取水場の津波等の対策
水道局職員の態度が横柄であった。
せっかく水をあつかっているのだから水力発電はどうですか？
事業の効率化

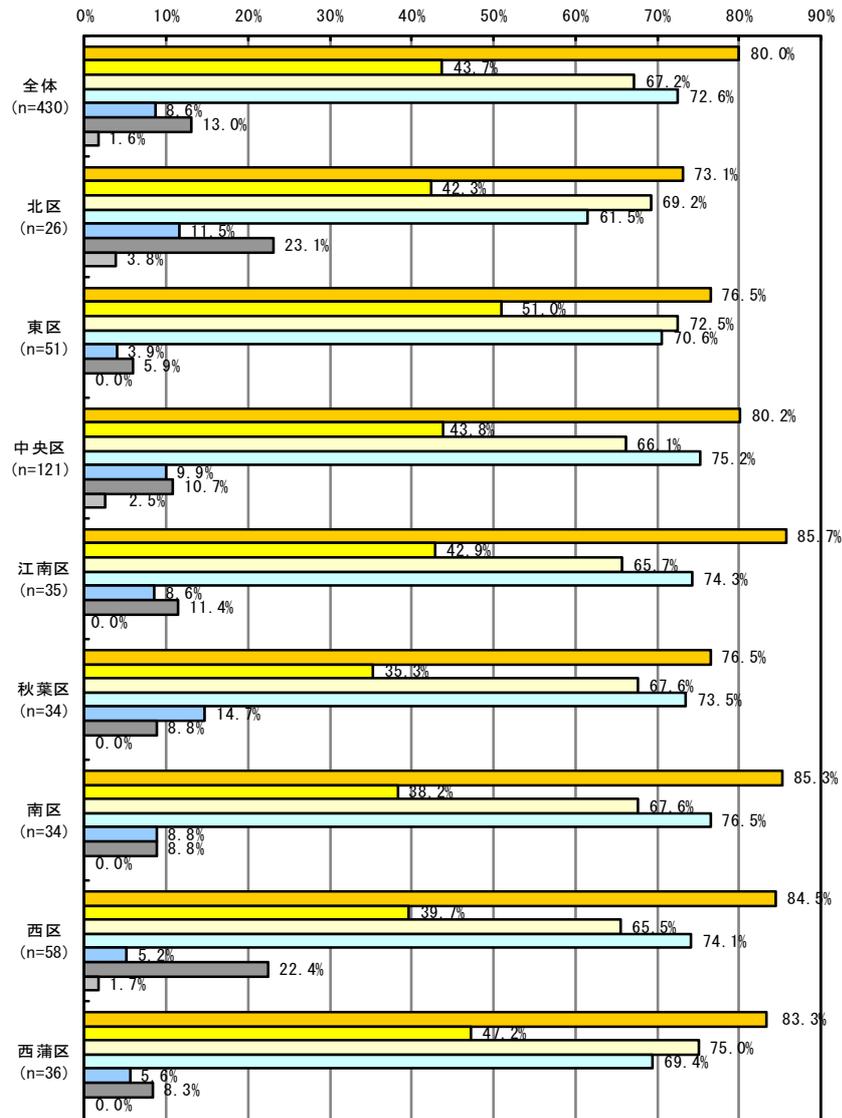
(H24年度との経年比較) ※ただし、H24年度の調査対象は一般家庭



※平成24年度は「上記以外の取組み」の選択肢がないため、比較対象外としました。  
 また、平成24年度は「順位づけの回答」ではなかったため、平成25年度の回答を「複数回答」として処理し、比較しました。

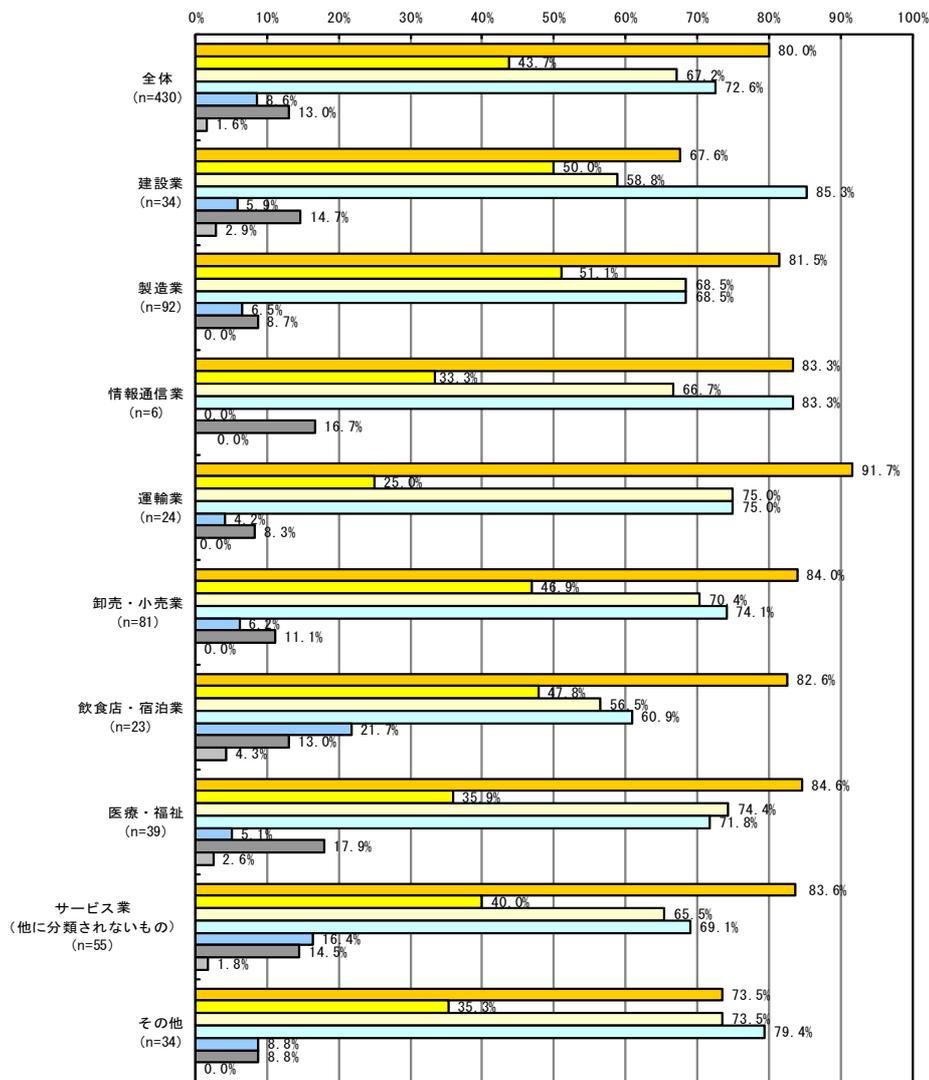
比較的、割合は昨年同様で同じような値を示している。

- 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み
- 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み
- 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化
- 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み
- 水道料金の支払い方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上
- 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設設備
- 上記以外の取組み

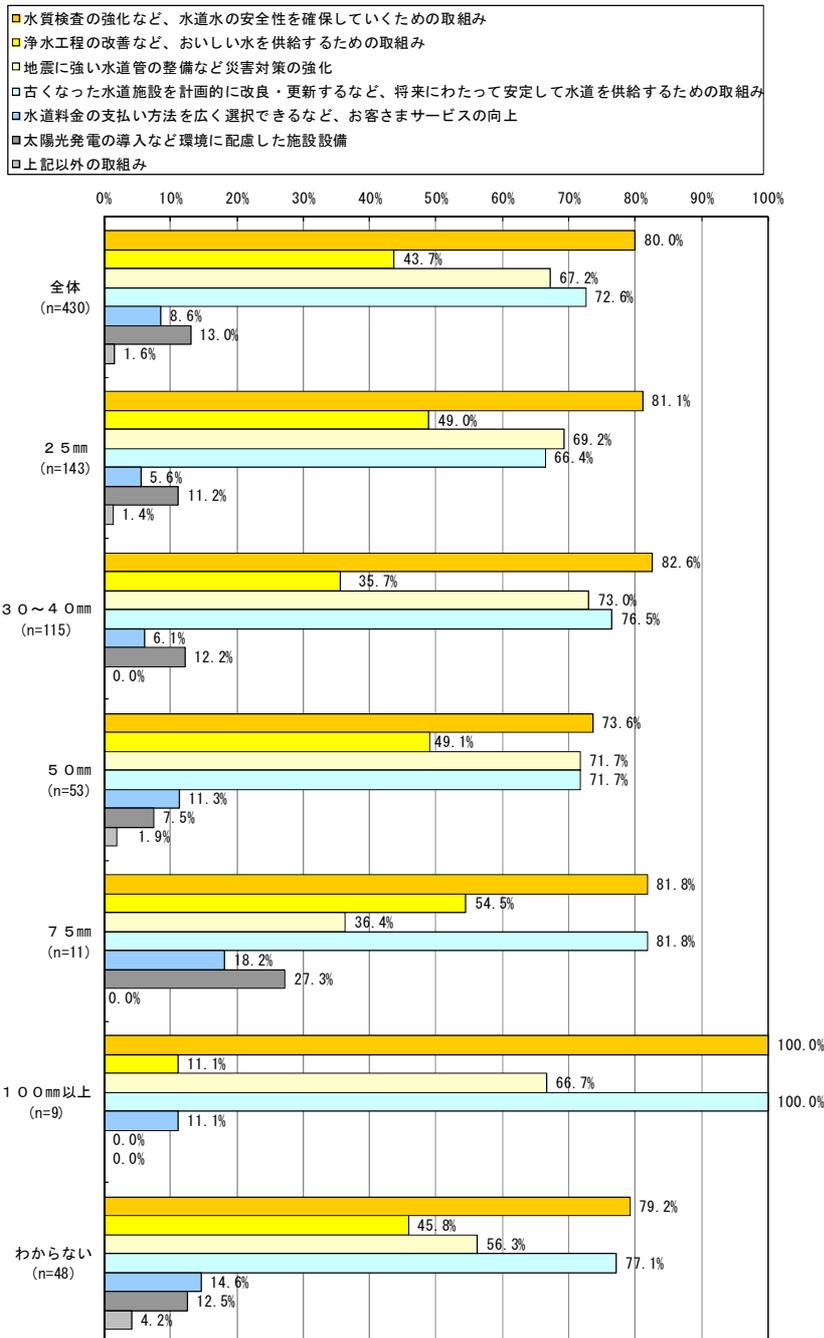


所在区別に、優先的に実施すべきと思う取組みについてみると、すべての区で、「水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み」が一番高く、北区、東区、西蒲区の3区において、「地震に強い水道管の整備など災害対策の強化」と「古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み」の2位、3位の順位が逆転している以外は、ほとんど全体の傾向と変わらない。

- 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み
- 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み
- 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化
- 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み
- 水道料金の支払い方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上
- 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設設備
- 上記以外の取組み

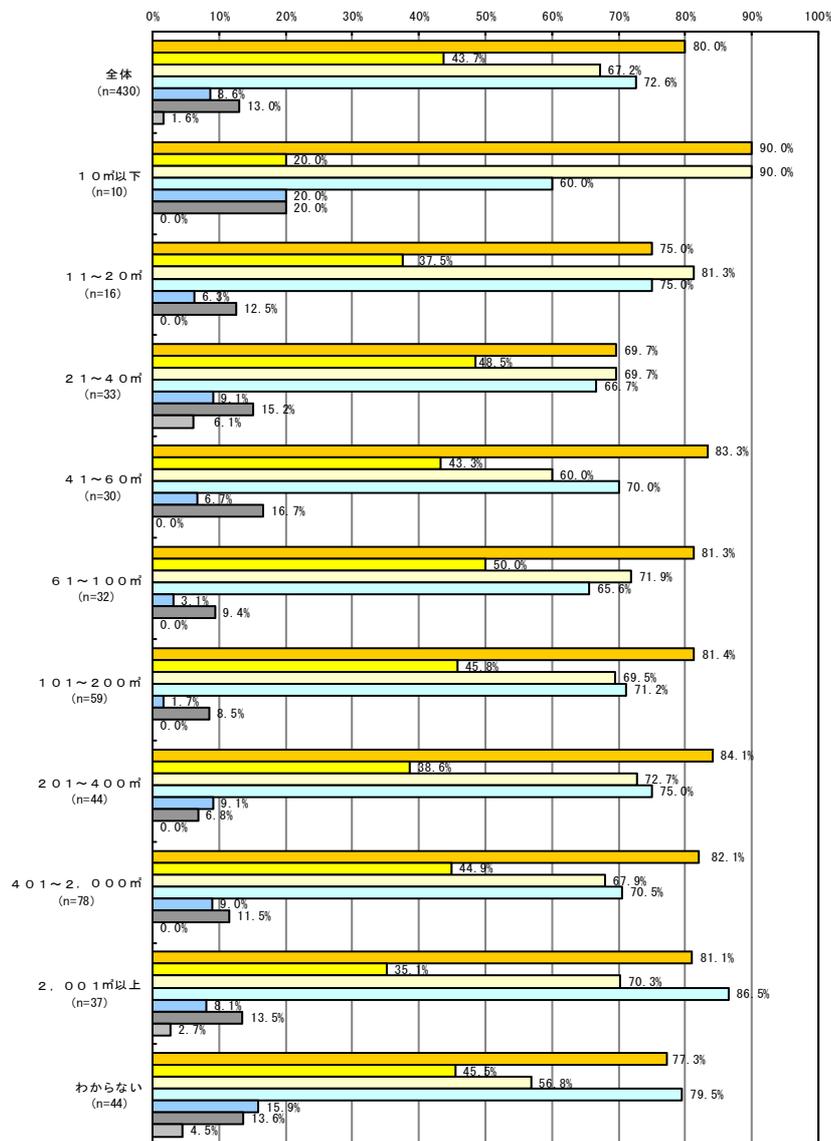


業種別にみると、建設業とその他において、「古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み」が「水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み」を押さえて、最も高くなっており、他の業種では、ほとんど全体における順位の傾向と変わらない。



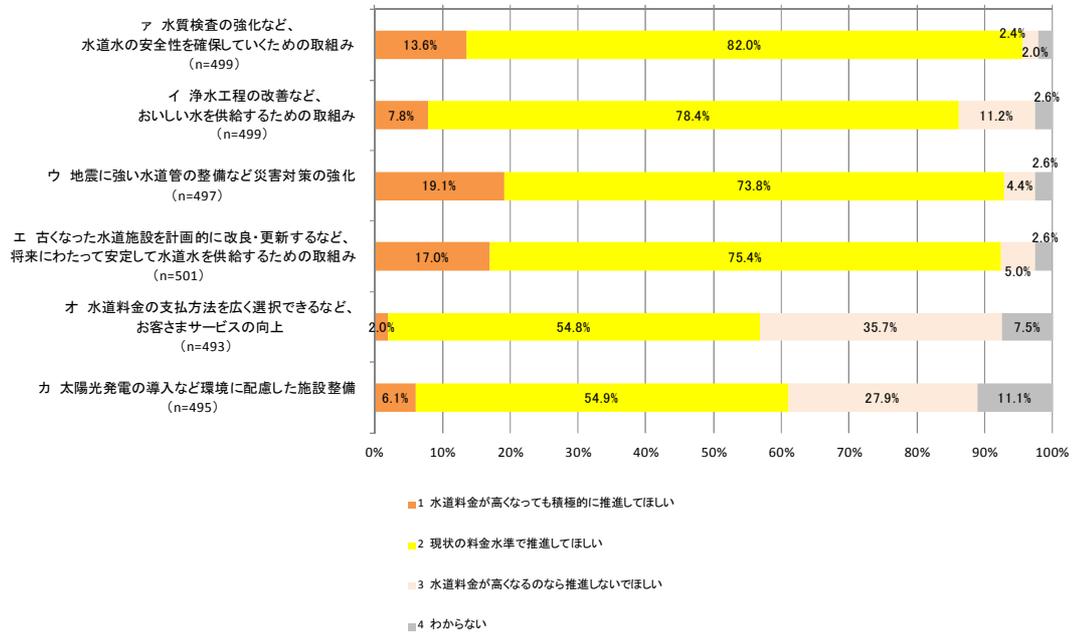
水道メーター口径別で見ると、全体の順位の傾向とほとんど変わらないが、100mm以上の大口径で、「古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み」が「水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み」と同じく100.0%で最も高く、他の口径では比較的高い「浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み」がわずか11.1%と低いのが特徴的である。

- 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み
- 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み
- 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化
- 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み
- 水道料金の支払い方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上
- 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設設備
- 上記以外の取組み



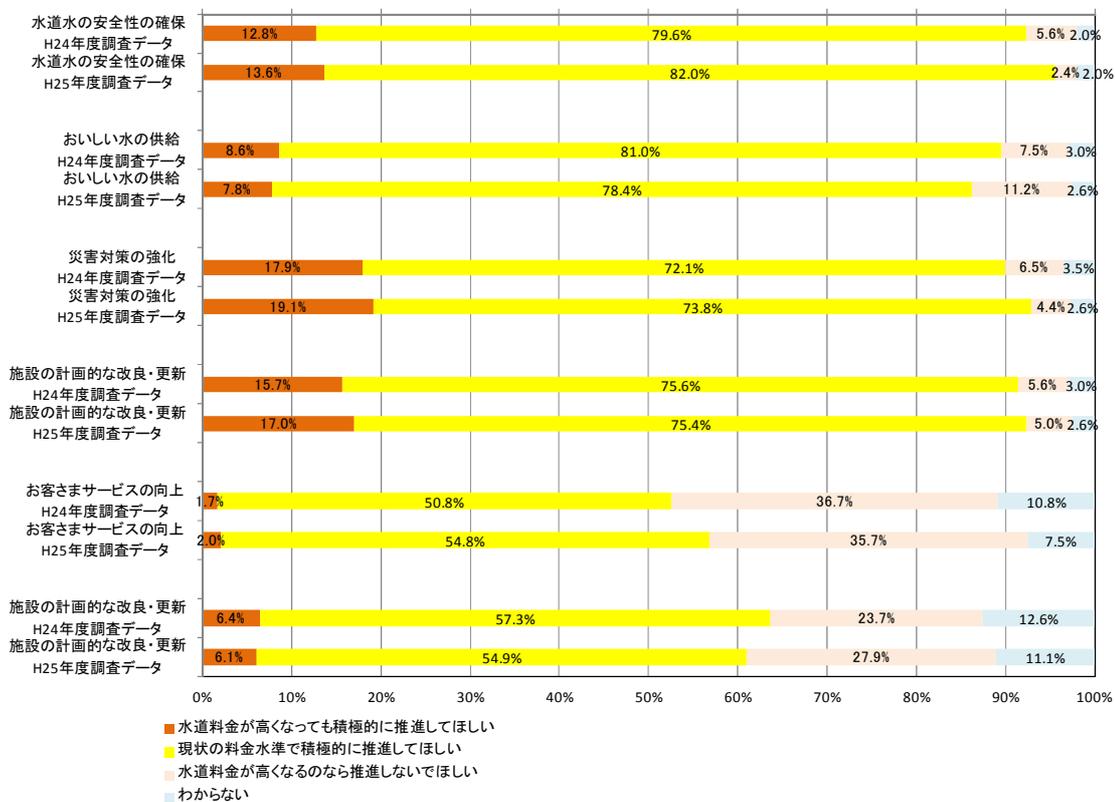
直近の水道使用水量別で見ると、2, 0 0 1 m<sup>3</sup>以上の大量使用水量で、「古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み」が「水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み」を押さえ、86. 5%と最も高くなっているのは特徴的である。

## 問 12 水道局の取組みと水道料金との関係



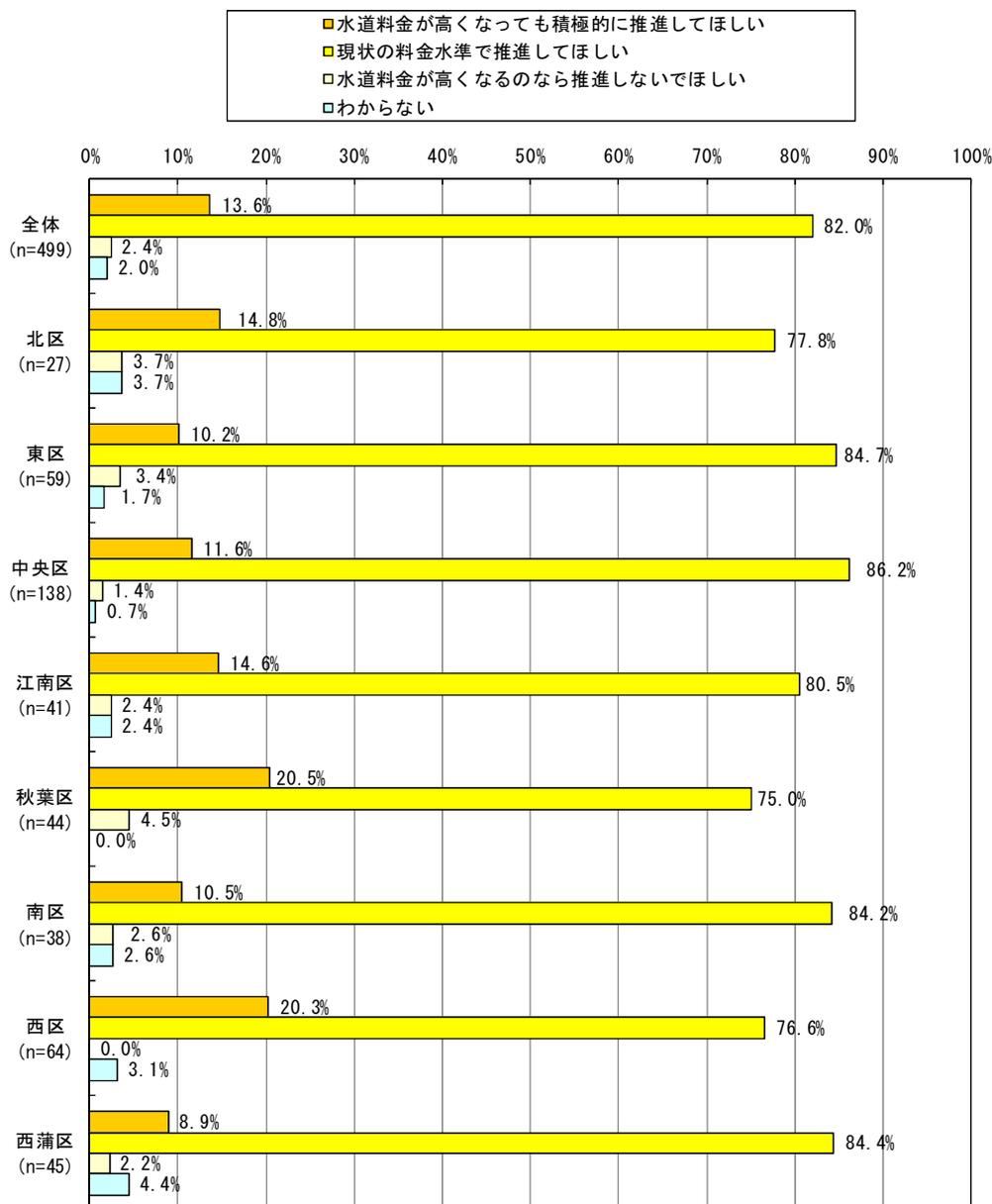
どの取組みに関しても「現状の料金水準で推進してほしい」が最も高い。

(H24年度との経年比較) ※ただし、H24年度の調査対象は一般家庭



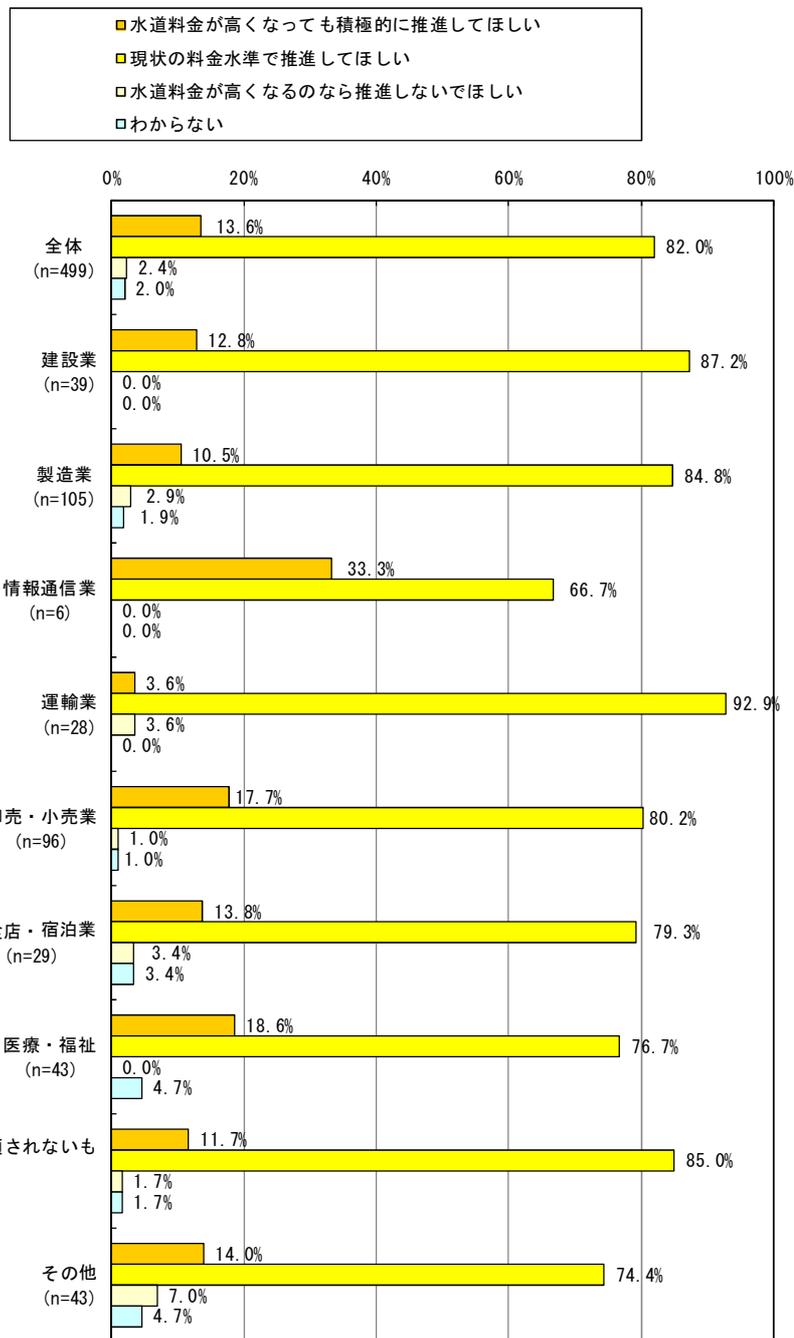
全体的に同じような割合をしめしており、あまり変化はないようである

ア 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み



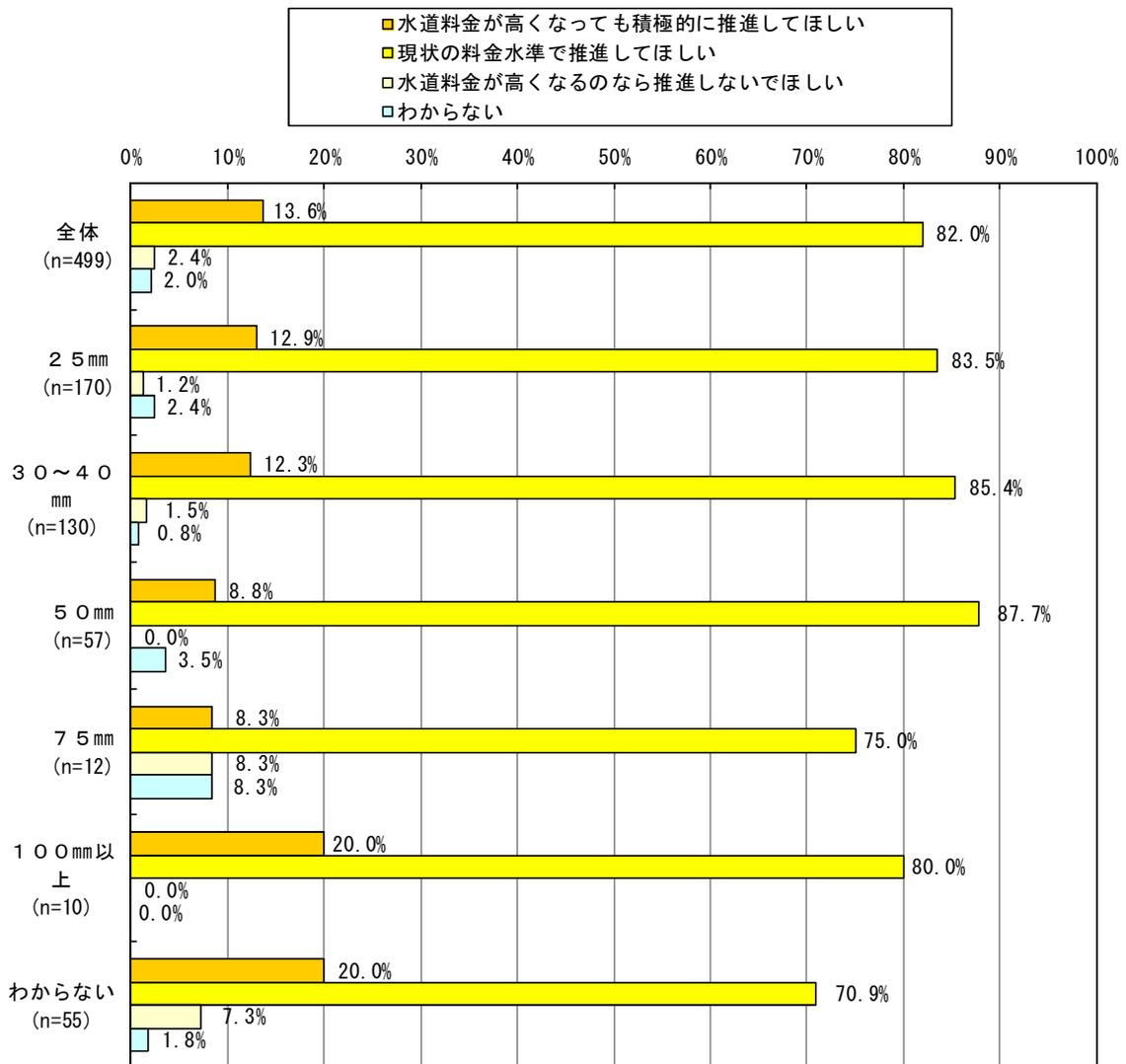
「水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み」を所在区別にみると、すべての地区において70%以上が「現状の料金水準で推進してほしい」と回答した。次いで「水道料金が高くなっても積極的に推進して欲しい」が10%前後となっている。

中でも秋葉区、西区では特に「水道料金が高くなっても積極的に推進して欲しい」が20%に達し、特に安全性に関心があることを示している。

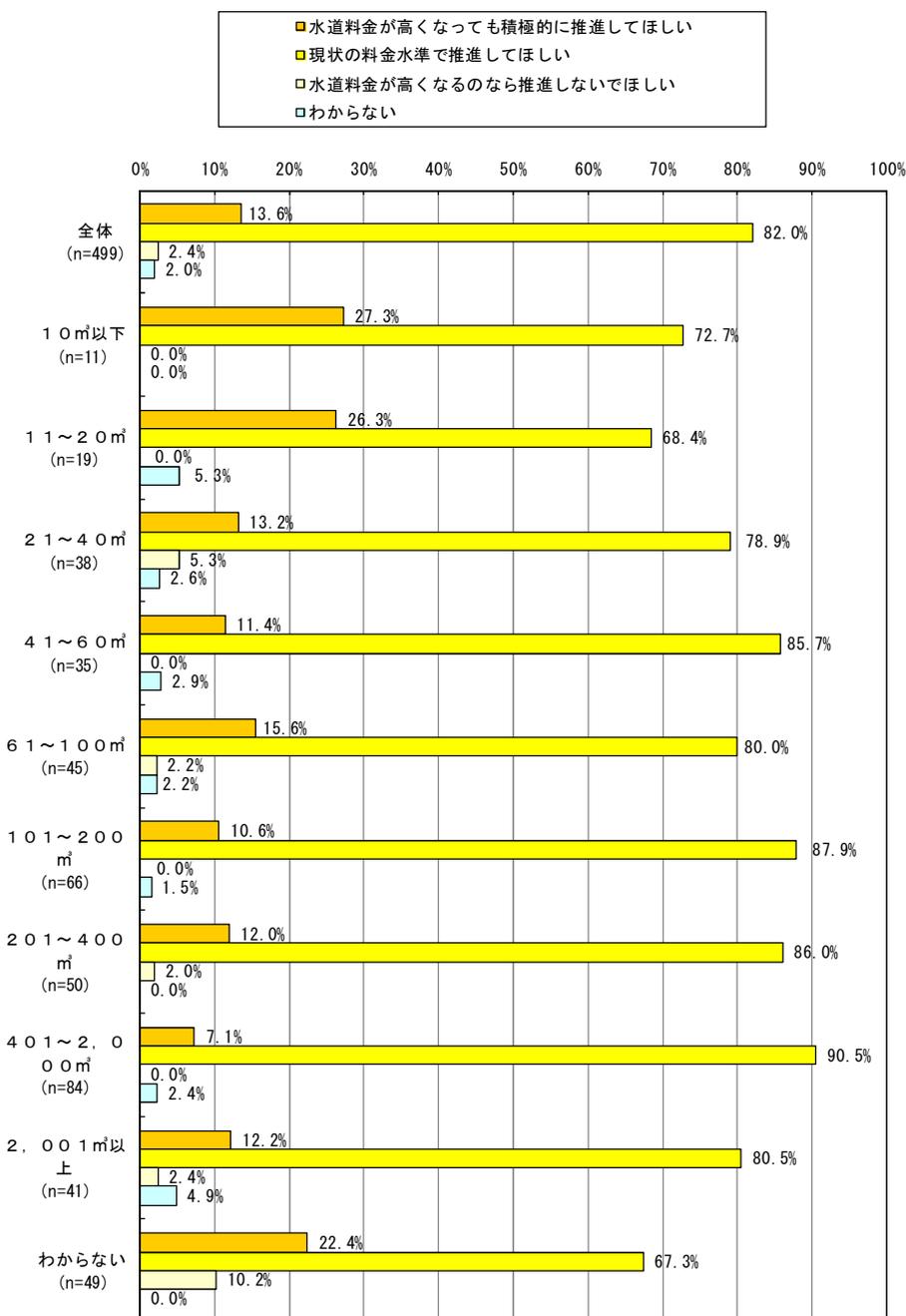


業種別に「水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み」をみると、「現状の料金水準で推進してほしい」という回答が各業種で70%以上を占めた。

特に運輸業では92.9%と最も高く、水質の安全性のほかに、料金に関して現状維持を希望する傾向にある。

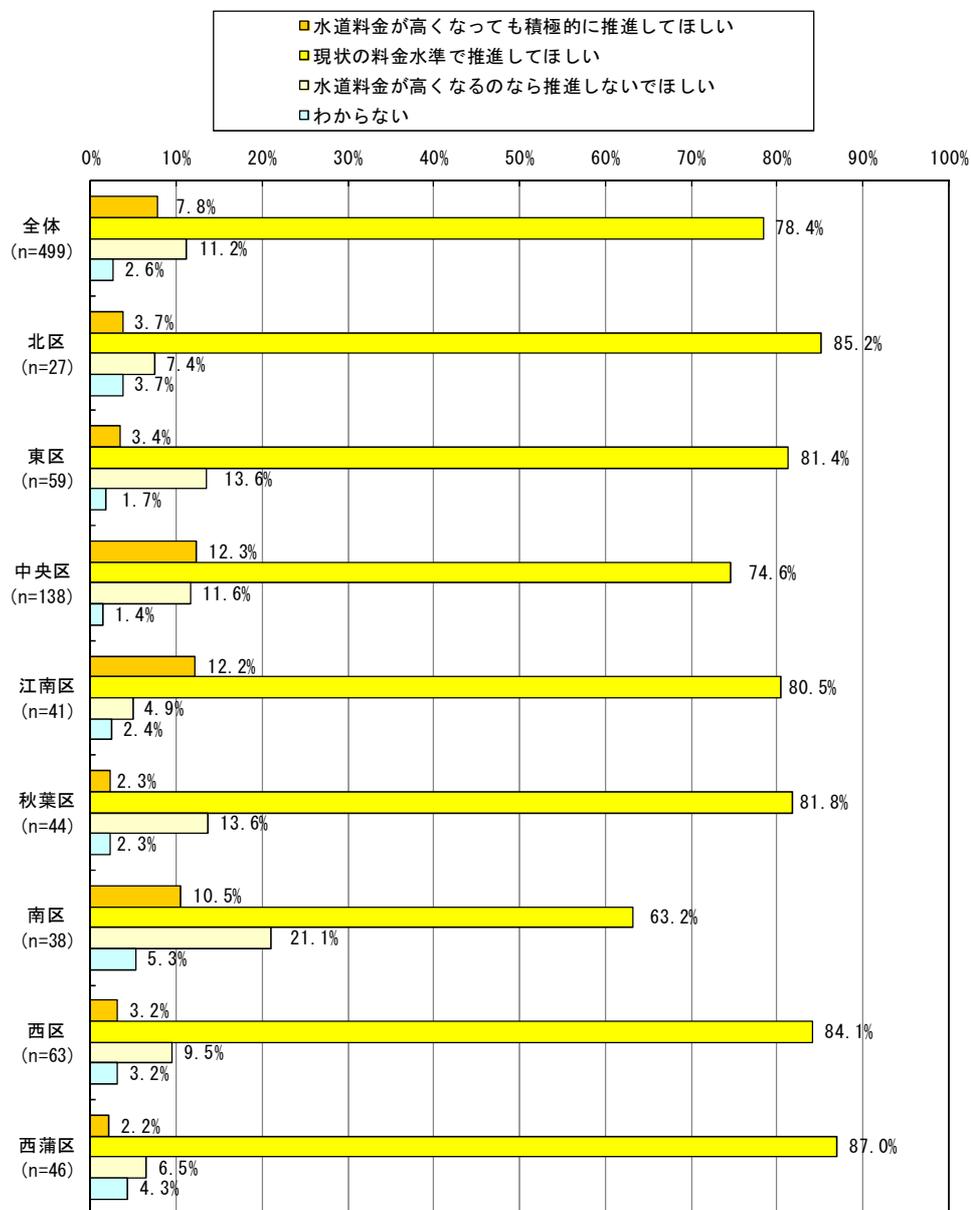


口径別に「水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み」をみても、総じて「現状の料金水準で推進してほしい」の回答率が70%以上と高く、現在の水質と料金水準を維持してほしい向きは変わらない。その中で75mm口径を利用している事業所の回答で「水道料金が高くなるなら推進しないでほしい」が「水道料金が高くなっても積極的に推進して欲しい」と8.3%で並んでいる。同率の「わからない」も含め、水質の安全性の他に求めるものがあることを示している。



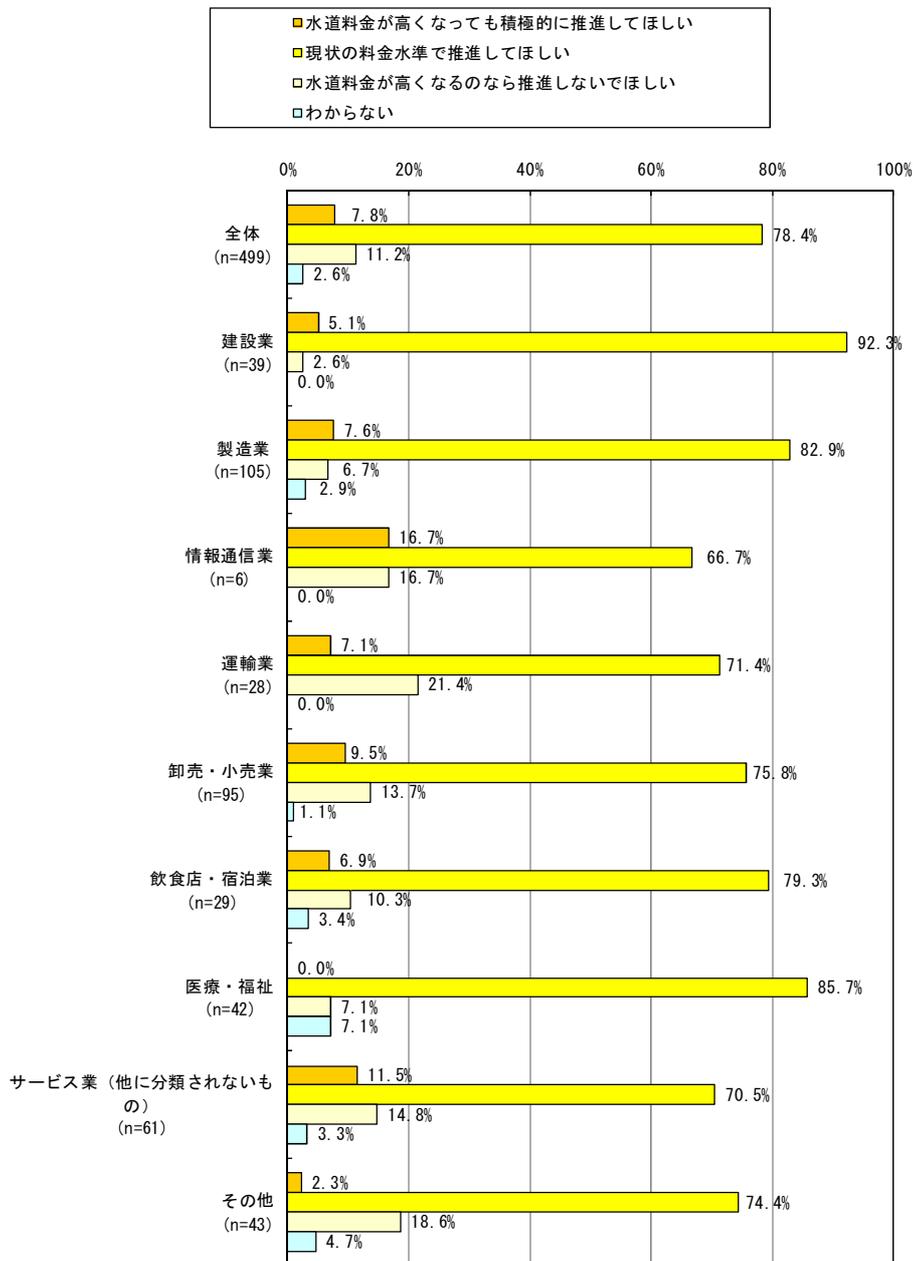
「水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み」を使用量別にみると、「現状の水道水準で推進してほしい」という回答率はここでも高く、全体の70%近くを占めている。もっとも高い90.5%という回答率だったのは、使用量が401~2,000㎡の事業者で、回答数も多いことから、現在の料金水準の維持を希望する向きが高いといえる。

イ 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み

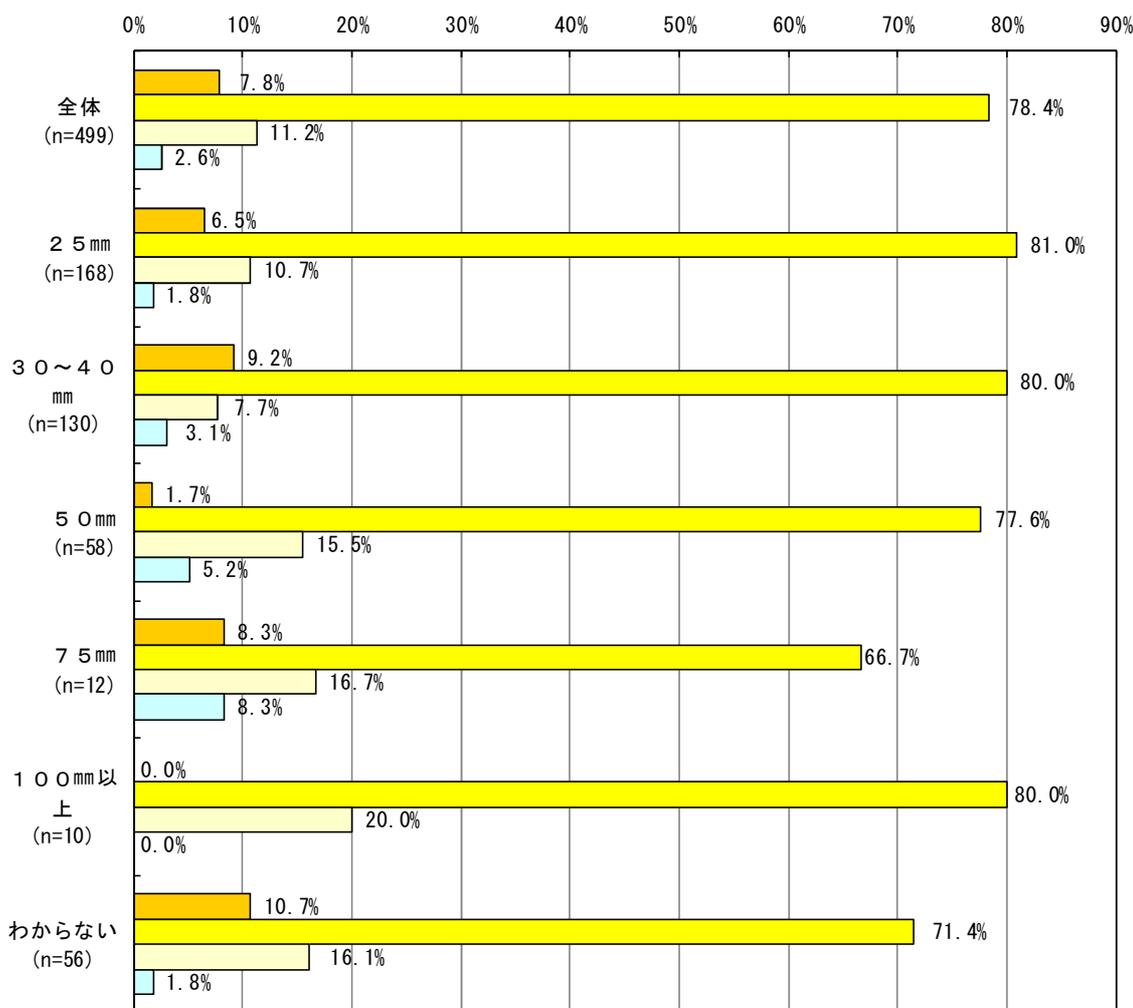
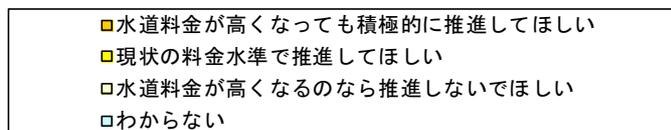


「浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み」についてのたずねたところ、「現状の料金水準で推進してほしい」と回答する事業所が多く、全体で78.4%の事業所が現在の水準を希望していることがわかる。

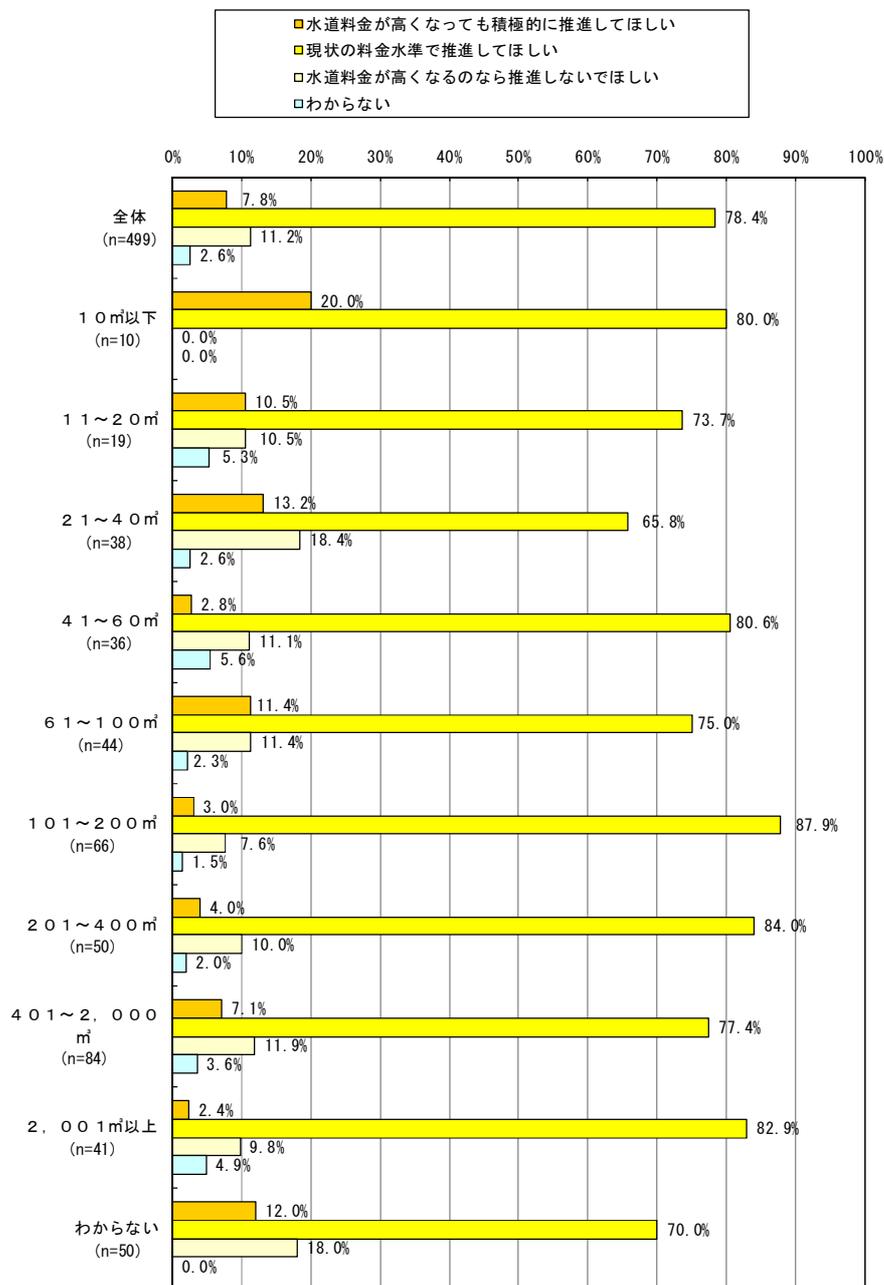
その中で南区の「現状の料金水準で推進してほしい」が63.2%と他より低く、逆に「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」と回答した事業所が21.1%と全区の中で最も高く、おいしい水への要望より料金水準の維持の方が求められている傾向にある。



「浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み」について業種別の回答をみると、「現状の料金水準で推進してほしい」と70%近くが希望しているが、建設業、製造業、情報通信業を除く業種で、「水道料金が高くなっても積極的に推進して欲しい」よりも「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が上回っている。中でも運輸業の「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が21.4%が最も高く、ここでもおいしい水よりも料金水準の維持が求められている。



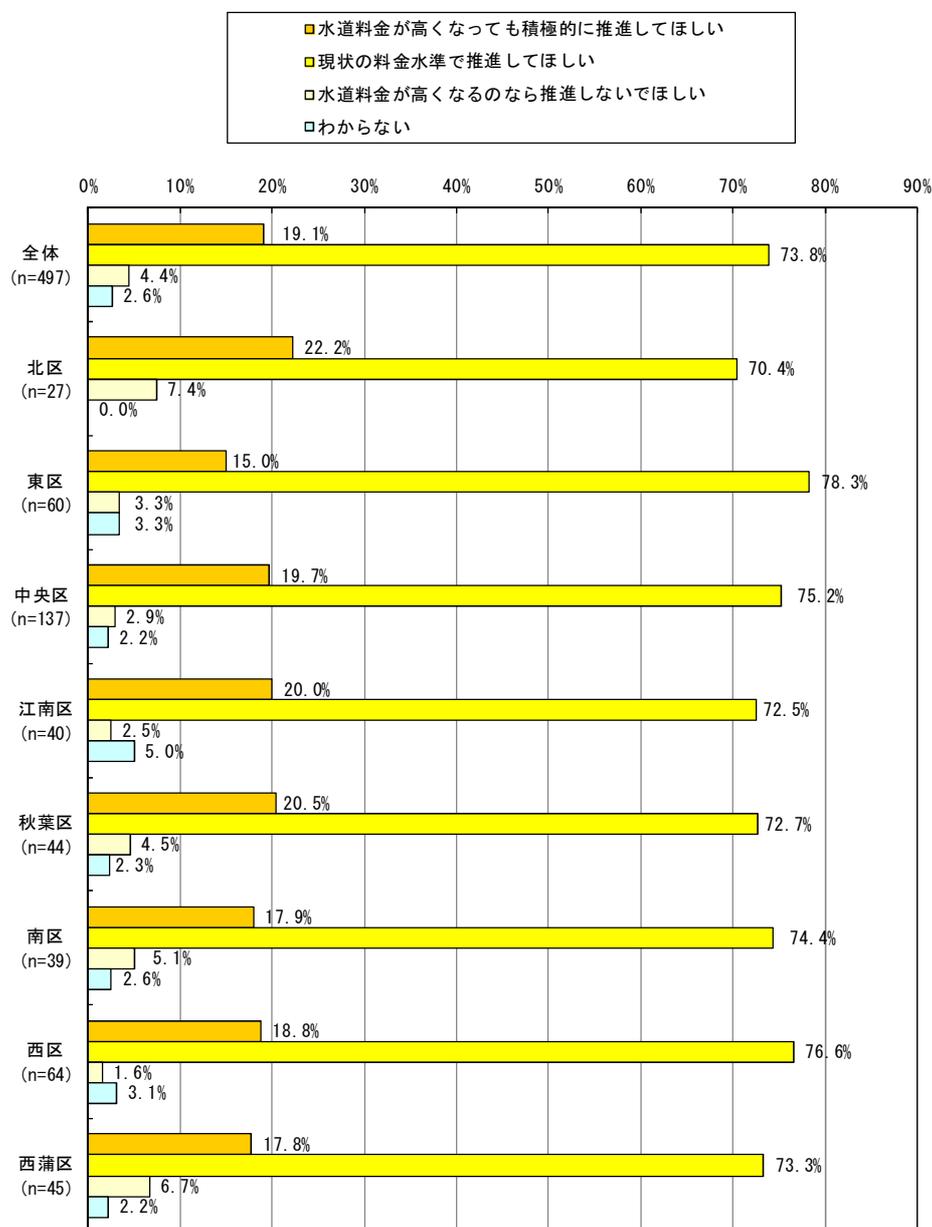
「浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み」を口径別にみても、「現状の料金水準で推進してほしい」と70%近くが回答している。もっとも回答の多かった2.5mmでは81.0%が「現状の料金水準で推進してほしい」と回答しているが「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が10.7%が次点である。「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」の回答が20.0%と最も多かった100mm以上の事業所では、「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」の回答が0%であり、2極化している。



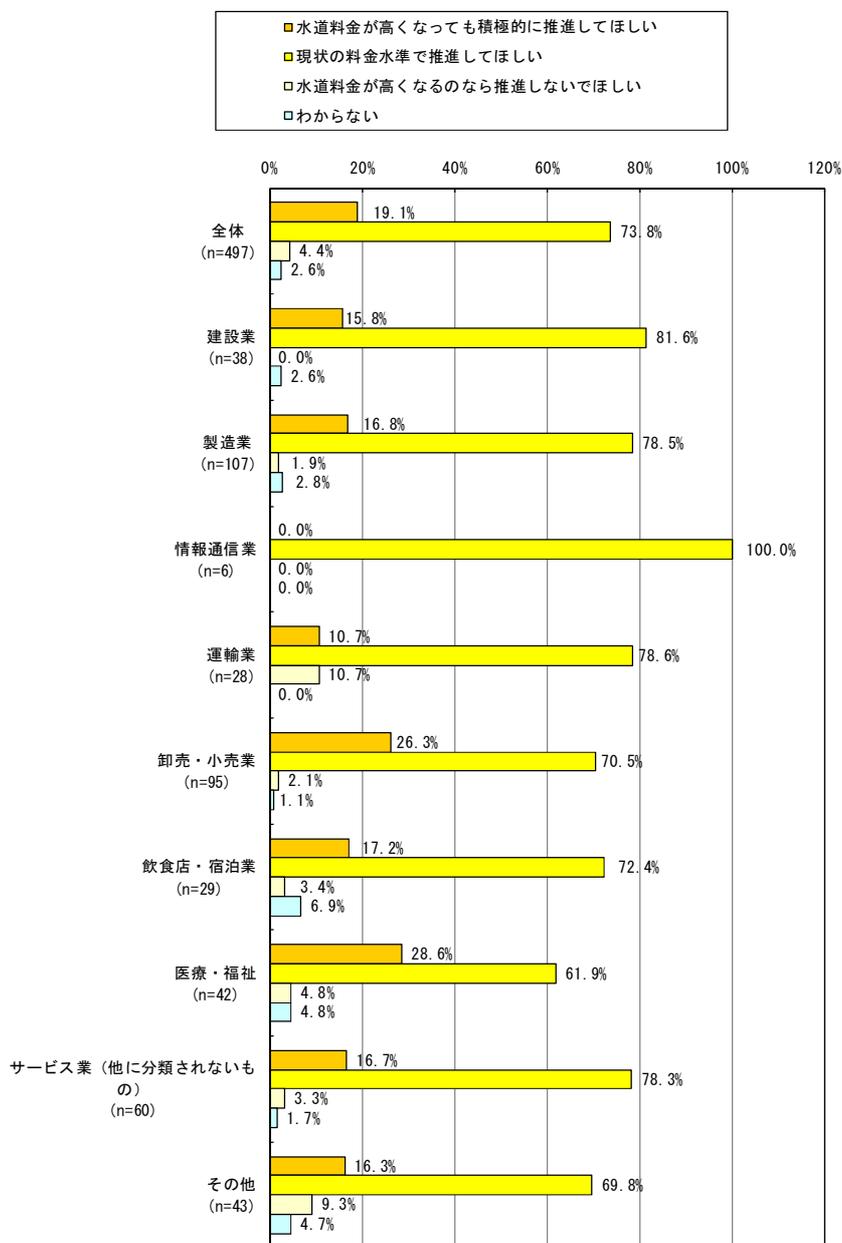
使用量別に「浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み」をみると、70%近くが「現状の料金水準で推進してほしい」と回答し、多数の事業所では現状の料金水準を求める声が多いことを示している。

使用量が10 m<sup>3</sup>以下の事業所では「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」が20.0%と高いが、それ以外の事業所では「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が次いで10%前後で推移している。

## ウ 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化

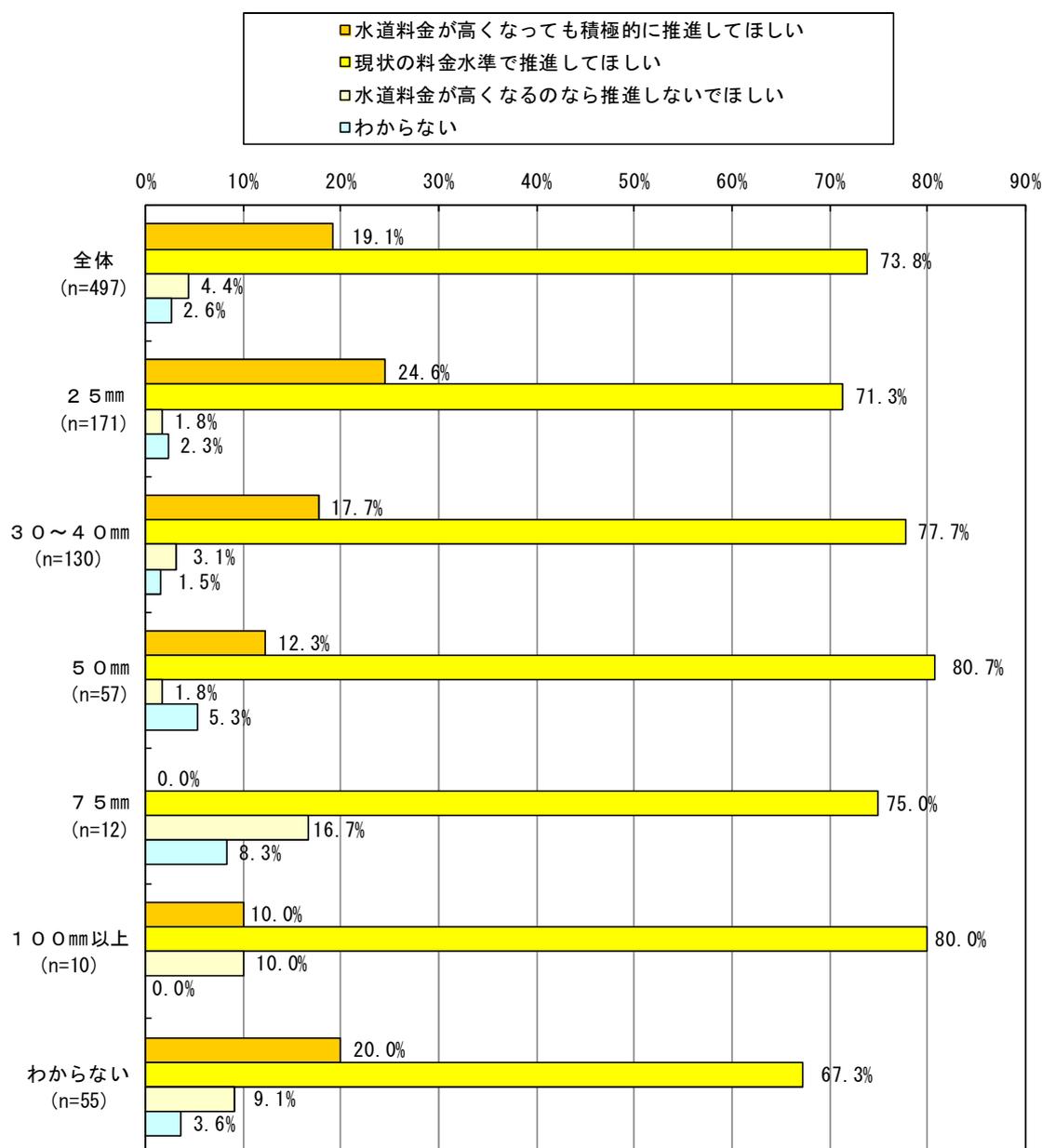


「地震に強い水道管の整備など災害対策の強化」に対する取組みをみると、全体の70%近くが「現状の料金水準で推進してほしい」と回答している。他の取組みに比べ「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」がどの区でも高い傾向にある。特に北区では「わからない」が0%と、明確に回答されている。



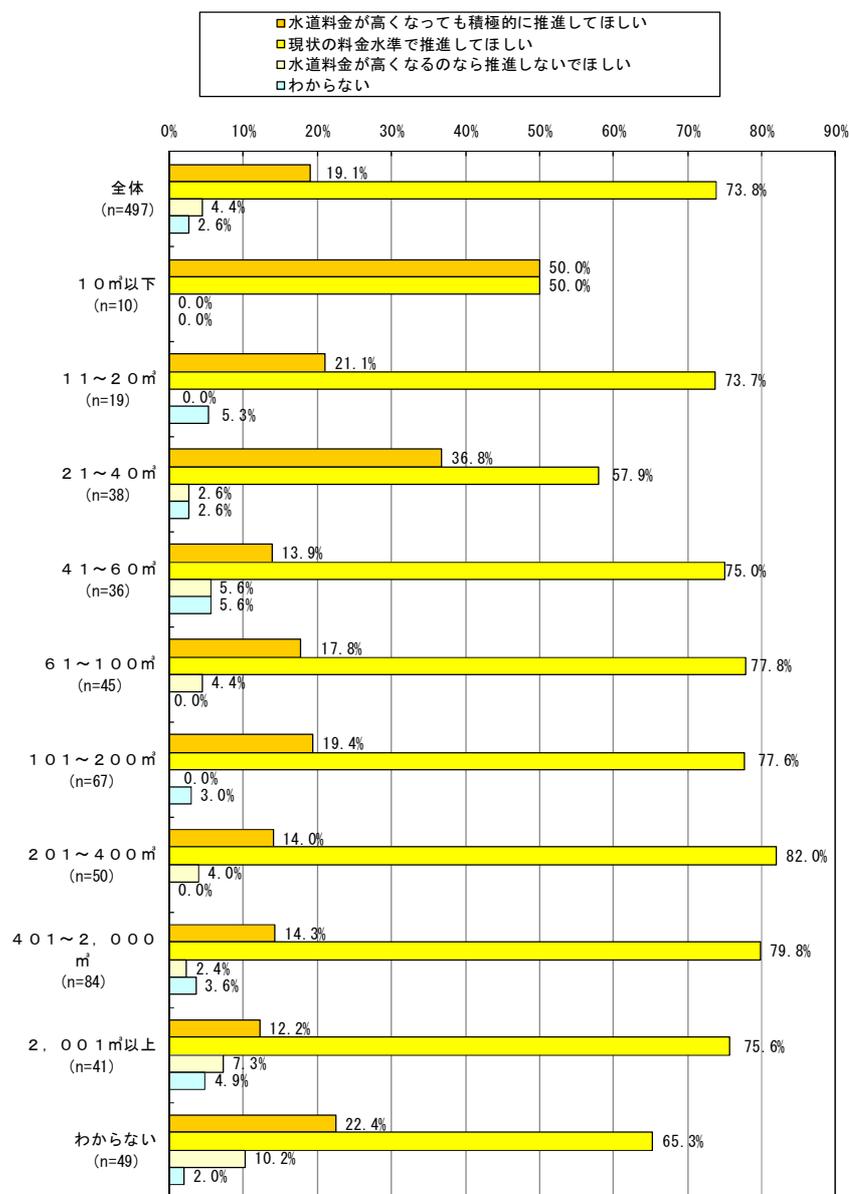
業種別に「地震に強い水道管の整備など災害対策の強化」に対する取組みをみると、ここでも「現状の料金水準で推進してほしい」という回答が最も多く、建設業では81.6%が現状維持の料金水準を希望している。

その中で「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」に対する回答が高いのが医療・福祉で28.6%、次いで卸売・小売業で26.3%となっている。他の業種でも数値に差はあるものの、水道管の整備・災害対策への強化に対する関心の高さがうかがえる。



口径別に「地震に強い水道管の整備など災害対策の強化」への取組みをみると、「現状の料金水準で推進してほしい」という回答が最も多くなっている。回答者数の多い25mm口径を利用している事業所では「現状の料金水準で推進してほしい」に次いで「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」が24.6%と高くなっている。

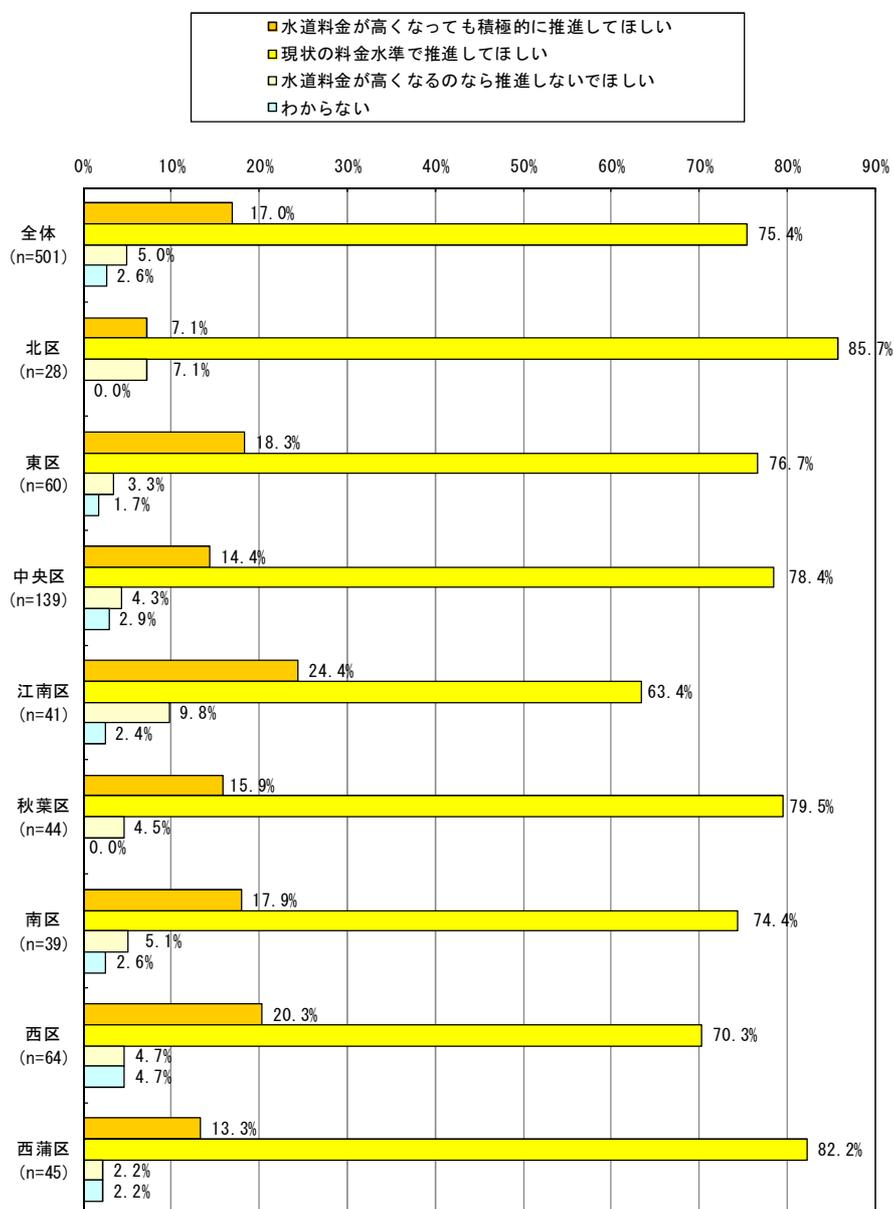
逆に75mm口径では「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が高く、水道管の強化に関心を持ちつつも、現状の料金水準を維持する声が高い。



「地震に強い水道管の整備など災害対策の強化」への取組みを用量別でみると、最も回答が多いのは「現状の料金水準で推進してほしい」だが、使用量が少ない事業所ほど「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」と回答する傾向にある。21～40 m<sup>3</sup>の事業所では「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」が36.8%、10 m<sup>3</sup>以下の事業所では50%まで達した。

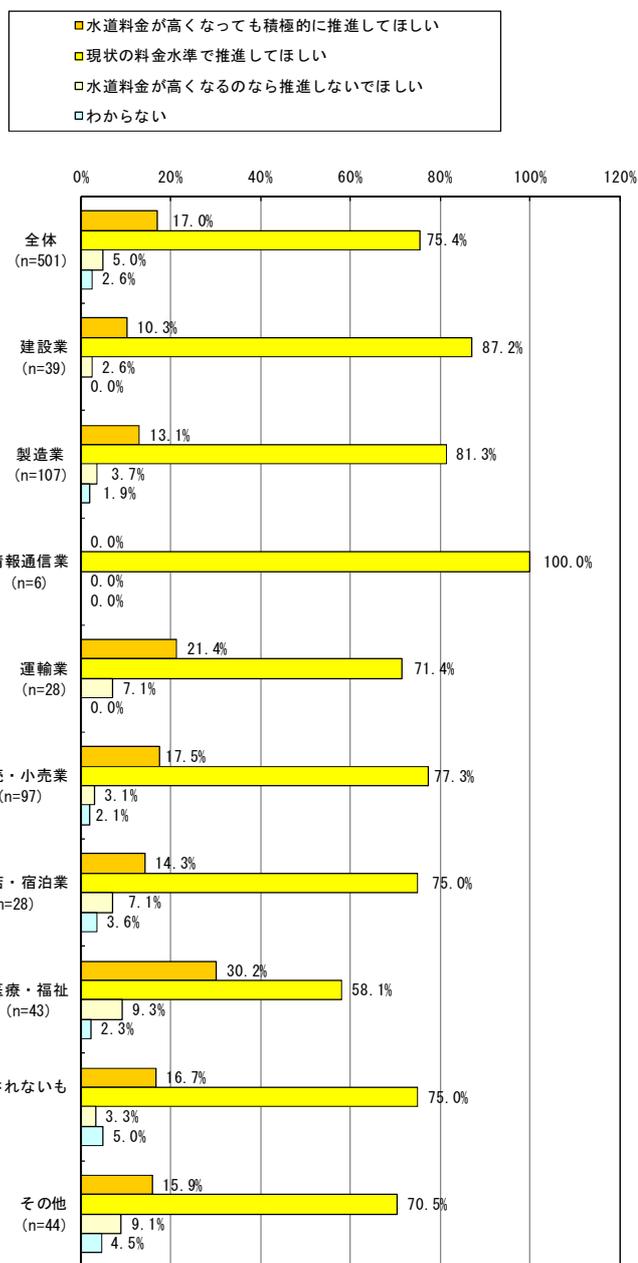
逆に使用量の多い事業所ほど「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」と回答する率が減少しており、2,001 m<sup>3</sup>以上の事業所では「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」との回答が7.3%と他より高くなっている。

エ 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道水を供給するための取組み



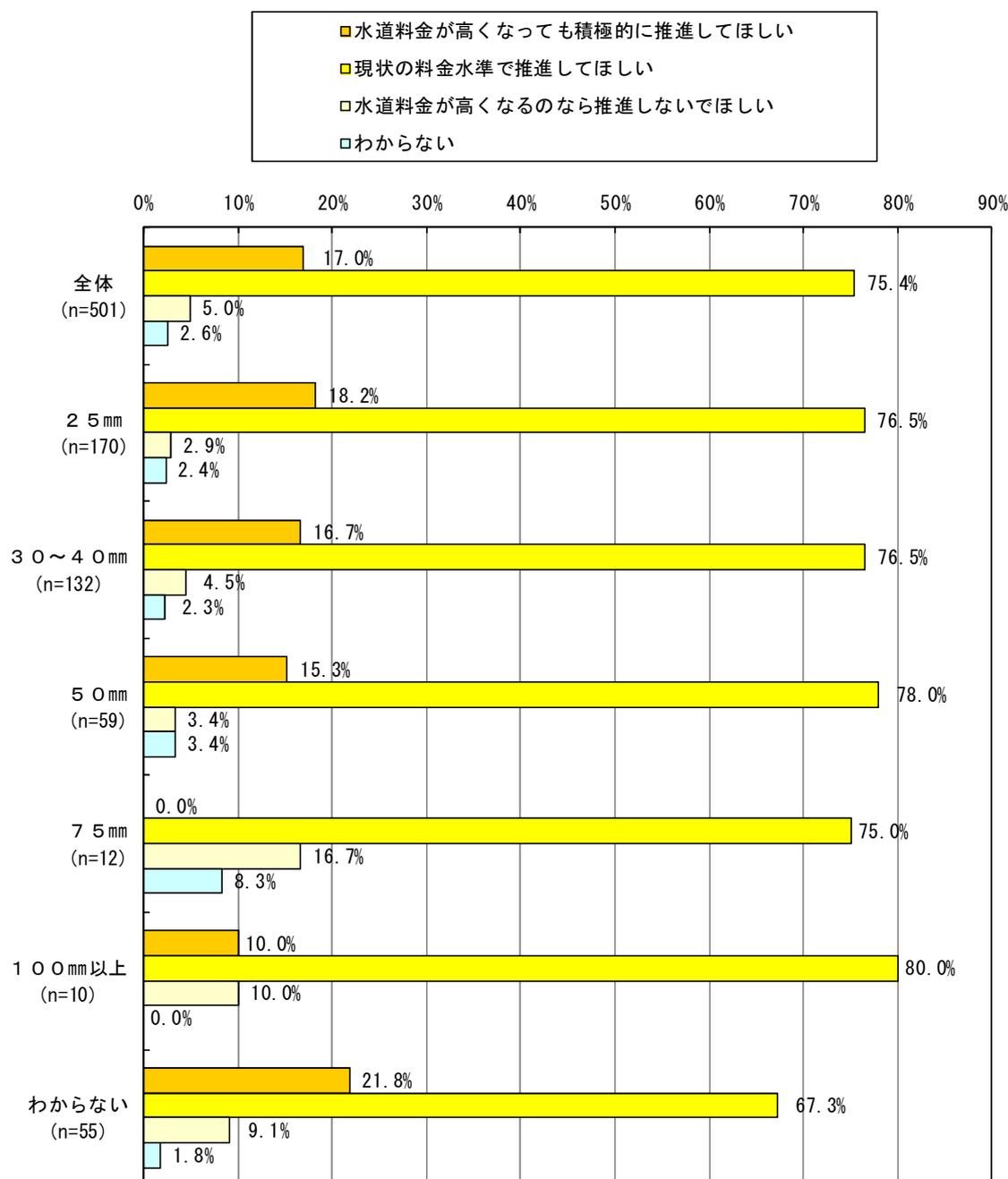
「古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道水を供給するための取組み」への取組みを居住区別でみると、最も回答が多いのは「現状の料金水準で推進してほしい」で、ほとんどの区で7割を超えている。

江南区だけが63.4%と7割を切っており、その分「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」が24.4%、「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が9.8%と、それぞれで他の区よりも回答が最も多くなっている。



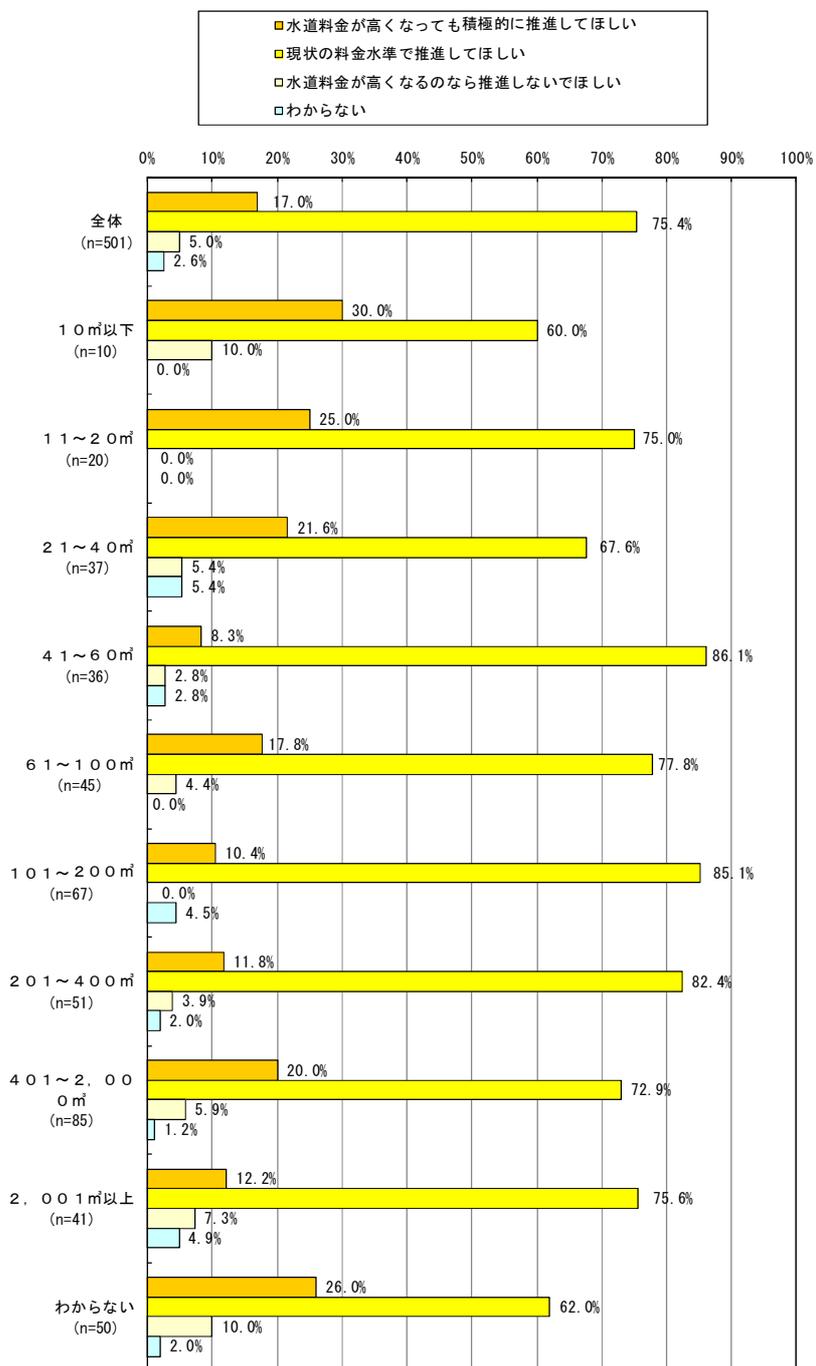
業種別でみると、「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」で最も回答が多いのは、医療・福祉の30.2%となっている。

「現状の料金水準で推進してほしい」で、ほとんどの業種で7割を超えているが、医療・福祉だけ58.1%と最も低く、「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」で最も多いのが、医療・福祉の9.3%となっている。



水道メーター口径別でみると、「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」で回答がなかった75mmが最も低く、「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」では16.7%と最も高い結果となった。

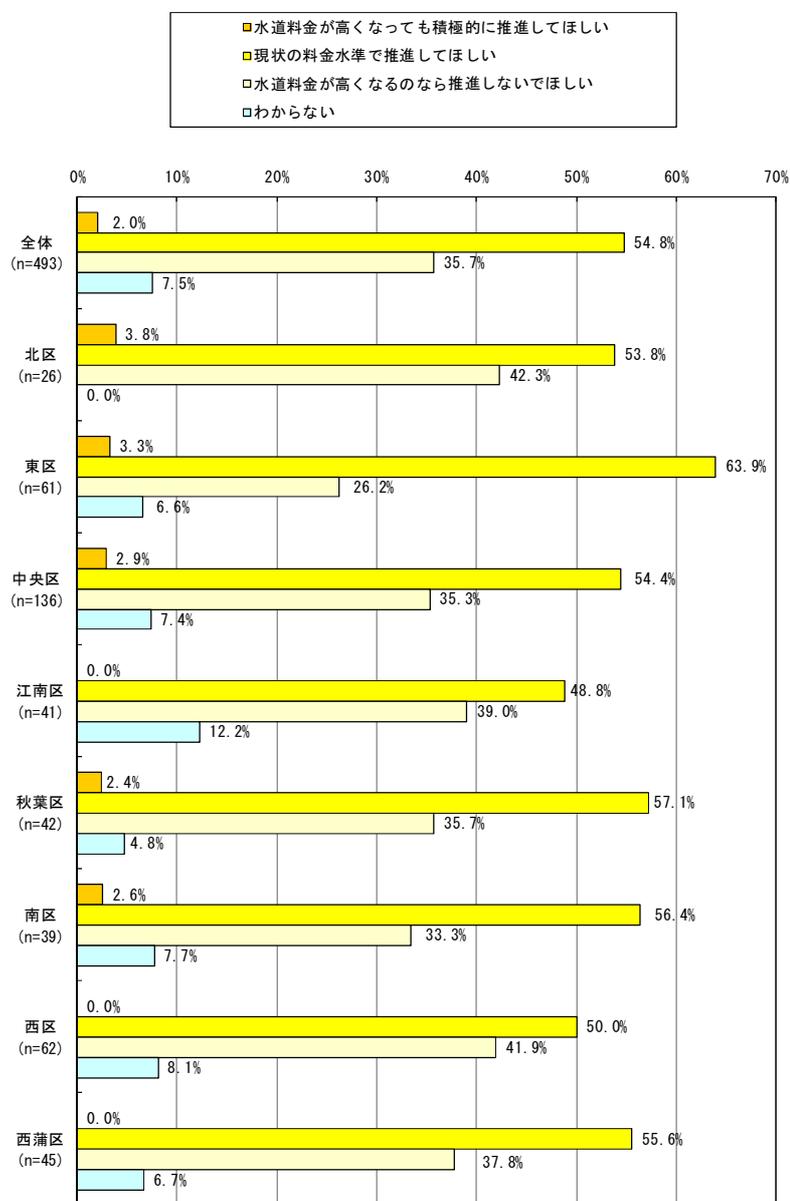
それ以外の結果を総じて見ると、水道メーター口径が大きくなるほど、「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」の回答が減少する傾向が伺える。



水道使用量別でみてみると、「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」で最も高い結果となったのは、1 0 m<sup>3</sup>の30. 0%だった。

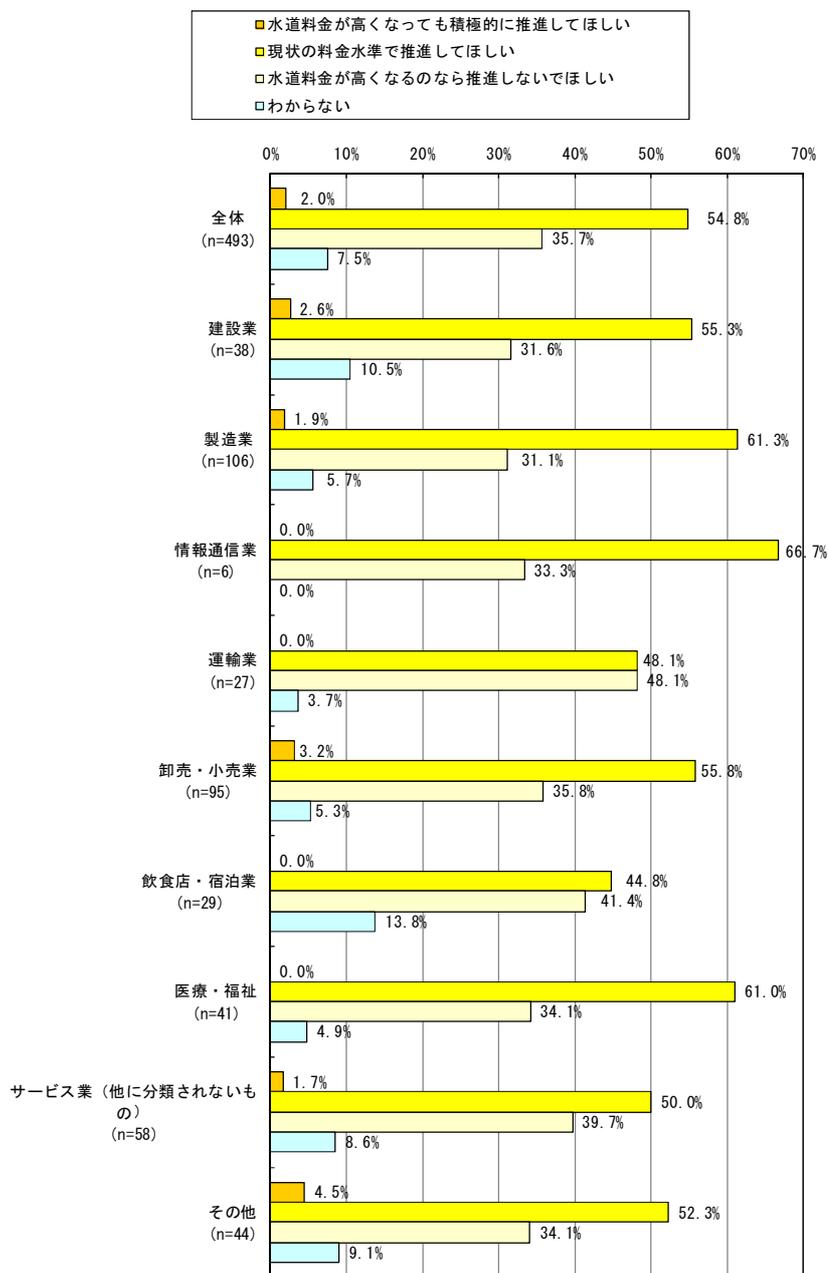
しかし、「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」でも10. 0%と、最も高い回答となっており、意見が分かれるような結果となった。

オ 水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまのサービスの向上

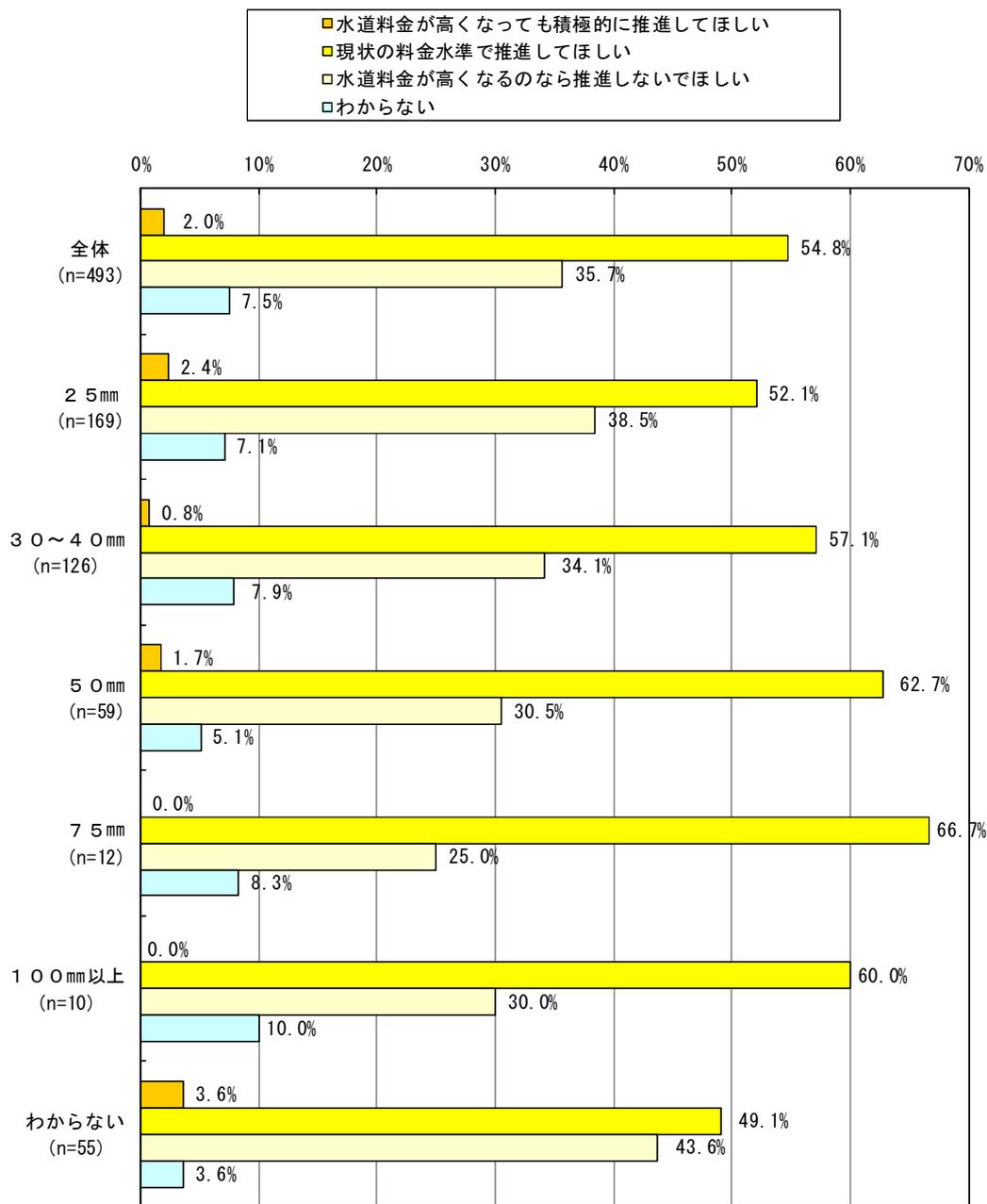


「水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上」への取組みについてみると、ほぼ半数近くが「現状の料金水準で推進してほしい」と回答しているが、「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」という回答も少なくない。

特に西区では「現状の料金水準で推進してほしい」が50.0%に対し、「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が41.9%、さらに「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」の回答が0%と、現在の料金水準でサービスを維持する声が高いことがうかがえる。

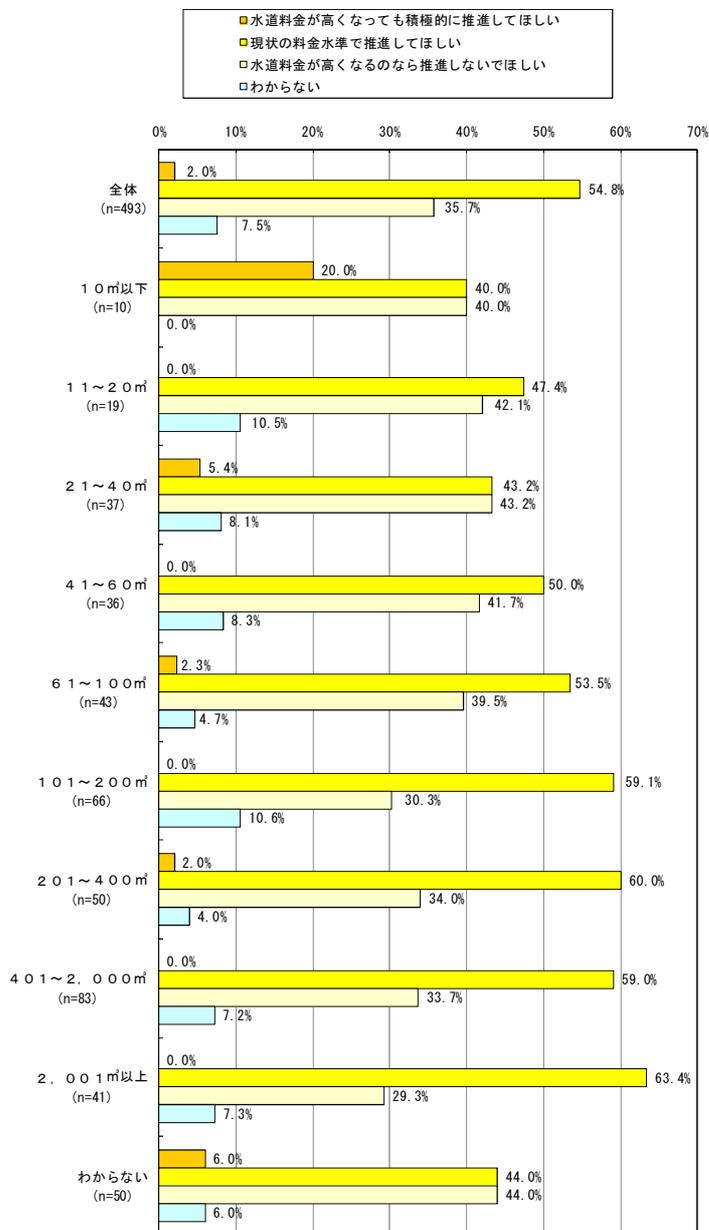


業種別に「水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上」への取組みについてみると、「現状の料金水準で推進してほしい」がどの業種でも最も多いが、運輸業では「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」と共に48.1%ずつを分け合う結果になっている。他の業種でも次点には「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が選ばれており、少なくとも全体の30%以上が現状の料金水準でのサービスを希望していることがわかる。



口径別に「水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上」への取組みをみると、ここでも「現状の料金水準で推進してほしい」がもっとも多い。

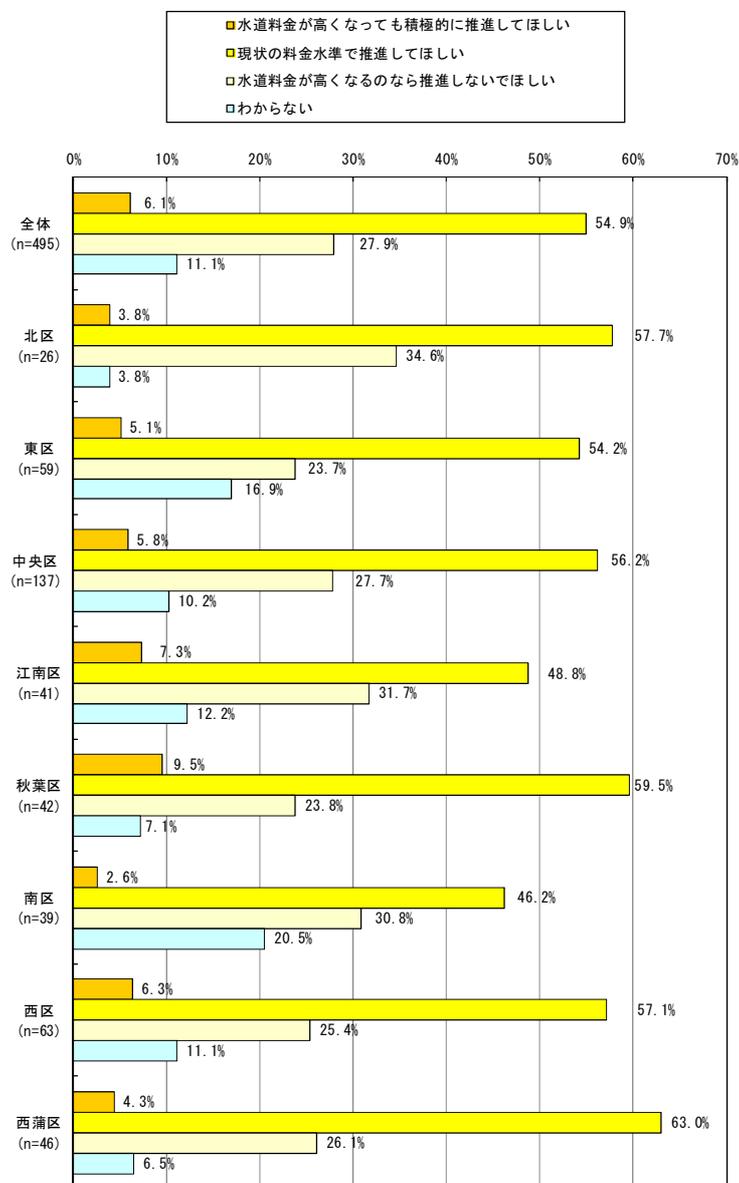
回答者数が多い25mm、30~40mmではそれぞれ「現状の水道水準で推進してほしい」が50%以上、「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が30%以上と、「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」を圧倒的に上回っている。



使用量別にみた「水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上」への取組みでも、「現状の料金水準で推進してほしい」という回答が多いなか、10㎡以下の事業所では40%、「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」も40%と、現在の料金水準の維持を希望しつつも、ほかの事業所と違い「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」が20%に達している。

使用量の多い事業所では「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」の回答が0%のところもあり、支払方法などのお客さまサービスに関しては差のある結果となった。

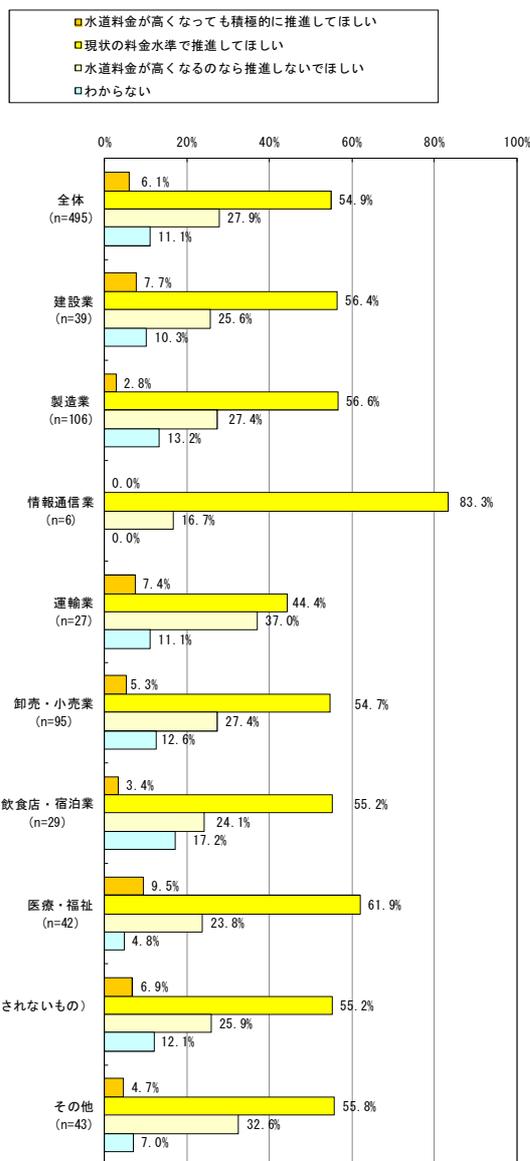
## カ 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備



「太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備」への取組みについて、全体的に「現状の料金水準で推進してほしい」という回答が最も多かった。

北区では「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」というが34.6%と少なく、最も多かった「現状の料金水準で推進してほしい」の57.7%と合わせると90%近くが現在の料金水準の維持を希望していることがわかる。

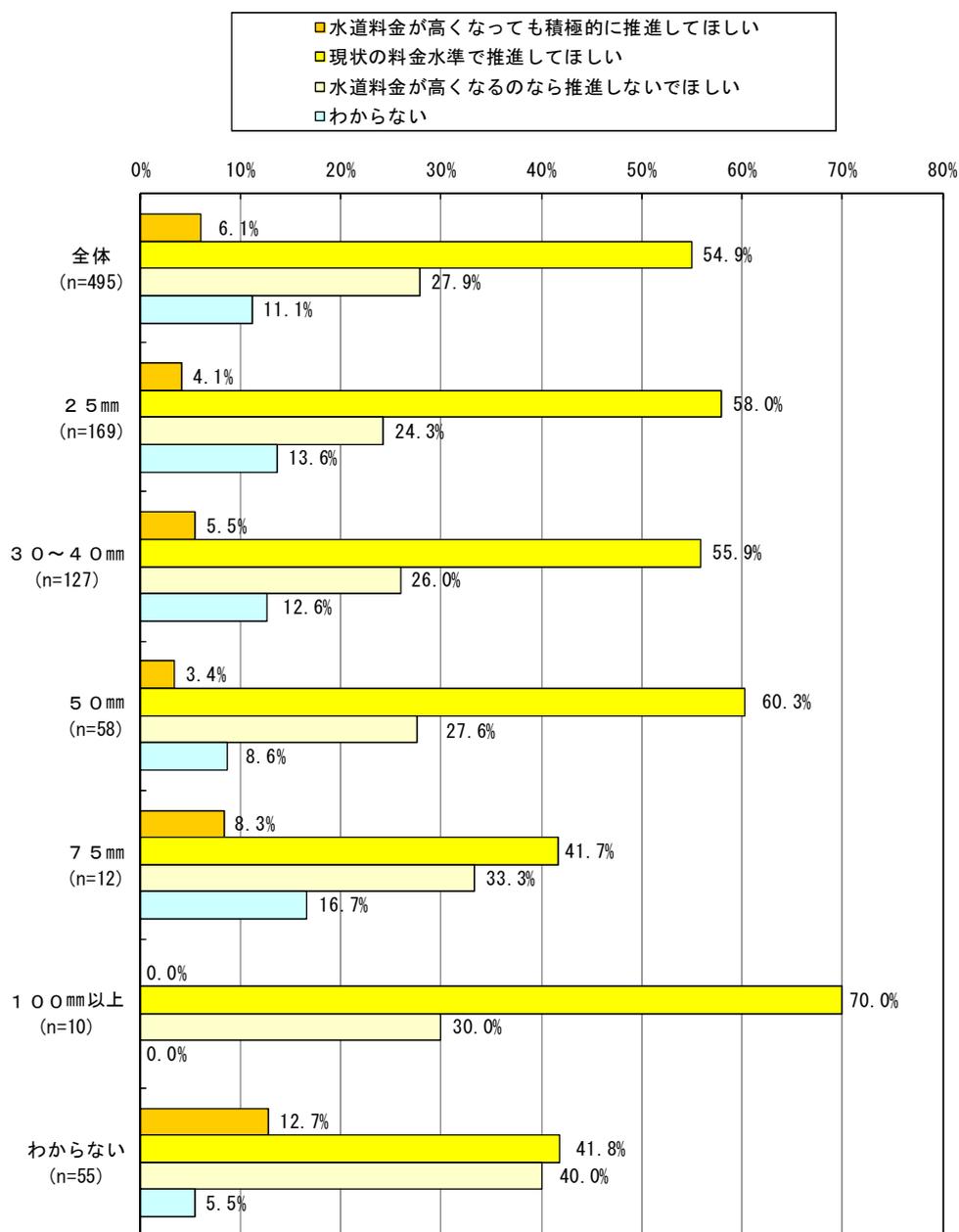
逆に新しい取組み「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」へ多く回答が寄せられたのは秋葉区の9.5%で、エネルギーに対する関心の高さがうかがえる。



業種別に「太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備」への取組みについてみると「現状の料金水準で推進してほしい」という回答が半数を占め、もっとも多かった。

運輸業では「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」との回答が37.0%と少なくない。

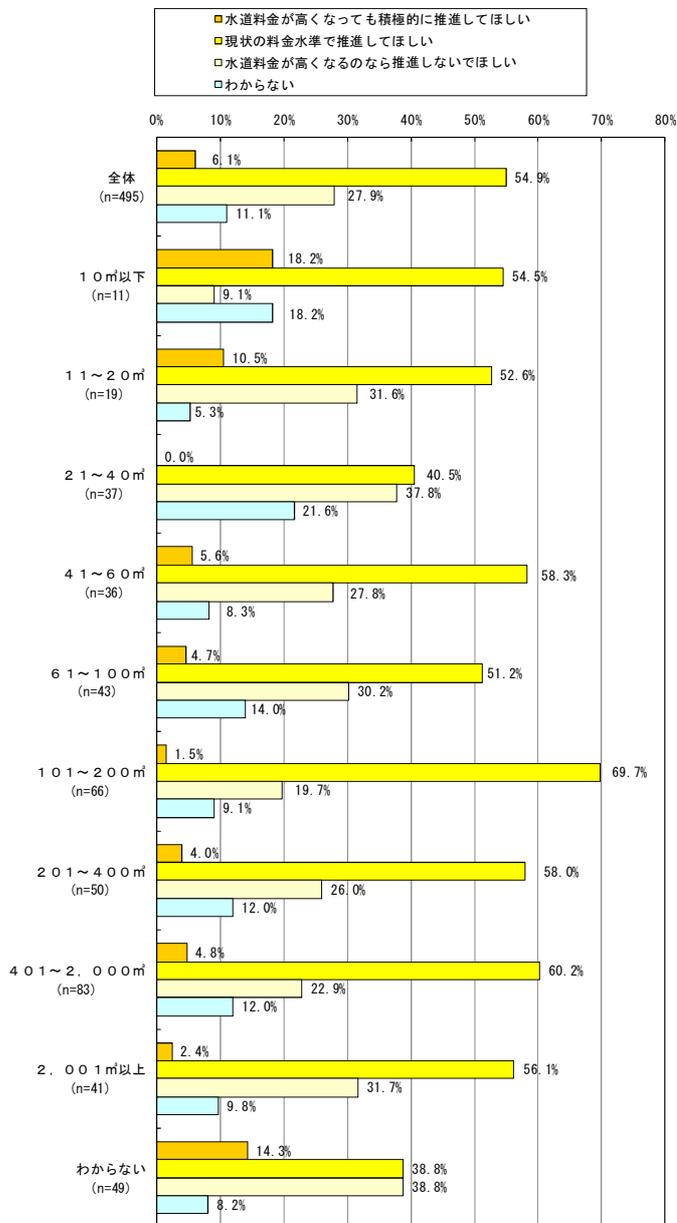
医療・福祉で「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」への回答が9.5%と他の業種より高く、次いで建設業が7.7%、運輸業7.4%と他より少ない数値ながらも新しい取組みへの関心があることが分かる。



「太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備」への取組みを口径別でみると、「現状の料金水準で推進してほしい」がもっとも多く、100mm以上の事業所では70%となっている。

次いで「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」という回答が30%近くを占め、全体的に現在の料金水準の維持を望む声が多いことがわかる。

口径がわからない事業所では「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」が12.7%と高くなっている。



使用量別に「太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備」への取組みをみると、使用量によって数値に差は生じているが、ここでも「現状の料金水準で推進してほしい」がもっとも多い。

10 m<sup>3</sup>以下の事業所では「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」の9.1%を抑えて「水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい」の18.2%が次点に立った。使用量がわからない事業所では14.3%と、どちらも新しい取り組みに関心があることをうかがわせている。

# 1 単純集計表

●水道水の節水意識や利用状況についてお聞きします

問1 日ごろ、あなたの事業所では水道水をどのように使っていますか。(○は1つだけ)

総数	1 節水のことは考えずに使っている	2 節水は必要と思いつつも、実行していない	3 ある程度節水しながら使っている	4 まめに節水して使っている
486	43 8.8%	241 49.6%	178 36.6%	24 4.9%

([問1-1]～[問1-2]は、問1で「3 ある程度節水しながら使っている」または「4 まめに節水して使っている」と回答された事業所にお聞きします。)

[問1-1] 次のうち現在取り組んでいる節水対策はありますか。(○はいくつでも)

総数	1 節水型設備の導入(業務用の機械など)	2 節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)	3 水の循環利用	4 地下水・雨水の利用	5 使用量の管理	6 従業員への啓発	7 その他
198	10 5.1%	22 11.1%	9 4.5%	18 9.1%	77 38.9%	160 80.8%	6 3.0%

[問1-2] 節水するための水道使用量の目標値はありますか。(○は1つだけ)

総数	1 前年度に比べて5%程度の節水	2 前年度に比べて10%程度の節水	3 前年度に比べて15%程度の節水	4 前年度に比べて20%を超える節水	5 その他	6 目標値はない
196	24 12.2%	16 8.2%	1 0.5%	2 1.0%	13 6.6%	140 71.4%

(問1-2で「1」から「5」の選択肢で回答された事業所にお聞きします。)

[問1-3] 節水をしたことにより、節水目標はどのくらい達成できましたか。(○は1つだけ)

総数	ほぼ達成できた	半分くらい達成できた	あまり達成できなかった	わからない
60	18 30.0%	13 21.7%	22 36.7%	7 11.7%

問2 次のうち、今後取り組みたいと思っている節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

総数	節水型設備の導入 (業務用の機械など)	節水型設備の導入 (節水型トイレなど、業務用以外のもの)	水の循環利用	地下水・雨水の利用	使用量の管理	従業員への啓発	その他	ない
493	35 7.1%	65 13.2%	19 3.9%	42 8.5%	171 34.7%	279 56.6%	12 2.4%	94 19.1%

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水及びそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)

	総数	1 水道水	2 雨水	3 地下水 (井戸水)	4 工業用水	5 その他
A 飲用	397	390 98.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 1.8%
B 飲用以外の生活用水 (トイレ等)	373	369 98.9%	0 0.0%	4 1.1%	0 0.0%	0 0.0%
C 商品製造・加工、サービスの提供などの業務用	196	177 90.3%	0 0.0%	8 4.1%	7 3.6%	4 2.0%
D 空調等の設備用	93	89 95.7%	0 0.0%	3 3.2%	0 0.0%	1 1.1%
E その他 *循環利用等	88	22 25.0%	6 6.8%	59 67.0%	1 1.1%	0 0.0%

●災害時における飲料水の確保と水道局の災害対策についてお聞きします

問4 平成23年3月11日の東日本大震災発生以降、あなたの事業所では水に対する考え方は変化しましたか。

(〇はいくつでも)

総数	以前より水の備蓄をするようになった	節水の意識が高まった	水道水以外の水 (ペットボトル水、井戸水など)を利用するようになった	水道水の安全性に対して関心が高くなった	水道の果たす役割に対して関心が高くなった	その他	変わらない
500	69 13.8%	129 25.8%	36 7.2%	92 18.4%	126 25.2%	8 1.6%	201 40.2%

問5 新潟市では、災害に備え、市民の皆さまに1人1日あたり3リットル、3日分で9リットル程度を目安として、飲料水の備蓄をお願いしています。あなたの事業所では、独自の取組みとして災害に備えた飲料水の備蓄を行っていますか。（○は1つだけ）

総数	備蓄している	備蓄していない
500	113 22.6%	387 77.4%

（問5で「1 備蓄している」と回答された事業所にお聞きします。）

[問5-1] 飲料水をどのくらい備蓄していますか。（○はいくつでも）

総数	ペットボトル（ミリリットル×本）	水の缶詰（ミリリットル×本）	ポリタンク（リットル×個）	その他（リットル）
112	98 87.5%	1 0.9%	8 7.1%	13 11.6%

問6 災害対策として、優先的に実施した方がよいと思う取組みはどれですか。次の中から3つ選び、○をつけてください。（3つまで選択）

総数	浄水場などの水道施設の耐震化	地震に強い水道管への入替えによる耐震化	病院などの重要施設向け水道管の耐震化	災害時に一定量の飲料水等を確保する緊急貯水槽などの応急給水設備の整備	給水車・仮設給水栓・キャンバス水槽などの応急給水用具の整備	ペットボトル水などの備蓄	その他
499	245 49.1%	276 55.3%	181 36.3%	244 48.9%	231 46.3%	157 31.5%	6 1.2%

●水道局の広報・PRについてお聞きします

問7 水道局が行っている広報の媒体の中で、あなたの事業所が利用しているものは次のうちどれですか。（○はいくつでも）

総数	広報室「水先案内」	市報にいがた	ホームページ	パンフレット	新聞での広報	イベント（水道週間等のイベント）	利用しているものはない
493	103 20.9%	175 35.5%	52 10.5%	28 5.7%	86 17.4%	7 1.4%	223 45.2%

問8 水道局が広報活動を行っていく上で、今後力を入れてほしい媒体は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

総数	広報紙「水先案内」	市報にいがた	ホームページ	携帯版ホームページ	パンフレット	新聞での広報	雑誌での広報	ラジオでの広報	テレビでの広報	検針票の裏面	イベント(水道週間等のイベント)	その他
464	115 24.8%	195 42.0%	127 27.4%	18 3.9%	54 11.6%	131 28.2%	11 2.4%	48 10.3%	141 30.4%	123 26.5%	27 5.8%	10 2.2%

問9 あなたの事業所が必要と考える水道局からの情報やお知らせは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

総数	水道水の水質検査の結果	断水・漏水などの工事情報	災害対策の取組み	水道料金や支払いに関する手続きの方法	事業の経営状況	各種のイベント情報	水道水の節水方法や活用方法など	その他
490	265 54.1%	262 53.5%	257 52.4%	59 12.0%	23 4.7%	21 4.3%	266 54.3%	3 0.6%

●水道事業全般についてお聞きします

問10 新潟市の水道事業について、どのように思いますか。(〇は1つだけ)

総数	満足(+2)	やや満足(+1)	どちらともいえない(0)	やや不満(-1)	不満(-2)	満足計	不満計	平均
499	68 13.6%	110 22.0%	288 57.7%	29 5.8%	4 0.8%	178 35.7%	33 6.6%	0.42

(問10で「1 満足」または「2 やや満足」と回答された事業所にお聞きします。)

[問10-1]新潟市の水道事業について満足している点は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

総数	水道水の安全性	水道水のおいしさ	災害時等の応急給水体制の整備	老朽化した水道管の更新・耐震化	浄水場などの水道施設の耐震化	断水のない安定した給水	お客さまへの対応	効率的な経営への取組み	水道料金の設定	道路漏水などへの緊急対応	わかりやすい広報への取組み	環境に配慮した事業運営	その他
178	148 83.1%	58 32.6%	14 7.9%	19 10.7%	11 6.2%	120 67.4%	29 16.3%	1 0.6%	7 3.9%	23 12.9%	10 5.6%	4 2.2%	1 0.6%

(問10で「4 やや不満」または「5 不満」と回答された事業所にお聞きします。)

[問10-2]新潟市の水道事業について不満な点は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

総数	水道水の安全性	水道水のおいしさ	災害時等の応急給水体制の整備	老朽化した水道管の更新・耐震化	浄水場などの水道施設の耐震化	断水のない安定した給水	お客さまへの対応	効率的な経営への取組み	水道料金の設定	道路漏水などへの緊急対応	わかりやすい広報への取組み	環境に配慮した事業運営	その他
34	7 20.6%	14 41.2%	4 11.8%	9 26.5%	3 8.8%	1 2.9%	4 11.8%	2 5.9%	18 52.9%	2 5.9%	2 5.9%	0 0.0%	2 5.9%

問11 水道局が行っている1～7の取組みについて、優先的に実施すべきと思う取組みはどれですか。次の中から優先的に実施した方がよいと思う順に3つまで選び（1つまたは2つでもよいです）、下記の回答欄に番号（1～7）をご記入ください。（3つまで選択）

	総数	1位	2位	3位	平均
1 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み	344	209 48.6%	86 20.5%	49 12.8%	1.5位
2 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み	188	38 8.8%	74 17.6%	76 19.8%	2.2位
3 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化	289	73 17.0%	120 28.6%	96 25.1%	2.1位
4 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み	312	94 21.9%	120 28.6%	98 25.6%	2.0位
5 水道料金の支払い方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上	37	6 1.4%	9 2.1%	22 5.7%	2.4位
6 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設設備	56	7 1.6%	11 2.6%	38 9.9%	2.6位
7 上記以外の取組み	7	3 0.7%	0 0.0%	4 1.0%	—

問12 水道事業の経営は独立採算制で、水道料金収入でまかなわれています。そこで、水道局が取り組んでいる次のア～カの取組みについて、水道料金との関係をどのようにお考えですか。（各行の1～4に○は1つだけ）

	総数	ア 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み	イ 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み	ウ 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化	エ 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道水を供給するための取組み	オ 水道料金の支払い方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上	カ 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備
1 水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい	328	68 13.6%	39 7.8%	95 19.1%	85 17.0%	10 2.0%	30 6.1%
2 現状の料金水準で推進してほしい	2,087	409 82.0%	391 78.4%	367 73.8%	378 75.4%	270 54.8%	272 54.9%
3 水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい	429	12 2.4%	56 11.2%	22 4.4%	25 5.0%	176 35.7%	138 27.9%
4 わからない	141	10 2.0%	13 2.6%	13 2.6%	13 2.6%	37 7.5%	55 11.1%

## 2 クロス集計表

【水道水の節水意識と利用状況】

		全体	節水のことは考えずに使っている	節水は必要と思いつながら、実行はしていない	ある程度節水をしなから使っている	まめに節水して使っている
問1 日ごろ、あなたの事業所では水道水をどのように使っていますか。(〇は1つだけ)						
全体計		486	43 8.8%	241 49.6%	178 36.6%	24 4.9%
事業所の所在地	北区	27	0 0.0%	12 44.4%	13 48.1%	2 7.4%
	東区	59	8 13.6%	28 47.5%	20 33.9%	3 5.1%
	中央区	133	10 7.5%	66 49.6%	54 40.6%	3 2.3%
	江南区	42	1 2.4%	29 69.0%	8 19.0%	4 9.5%
	秋葉区	42	4 9.5%	13 31.0%	24 57.1%	1 2.4%
	南区	38	2 5.3%	20 52.6%	14 36.8%	2 5.3%
	西区	62	6 9.7%	38 61.3%	14 22.6%	4 6.5%
	西蒲区	46	7 15.2%	16 34.8%	20 43.5%	3 6.5%
事業所の業種	建設業	35	5 14.3%	16 45.7%	11 31.4%	3 8.6%
	製造業	105	9 8.6%	54 51.4%	36 34.3%	6 5.7%
	情報通信業	6	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%
	運輸業	26	2 7.7%	15 57.7%	8 30.8%	1 3.8%
	卸売・小売業	96	11 11.5%	47 49.0%	32 33.3%	6 6.3%
	飲食店・宿泊業	26	0 0.0%	6 23.1%	16 61.5%	4 15.4%
	医療・福祉	42	3 7.1%	23 54.8%	16 38.1%	0 0.0%
	サービス業(他に分類されないもの)	60	3 5.0%	34 56.7%	22 36.7%	1 1.7%
	その他	45	3 6.7%	19 42.2%	22 48.9%	1 2.2%
事業所の水道メーター口径	25mm	167	21 12.6%	83 49.7%	57 34.1%	6 3.6%
	30~40mm	127	7 5.5%	62 48.8%	51 40.2%	7 5.5%
	50mm	59	1 1.7%	34 57.6%	21 35.6%	3 5.1%
	75mm	11	0 0.0%	4 36.4%	5 45.5%	2 18.2%
	100mm以上	10	1 10.0%	1 10.0%	8 80.0%	0 0.0%
	わからない	55	7 12.7%	27 49.1%	17 30.9%	4 7.3%
事業所の直近の水道使用水量	10㎡以下	10	3 30.0%	4 40.0%	3 30.0%	0 0.0%
	11~20㎡	19	2 10.5%	9 47.4%	7 36.8%	1 5.3%
	21~40㎡	37	5 13.5%	16 43.2%	14 37.8%	2 5.4%
	41~60㎡	35	4 11.4%	21 60.0%	9 25.7%	1 2.9%
	61~100㎡	42	4 9.5%	20 47.6%	17 40.5%	1 2.4%
	101~200㎡	65	4 6.2%	36 55.4%	22 33.8%	3 4.6%
	201~400㎡	50	3 6.0%	24 48.0%	22 44.0%	1 2.0%
	401~2,000㎡	85	2 2.4%	47 55.3%	31 36.5%	5 5.9%
	2,001㎡以上	40	3 7.5%	11 27.5%	22 55.0%	4 10.0%
	わからない	49	7 14.3%	24 49.0%	15 30.6%	3 6.1%

( [問1-1] ~ [問1-2] は、問1で「3 ある程度節水しながら使っている」または「4 まめに節水して使っている」と回答された事業所にお聞きします。)

[問1-1] 次のうち現在取り組んでいる節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

		全体	節水型設備の導入(業務用の機械など)	節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)	水の循環利用	地下水・雨水の利用	使用量の管理	従業員への啓発	その他
全体計		198	10 5.1%	22 11.1%	9 4.5%	18 9.1%	77 38.9%	160 80.8%	6 3.0%
事業所の所在地	北区	15	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	3 20.0%	7 46.7%	13 86.7%	1 6.7%
	東区	23	1 4.3%	5 21.7%	2 8.7%	2 8.7%	6 26.1%	20 87.0%	0 0.0%
	中央区	57	1 1.8%	9 15.8%	1 1.8%	1 1.8%	27 47.4%	43 75.4%	2 3.5%
	江南区	12	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 50.0%	10 83.3%	0 0.0%
	秋葉区	24	2 8.3%	2 8.3%	1 4.2%	2 8.3%	10 41.7%	17 70.8%	0 0.0%
	南区	16	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%	4 25.0%	14 87.5%	1 6.3%
	西区	17	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	6 35.3%	14 82.4%	0 0.0%
	西蒲区	22	1 4.5%	2 9.1%	2 9.1%	4 18.2%	8 36.4%	17 77.3%	2 9.1%
事業所の業種	建設業	14	0 0.0%	4 28.6%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%	12 85.7%	0 0.0%
	製造業	41	2 4.9%	6 14.6%	5 12.2%	5 12.2%	17 41.5%	34 82.9%	1 2.4%
	情報通信業	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸業	9	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%
	卸売・小売業	37	1 2.7%	2 5.4%	1 2.7%	1 2.7%	14 37.8%	31 83.8%	3 8.1%
	飲食店・宿泊業	20	4 20.0%	3 15.0%	1 5.0%	2 10.0%	7 35.0%	14 70.0%	1 5.0%
	医療・福祉	15	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	3 20.0%	6 40.0%	12 80.0%	0 0.0%
	サービス業(他に分類されないもの)	23	1 4.3%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	13 56.5%	18 78.3%	1 4.3%
その他	23	0 0.0%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	12 52.2%	16 69.6%	0 0.0%	
事業所の水道メーター口径	25mm	62	2 3.2%	6 9.7%	3 4.8%	6 9.7%	17 27.4%	47 75.8%	3 4.8%
	30~40mm	56	4 7.1%	6 10.7%	0 0.0%	4 7.1%	21 37.5%	47 83.9%	2 3.6%
	50mm	24	2 8.3%	1 4.2%	3 12.5%	2 8.3%	12 50.0%	20 83.3%	1 4.2%
	75mm	7	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	5 71.4%	0 0.0%
	100mm以上	8	0 0.0%	5 62.5%	1 12.5%	0 0.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%
	わからない	21	1 4.8%	3 14.3%	0 0.0%	1 4.8%	9 42.9%	19 90.5%	0 0.0%
事業所の直近の水道使用水量	10㎡以下	3	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
	11~20㎡	8	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%
	21~40㎡	16	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	4 25.0%	13 81.3%	1 6.3%
	41~60㎡	10	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	9 90.0%	0 0.0%
	61~100㎡	16	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%	6 37.5%	11 68.8%	1 6.3%
	101~200㎡	25	1 4.0%	4 16.0%	1 4.0%	2 8.0%	10 40.0%	18 72.0%	0 0.0%
	201~400㎡	23	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 43.5%	22 95.7%	1 4.3%
	401~2,000㎡	35	2 5.7%	4 11.4%	2 5.7%	4 11.4%	15 42.9%	29 82.9%	3 8.6%
	2,001㎡以上	26	3 11.5%	5 19.2%	2 7.7%	1 3.8%	14 53.8%	17 65.4%	0 0.0%
	わからない	18	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	2 11.1%	8 44.4%	15 83.3%	0 0.0%

[問1-2] 節水するための水道使用量の目標値はありますか。(〇は1つだけ)

		全体	前年度に比べて5%程度の節水	前年度に比べて10%程度の節水	前年度に比べて15%程度の節水	前年度に比べて20%を超える節水	その他	目標値はない
全体計		196	24 12.2%	16 8.2%	1 0.5%	2 1.0%	13 6.6%	140 71.4%
事業所の所在地	北区	15	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 73.3%
	東区	23	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	20 87.0%
	中央区	56	7 12.5%	4 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 10.7%	39 69.6%
	江南区	12	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 75.0%
	秋葉区	22	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	18 81.8%
	南区	16	2 12.5%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	10 62.5%
	西区	17	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	13 76.5%
	西蒲区	22	4 18.2%	5 22.7%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	11 50.0%
事業所の業種	建設業	14	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	10 71.4%
	製造業	41	1 2.4%	4 9.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.9%	34 82.9%
	情報通信業	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	運輸業	9	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 88.9%
	卸売・小売業	36	7 19.4%	3 8.3%	0 0.0%	1 2.8%	5 13.9%	20 55.6%
	飲食店・宿泊業	20	3 15.0%	3 15.0%	1 5.0%	0 0.0%	3 15.0%	10 50.0%
	医療・福祉	14	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 78.6%
	サービス業(他に分類されないもの)	23	5 21.7%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 73.9%
	その他	22	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 86.4%
	事業所の水道メーター口径	25mm	62	10 16.1%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	4 6.5%
30~40mm		55	6 10.9%	7 12.7%	0 0.0%	1 1.8%	2 3.6%	39 70.9%
50mm		23	3 13.0%	4 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	14 60.9%
75mm		6	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 66.7%
100mm以上		8	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	5 62.5%
わからない		21	1 4.8%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	17 81.0%
事業所の直近の水道使用水量	10m <sup>3</sup> 以下	3	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%
	11~20m <sup>3</sup>	8	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 87.5%
	21~40m <sup>3</sup>	16	5 31.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	9 56.3%
	41~60m <sup>3</sup>	9	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 55.6%
	61~100m <sup>3</sup>	16	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	11 68.8%
	101~200m <sup>3</sup>	25	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	20 80.0%
	201~400m <sup>3</sup>	23	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	20 87.0%
	401~2,000m <sup>3</sup>	34	5 14.7%	4 11.8%	0 0.0%	1 2.9%	2 5.9%	22 64.7%
	2,001m <sup>3</sup> 以上	25	2 8.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	2 8.0%	16 64.0%
	わからない	18	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 83.3%

(問1-2で「1」から「5」の選択肢で回答された事業所にお聞きします。)

[問1-3] 節水をしたことにより、節水目標はどのくらい達成できましたか。(○は1つだけ)

		全体	ほぼ達成できた	半分くらい達成できた	あまり達成できなかった	わからない
全体計		60	18 30.0%	13 21.7%	22 36.7%	7 11.7%
事業所の所在地	北区	4	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%
	東区	5	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%
	中央区	17	5 29.4%	4 23.5%	6 35.3%	2 11.8%
	江南区	3	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	秋葉区	5	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%
	南区	6	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%
	西区	5	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%
	西蒲区	11	4 36.4%	1 9.1%	5 45.5%	1 9.1%
事業所の業種	建設業	4	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%
	製造業	8	2 25.0%	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%
	情報通信業	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	運輸業	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	卸売・小売業	17	6 35.3%	0 0.0%	7 41.2%	4 23.5%
	飲食店・宿泊業	11	2 18.2%	4 36.4%	3 27.3%	2 18.2%
	医療・福祉	3	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	サービス業(他に分類されないもの)	6	0 0.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%
	その他	3	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
事業所の水道メーター口径	25mm	17	6 35.3%	2 11.8%	7 41.2%	2 11.8%
	30~40mm	16	3 18.8%	4 25.0%	8 50.0%	1 6.3%
	50mm	9	3 33.3%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%
	75mm	2	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	100mm以上	3	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%
	わからない	6	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%
事業所の直近の水道使用水量	10m <sup>3</sup> 以下	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	11~20m <sup>3</sup>	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	21~40m <sup>3</sup>	7	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	2 28.6%
	41~60m <sup>3</sup>	4	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%
	61~100m <sup>3</sup>	4	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	101~200m <sup>3</sup>	5	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%
	201~400m <sup>3</sup>	3	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
	401~2,000m <sup>3</sup>	13	3 23.1%	5 38.5%	5 38.5%	0 0.0%
	2,001m <sup>3</sup> 以上	9	3 33.3%	1 11.1%	4 44.4%	1 11.1%
	わからない	5	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%

問2 次のうち、今後取り組みたいと思っている節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

		全体	節水型設備 の導入(業 務用の機 械など)	節水型設備 の導入(節 水型トイレ など、業務 用以外のも の)	水の循環利 用	地下水・雨 水の利用	使用量の管 理	従業員への 啓発	その他	ない
全体計		493	35 7.1%	65 13.2%	19 3.9%	42 8.5%	171 34.7%	279 56.6%	12 2.4%	94 19.1%
事業所 の 所在地	北区	27	2 7.4%	6 22.2%	1 3.7%	4 14.8%	10 37.0%	12 44.4%	1 3.7%	8 29.6%
	東区	59	3 5.1%	6 10.2%	3 5.1%	4 6.8%	17 28.8%	28 47.5%	0 0.0%	14 23.7%
	中央区	137	11 8.0%	24 17.5%	3 2.2%	9 6.6%	46 33.6%	75 54.7%	4 2.9%	27 19.7%
	江南区	39	4 10.3%	5 12.8%	1 2.6%	3 7.7%	12 30.8%	22 56.4%	0 0.0%	7 17.9%
	秋葉区	40	2 5.0%	4 10.0%	0 0.0%	3 7.5%	9 22.5%	20 50.0%	2 5.0%	10 25.0%
	南区	39	6 15.4%	6 15.4%	1 2.6%	4 10.3%	16 41.0%	22 56.4%	0 0.0%	4 10.3%
	西区	65	3 4.6%	7 10.8%	3 4.6%	4 6.2%	29 44.6%	45 69.2%	3 4.6%	8 12.3%
	西蒲区	46	3 6.5%	2 4.3%	4 8.7%	6 13.0%	22 47.8%	31 67.4%	0 0.0%	7 15.2%
事業所 の 業種	建設業	39	2 5.1%	6 15.4%	1 2.6%	5 12.8%	15 38.5%	16 41.0%	2 5.1%	7 17.9%
	製造業	106	17 16.0%	9 8.5%	4 3.8%	9 8.5%	29 27.4%	57 53.8%	1 0.9%	22 20.8%
	情報通信業	6	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%
	運輸業	27	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	9 33.3%	20 74.1%	0 0.0%	4 14.8%
	卸売・小売業	94	1 1.1%	12 12.8%	2 2.1%	8 8.5%	34 36.2%	50 53.2%	1 1.1%	22 23.4%
	飲食店・宿泊業	27	2 7.4%	4 14.8%	0 0.0%	4 14.8%	12 44.4%	16 59.3%	2 7.4%	3 11.1%
	医療・福祉	42	5 11.9%	8 19.0%	1 2.4%	1 2.4%	18 42.9%	30 71.4%	2 4.8%	3 7.1%
	サービス業(他に分 類されないもの)	60	3 5.0%	9 15.0%	6 10.0%	4 6.7%	26 43.3%	36 60.0%	0 0.0%	11 18.3%
	その他	42	2 4.8%	10 23.8%	1 2.4%	3 7.1%	14 33.3%	24 57.1%	0 0.0%	9 21.4%
事業所 の 水道 メーター 口径	25mm	169	5 3.0%	19 11.2%	6 3.6%	15 8.9%	65 38.5%	98 58.0%	3 1.8%	33 19.5%
	30~40mm	128	11 8.6%	14 10.9%	7 5.5%	7 5.5%	43 33.6%	66 51.6%	4 3.1%	30 23.4%
	50mm	56	5 8.9%	6 10.7%	0 0.0%	6 10.7%	26 46.4%	39 69.6%	1 1.8%	5 8.9%
	75mm	12	4 33.3%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	5 41.7%	0 0.0%	1 8.3%
	100mm以上	10	4 40.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	4 40.0%	1 10.0%	1 10.0%
	わからない	56	1 1.8%	12 21.4%	1 1.8%	5 8.9%	13 23.2%	29 51.8%	0 0.0%	12 21.4%
	事業所 の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	11	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	3 27.3%	0 0.0%
11~20㎡	19	2 10.5%	3 15.8%	0 0.0%	2 10.5%	3 15.8%	7 36.8%	1 5.3%	4 21.1%	
21~40㎡	38	0 0.0%	2 5.3%	0 0.0%	3 7.9%	9 23.7%	23 60.5%	1 2.6%	10 26.3%	
41~60㎡	35	0 0.0%	3 8.6%	0 0.0%	2 5.7%	12 34.3%	17 48.6%	1 2.9%	8 22.9%	
61~100㎡	42	3 7.1%	5 11.9%	3 7.1%	1 2.4%	16 38.1%	17 40.5%	0 0.0%	12 28.6%	
101~200㎡	65	2 3.1%	11 16.9%	4 6.2%	10 15.4%	29 44.6%	36 55.4%	0 0.0%	14 21.5%	
201~400㎡	50	2 4.0%	5 10.0%	0 0.0%	1 2.0%	23 46.0%	41 82.0%	2 4.0%	2 4.0%	
401~2,000㎡	84	8 9.5%	6 7.1%	4 4.8%	6 7.1%	29 34.5%	52 61.9%	1 1.2%	16 19.0%	
2,001㎡以上	41	12 29.3%	9 22.0%	2 4.9%	3 7.3%	19 46.3%	22 53.7%	3 7.3%	1 2.4%	
わからない	49	2 4.1%	12 24.5%	1 2.0%	5 10.2%	10 20.4%	23 46.9%	0 0.0%	12 24.5%	

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水及びそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)【水道水】							
		全体	飲用	飲用以外の生活用水(トイレ等)	商品の製造・加工、サービスの提供などの業務	空調等の設備用	その他
全体計		400	390	369	177	89	22
			97.5%	92.3%	44.3%	22.3%	5.5%
事業所の所在地	北区	17	17	15	11	3	0
			100.0%	88.2%	64.7%	17.6%	0.0%
	東区	45	44	44	19	7	0
			97.8%	97.8%	42.2%	15.6%	0.0%
	中央区	112	106	104	27	32	4
			94.6%	92.9%	24.1%	28.6%	3.6%
	江南区	38	37	35	19	4	5
			97.4%	92.1%	50.0%	10.5%	13.2%
秋葉区	31	31	29	18	3	2	
		100.0%	93.5%	58.1%	9.7%	6.5%	
南区	31	31	29	19	11	1	
		100.0%	93.5%	61.3%	35.5%	3.2%	
西区	55	54	50	27	16	4	
		98.2%	90.9%	49.1%	29.1%	7.3%	
西蒲区	38	37	35	19	8	5	
		97.4%	92.1%	50.0%	21.1%	13.2%	
事業所の業種	建設業	33	33	32	3	5	1
			100.0%	97.0%	9.1%	15.2%	3.0%
	製造業	86	84	81	58	22	4
			97.7%	94.2%	67.4%	25.6%	4.7%
	情報通信業	5	5	4	0	2	0
			100.0%	80.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	運輸業	19	19	18	5	5	6
			100.0%	94.7%	26.3%	26.3%	31.6%
	卸売・小売業	81	77	74	26	17	3
		95.1%	91.4%	32.1%	21.0%	3.7%	
飲食店・宿泊業	20	19	18	13	8	1	
		95.0%	90.0%	65.0%	40.0%	5.0%	
医療・福祉	32	32	29	15	10	3	
		100.0%	90.6%	46.9%	31.3%	9.4%	
サービス業(他に分類されないもの)	51	49	46	27	7	2	
		96.1%	90.2%	52.9%	13.7%	3.9%	
その他	33	32	32	10	7	1	
		97.0%	97.0%	30.3%	21.2%	3.0%	
事業所の水道メーター口径	25mm	141	135	132	52	17	12
			95.7%	93.6%	36.9%	12.1%	8.5%
	30~40mm	105	103	100	49	28	6
			98.1%	95.2%	46.7%	26.7%	5.7%
	50mm	42	41	38	20	13	2
			97.6%	90.5%	47.6%	31.0%	4.8%
75mm	11	11	10	8	7	0	
		100.0%	90.9%	72.7%	63.6%	0.0%	
100mm以上	8	8	7	6	6	0	
		100.0%	87.5%	75.0%	75.0%	0.0%	
わからない	44	43	39	16	11	0	
		97.7%	88.6%	36.4%	25.0%	0.0%	
事業所の直近の水道使用水量	10㎡以下	9	8	8	1	0	0
			88.9%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	11~20㎡	14	14	14	2	1	1
			100.0%	100.0%	14.3%	7.1%	7.1%
	21~40㎡	33	32	29	16	4	3
			97.0%	87.9%	48.5%	12.1%	9.1%
	41~60㎡	30	29	29	7	3	1
			96.7%	96.7%	23.3%	10.0%	3.3%
	61~100㎡	34	33	32	10	3	4
			97.1%	94.1%	29.4%	8.8%	11.8%
101~200㎡	55	51	52	22	8	1	
		92.7%	94.5%	40.0%	14.5%	1.8%	
201~400㎡	42	42	40	19	12	6	
		100.0%	95.2%	45.2%	28.6%	14.3%	
401~2,000㎡	63	63	60	38	22	2	
		100.0%	95.2%	60.3%	34.9%	3.2%	
2,001㎡以上	34	33	30	25	20	1	
		97.1%	88.2%	73.5%	58.8%	2.9%	
わからない	37	36	32	10	9	0	
		97.3%	86.5%	27.0%	24.3%	0.0%	

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水及びそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)【雨水】

		全体	飲用	飲用以外の生活用水(トイレ等)	商品の製造・加工、サービスの提供などの業務	空調等の設備用	その他
全体計		6	0	0	0	0	6
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
事業所の所在地	北区	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	東区	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中央区	1	0	0	0	0	1
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	江南区	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
秋葉区	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
南区	2	0	0	0	0	2	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
西区	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
西蒲区	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
事業所の業種	建設業	2	0	0	0	0	2
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	製造業	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	情報通信業	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	運輸業	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	卸売・小売業	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
飲食店・宿泊業	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
医療・福祉	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
サービス業(他に分類されないもの)	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
事業所の水道メーター口径	25mm	2	0	0	0	0	2
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	30~40mm	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50mm	1	0	0	0	0	1
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	75mm	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
100mm以上	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
わからない	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
事業所の直近の水道使用水量	10㎡以下	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	11~20㎡	1	0	0	0	0	1
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	21~40㎡	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	41~60㎡	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	61~100㎡	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
101~200㎡	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
201~400㎡	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
401~2,000㎡	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
2,001㎡以上	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
わからない	1	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水及びそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)【地下水(井戸水)】

		全体	飲用	飲用以外の生活用水(トイレ等)	商品の製造・加工、サービスの提供などの業務	空調等の設備用	その他
全体計		79	2	9	11	4	61
			2.5%	11.4%	13.9%	5.1%	77.2%
事業所の所在地	北区	10	1	2	3	2	5
			10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	50.0%
	東区	11	0	1	0	1	9
			0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	81.8%
	中央区	12	0	1	1	0	10
			0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	83.3%
	江南区	7	0	0	0	0	7
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
秋葉区	8	0	0	1	1	6	
		0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	75.0%	
南区	3	0	0	0	0	3	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
西区	8	0	4	1	0	6	
		0.0%	50.0%	12.5%	0.0%	75.0%	
西浦区	10	1	1	4	0	6	
		10.0%	10.0%	40.0%	0.0%	60.0%	
事業所の業種	建設業	7	0	1	0	0	6
			0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%
	製造業	22	1	3	8	3	11
			4.5%	13.6%	36.4%	13.6%	50.0%
	情報通信業	1	0	0	0	0	1
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	運輸業	2	0	1	0	0	1
			0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	卸売・小売業	11	0	0	0	0	11
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
飲食店・宿泊業	2	1	1	1	0	1	
		50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	
医療・福祉	11	0	2	0	0	10	
		0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	90.9%	
サービス業(他に分類されないもの)	8	0	0	1	0	7	
		0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	87.5%	
その他	4	0	1	0	1	3	
		0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	75.0%	
事業所の水道メーター口径	25mm	27	0	3	4	1	20
			0.0%	11.1%	14.8%	3.7%	74.1%
	30~40mm	21	0	2	1	1	17
			0.0%	9.5%	4.8%	4.8%	81.0%
	50mm	9	0	2	2	1	6
			0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	66.7%
	75mm	2	0	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
100mm以上	2	0	0	0	0	2	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
わからない	5	1	1	1	0	4	
		20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	80.0%	
事業所の直近の水道使用水量	10m <sup>3</sup> 以下	1	0	0	0	0	1
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	11~20m <sup>3</sup>	2	0	0	0	0	2
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	21~40m <sup>3</sup>	3	0	0	0	0	3
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	41~60m <sup>3</sup>	3	0	0	0	0	3
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	61~100m <sup>3</sup>	6	0	1	0	0	5
			0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%
101~200m <sup>3</sup>	14	0	2	3	2	8	
		0.0%	14.3%	21.4%	14.3%	57.1%	
201~400m <sup>3</sup>	10	0	0	1	0	9	
		0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	90.0%	
401~2,000m <sup>3</sup>	12	0	2	3	1	7	
		0.0%	16.7%	25.0%	8.3%	58.3%	
2,001m <sup>3</sup> 以上	8	0	2	0	0	7	
		0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	87.5%	
わからない	6	1	1	1	0	5	
		16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	83.3%	

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水及びそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)【工業用水】

		全体	飲用	飲用以外の生活用水(トイレ等)	商品の製造・加工、サービスの提供などの業務	空調等の設備用	その他
全体計		14	0 0.0%	4 28.6%	11 78.6%	5 35.7%	3 21.4%
事業所の所在地	北区	2	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%
	東区	6	0 0.0%	3 50.0%	5 83.3%	4 66.7%	1 16.7%
	中央区	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	江南区	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	秋葉区	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	南区	3	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
	西区	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	西浦区	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
事業所の業種	建設業	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	製造業	11	0 0.0%	3 27.3%	10 90.9%	4 36.4%	1 9.1%
	情報通信業	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸業	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	卸売・小売業	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	飲食店・宿泊業	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	医療・福祉	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	サービス業(他に分類されないもの)	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
	その他	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
事業所の水道メーター口径	25mm	3	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%
	30~40mm	4	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%
	50mm	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	75mm	1	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
	100mm以上	3	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%
	わからない	2	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
事業所の直近の水道使用水量	10m <sup>3</sup> 以下	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	11~20m <sup>3</sup>	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	21~40m <sup>3</sup>	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	41~60m <sup>3</sup>	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	61~100m <sup>3</sup>	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
	101~200m <sup>3</sup>	1	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
	201~400m <sup>3</sup>	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	401~2,000m <sup>3</sup>	7	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%	1 14.3%	1 14.3%
	2,001m <sup>3</sup> 以上	3	0 0.0%	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%
	わからない	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水及びそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)【その他】※循環利用等							
		全体	飲用	飲用以外の生活用水(トイレ等)	商品の製造・加工、サービスの提供などの業務	空調等の設備用	その他
全体計		12	7	0	4	1	0
			58.3%	0.0%	33.3%	8.3%	0.0%
事業所の所在地	北区	1	1	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	東区	2	1	0	1	0	0
			50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	中央区	5	4	0	0	1	0
			80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	江南区	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
秋葉区	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
南区	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
西区	1	1	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
西浦区	1	0	0	1	0	0	
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
事業所の業種	建設業	3	3	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	製造業	4	2	0	2	0	0
			50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	情報通信業	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	運輸業	1	0	0	0	1	0
			0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	卸売・小売業	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
飲食店・宿泊業	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
サービス業(他に分類されないもの)	1	1	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	1	1	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
事業所の水道メーター口径	25mm	3	3	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30~40mm	5	3	0	1	1	0
			60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	50mm	1	0	0	1	0	0
			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	75mm	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
100mm以上	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
わからない	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
事業所の直近の水道使用水量	10㎡以下	2	2	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	11~20㎡	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	21~40㎡	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	41~60㎡	2	1	0	0	1	0
			50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	61~100㎡	3	3	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
101~200㎡	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
201~400㎡	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
401~2,000㎡	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
2,001㎡以上	2	0	0	2	0	0	
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
わからない	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

【災害時の飲料水の確保と災害対策】

問4 平成23年3月11日の東日本大震災発生以降、あなたの事業所では水に対する考え方は変化しましたか。(〇はいくつでも)									
		全体	以前より水の備蓄をするようになった	節水の意識が高まった	水道水以外の水(ペットボトル水、井戸水など)を利用するようになった	水道水の安全性に対して関心が高くなった	水道の果たす役割に対して関心が高くなった	その他	変わらない
全体計		500	69 13.8%	129 25.8%	36 7.2%	92 18.4%	126 25.2%	8 1.6%	201 40.2%
事業所の所在地	北区	28	1 3.6%	6 21.4%	2 7.1%	4 14.3%	4 14.3%	0 0.0%	16 57.1%
	東区	59	10 16.9%	11 18.6%	5 8.5%	8 13.6%	13 22.0%	1 1.7%	30 50.8%
	中央区	139	24 17.3%	41 29.5%	11 7.9%	27 19.4%	27 19.4%	3 2.2%	50 36.0%
	江南区	40	5 12.5%	7 17.5%	1 2.5%	11 27.5%	17 42.5%	0 0.0%	14 35.0%
	秋葉区	43	9 20.9%	12 27.9%	3 7.0%	6 14.0%	11 25.6%	1 2.3%	16 37.2%
	南区	39	0 0.0%	7 17.9%	2 5.1%	7 17.9%	10 25.6%	0 0.0%	21 53.8%
	西区	66	11 16.7%	16 24.2%	6 9.1%	12 18.2%	19 28.8%	3 4.5%	24 36.4%
	西蒲区	44	5 11.4%	17 38.6%	2 4.5%	7 15.9%	14 31.8%	0 0.0%	14 31.8%
事業所の業種	建設業	39	9 23.1%	10 25.6%	5 12.8%	7 17.9%	9 23.1%	0 0.0%	16 41.0%
	製造業	108	10 9.3%	20 18.5%	7 6.5%	21 19.4%	24 22.2%	2 1.9%	55 50.9%
	情報通信業	6	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%
	運輸業	28	4 14.3%	7 25.0%	0 0.0%	3 10.7%	4 14.3%	1 3.6%	12 42.9%
	卸売・小売業	95	15 15.8%	27 28.4%	8 8.4%	13 13.7%	16 16.8%	1 1.1%	38 40.0%
	飲食店・宿泊業	28	0 0.0%	8 28.6%	2 7.1%	7 25.0%	13 46.4%	0 0.0%	9 32.1%
	医療・福祉	43	11 25.6%	11 25.6%	1 2.3%	5 11.6%	13 30.2%	2 4.7%	15 34.9%
	サービス業(他に分類されないもの)	62	12 19.4%	20 32.3%	7 11.3%	18 29.0%	18 29.0%	0 0.0%	20 32.3%
	その他	40	3 7.5%	9 22.5%	2 5.0%	5 12.5%	12 30.0%	1 2.5%	15 37.5%
事業所の水道メーター口径	25mm	171	26 15.2%	38 22.2%	15 8.8%	31 18.1%	42 24.6%	0 0.0%	76 44.4%
	30~40mm	132	22 16.7%	38 28.8%	4 3.0%	25 18.9%	33 25.0%	2 1.5%	51 38.6%
	50mm	56	8 14.3%	14 25.0%	5 8.9%	11 19.6%	19 33.9%	3 5.4%	17 30.4%
	75mm	12	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	3 25.0%	6 50.0%	0 0.0%	4 33.3%
	100mm以上	10	2 20.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%	4 40.0%
	わからない	56	4 7.1%	17 30.4%	4 7.1%	8 14.3%	9 16.1%	0 0.0%	23 41.1%
事業所の直近の水道使用水量	10㎡以下	10	1 10.0%	2 20.0%	3 30.0%	3 30.0%	3 30.0%	0 0.0%	4 40.0%
	11~20㎡	19	2 10.5%	6 31.6%	2 10.5%	3 15.8%	4 21.1%	0 0.0%	6 31.6%
	21~40㎡	37	6 16.2%	9 24.3%	0 0.0%	5 13.5%	5 13.5%	0 0.0%	19 51.4%
	41~60㎡	36	4 11.1%	6 16.7%	4 11.1%	5 13.9%	7 19.4%	0 0.0%	18 50.0%
	61~100㎡	44	6 13.6%	9 20.5%	5 11.4%	5 11.4%	8 18.2%	0 0.0%	22 50.0%
	101~200㎡	65	12 18.5%	16 24.6%	4 6.2%	9 13.8%	17 26.2%	1 1.5%	26 40.0%
	201~400㎡	51	6 11.8%	18 35.3%	2 3.9%	16 31.4%	16 31.4%	1 2.0%	16 31.4%
	401~2,000㎡	86	12 14.0%	22 25.6%	4 4.7%	17 19.8%	24 27.9%	3 3.5%	36 41.9%
	2,001㎡以上	41	9 22.0%	10 24.4%	2 4.9%	8 19.5%	15 36.6%	1 2.4%	11 26.8%
	わからない	51	5 9.8%	16 31.4%	4 7.8%	7 13.7%	12 23.5%	0 0.0%	19 37.3%

問5 新潟市では、災害に備え、市民の皆さまに1人1日あたり3リットル、3日分で9リットル程度を目安として、飲料水の備蓄をお願いしています。あなたの事業所では、独自の取組みとして災害に備えた飲料水の備蓄を行っていますか。（〇は1つだけ）

		全体	備蓄している	備蓄していない
全体計		500	113 22.6%	387 77.4%
事業所の所在地	北区	28	3 10.7%	25 89.3%
	東区	60	14 23.3%	46 76.7%
	中央区	140	38 27.1%	102 72.9%
	江南区	40	7 17.5%	33 82.5%
	秋葉区	43	10 23.3%	33 76.7%
	南区	39	7 17.9%	32 82.1%
	西区	64	18 28.1%	46 71.9%
	西蒲区	46	10 21.7%	36 78.3%
事業所の業種	建設業	39	13 33.3%	26 66.7%
	製造業	108	13 12.0%	95 88.0%
	情報通信業	6	3 50.0%	3 50.0%
	運輸業	27	6 22.2%	21 77.8%
	卸売・小売業	94	22 23.4%	72 76.6%
	飲食店・宿泊業	28	3 10.7%	25 89.3%
	医療・福祉	43	24 55.8%	19 44.2%
	サービス業(他に分類されないもの)	62	12 19.4%	50 80.6%
	その他	44	11 25.0%	33 75.0%
事業所の水道メーター口径	25mm	174	38 21.8%	136 78.2%
	30~40mm	131	34 26.0%	97 74.0%
	50mm	59	19 32.2%	40 67.8%
	75mm	12	4 33.3%	8 66.7%
	100mm以上	9	4 44.4%	5 55.6%
	わからない	54	7 13.0%	47 87.0%
事業所の直近の水道使用水量	10m <sup>3</sup> 以下	11	5 45.5%	6 54.5%
	11~20m <sup>3</sup>	20	2 10.0%	18 90.0%
	21~40m <sup>3</sup>	38	6 15.8%	32 84.2%
	41~60m <sup>3</sup>	36	7 19.4%	29 80.6%
	61~100m <sup>3</sup>	43	9 20.9%	34 79.1%
	101~200m <sup>3</sup>	65	16 24.6%	49 75.4%
	201~400m <sup>3</sup>	52	9 17.3%	43 82.7%
	401~2,000m <sup>3</sup>	87	20 23.0%	67 77.0%
	2,001m <sup>3</sup> 以上	40	23 57.5%	17 42.5%
	わからない	50	9 18.0%	41 82.0%

(問5で「1 備蓄している」と回答された事業所にお聞きます。)

[問5-1] 飲料水をどのくらい備蓄していますか。(〇はいくつでも)

		全体	ペットボトル ( ミリ リットル× 本)	水の缶詰 ( ミリリット ル× 本)	ポリタンク ( リット ル× 個)	その他 ( リット ル)
全体計		112	98 87.5%	1 0.9%	8 7.1%	13 11.6%
事業所 の 所在地	北区	3	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	東区	15	12 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%
	中央区	37	33 89.2%	0 0.0%	4 10.8%	3 8.1%
	江南区	7	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%
	秋葉区	10	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	南区	7	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
	西区	18	17 94.4%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%
	西蒲区	9	6 66.7%	0 0.0%	2 22.2%	3 33.3%
事業所 の 業種	建設業	13	10 76.9%	0 0.0%	1 7.7%	2 15.4%
	製造業	13	12 92.3%	0 0.0%	1 7.7%	2 15.4%
	情報通信業	3	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸業	6	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	卸売・小売業	22	18 81.8%	0 0.0%	2 9.1%	6 27.3%
	飲食店・宿泊業	2	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
	医療・福祉	24	23 95.8%	0 0.0%	1 4.2%	1 4.2%
	サービス業(他に分 類されないもの)	12	11 91.7%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%
	その他	11	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
事業所 の 水道 メーター 口径	25mm	38	30 78.9%	0 0.0%	4 10.5%	5 13.2%
	30~40mm	33	32 97.0%	0 0.0%	2 6.1%	2 6.1%
	50mm	19	17 89.5%	0 0.0%	1 5.3%	2 10.5%
	75mm	4	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
	100mm以上	3	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
	わからない	8	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
	事業所 の 直近の 水道 使用水量	10m <sup>3</sup> 以下	5	4 80.0%	0 0.0%	2 40.0%
11~20m <sup>3</sup>		2	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
21~40m <sup>3</sup>		6	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
41~60m <sup>3</sup>		7	6 85.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
61~100m <sup>3</sup>		9	6 66.7%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%
101~200m <sup>3</sup>		16	15 93.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%
201~400m <sup>3</sup>		9	7 77.8%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%
401~2,000m <sup>3</sup>		20	19 95.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%
2,001m <sup>3</sup> 以上		21	20 95.2%	0 0.0%	1 4.8%	2 9.5%
わからない		10	9 90.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%

問6 災害対策として、優先的に実施した方がよいと思う取組みはどれですか。次の中から3つ選び、○をつけてください。（3つまで選択）

		全体	浄水場などの水道施設の耐震化	地震に強い水道管への入替えによる耐震化	病院などの重要施設向け水道管の耐震化	災害時に一定量の飲料水等を確保する緊急貯水槽などの応急給水設備の整備	給水車・仮設給水栓・キャンパス水槽などの応急給水用具の整備	ペットボトル水などの備蓄	その他
全体計		499	245 49.1%	276 55.3%	181 36.3%	244 48.9%	231 46.3%	157 31.5%	6 1.2%
事業所の所在地	北区	28	16 57.1%	17 60.7%	7 25.0%	12 42.9%	14 50.0%	7 25.0%	1 3.6%
	東区	60	29 48.3%	37 61.7%	22 36.7%	33 55.0%	23 38.3%	19 31.7%	0 0.0%
	中央区	137	69 50.4%	77 56.2%	44 32.1%	71 51.8%	63 46.0%	39 28.5%	1 0.7%
	江南区	40	22 55.0%	20 50.0%	17 42.5%	22 55.0%	24 60.0%	11 27.5%	0 0.0%
	秋葉区	43	15 34.9%	17 39.5%	18 41.9%	23 53.5%	21 48.8%	21 48.8%	1 2.3%
	南区	39	16 41.0%	22 56.4%	13 33.3%	15 38.5%	22 56.4%	9 23.1%	0 0.0%
	西区	65	30 46.2%	38 58.5%	28 43.1%	37 56.9%	23 35.4%	24 36.9%	2 3.1%
	西蒲区	46	27 58.7%	32 69.6%	14 30.4%	15 32.6%	24 52.2%	13 28.3%	0 0.0%
事業所の業種	建設業	39	14 35.9%	20 51.3%	11 28.2%	28 71.8%	20 51.3%	15 38.5%	0 0.0%
	製造業	109	58 53.2%	59 54.1%	29 26.6%	59 54.1%	54 49.5%	27 24.8%	3 2.8%
	情報通信業	6	2 33.3%	2 33.3%	3 50.0%	4 66.7%	4 66.7%	3 50.0%	0 0.0%
	運輸業	28	17 60.7%	14 50.0%	13 46.4%	12 42.9%	11 39.3%	11 39.3%	0 0.0%
	卸売・小売業	95	52 54.7%	64 67.4%	36 37.9%	35 36.8%	46 48.4%	29 30.5%	0 0.0%
	飲食店・宿泊業	27	13 48.1%	18 66.7%	8 29.6%	17 63.0%	9 33.3%	6 22.2%	1 3.7%
	医療・福祉	42	13 31.0%	27 64.3%	22 52.4%	20 47.6%	20 47.6%	15 35.7%	0 0.0%
	サービス業(他に分類されないもの)	61	30 49.2%	29 47.5%	26 42.6%	28 45.9%	30 49.2%	21 34.4%	1 1.6%
	その他	42	19 45.2%	21 50.0%	12 28.6%	22 52.4%	18 42.9%	13 31.0%	0 0.0%
事業所の水道メーター口径	25mm	171	86 50.3%	91 53.2%	55 32.2%	84 49.1%	83 48.5%	65 38.0%	3 1.8%
	30~40mm	132	60 45.5%	80 60.6%	49 37.1%	70 53.0%	56 42.4%	36 27.3%	0 0.0%
	50mm	58	28 48.3%	35 60.3%	26 44.8%	33 56.9%	28 48.3%	10 17.2%	1 1.7%
	75mm	12	5 41.7%	6 50.0%	5 41.7%	4 33.3%	7 58.3%	4 33.3%	0 0.0%
	100mm以上	9	5 55.6%	6 66.7%	1 11.1%	2 22.2%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%
	わからない	55	30 54.5%	28 50.9%	22 40.0%	25 45.5%	25 45.5%	19 34.5%	0 0.0%
事業所の直近の水道使用水量	10㎡以下	11	6 54.5%	9 81.8%	5 45.5%	3 27.3%	4 36.4%	3 27.3%	1 9.1%
	11~20㎡	19	10 52.6%	12 63.2%	8 42.1%	9 47.4%	8 42.1%	5 26.3%	0 0.0%
	21~40㎡	37	16 43.2%	18 48.6%	8 21.6%	22 59.5%	21 56.8%	15 40.5%	1 2.7%
	41~60㎡	36	16 44.4%	17 47.2%	10 27.8%	20 55.6%	17 47.2%	19 52.8%	0 0.0%
	61~100㎡	43	21 48.8%	29 67.4%	17 39.5%	17 39.5%	16 37.2%	14 32.6%	0 0.0%
	101~200㎡	65	30 46.2%	35 53.8%	19 29.2%	42 64.6%	34 52.3%	16 24.6%	0 0.0%
	201~400㎡	52	28 53.8%	32 61.5%	19 36.5%	27 51.9%	27 51.9%	11 21.2%	0 0.0%
	401~2,000㎡	87	48 55.2%	51 58.6%	36 41.4%	39 44.8%	36 41.4%	24 27.6%	1 1.1%
	2,001㎡以上	40	14 35.0%	23 57.5%	16 40.0%	18 45.0%	20 50.0%	12 30.0%	1 2.5%
	わからない	50	24 48.0%	24 48.0%	19 38.0%	22 44.0%	24 48.0%	18 36.0%	0 0.0%

【広報・PR】

問7 水道局が行っている広報の媒体の中で、あなたの事業所が利用しているものは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

		全体	広報室「水先案内」	市報にいた	ホームページ	パンフレット	新聞での広報	イベント(水道週間等のイベント)	利用しているものはない
全体計		493	103 20.9%	175 35.5%	52 10.5%	28 5.7%	86 17.4%	7 1.4%	223 45.2%
事業所の所在地	北区	28	4 14.3%	6 21.4%	1 3.6%	3 10.7%	4 14.3%	0 0.0%	17 60.7%
	東区	59	16 27.1%	21 35.6%	6 10.2%	3 5.1%	10 16.9%	0 0.0%	28 47.5%
	中央区	136	26 19.1%	50 36.8%	19 14.0%	5 3.7%	22 16.2%	3 2.2%	59 43.4%
	江南区	39	7 17.9%	16 41.0%	5 12.8%	0 0.0%	8 20.5%	1 2.6%	20 51.3%
	秋葉区	42	7 16.7%	13 31.0%	5 11.9%	1 2.4%	5 11.9%	1 2.4%	19 45.2%
	南区	39	6 15.4%	11 28.2%	4 10.3%	2 5.1%	10 25.6%	0 0.0%	20 51.3%
	西区	65	15 23.1%	24 36.9%	3 4.6%	5 7.7%	14 21.5%	2 3.1%	29 44.6%
	西蒲区	43	11 25.6%	18 41.9%	5 11.6%	5 11.6%	3 7.0%	0 0.0%	17 39.5%
事業所の業種	建設業	39	7 17.9%	10 25.6%	5 12.8%	1 2.6%	11 28.2%	4 10.3%	17 43.6%
	製造業	105	23 21.9%	35 33.3%	9 8.6%	5 4.8%	14 13.3%	0 0.0%	53 50.5%
	情報通信業	6	0 0.0%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%
	運輸業	27	7 25.9%	8 29.6%	4 14.8%	1 3.7%	5 18.5%	0 0.0%	13 48.1%
	卸売・小売業	94	16 17.0%	33 35.1%	10 10.6%	2 2.1%	13 13.8%	2 2.1%	49 52.1%
	飲食店・宿泊業	27	7 25.9%	12 44.4%	3 11.1%	2 7.4%	4 14.8%	0 0.0%	12 44.4%
	医療・福祉	43	10 23.3%	16 37.2%	4 9.3%	5 11.6%	6 14.0%	0 0.0%	19 44.2%
	サービス業(他に分類されないもの)	60	9 15.0%	19 31.7%	7 11.7%	5 8.3%	10 16.7%	1 1.7%	26 43.3%
	その他	41	11 26.8%	20 48.8%	4 9.8%	3 7.3%	10 24.4%	0 0.0%	13 31.7%
事業所の水道メーター口径	25mm	169	42 24.9%	63 37.3%	13 7.7%	10 5.9%	32 18.9%	3 1.8%	74 43.8%
	30~40mm	128	26 20.3%	36 28.1%	14 10.9%	10 7.8%	18 14.1%	4 3.1%	63 49.2%
	50mm	57	8 14.0%	27 47.4%	8 14.0%	1 1.8%	10 17.5%	0 0.0%	25 43.9%
	75mm	11	3 27.3%	4 36.4%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	5 45.5%
	100mm以上	10	1 10.0%	4 40.0%	4 40.0%	1 10.0%	4 40.0%	0 0.0%	3 30.0%
	わからない	56	10 17.9%	20 35.7%	3 5.4%	2 3.6%	8 14.3%	0 0.0%	28 50.0%
事業所の直近の水道使用水量	10m <sup>3</sup> 以下	11	2 18.2%	6 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 45.5%
	11~20m <sup>3</sup>	19	2 10.5%	5 26.3%	4 21.1%	0 0.0%	4 21.1%	1 5.3%	8 42.1%
	21~40m <sup>3</sup>	36	7 19.4%	10 27.8%	3 8.3%	0 0.0%	8 22.2%	0 0.0%	21 58.3%
	41~60m <sup>3</sup>	35	8 22.9%	9 25.7%	1 2.9%	2 5.7%	7 20.0%	2 5.7%	16 45.7%
	61~100m <sup>3</sup>	43	8 18.6%	18 41.9%	4 9.3%	1 2.3%	10 23.3%	1 2.3%	18 41.9%
	101~200m <sup>3</sup>	64	16 25.0%	22 34.4%	3 4.7%	3 4.7%	7 10.9%	1 1.6%	33 51.6%
	201~400m <sup>3</sup>	49	13 26.5%	21 42.9%	5 10.2%	4 8.2%	7 14.3%	1 2.0%	18 36.7%
	401~2,000m <sup>3</sup>	85	14 16.5%	27 31.8%	12 14.1%	8 9.4%	14 16.5%	1 1.2%	42 49.4%
	2,001m <sup>3</sup> 以上	40	11 27.5%	21 52.5%	9 22.5%	4 10.0%	9 22.5%	0 0.0%	13 32.5%
わからない	51	9 17.6%	17 33.3%	2 3.9%	2 3.9%	8 15.7%	0 0.0%	25 49.0%	

問8 水道局が広報活動を行っていく上で、今後力を入れてほしい媒体は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

	全体	広報紙 「水先案内」	市報 にいがた	ホーム ページ	携帯版 ホーム ページ	パンフ レット	新聞での 広報	雑誌での 広報	ラジオでの 広報	テレビでの 広報	検針票の 裏面	イベント (水道週間 等のイベント)	その他	
全体計	464	115 24.8%	195 42.0%	127 27.4%	18 3.9%	54 11.6%	131 28.2%	11 2.4%	48 10.3%	141 30.4%	123 26.5%	27 5.8%	10 2.2%	
事業所の 所在地	北区	26 6 23.1%	8 30.8%	9 34.6%	0 0.0%	5 19.2%	6 23.1%	2 7.7%	3 11.5%	9 34.6%	3 11.5%	2 7.7%	2 7.7%	
	東区	57 16 28.1%	23 40.4%	20 35.1%	1 1.8%	1 1.8%	15 26.3%	0 0.0%	2 3.5%	16 28.1%	14 24.6%	2 3.5%	0 0.0%	
	中央区	130 27 20.8%	63 48.5%	35 26.9%	6 4.6%	8 6.2%	32 24.6%	3 2.3%	13 10.0%	41 31.5%	42 32.3%	7 5.4%	2 1.5%	
	江南区	39 9 23.1%	20 51.3%	13 33.3%	2 5.1%	3 7.7%	15 38.5%	2 5.1%	3 7.7%	7 17.9%	14 35.9%	2 5.1%	2 5.1%	
	秋葉区	38 5 13.2%	14 36.8%	9 23.7%	1 2.6%	1 2.6%	13 34.2%	1 2.6%	5 13.2%	11 28.9%	10 26.3%	2 5.3%	1 2.6%	
	南区	37 9 24.3%	9 24.3%	6 16.2%	2 5.4%	2 5.4%	7 18.9%	0 0.0%	6 16.2%	12 32.4%	13 35.1%	1 2.7%	1 2.7%	
	西区	59 20 33.9%	21 35.6%	17 28.8%	2 3.4%	2 3.4%	14 23.7%	23 39.0%	2 3.4%	7 11.9%	23 39.0%	7 11.9%	7 11.9%	1 1.7%
	西蒲区	43 13 30.2%	19 44.2%	10 23.3%	1 2.3%	1 2.3%	12 27.9%	8 18.6%	1 2.3%	3 7.0%	10 23.3%	17 39.5%	2 4.7%	2 4.7%
事業所の 業種	建設業	36 9 25.0%	14 38.9%	10 27.8%	3 8.3%	5 13.9%	9 25.0%	0 0.0%	6 16.7%	12 33.3%	10 27.8%	2 5.6%	1 2.8%	
	製造業	100 29 29.0%	35 35.0%	23 23.0%	1 1.0%	12 12.0%	26 26.0%	4 4.0%	10 10.0%	32 32.0%	22 22.0%	9 9.0%	3 3.0%	
	情報通信業	6 0 0.0%	3 50.0%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	
	運輸業	26 7 26.9%	12 46.2%	5 19.2%	0 0.0%	5 19.2%	7 26.9%	0 0.0%	2 7.7%	4 15.4%	5 19.2%	0 0.0%	0 0.0%	
	卸売・小売業	92 18 19.6%	36 39.1%	34 37.0%	4 4.3%	7 7.6%	21 22.8%	2 2.2%	4 4.3%	28 30.4%	27 29.3%	5 5.4%	3 3.3%	
	飲食店・宿泊業	24 9 37.5%	10 41.7%	6 25.0%	2 8.3%	3 12.5%	9 37.5%	0 0.0%	2 8.3%	9 37.5%	4 16.7%	1 4.2%	0 0.0%	
	医療・福祉	42 11 26.2%	22 52.4%	14 33.3%	0 0.0%	7 16.7%	14 33.3%	2 4.8%	4 9.5%	12 28.6%	12 28.6%	3 7.1%	1 2.4%	
	サービス業(他に分類 されないもの)	55 13 23.6%	27 49.1%	14 25.5%	4 7.3%	7 12.7%	10 18.2%	2 3.6%	7 12.7%	16 29.1%	18 32.7%	1 1.8%	0 0.0%	
	その他	40 9 22.5%	15 37.5%	7 17.5%	0 0.0%	5 12.5%	13 32.5%	1 2.5%	6 15.0%	9 22.5%	19 47.5%	1 2.5%	2 5.0%	
	事業所の 水道 メーター 口径	25mm	157 48 30.6%	71 45.2%	38 24.2%	8 5.1%	19 12.1%	50 31.8%	3 1.9%	21 13.4%	50 31.8%	45 28.7%	6 3.8%	1 0.6%
30～40mm		123 23 18.7%	46 37.4%	41 33.3%	3 2.4%	15 12.2%	31 25.2%	5 4.1%	8 6.5%	37 30.1%	39 31.7%	9 7.3%	4 3.3%	
50mm		56 12 21.4%	22 39.3%	13 23.2%	0 0.0%	6 10.7%	16 28.6%	0 0.0%	4 7.1%	14 25.0%	14 25.0%	0 0.0%	2 3.6%	
75mm		11 3 27.3%	3 27.3%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	2 18.2%	6 54.5%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	
100mm以上		10 2 20.0%	3 30.0%	5 50.0%	0 0.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	3 30.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%	
わからない		54 16 29.6%	28 51.9%	13 24.1%	3 5.6%	7 13.0%	9 16.7%	2 3.7%	6 11.1%	13 24.1%	10 18.5%	1 1.9%	1 1.9%	
事業所の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	11 2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	1 9.1%	3 27.3%	6 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	
	11～20㎡	17 11 11.8%	6 35.3%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	6 35.3%	0 0.0%	2 11.8%	9 52.9%	1 5.9%	3 17.6%	0 0.0%	
	21～40㎡	32 6 18.8%	11 34.4%	7 21.9%	1 3.1%	10 15.6%	10 31.3%	1 3.1%	2 6.3%	9 28.1%	12 37.5%	2 6.3%	1 3.1%	
	41～60㎡	33 12 36.4%	14 42.4%	7 21.2%	1 3.0%	3 9.1%	5 15.2%	1 3.0%	6 18.2%	10 30.3%	10 30.3%	3 9.1%	0 0.0%	
	61～100㎡	37 7 18.9%	19 51.4%	11 29.7%	4 10.8%	5 13.5%	11 29.7%	0 0.0%	2 5.4%	13 35.1%	8 21.6%	1 2.7%	0 0.0%	
	101～200㎡	63 16 25.4%	25 39.7%	21 33.3%	2 3.2%	3 4.8%	15 23.8%	1 1.6%	8 12.7%	14 22.2%	22 34.9%	2 3.2%	3 4.8%	
	201～400㎡	49 11 22.4%	18 36.7%	13 26.5%	1 2.0%	8 16.3%	12 24.5%	1 2.0%	6 12.2%	18 36.7%	14 28.6%	3 6.1%	1 2.0%	
	401～2,000㎡	85 19 22.4%	33 38.8%	22 25.9%	3 3.5%	12 14.1%	26 30.6%	5 5.9%	9 10.6%	28 32.9%	23 27.1%	5 5.9%	2 2.4%	
	2,001㎡以上	38 13 34.2%	18 47.4%	17 44.7%	0 0.0%	6 15.8%	14 36.8%	0 0.0%	2 5.3%	9 23.7%	11 28.9%	2 5.3%	0 0.0%	
	わからない	48 15 31.3%	27 56.3%	9 18.8%	2 4.2%	6 12.5%	10 20.8%	1 2.1%	4 8.3%	11 22.9%	9 18.8%	0 0.0%	1 2.1%	

問9 あなたの事業所が必要と考える水道局からの情報やお知らせは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

		全体	水道水の 水質検査の 結果	断水・漏水 などの工事 情報	災害対策の 取組み	水道料金や 支払いに関 する手続き の方法	事業の経営 状況	各種のイベ ント情報	水道水の節 水方法や活 用方法など	その他
全体計		490	265 54.1%	262 53.5%	257 52.4%	59 12.0%	23 4.7%	21 4.3%	266 54.3%	3 0.6%
事業所 の 所在地	北区	26	17 65.4%	14 53.8%	15 57.7%	5 19.2%	2 7.7%	1 3.8%	13 50.0%	0 0.0%
	東区	60	31 51.7%	33 55.0%	30 50.0%	5 8.3%	2 3.3%	3 5.0%	32 53.3%	0 0.0%
	中央区	136	70 51.5%	76 55.9%	71 52.2%	15 11.0%	8 5.9%	4 2.9%	75 55.1%	0 0.0%
	江南区	42	27 64.3%	20 47.6%	21 50.0%	6 14.3%	1 2.4%	2 4.8%	22 52.4%	1 2.4%
	秋葉区	41	22 53.7%	21 51.2%	20 48.8%	4 9.8%	1 2.4%	3 7.3%	18 43.9%	0 0.0%
	南区	39	21 53.8%	21 53.8%	18 46.2%	7 17.9%	1 2.6%	0 0.0%	21 53.8%	1 2.6%
	西区	64	35 54.7%	30 46.9%	38 59.4%	6 9.4%	3 4.7%	3 4.7%	37 57.8%	0 0.0%
	西蒲区	43	25 58.1%	27 62.8%	19 44.2%	5 11.6%	1 2.3%	3 7.0%	27 62.8%	1 2.3%
事業所 の 業種	建設業	39	18 46.2%	23 59.0%	27 69.2%	5 12.8%	4 10.3%	2 5.1%	21 53.8%	0 0.0%
	製造業	106	64 60.4%	55 51.9%	54 50.9%	13 12.3%	2 1.9%	3 2.8%	53 50.0%	0 0.0%
	情報通信業	6	2 33.3%	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%
	運輸業	26	15 57.7%	9 34.6%	11 42.3%	3 11.5%	2 7.7%	0 0.0%	12 46.2%	0 0.0%
	卸売・小売業	93	50 53.8%	48 51.6%	45 48.4%	5 5.4%	3 3.2%	6 6.5%	49 52.7%	2 2.2%
	飲食店・宿泊業	28	16 57.1%	18 64.3%	12 42.3%	7 25.0%	0 0.0%	3 10.7%	20 71.4%	0 0.0%
	医療・福祉	42	21 50.0%	25 59.5%	26 61.9%	5 11.9%	1 2.4%	1 2.4%	27 64.3%	0 0.0%
	サービス業(他に分 類されないもの)	61	35 57.4%	34 55.7%	27 44.3%	11 18.0%	3 4.9%	2 3.3%	33 54.1%	0 0.0%
	その他	42	25 59.5%	20 47.6%	20 47.6%	4 9.5%	2 4.8%	2 4.8%	21 50.0%	1 2.4%
事業所 の 水道 メーター 口径	25mm	164	81 49.4%	92 56.1%	85 51.8%	19 11.6%	6 3.7%	10 6.1%	83 50.6%	1 0.6%
	30~40mm	129	82 63.6%	68 52.7%	68 52.7%	19 14.7%	5 3.9%	6 4.7%	75 58.1%	0 0.0%
	50mm	59	24 40.7%	35 59.3%	33 55.9%	4 6.8%	2 3.4%	1 1.7%	35 59.3%	0 0.0%
	75mm	12	9 75.0%	6 50.0%	7 58.3%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	8 66.7%	0 0.0%
	100mm以上	10	6 60.0%	8 80.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%
	わからない	57	35 61.4%	24 42.1%	27 47.4%	6 10.5%	5 8.8%	0 0.0%	29 50.9%	1 1.8%
事業所 の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	11	6 54.5%	5 45.5%	6 54.5%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	6 54.5%	0 0.0%
	11~20㎡	17	12 70.6%	9 52.9%	12 70.6%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	7 41.2%	0 0.0%
	21~40㎡	36	16 44.4%	21 58.3%	17 47.2%	5 13.9%	3 8.3%	2 5.6%	18 50.0%	1 2.8%
	41~60㎡	34	19 55.9%	14 41.2%	13 38.2%	4 11.8%	1 2.9%	1 2.9%	18 52.9%	0 0.0%
	61~100㎡	42	23 54.8%	25 59.5%	18 42.9%	5 11.9%	0 0.0%	0 0.0%	22 52.4%	0 0.0%
	101~200㎡	64	39 60.9%	32 50.0%	34 53.1%	8 12.5%	3 4.7%	7 10.9%	37 57.8%	0 0.0%
	201~400㎡	51	23 45.1%	27 52.9%	26 51.0%	7 13.7%	2 3.9%	3 5.9%	24 47.1%	0 0.0%
	401~2,000㎡	87	44 50.6%	56 64.4%	47 54.0%	11 12.6%	3 3.4%	3 3.4%	49 56.3%	0 0.0%
	2,001㎡以上	41	22 53.7%	24 58.5%	26 63.4%	4 9.8%	0 0.0%	0 0.0%	28 68.3%	0 0.0%
	わからない	50	32 64.0%	21 42.0%	22 44.0%	4 8.0%	5 10.0%	0 0.0%	28 56.0%	1 2.0%

【水道事業全般】

問10 新潟市の水道事業について、どのように思いますか。(〇は1つだけ)										
		全体	満足 (+2)	やや満足 (+1)	どちらとも いえない(0)	やや不満 (-1)	不満 (-2)	満足計	不満計	平均
全体計		499	68 13.6%	110 22.0%	288 57.7%	29 5.8%	4 0.8%	178 35.7%	33 6.6%	0.42
事業所の 所在地	北区	28	1 3.6%	5 17.9%	19 67.9%	3 10.7%	0 0.0%	6 21.4%	3 10.7%	0.14
	東区	59	13 22.0%	16 27.1%	29 49.2%	0 0.0%	1 1.7%	29 49.2%	1 1.7%	0.68
	中央区	139	16 11.5%	34 24.5%	76 54.7%	11 7.9%	2 1.4%	50 36.0%	13 9.4%	0.37
	江南区	40	5 12.5%	10 25.0%	21 52.5%	4 10.0%	0 0.0%	15 37.5%	4 10.0%	0.40
	秋葉区	43	4 9.3%	8 18.6%	28 65.1%	3 7.0%	0 0.0%	12 27.9%	3 7.0%	0.30
	南区	39	6 15.4%	6 15.4%	26 66.7%	1 2.6%	0 0.0%	12 30.8%	1 2.6%	0.44
	西区	63	9 14.3%	19 30.2%	34 54.0%	1 1.6%	0 0.0%	28 44.4%	1 1.6%	0.57
	西蒲区	46	8 17.4%	9 19.6%	26 56.5%	2 4.3%	1 2.2%	17 37.0%	3 6.5%	0.46
事業所の 業種	建設業	39	6 15.4%	10 25.6%	19 48.7%	4 10.3%	0 0.0%	16 41.0%	4 10.3%	0.46
	製造業	109	13 11.9%	26 23.9%	63 57.8%	7 6.4%	0 0.0%	39 35.8%	7 6.4%	0.41
	情報通信業	6	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0.67
	運輸業	26	5 19.2%	1 3.8%	18 69.2%	1 3.8%	1 3.8%	6 23.1%	2 7.7%	0.31
	卸売・小売業	95	19 20.0%	22 23.2%	48 50.5%	5 5.3%	1 1.1%	41 43.2%	6 6.3%	0.56
	飲食店・宿泊業	28	4 14.3%	4 14.3%	18 64.3%	1 3.6%	1 3.6%	8 28.6%	2 7.1%	0.32
	医療・福祉	43	3 7.0%	10 23.3%	28 65.1%	2 4.7%	0 0.0%	13 30.2%	2 4.7%	0.33
	サービス業(他に分類されないもの)	60	5 8.3%	17 28.3%	35 58.3%	2 3.3%	1 1.7%	22 36.7%	3 5.0%	0.38
	その他	42	6 14.3%	10 23.8%	24 57.1%	2 4.8%	0 0.0%	16 38.1%	2 4.8%	0.48
事業所の 水道 メーター 口径	25mm	169	24 14.2%	46 27.2%	87 51.5%	12 7.1%	0 0.0%	70 41.4%	12 7.1%	0.49
	30~40mm	130	18 13.8%	23 17.7%	84 64.6%	5 3.8%	0 0.0%	41 31.5%	5 3.8%	0.42
	50mm	59	10 16.9%	13 22.0%	32 54.2%	3 5.1%	1 1.7%	23 39.0%	4 6.8%	0.47
	75mm	12	0 0.0%	3 25.0%	7 58.3%	2 16.7%	0 0.0%	3 25.0%	2 16.7%	0.08
	100mm以上	10	1 10.0%	4 40.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%	0.60
	わからない	55	8 14.5%	10 18.2%	31 56.4%	3 5.5%	3 5.5%	18 32.7%	6 10.9%	0.31
事業所の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	11	2 18.2%	3 27.3%	6 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 45.5%	0 0.0%	0.64
	11~20㎡	19	4 21.1%	4 21.1%	9 47.4%	2 10.5%	0 0.0%	8 42.1%	2 10.5%	0.53
	21~40㎡	37	3 8.1%	11 29.7%	20 54.1%	3 8.1%	0 0.0%	14 37.8%	3 8.1%	0.38
	41~60㎡	36	2 5.6%	9 25.0%	24 66.7%	1 2.8%	0 0.0%	11 30.6%	1 2.8%	0.33
	61~100㎡	42	8 19.0%	11 26.2%	21 50.0%	2 4.8%	0 0.0%	19 45.2%	2 4.8%	0.60
	101~200㎡	65	12 18.5%	15 23.1%	33 50.8%	5 7.7%	0 0.0%	27 41.5%	5 7.7%	0.52
	201~400㎡	51	6 11.8%	10 19.6%	32 62.7%	3 5.9%	0 0.0%	16 31.4%	3 5.9%	0.37
	401~2,000㎡	86	10 11.6%	22 25.6%	50 58.1%	3 3.5%	1 1.2%	32 37.2%	4 4.7%	0.43
	2,001㎡以上	41	5 12.2%	9 22.0%	24 58.5%	3 7.3%	0 0.0%	14 34.1%	3 7.3%	0.39
	わからない	51	10 19.6%	8 15.7%	27 52.9%	3 5.9%	3 5.9%	18 35.3%	6 11.8%	0.37

(問10で「1 満足」または「2 やや満足」と回答された事業所にお聞きします。)

[問10-1]新潟市の水道事業について満足している点は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

	全体	水道水の安 全性	水道水のお いしさ	災害時等の 応急給水体 制の整備	老朽化した 水道管の更 新・耐震化	浄水場など の水道施設 の耐震化	断水の無い 安定した給 水	お客さまへ の対応	効率的な経 営への取組 み	水道料金の 設定	道路漏水な どへの緊急 対応	わかりやす い広報への 取組み	環境に配慮 した事業運 営	その他
全体計	178	148 83.1%	58 32.6%	14 7.9%	19 10.7%	11 6.2%	120 67.4%	29 16.3%	1 0.6%	7 3.9%	23 12.9%	10 5.6%	4 2.2%	1 0.6%
事業所 の所在地	北区	6	4 66.7%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	東区	28	20 71.4%	14 50.0%	3 10.7%	2 7.1%	0 0.0%	23 82.1%	3 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.7%	0 0.0%	1 3.6%
	中央区	50	39 78.0%	15 30.0%	6 12.0%	7 14.0%	2 4.0%	34 68.0%	5 10.0%	0 0.0%	4 8.0%	6 12.0%	3 6.0%	1 2.0%
	江南区	15	13 86.7%	3 20.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	8 53.3%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
	秋葉区	12	11 91.7%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 66.7%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	南区	12	10 83.3%	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	9 75.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	西区	29	27 93.1%	9 31.0%	2 6.9%	4 13.8%	3 10.3%	19 65.5%	6 20.7%	0 0.0%	1 3.4%	2 6.9%	1 3.4%	1 3.4%
	西蒲区	17	15 88.2%	4 23.5%	2 11.8%	3 17.6%	3 17.6%	11 64.7%	3 17.6%	0 0.0%	1 5.9%	1 11.8%	1 11.8%	0 0.0%
事業所 の業種	建設業	16	12 75.0%	7 43.8%	2 12.5%	3 18.8%	1 6.3%	11 68.8%	4 25.0%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
	製造業	38	28 73.7%	11 28.9%	3 7.9%	7 18.4%	2 5.3%	30 78.9%	8 21.1%	0 0.0%	2 5.3%	7 18.4%	1 2.6%	0 0.0%
	情報通信業	3	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸業	7	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%
	卸売・小売業	41	33 80.5%	15 36.6%	3 7.3%	4 9.8%	1 2.4%	29 70.7%	6 14.6%	0 0.0%	2 4.9%	7 17.1%	2 4.9%	2 4.9%
	飲食店・宿泊業	8	8 100.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
	医療・福祉	13	12 92.3%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	12 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.4%	1 23.1%	0 0.0%
	サービス業(他に分類されないもの)	22	16 72.7%	6 27.3%	2 9.1%	1 4.5%	2 9.1%	16 72.7%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%
	その他	16	15 93.8%	6 37.5%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	10 62.5%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 37.5%	0 0.0%
	25mm	70	53 75.7%	24 34.3%	5 7.1%	10 14.3%	6 8.6%	49 70.0%	12 17.1%	1 1.4%	5 7.1%	11 15.7%	1 1.4%	2 2.9%
30~40mm	41	36 87.8%	12 29.3%	5 12.2%	4 9.8%	0 0.0%	30 73.2%	6 14.6%	0 0.0%	2 4.9%	2 4.9%	2 4.9%	1 2.4%	
50mm	23	21 91.3%	8 34.8%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%	17 73.9%	4 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.0%	1 4.3%	0 0.0%	
75mm	3	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	
100mm以上	5	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	
わからない	18	14 77.8%	6 33.3%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	10 55.6%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	4 22.2%	1 5.6%	
事業所 の直近の 水道 使用水量	10m <sup>3</sup> 以下	5	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	5 100.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	11~20m <sup>3</sup>	8	6 75.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	
	21~40m <sup>3</sup>	14	10 71.4%	6 42.9%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	11 78.6%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	4 28.6%	0 0.0%	
	41~60m <sup>3</sup>	11	9 81.8%	3 27.3%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	7 63.6%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	
	61~100m <sup>3</sup>	19	15 78.9%	4 21.1%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	13 68.4%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	
	101~200m <sup>3</sup>	27	22 81.5%	11 40.7%	4 14.8%	4 14.8%	2 7.4%	20 74.1%	4 14.8%	0 0.0%	2 7.4%	2 7.4%	1 3.7%	
	201~400m <sup>3</sup>	16	15 93.8%	5 31.3%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	11 68.8%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	
	401~2,000m <sup>3</sup>	32	26 81.3%	11 34.4%	2 6.3%	4 12.5%	1 3.1%	23 71.9%	7 21.9%	1 3.1%	1 3.1%	4 12.5%	2 6.3%	
	2,001m <sup>3</sup> 以上	14	13 92.9%	5 35.7%	2 14.3%	2 14.3%	1 7.1%	13 92.9%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	2 14.3%	
	わからない	18	15 83.3%	6 33.3%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%	11 61.1%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	4 22.2%	

(問10で「4 やや不満」または「5 不満」と回答された事業所にお聞きします。)

[問10-2]新潟市の水道事業について不満な点は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

	全体	水道水の安全性	水道水のおいしさ	災害時等の応急給水体制の整備	老朽化した水道管の更新・耐震化	浄水場などの水道施設の耐震化	断水のない安定した給水	お客さまへの対応	効率的な経営への取組み	水道料金の設定	道路漏水などへの緊急対応	わかりやすい広報への取組み	環境に配慮した事業運営	その他	
全体計	34	7 20.6%	14 41.2%	4 11.8%	9 26.5%	3 8.8%	1 2.9%	4 11.8%	2 5.9%	18 52.9%	2 5.9%	2 5.9%	0 0.0%	2 5.9%	
事業所の所在地	北区	3 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	33.3%	33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	東区	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	中央区	13 15.4%	2 6.2%	6 18.8%	1 3.0%	4 12.1%	1 3.0%	1 3.0%	3 9.1%	0 0.0%	61.5%	1 3.0%	1 3.0%	0 0.0%	2 6.2%
	江南区	4 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.9%	3 8.8%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%
	秋葉区	3 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	南区	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	西区	2 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	西蒲区	3 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
事業所の業種	建設業	4 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	75.0%	25.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	製造業	7 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	14.3%	0 0.0%	0 0.0%	
	情報通信業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	運輸業	3 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	卸売・小売業	6 16.7%	1 100.0%	6 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0.0%	33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	
	飲食店・宿泊業	2 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	100.0%	0 0.0%	0 0.0%	50.0%	
	医療・福祉	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	
	サービス業(他に分類されないもの)	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	その他	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	50.0%	0 0.0%	0 0.0%	50.0%	
	25mm	12 16.7%	2 50.0%	6 16.7%	2 33.3%	4 33.3%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	58.3%	8.3%	1 8.3%	0 0.0%	8.3%
	30~40mm	5 40.0%	2 80.0%	4 20.0%	1 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	
50mm	4 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25.0%	100.0%	0 0.0%	25.0%	0.0%		
75mm	2 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%		
100mm以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%		
わからない	7 14.3%	1 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	14.3%		
事業所の直近の水道使用水量	10㎡以下	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	
	11~20㎡	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
	21~40㎡	3 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	
	41~60㎡	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	61~100㎡	2 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	101~200㎡	5 20.0%	1 60.0%	3 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	201~400㎡	3 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	
	401~2,000㎡	4 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	2,001㎡以上	3 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	わからない	7 14.3%	1 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	14.3%	

問11 水道局が行っている1～7の取組みについて、優先的に実施すべきと思う取組みはどれですか。次の中から優先的に実施した方がよいと思う順に3つまで選び（1つまたは2つでもよいです）、下記の回答欄に番号（1～7）をご記入ください。（3つまで選択）

		全体	水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み	浄水加工の改善など、おいしい水を供給するための取組み	地震に強い水道管の整備など災害対策の強化	古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって水道を供給するための取組み	水道料金の支払い方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上	太陽光発電の導入など環境に配慮した施設設備	上記以外の取組み
全体計		430	344 80.0%	188 43.7%	289 67.2%	312 72.6%	37 8.6%	56 13.0%	7 1.6%
事業所の所在地	北区	26	19 73.1%	11 42.3%	18 69.2%	16 61.5%	3 11.5%	6 23.1%	1 3.8%
	東区	51	39 76.5%	26 51.0%	37 72.5%	36 70.6%	2 3.9%	3 5.9%	0 0.0%
	中央区	121	97 80.2%	53 43.8%	80 66.1%	91 75.2%	12 9.9%	13 10.7%	3 2.5%
	江南区	35	30 85.7%	15 42.9%	23 65.7%	26 74.3%	3 8.6%	4 11.4%	0 0.0%
	秋葉区	34	26 76.5%	12 35.3%	23 67.6%	25 73.5%	5 14.7%	3 8.8%	0 0.0%
	南区	34	29 85.3%	13 38.2%	23 67.6%	26 76.5%	3 8.8%	3 8.8%	0 0.0%
	西区	58	49 84.5%	23 39.7%	38 65.5%	43 74.1%	3 5.2%	13 22.4%	1 1.7%
	西蒲区	36	30 83.3%	17 47.2%	27 75.0%	25 69.4%	2 5.6%	3 8.3%	0 0.0%
事業所の業種	建設業	34	23 67.6%	17 50.0%	20 58.8%	29 85.3%	2 5.9%	5 14.7%	1 2.9%
	製造業	92	75 81.5%	47 51.1%	63 68.5%	63 68.5%	6 6.5%	8 8.7%	0 0.0%
	情報通信業	6	5 83.3%	2 33.3%	4 66.7%	5 83.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
	運輸業	24	22 91.7%	6 25.0%	18 75.0%	18 75.0%	1 4.2%	2 8.3%	0 0.0%
	卸売・小売業	81	68 84.0%	38 46.9%	57 70.4%	60 74.1%	5 6.2%	9 11.1%	0 0.0%
	飲食店・宿泊業	23	19 82.6%	11 47.8%	13 56.5%	14 60.9%	5 21.7%	3 13.0%	1 4.3%
	医療・福祉	39	33 84.6%	14 35.9%	29 74.4%	28 71.8%	2 5.1%	7 17.9%	1 2.6%
	サービス業（他に分類されないもの）	55	46 83.6%	22 40.0%	36 65.5%	38 69.1%	9 16.4%	8 14.5%	1 1.8%
	その他	34	25 73.5%	12 35.3%	25 73.5%	27 79.4%	3 8.8%	3 8.8%	0 0.0%
事業所の水道メーター口径	25mm	143	116 81.1%	70 49.0%	99 69.2%	95 66.4%	8 5.6%	16 11.2%	2 1.4%
	30～40mm	115	95 82.6%	41 35.7%	84 73.0%	88 76.5%	7 6.1%	14 12.2%	0 0.0%
	50mm	53	39 73.6%	26 49.1%	38 71.7%	38 71.7%	6 11.3%	4 7.5%	1 1.9%
	75mm	11	9 81.8%	6 54.5%	4 36.4%	4 81.8%	2 18.2%	2 27.3%	0 0.0%
	100mm以上	9	9 100.0%	1 11.1%	6 66.7%	9 100.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
	わからない	48	38 79.2%	22 45.8%	27 56.3%	37 77.1%	7 14.6%	6 12.5%	2 4.2%
事業所の直近の水道使用水量	10㎡以下	10	9 90.0%	2 20.0%	9 90.0%	6 60.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%
	11～20㎡	16	12 75.0%	6 37.5%	13 81.3%	12 75.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%
	21～40㎡	33	23 69.7%	16 48.5%	23 69.7%	22 66.7%	3 9.1%	5 15.2%	2 6.1%
	41～60㎡	30	25 83.3%	13 43.3%	18 60.0%	21 70.0%	2 6.7%	5 16.7%	0 0.0%
	61～100㎡	32	26 81.3%	16 50.0%	23 71.9%	21 65.6%	1 3.1%	3 9.4%	0 0.0%
	101～200㎡	59	48 81.4%	27 45.8%	41 69.5%	42 71.2%	1 1.7%	5 8.5%	0 0.0%
	201～400㎡	44	37 84.1%	17 38.6%	32 72.7%	33 75.0%	4 9.1%	3 6.8%	0 0.0%
	401～2,000㎡	78	64 82.1%	35 44.9%	53 67.9%	55 70.5%	7 9.0%	9 11.5%	0 0.0%
	2,001㎡以上	37	30 81.1%	13 35.1%	26 70.3%	32 86.5%	3 8.1%	5 13.5%	1 2.7%
	わからない	44	34 77.3%	20 45.5%	25 56.8%	35 79.5%	7 15.9%	6 13.6%	2 4.5%

問12 水道事業の経営は独立採算制で、水道料金収入でまかなわれています。そこで、水道局が取り組んでいる次のア～カの取組みについて、水道料金との関係をどのようにお考えですか。 (各行の1～4に○は1つだけ) 【ア. 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み】						
		全体	水道料金が 高くなって も積極的に 推進してほ しい	現状の料金 水準で推進 してほしい	水道料金が 高くなるの なら推進し ないでほし い	わからない
全体		499	68 13.6%	409 82.0%	12 2.4%	10 2.0%
事業所 の 所在地	北区	27	4 14.8%	21 77.8%	1 3.7%	1 3.7%
	東区	59	6 10.2%	50 84.7%	2 3.4%	1 1.7%
	中央区	138	16 11.6%	119 86.2%	2 1.4%	1 0.7%
	江南区	41	6 14.6%	33 80.5%	1 2.4%	1 2.4%
	秋葉区	44	9 20.5%	33 75.0%	2 4.5%	0 0.0%
	南区	38	4 10.5%	32 84.2%	1 2.6%	1 2.6%
	西区	64	13 20.3%	49 76.6%	0 0.0%	2 3.1%
	西蒲区	45	4 8.9%	38 84.4%	1 2.2%	2 4.4%
事業所 の 業種	建設業	39	5 12.8%	34 87.2%	0 0.0%	0 0.0%
	製造業	105	11 10.5%	89 84.8%	3 2.9%	2 1.9%
	情報通信業	6	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸業	28	1 3.6%	26 92.9%	1 3.6%	0 0.0%
	卸売・小売業	96	17 17.7%	77 80.2%	1 1.0%	1 1.0%
	飲食店・宿泊業	29	4 13.8%	23 79.3%	1 3.4%	1 3.4%
	医療・福祉	43	8 18.6%	33 76.7%	0 0.0%	2 4.7%
	サービス業（他に分類されないもの）	60	7 11.7%	51 85.0%	1 1.7%	1 1.7%
	その他	43	6 14.0%	32 74.4%	3 7.0%	2 4.7%
事業所 の 水道 メーター 口径	25mm	170	22 12.9%	142 83.5%	2 1.2%	4 2.4%
	30～40mm	130	16 12.3%	111 85.4%	2 1.5%	1 0.8%
	50mm	57	5 8.8%	50 87.7%	0 0.0%	2 3.5%
	75mm	12	1 8.3%	9 75.0%	1 8.3%	1 8.3%
	100mm以上	10	2 20.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%
	わからない	55	11 20.0%	39 70.9%	4 7.3%	1 1.8%
事業所 の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	11	3 27.3%	8 72.7%	0 0.0%	0 0.0%
	11～20㎡	19	5 26.3%	13 68.4%	0 0.0%	1 5.3%
	21～40㎡	38	5 13.2%	30 78.9%	2 5.3%	1 2.6%
	41～60㎡	35	4 11.4%	30 85.7%	0 0.0%	1 2.9%
	61～100㎡	45	7 15.6%	36 80.0%	1 2.2%	1 2.2%
	101～200㎡	66	7 10.6%	58 87.9%	0 0.0%	1 1.5%
	201～400㎡	50	6 12.0%	43 86.0%	1 2.0%	0 0.0%
	401～2,000㎡	84	6 7.1%	76 90.5%	0 0.0%	2 2.4%
	2,001㎡以上	41	5 12.2%	33 80.5%	1 2.4%	2 4.9%
	わからない	49	11 22.4%	33 67.3%	5 10.2%	0 0.0%

問12 水道事業の経営は独立採算制で、水道料金収入でまかなわれています。そこで、水道局が取り組んでいる次のア～カの取組みについて、水道料金との関係をどのようにお考えですか。

(各行の1～4に○は1つだけ)

【イ. 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み】

		全体	水道料金が 高くなって も積極的に 推進してほ しい	現状の料金 水準で推進 してほしい	水道料金が 高くなるの なら推進し ないでほし い	わからない
全体計		499	39 7.8%	391 78.4%	56 11.2%	13 2.6%
事業所 の 所在地	北区	27	1 3.7%	23 85.2%	2 7.4%	1 3.7%
	東区	59	2 3.4%	48 81.4%	8 13.6%	1 1.7%
	中央区	138	17 12.3%	103 74.6%	16 11.6%	2 1.4%
	江南区	41	5 12.2%	33 80.5%	2 4.9%	1 2.4%
	秋葉区	44	1 2.3%	36 81.8%	6 13.6%	1 2.3%
	南区	38	4 10.5%	24 63.2%	8 21.1%	2 5.3%
	西区	63	2 3.2%	53 84.1%	6 9.5%	2 3.2%
	西蒲区	46	1 2.2%	40 87.0%	3 6.5%	2 4.3%
事業所 の 業種	建設業	39	2 5.1%	36 92.3%	1 2.6%	0 0.0%
	製造業	105	8 7.6%	87 82.9%	7 6.7%	3 2.9%
	情報通信業	6	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%
	運輸業	28	2 7.1%	20 71.4%	6 21.4%	0 0.0%
	卸売・小売業	95	9 9.5%	72 75.8%	13 13.7%	1 1.1%
	飲食店・宿泊業	29	2 6.9%	23 79.3%	3 10.3%	1 3.4%
	医療・福祉	42	0 0.0%	36 85.7%	3 7.1%	3 7.1%
	サービス業（他に分 類されないもの）	61	7 11.5%	43 70.5%	9 14.8%	2 3.3%
	その他	43	1 2.3%	32 74.4%	8 18.6%	2 4.7%
事業所 の 水道 メーター 口径	25mm	168	11 6.5%	136 81.0%	18 10.7%	3 1.8%
	30～40mm	130	12 9.2%	104 80.0%	10 7.7%	4 3.1%
	50mm	58	1 1.7%	45 77.6%	9 15.5%	3 5.2%
	75mm	12	1 8.3%	8 66.7%	2 16.7%	1 8.3%
	100mm以上	10	0 0.0%	8 80.0%	2 20.0%	0 0.0%
	わからない	56	6 10.7%	40 71.4%	9 16.1%	1 1.8%
事業所 の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	10	2 20.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%
	11～20㎡	19	2 10.5%	14 73.7%	2 10.5%	1 5.3%
	21～40㎡	38	5 13.2%	25 65.8%	7 18.4%	1 2.6%
	41～60㎡	36	1 2.8%	29 80.6%	4 11.1%	2 5.6%
	61～100㎡	44	5 11.4%	33 75.0%	5 11.4%	1 2.3%
	101～200㎡	66	2 3.0%	58 87.9%	5 7.6%	1 1.5%
	201～400㎡	50	2 4.0%	42 84.0%	5 10.0%	1 2.0%
	401～2,000㎡	84	6 7.1%	65 77.4%	10 11.9%	3 3.6%
	2,001㎡以上	41	1 2.4%	34 82.9%	4 9.8%	2 4.9%
	わからない	50	6 12.0%	35 70.0%	9 18.0%	0 0.0%

問12 水道事業の経営は独立採算制で、水道料金収入でまかなわれています。そこで、水道局が取り組んでいる次のア～カの取組みについて、水道料金との関係をどのようにお考えですか。

(各行の1～4に○は1つだけ)

【ウ：地震に強い水道管の整備など災害対策の強化】

		全体	水道料金が 高くなって も積極的に 推進してほ しい	現状の料金 水準で推進 してほしい	水道料金が 高くなるの なら推進し ないでほし い	わからない
全体計		497	95 19.1%	367 73.8%	22 4.4%	13 2.6%
事業所 の 所在地	北区	27	6 22.2%	19 70.4%	2 7.4%	0 0.0%
	東区	60	9 15.0%	47 78.3%	2 3.3%	2 3.3%
	中央区	137	27 19.7%	103 75.2%	4 2.9%	3 2.2%
	江南区	40	8 20.0%	29 72.5%	1 2.5%	2 5.0%
	秋葉区	44	9 20.5%	32 72.7%	2 4.5%	1 2.3%
	南区	39	7 17.9%	29 74.4%	2 5.1%	1 2.6%
	西区	64	12 18.8%	49 76.6%	1 1.6%	2 3.1%
	西蒲区	45	8 17.8%	33 73.3%	3 6.7%	1 2.2%
事業所 の 業種	建設業	38	6 15.8%	31 81.6%	0 0.0%	1 2.6%
	製造業	107	18 16.8%	84 78.5%	2 1.9%	3 2.8%
	情報通信業	6	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸業	28	3 10.7%	22 78.6%	3 10.7%	0 0.0%
	卸売・小売業	95	25 26.3%	67 70.5%	2 2.1%	1 1.1%
	飲食店・宿泊業	29	5 17.2%	21 72.4%	1 3.4%	2 6.9%
	医療・福祉	42	12 28.6%	26 61.9%	2 4.8%	2 4.8%
	サービス業（他に分 類されないもの）	60	10 16.7%	47 78.3%	2 3.3%	1 1.7%
	その他	43	7 16.3%	30 69.8%	4 9.3%	2 4.7%
事業所 の 水道 メーター 口径	25mm	171	42 24.6%	122 71.3%	3 1.8%	4 2.3%
	30～40mm	130	23 17.7%	101 77.7%	4 3.1%	2 1.5%
	50mm	57	7 12.3%	46 80.7%	1 1.8%	3 5.3%
	75mm	12	0 0.0%	9 75.0%	2 16.7%	1 8.3%
	100mm以上	10	1 10.0%	8 80.0%	1 10.0%	0 0.0%
	わからない	55	11 20.0%	37 67.3%	5 9.1%	2 3.6%
事業所 の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	10	5 50.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	11～20㎡	19	4 21.1%	14 73.7%	0 0.0%	1 5.3%
	21～40㎡	38	14 36.8%	22 57.9%	1 2.6%	1 2.6%
	41～60㎡	36	5 13.9%	27 75.0%	2 5.6%	2 5.6%
	61～100㎡	45	8 17.8%	35 77.8%	2 4.4%	0 0.0%
	101～200㎡	67	13 19.4%	52 77.6%	0 0.0%	2 3.0%
	201～400㎡	50	7 14.0%	41 82.0%	2 4.0%	0 0.0%
	401～2,000㎡	84	12 14.3%	67 79.8%	2 2.4%	3 3.6%
	2,001㎡以上	41	5 12.2%	31 75.6%	3 7.3%	2 4.9%
	わからない	49	11 22.4%	32 65.3%	5 10.2%	1 2.0%

問12 水道事業の経営は独立採算制で、水道料金収入でまかなわれています。そこで、水道局が取り組んでいる次のア～カの取組みについて、水道料金との関係をどのようにお考えですか。 (各行の1～4に○は1つだけ) 【エ. 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道水を供給するための取組み】						
		全体	水道料金が 高くなっても積極的に 推進してほしい	現状の料金 水準で推進 してほしい	水道料金が 高くなるの なら推進し ないでほ しい	わからない
全体		501	85 17.0%	378 75.4%	25 5.0%	13 2.6%
事業所の 所在地	北区	28	2 7.1%	24 85.7%	2 7.1%	0 0.0%
	東区	60	11 18.3%	46 76.7%	2 3.3%	1 1.7%
	中央区	139	20 14.4%	109 78.4%	6 4.3%	4 2.9%
	江南区	41	10 24.4%	26 63.4%	4 9.8%	1 2.4%
	秋葉区	44	7 15.9%	35 79.5%	2 4.5%	0 0.0%
	南区	39	7 17.9%	29 74.4%	2 5.1%	1 2.6%
	西区	64	13 20.3%	45 70.3%	3 4.7%	3 4.7%
	西蒲区	45	6 13.3%	37 82.2%	1 2.2%	1 2.2%
事業所の 業種	建設業	39	4 10.3%	34 87.2%	1 2.6%	0 0.0%
	製造業	107	14 13.1%	87 81.3%	4 3.7%	2 1.9%
	情報通信業	6	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	運輸業	28	6 21.4%	20 71.4%	2 7.1%	0 0.0%
	卸売・小売業	97	17 17.5%	75 77.3%	3 3.1%	2 2.1%
	飲食店・宿泊業	28	4 14.3%	21 75.0%	2 7.1%	1 3.6%
	医療・福祉	43	13 30.2%	25 58.1%	4 9.3%	1 2.3%
	サービス業（他に分類されないもの）	60	10 16.7%	45 75.0%	2 3.3%	3 5.0%
	その他	44	7 15.9%	31 70.5%	4 9.1%	2 4.5%
事業所の 水道 メーター 口径	25mm	170	31 18.2%	130 76.5%	5 2.9%	4 2.4%
	30～40mm	132	22 16.7%	101 76.5%	6 4.5%	3 2.3%
	50mm	59	9 15.3%	46 78.0%	2 3.4%	2 3.4%
	75mm	12	0 0.0%	9 75.0%	2 16.7%	1 8.3%
	100mm以上	10	1 10.0%	8 80.0%	1 10.0%	0 0.0%
	わからない	55	12 21.8%	37 67.3%	5 9.1%	1 1.8%
事業所の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	10	3 30.0%	6 60.0%	1 10.0%	0 0.0%
	11～20㎡	20	5 25.0%	15 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
	21～40㎡	37	8 21.6%	25 67.6%	2 5.4%	2 5.4%
	41～60㎡	36	3 8.3%	31 86.1%	1 2.8%	1 2.8%
	61～100㎡	45	8 17.8%	35 77.8%	2 4.4%	0 0.0%
	101～200㎡	67	7 10.4%	57 85.1%	0 0.0%	3 4.5%
	201～400㎡	51	6 11.8%	42 82.4%	2 3.9%	1 2.0%
	401～2,000㎡	85	17 20.0%	62 72.9%	5 5.9%	1 1.2%
	2,001㎡以上	41	5 12.2%	31 75.6%	3 7.3%	2 4.9%
	わからない	50	13 26.0%	31 62.0%	5 10.0%	1 2.0%

問12 水道事業の経営は独立採算制で、水道料金収入でまかなわれています。そこで、水道局が取り組んでいる次のア～カの取組みについて、水道料金との関係をどのようにお考えですか。 (各行の1～4に○は1つだけ)						
【オ. 水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上】						
		全体	水道料金が 高くなっても積極的に 推進してほしい	現状の料金 水準で推進 してほしい	水道料金が 高くなるのなら推進し ないでほしい	わからない
	全体	493	10 2.0%	270 54.8%	176 35.7%	37 7.5%
事業所の 所在地	北区	26	1 3.8%	14 53.8%	11 42.3%	0 0.0%
	東区	61	2 3.3%	39 63.9%	16 26.2%	4 6.6%
	中央区	136	4 2.9%	74 54.4%	48 35.3%	10 7.4%
	江南区	41	0 0.0%	20 48.8%	16 39.0%	5 12.2%
	秋葉区	42	1 2.4%	24 57.1%	15 35.7%	2 4.8%
	南区	39	1 2.6%	22 56.4%	13 33.3%	3 7.7%
	西区	62	0 0.0%	31 50.0%	26 41.9%	5 8.1%
	西蒲区	45	0 0.0%	25 55.6%	17 37.8%	3 6.7%
事業所の 業種	建設業	38	1 2.6%	21 55.3%	12 31.6%	4 10.5%
	製造業	106	2 1.9%	65 61.3%	33 31.1%	6 5.7%
	情報通信業	6	0 0.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%
	運輸業	27	0 0.0%	13 48.1%	13 48.1%	1 3.7%
	卸売・小売業	95	3 3.2%	53 55.8%	34 35.8%	5 5.3%
	飲食店・宿泊業	29	0 0.0%	13 44.8%	12 41.4%	4 13.8%
	医療・福祉	41	0 0.0%	25 61.0%	14 34.1%	2 4.9%
	サービス業（他に分類されないもの）	58	1 1.7%	29 50.0%	23 39.7%	5 8.6%
	その他	44	2 4.5%	23 52.3%	15 34.1%	4 9.1%
事業所の 水道 メーター 口径	25mm	169	4 2.4%	88 52.1%	65 38.5%	12 7.1%
	30～40mm	126	1 0.8%	72 57.1%	43 34.1%	10 7.9%
	50mm	59	1 1.7%	37 62.7%	18 30.5%	3 5.1%
	75mm	12	0 0.0%	8 66.7%	3 25.0%	1 8.3%
	100mm以上	10	0 0.0%	6 60.0%	3 30.0%	1 10.0%
	わからない	55	2 3.6%	27 49.1%	24 43.6%	2 3.6%
事業所の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	10	2 20.0%	4 40.0%	4 40.0%	0 0.0%
	11～20㎡	19	0 0.0%	9 47.4%	8 42.1%	2 10.5%
	21～40㎡	37	2 5.4%	16 43.2%	16 43.2%	3 8.1%
	41～60㎡	36	0 0.0%	18 50.0%	15 41.7%	3 8.3%
	61～100㎡	43	1 2.3%	23 53.5%	17 39.5%	2 4.7%
	101～200㎡	66	0 0.0%	39 59.1%	20 30.3%	7 10.6%
	201～400㎡	50	1 2.0%	30 60.0%	17 34.0%	2 4.0%
	401～2,000㎡	83	0 0.0%	49 59.0%	28 33.7%	6 7.2%
	2,001㎡以上	41	0 0.0%	26 63.4%	12 29.3%	3 7.3%
	わからない	50	3 6.0%	22 44.0%	22 44.0%	3 6.0%

問12 水道事業の経営は独立採算制で、水道料金収入でまかなわれています。そこで、水道局が取り組んでいる次のア～カの取組みについて、水道料金との関係をどのようにお考えですか。  
(各行の1～4に○は1つだけ)

【カ：太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備】

		全体	水道料金が 高くなっても積極的に 推進してほしい	現状の料金 水準で推進 してほしい	水道料金が 高くなるの なら推進し ないでほし い	わからない
全体計		495	30 6.1%	272 54.9%	138 27.9%	55 11.1%
事業所 の 所在地	北区	26	1 3.8%	15 57.7%	9 34.6%	1 3.8%
	東区	59	3 5.1%	32 54.2%	14 23.7%	10 16.9%
	中央区	137	8 5.8%	77 56.2%	38 27.7%	14 10.2%
	江南区	41	3 7.3%	20 48.8%	13 31.7%	5 12.2%
	秋葉区	42	4 9.5%	25 59.5%	10 23.8%	3 7.1%
	南区	39	1 2.6%	18 46.2%	12 30.8%	8 20.5%
	西区	63	4 6.3%	36 57.1%	16 25.4%	7 11.1%
	西蒲区	46	2 4.3%	29 63.0%	12 26.1%	3 6.5%
事業所 の 業種	建設業	39	3 7.7%	22 56.4%	10 25.6%	4 10.3%
	製造業	106	3 2.8%	60 56.6%	29 27.4%	14 13.2%
	情報通信業	6	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%
	運輸業	27	2 7.4%	12 44.4%	10 37.0%	3 11.1%
	卸売・小売業	95	5 5.3%	52 54.7%	26 27.4%	12 12.6%
	飲食店・宿泊業	29	1 3.4%	16 55.2%	7 24.1%	5 17.2%
	医療・福祉	42	4 9.5%	26 61.9%	10 23.8%	2 4.8%
	サービス業（他に分類されないもの）	58	4 6.9%	32 55.2%	15 25.9%	7 12.1%
	その他	43	2 4.7%	24 55.8%	14 32.6%	3 7.0%
事業所 の 水道 メーター 口径	25mm	169	7 4.1%	98 58.0%	41 24.3%	23 13.6%
	30～40mm	127	7 5.5%	71 55.9%	33 26.0%	16 12.6%
	50mm	58	2 3.4%	35 60.3%	16 27.6%	5 8.6%
	75mm	12	1 8.3%	5 41.7%	4 33.3%	2 16.7%
	100mm以上	10	0 0.0%	7 70.0%	3 30.0%	0 0.0%
	わからない	55	7 12.7%	23 41.8%	22 40.0%	3 5.5%
事業所 の 直近の 水道 使用水量	10㎡以下	11	2 18.2%	6 54.5%	1 9.1%	2 18.2%
	11～20㎡	19	2 10.5%	10 52.6%	6 31.6%	1 5.3%
	21～40㎡	37	0 0.0%	15 40.5%	14 37.8%	8 21.6%
	41～60㎡	36	2 5.6%	21 58.3%	10 27.8%	3 8.3%
	61～100㎡	43	2 4.7%	22 51.2%	13 30.2%	6 14.0%
	101～200㎡	66	1 1.5%	46 69.7%	13 19.7%	6 9.1%
	201～400㎡	50	2 4.0%	29 58.0%	13 26.0%	6 12.0%
	401～2,000㎡	83	4 4.8%	50 60.2%	19 22.9%	10 12.0%
	2,001㎡以上	41	1 2.4%	23 56.1%	13 31.7%	4 9.8%
	わからない	49	7 14.3%	19 38.8%	19 38.8%	4 8.2%

### 3 自由意見

今回のアンケートでは、巻末に自由記入欄を設けて、アンケートに回答くださった方々に対し、水道局へのご意見・ご要望を記入してもらった。

ご意見・ご要望として記入いただいた件数は46件あり、それらの主な意見を分類、整理した結果、意見総数は51件となった。

#### 水道水の水質や安全でおいしい水道水の供給に関すること

意見内容	件数
放射性物質の数値を公表してほしい	1
満願寺浄水場の汚泥が心配	1
秋葉区の水道水がおいしくない	1
朝の水が薬品臭くてまずい	1
総計	4

#### 安定した水道水の供給に関すること

意見内容	件数
非常時の飲料水の確保が大事	1
総計	1

#### 水道料金に関すること

意見内容	件数
水道料金を安くしてほしい	2
消費税増税後、料金が値上げになるか心配	1
料金を値上げしないでほしい	1
総計	4

#### お客さまサービス（支払方法）に関すること

意見内容	件数
クレジットカード支払いを実施してほしい	1
総計	1

#### お客さまサービス（広報活動）に関すること

意見内容	件数
水の大切さをアピールすべき	1
日本海タワーと水道事業を併せてPRしてはどうか	1
総計	2

### 水道事業運営に関すること

意見内容	件数
独立採算制ならば、業務改善を図り水道料金を値下げしてほしい	1
水道と下水道は一体なので両事業で業務改善が必要	1
太陽光発電のコスト・耐用年数について懸念がある	1
必要不可欠な事業なので、できるだけ現状の料金水準でがんばってほしい	1
現状よりも低料金で各取組みを実施してほしい	1
水道事業の整備強化を早急に実施してほしい	1
施設の改良・更新や災害対策の強化は最優先事項だが、料金の大幅な値上げにならないよう中・長期的な事業運営をしてほしい	1
民営化・効率化・サービスの向上をめざしてほしい	1
品質の向上のために値上げするだけでなく、コストカットなど見直しをしてほしい	1
総計	9

### 下水道に関すること

意見内容	件数
下水道使用料が高い	1
下水道使用料を安くしてほしい	1
総計	2

### 水道局への期待等

意見内容	件数
安心・安全な水の供給	2
おいしい水の供給	2
水道関係者への感謝	2
安定した水の供給	1
よいサービスをしてほしい	1
総計	8

### 要望・提案

意見内容	件数
宅地内の水道管の取替を自己負担でなく、無料で交換してほしい	1
事業所向けに節水設備や雨水の活用法などを教えてほしい	1
水道局関連会社である水道サービスの業務内容を開示してほしい	1
トイレ用水に飲み水を使用するのはもったいないので、市や大型施設等ではトイレ用水に使用しないようにできないか	1
農作物に使用する水道水の料金を、飲み水としての水道料金よりも安くしてほしい	1
総計	5

### アンケートに関すること

意見内容	件数
水道利用者の声を良い方向にもって行ってほしい	1
アンケートを記名式にしてはどうか	1
総計	2

### その他

意見内容	件数
水道利用者はお客様であることを忘れないでほしい	1
特になし	12
総計	13

## 4 調査票

# 水道水に関するアンケート 2013

平成 25 年 10 月  
新潟市水道局

## ご協力のお願い

このたび、水道局では、お客さまの水道事業に対する意識や水道水の利用状況をお聞きして、今後の水道サービスを提供していく上での基礎資料とするために、アンケート調査を実施します。

この調査は、新潟市内で水道水をご利用いただいている事業所の中から無作為に選んだ1,000事業所にご協力をお願いしています。調査結果は、すべて統計的に処理した上で調査目的にのみ活用させていただきます。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、統計処理した結果につきましては、後日ホームページ等で公開する予定です。

ご記入後の調査票は、**同封の返送用封筒（切手不要）**で**10月16日（水曜日）**までに**ご投函**くださいますようお願いいたします。

## 記入上のお願い

1. アンケートの記入については、**事業所の庶務のご担当者**など、水道水の使用状況等をご存知の方がご記入くださいますようお願いいたします。
2. 各質問の回答は、当てはまる番号に○をつけてください。
3. 質問によって、（○は1つだけ）（3つまで選択）（○はいくつでも）という回答数の指定がありますのでご注意ください。
4. 「その他」を選ばれたときは、（ ）の中に具体的な内容をご記入ください。

<この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。>

新潟市水道局 総務部 総務課 総務係

〒951-8560 新潟市中央区関屋下川原町 1 丁目 3 番地 3

お客さま専用フリーダイヤル 0120-411-002 （※平日 8:30~17:15）

最初に、統計的に処理するために、あなたの事業所の水道のことについてお聞きします。該当する項目に○をつけてください。

【事業所の所在地】

(○は1つだけ)

1 北区	2 東区
3 中央区	4 江南区
5 秋葉区	6 南区
7 西区	8 西蒲区

【事業所の業種】

(○は1つだけ)

1 建設業
2 製造業
3 情報通信業
4 運輸業
5 卸売・小売業
6 飲食店・宿泊業
7 医療・福祉
8 サービス業 (他に分類されないもの)
9 その他 ( )

【事業所の水道メーター口径】

(○は1つだけ)

1 25mm	2 30~40mm
3 50mm	4 75mm
5 100mm以上	6 わからない

【事業所の直近の水道使用水量】

(○は1つだけ)

1 10m <sup>3</sup> 以下
2 11~20m <sup>3</sup>
3 21~40m <sup>3</sup>
4 41~60m <sup>3</sup>
5 61~100m <sup>3</sup>
6 101~200m <sup>3</sup>
7 201~400m <sup>3</sup>
8 401~2,000m <sup>3</sup>
9 2,001m <sup>3</sup> 以上
10 わからない

※検針票の見本

事業所の検針票をご覧になり、該当する項目に○をつけてください。

いつもご利用いただきありがとうございます。

25年5月 月分水道使用量等のお知らせ  
25年6月

ご使用期間 4月7日 ~ 6月6日

中央区関屋下川原町1丁目3-3

株式会社 新潟水道 様

お客様番号 99999999 - 111

メーター: 40mm ABCD 123456789 世帯数: 1

今回検針 6/6 1583 m<sup>3</sup>

前回検針 4/6 1120 m<sup>3</sup>

使用水量 463 m<sup>3</sup>

下水道排除量 463 m<sup>3</sup>

通信欄	
-----	--

\*今回推定水量のお客様については、次回検針時にご使用量を再計算し、差額が生じた場合には次回お支払い額を調整、精算させていただきます。ご不明な点については下記までお問い合わせください。

地下水検針	連番1	連番2	連番3
今回指針			
前回指針			

今回の請求予定金額 (再掲消費税相当額)	
水道料金	81,271円 (3,870円)
下水道使用料	105,136円 (5,006円)
合計額	186,407円

口座振替予定日・振替予定金額	
前期分	6月26日 振替 93,204円
後期分	7月26日 振替 93,203円

次回の検針は 8月7日の予定です。

25年3月 月分口座振替済のお知らせ  
25年4月

下記の金額がご指定の口座から振替になりましたのでお知らせいたします。

前期分	4月26日 振替済	59,780円
後期分	5月26日 振替済	59,780円

水道料金等のお問い合わせ  
水道局お客さまコールセンター フリーダイヤル 0120-411-002  
受付時間 AM8:00~PM9:00 年中無休  
(フリーダイヤルをご利用できない場合は、025-266-9311へ)

下水道使用料等のお問い合わせ TEL 025-281-9561  
東部地域下水道事務所 普及推進課 業務係

新潟市水道局検針受託者 新潟水道サービス  
委託検針員 水道 一郎



注：このお知らせ票では、料金のお支払いはできません。

## 水道水の節水意識や利用状況についてお聞きします

(すべての事業所にお聞きします。)

問1 日ごろ、あなたの事業所では水道水をどのように使っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 節水のことは考えずに使っている
- 2 節水は必要と思いつつも、実行はしていない
- 3 ある程度節水しながら使っている
- 4 まめに節水して使っている

([問1-1] ~ [問1-2] は、問1で「3 ある程度節水しながら使っている」または「4 まめに節水して使っている」と回答された事業所にお聞きします。)

[問1-1] 次のうち現在取り組んでいる節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

- 1 節水型設備の導入(業務用の機械など)
- 2 節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)
- 3 水の循環利用
- 4 地下水・雨水の利用
- 5 使用量の管理
- 6 従業員への啓発
- 7 その他( )

[問1-2] 節水するための水道使用量の目標値はありますか。(〇は1つだけ)

- 1 前年度に比べて5%程度の節水
- 2 前年度に比べて10%程度の節水
- 3 前年度に比べて15%程度の節水
- 4 前年度に比べて20%を超える節水
- 5 その他( )
- 6 目標値はない

(問1-2で「1」から「5」の選択肢で回答された事業所にお聞きします。)

[問1-3] 節水をしたことにより、節水目標はどのくらい達成できましたか。(〇は1つだけ)

- 1 ほぼ達成できた
- 2 半分くらい達成できた
- 3 あまり達成できなかった
- 4 わからない

(すべての事業所にお聞きします。)

問2 次のうち、今後取り組みたいと思っている節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

- 1 節水型設備の導入(業務用の機械など)
- 2 節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)
- 3 水の循環利用
- 4 地下水・雨水の利用
- 5 使用量の管理
- 6 従業員への啓発
- 7 その他( )
- 8 ない

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水及びそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)

利用している 水の種類	用 途	A. 飲用	B. 飲用以外 の生活用水 (トイレ等)	C. 商品の製 造・加工、サ ービスの提 供などの業 務用	D. 空調等の 設備用	E. その他 ( )
1 水道水						
2 雨水						
3 地下水(井戸水)						
4 工業用水						
5 その他 ( ) ※循環利用等						

**災害時における飲料水の確保と水道局の災害対策についてお聞きします**

問4 平成23年3月11日の東日本大震災発生以降、あなたの事業所では水に対する考え方は変化しましたか。(〇はいくつでも)

- 1 以前より水の備蓄をするようになった
- 2 節水の意識が高まった
- 3 水道水以外の水(ペットボトル水、井戸水など)を利用するようになった
- 4 水道水の安全性に対して関心が高くなった
- 5 水道の果たす役割に対して関心が高くなった
- 6 その他( )
- 7 変わらない

問5 新潟市では、災害に備え、市民の皆さまに1人1日あたり3リットル、3日分で9リットル程度を目安として、飲料水の備蓄をお願いしています。あなたの事業所では、独自の取組みとして災害に備えた飲料水の備蓄を行っていますか。(〇は1つだけ)

1 備蓄している	2 備蓄していない
----------	-----------

(問5で「1 備蓄している」と回答された事業所にお聞きします。)

[問5-1] 飲料水をどのくらい備蓄していますか。(〇はいくつでも)

1	ペットボトル (	ミリリットル×	本)
2	水の缶詰 (	ミリリットル×	本)
3	ポリタンク (	リットル×	個)
4	その他 (	で	リットル)

(すべての事業所にお聞きします。)

問6 災害対策として、優先的に実施した方がよいと思う取組みはどれですか。次の中から3つ選び、〇をつけてください。(3つまで選択)

1	浄水場などの水道施設の耐震化	
2	地震に強い水道管への入替えによる耐震化	
3	病院などの重要施設向け水道管の耐震化	
4	災害時に一定量の飲料水等を確保する緊急貯水槽などの応急給水設備の整備	
5	給水車・仮設給水栓・キャンバス水槽などの応急給水用具の整備	
6	ペットボトル水などの備蓄	
7	その他 (	)



応急給水用具の「キャンバス水槽」と「仮設給水栓」の設置見本

## 水道局の広報・PRについてお聞きします

(すべての事業所にお聞きします。)

問7 水道局が行っている広報の媒体の中で、あなたの事業所が利用しているものは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1 広報紙「水先案内」	2 市報にいがた	3 ホームページ
4 パンフレット	5 新聞での広報	6 イベント (水道週間等のイベント)
7 利用しているものはない		

問8 水道局が広報活動を行っていく上で、今後力を入れてほしい媒体は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1 広報紙「水先案内」	2 市報にいがた	3 ホームページ
4 携帯版ホームページ	5 パンフレット	6 新聞での広報
7 雑誌での広報	8 ラジオでの広報	9 テレビでの広報
10 検針票の裏面	11 イベント (水道週間等のイベント)	
12 その他 (		)

問9 あなたの事業所が必要と考える水道局からの情報やお知らせは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1 水道水の水質検査の結果	2 断水・漏水などの工事情報	
3 災害対策の取組み	4 水道料金や支払いに関する手続きの方法	
5 事業の経営状況	6 各種のイベント情報	
7 水道水の節水方法や活用方法など	8 その他 (	)

# 水道事業全般についてお聞きします

問10 新潟市の水道事業について、どのように思いますか。(〇は1つだけ)

1 満足	2 やや満足	3 どちらともいえない	4 やや不満	5 不満
------	--------	-------------	--------	------

(問10で「1 満足」または「2 やや満足」と回答された事業所にお聞きします。)

[問10-1]新潟市の水道事業について満足している点は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1 水道水の安全性	2 水道水のおいしさ
3 災害時等の応急給水体制の整備	4 老朽化した水道管の更新・耐震化
5 浄水場などの水道施設の耐震化	6 断水のない安定した給水
7 お客さまへの対応	8 効率的な経営への取組み
9 水道料金の設定	10 道路漏水などへの緊急対応
11 わかりやすい広報への取組み	12 環境に配慮した事業運営
13 その他 ( )	

(問10で「4 やや不満」または「5 不満」と回答された事業所にお聞きします。)

[問10-2]新潟市の水道事業について不満な点は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1 水道水の安全性	2 水道水のおいしさ
3 災害時等の応急給水体制の整備	4 老朽化した水道管の更新・耐震化
5 浄水場などの水道施設の耐震化	6 断水のない安定した給水
7 お客さまへの対応	8 効率的な経営への取組み
9 水道料金の設定	10 道路漏水などへの緊急対応
11 わかりやすい広報への取組み	12 環境に配慮した事業運営
13 その他 ( )	

(すべての事業所にお聞きします。)

問11 水道局が行っている1~7の取組みについて、優先的に実施すべきと思う取組みはどれですか。次の中から優先的に実施した方がよいと思う順に3つまで選び(1つまたは2つでもよいです)、下記の回答欄に番号(1~7)をご記入ください。(3つまで選択)

1 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み
2 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み
3 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化
4 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み
5 水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上
6 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設設備
7 上記以外の取組み ( )

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

(すべての事業所にお聞きします。)

問 12 水道事業の経営は独立採算制で、水道料金収入でまかなわれています。そこで、水道局が取り組んでいる次のア～カの取組みについて、水道料金との関係をどのようにお考えですか。(各行の1～4に○は1つだけ)

↓ア～カの取組みごとに○をつけてください。

	水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい	現状の料金水準で推進してほしい	水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい	わからない
ア. 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み	1	2	3	4
イ. 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み	1	2	3	4
ウ. 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化	1	2	3	4
エ. 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道水を供給するための取組み	1	2	3	4
オ. 水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上	1	2	3	4
カ. 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備	1	2	3	4

【水道局に対するご意見について】

水道局に対してのご意見、ご要望がございましたら記入してください。

(記入欄)

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。  
お客さまの貴重なご意見は、今後の水道事業運営の参考にさせていただきます。

平成 26 年 2 月 28 日

## 災害時における燃料供給協力体制の強化について

### 1 趣旨

東日本大震災では、停電が長時間に及び、浄配水場施設の自家用発電設備の燃料不足から断水を余儀なくされるなど、燃料の確保が大きな課題となりました。

そのため、地震災害等による停電時においても、安定給水の確保ならびに災害対応業務を円滑に継続するために、燃料供給協力体制の強化を図るものです。

### 2 事業体との燃料供給協力体制

#### ◆ 横浜市水道局、静岡市上下水道局との「燃料供給の相互協力に関する覚書」の締結

<目的> 新潟市と同時被災の可能性が低く、高速道路網が整備され車両での移動に適している横浜市水道局及び静岡市上下水道局と、新潟市水道局は燃料供給に特化した相互協力の覚書を締結しました。

<内容>

- ・水道事業の復旧又は運営に必要な燃料を供給する事としています。
- ・協力要請に基づいて、速やかに燃料供給を行えるよう努めます。
- ・供給を希望する施設の場所、油種、タンク容量などの情報を毎年交換します。
- ・燃料供給経費の負担は協力要請都市が負担します。

<締結日>

- ・新潟市水道局と横浜市水道局：平成 25 年 8 月 27 日新潟市にて締結しました。
- ・新潟市水道局と静岡市上下水道局：平成 26 年 2 月 5 日静岡市にて締結しました。

### 3 事業者との燃料供給協力体制

#### ◆ 新潟市水道局「緊急時燃料供給協力事業者登録制度」の創設

<目的> 災害発生時等の緊急時における燃料供給に関して、協力することができる燃料事業者を予め登録しておくことで、燃料供給体制の強化を図ります。

<内容>

- ・登録対象者：当局の入札参加資格者名簿「物品(燃料)」の登載事業者を対象とします。
- ・協力の内容：①本庁舎への燃料供給 ②水道施設(浄配水場等)燃料供給 ③事業者店頭での燃料供給 ④本市以外の他都市における燃料供給活動
- ・協力の実施：当局の要請に基づき、可能な範囲で最大限の協力を行う事としています。
- ・登録の募集：平成 25 年 9 月 1 日募集開始。現在募集を継続中です。
- ・事業者の登録状況：38社(平成 26 年 2 月 1 日現在)

## 日本海タワーの営業停止について

### 1. 概要

※以下「タワー」という。

#### (1) タワーの設置及び運営

- ① 昭和45年8月から営業を開始

※水道創設60周年にあたり、市民サービスの向上と水道に対する知識の普及を図るため、南山配水場を利用した「展望台」を建設、また、配水場構内に「サービスセンター」を設置

- ② 設置目的を効果的かつ効率的に行うため、水道局の全額出資による「財団法人新潟水道サービス」(以下「財団」という。)を設立、財団の自主事業としてタワーを管理運営

#### (2) 入場者数の状況

- ① 開設2年目の昭和46年度がピーク 195,634人(545人/日)

- ② 他の展望施設の開設により入場者数は徐々に減少

レインボータワー(S48)、NEXT21(H6)、万代島ビル(H15)、メディアシップ(H25)

- ③ 平成24年度(開設後最低) 18,792人(61人/日)

### 2. 現況

#### (1) 施設・設備の老朽化

- ・建設から43年を経過し、設備関係の大幅な更新・改修やバリアフリー対応が必要な状況  
エレベーター(交換部品の製造中止)、展望台回転部のローラー、空調設備、歩廊バリアフリー対応(身障者用エレベーター・昇降機)

※ 設備更新で約8,000万円及びバリアフリー対応で約6,000万円が見込まれる。

#### (2) 事業収支

- ・入場者の減少に伴う入場料収入の減により、営業に係る損失が発生

※ 平成12年度頃から発生しており、平成24年度は約450万円

#### (3) 財団からの協議事項

- ① 財団による運営の継続は不可能であり、平成25年度末に事業を廃止  
② 水道局に対し、施設の返還とともに、その後の活用について検討を依頼

### 3. 今後について

- (1) タワーについては、平成26年4月から水道局で引き受ける。

- (2) 今後の運営については、他の展望施設の開設によりタワーの役割が終了したこと、設備等の老朽化対策や運営面で多額の経費が必要であり、水道事業としての運営は馴染まないことから営業を停止する。

- (3) 営業停止の時期は、市民への周知を考慮し、平成26年6月末とする。また、水道局が引き継ぐ4月～6月の間は、入場料を「無料」とする。(現行：大人300円 小人100円)